


2023 年度
ライフマネジメントに関する
高年齢層の意識調査

2023 年 12 月

 生命保険文化センター

はじめに

(公財)生命保険文化センターでは、多様化する長寿社会に対する高年齢層の考え方、生活の実態・意向等を把握し、これからの長寿社会のあり方を検討することを目的に、「2023年度 ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」を実施いたしました。

本調査は、2019年から2021年にかけて当センターで開催した「人生100年時代におけるライフマネジメント研究会」(座長：京都先端科学大学 西村周三教授)における研究に資するために実施した「ライフマネジメントに関する高齢者の意識調査」(2021年6月発行)を前身とする時系列調査です。

本調査の実施に当たり、特に前身調査からの時系列化に向けては、2021年から2023年にかけて当センターで開催した「生命保険・生活保障にかかわる調査の学術的活用のあり方に関する研究会」(座長：慶応義塾大学 柳瀬典由教授)において、学識者や生命保険業界関係者から意見を伺い、一部見直しも実施いたしました。

本報告書は、以下の7つの章で構成されております。

第1章は「健康状態」と題し、主観的及び客観的な健康状態、1日の歩行量、車の運転、外出時の移動手段、食生活、認知症予防のための行動について捉えています。

第2章は「性格特性・リスク意識・金融保険リテラシー」と題し、自分自身の性格特性や時間割引率やリスク回避性といったリスク意識、利息計算や金融・保険に関する客観的な知識量等の金融・保険リテラシーについて見えています。

第3章は「家族・人とのつながり」と題し、同居家族の状況や同居家族以外の付き合いのある親族といった家族に関する項目、社会貢献活動の実施状況と実施意向といった人とのつながりに関連する項目、加えて、相続や財産管理に関する内容についても触れています。

第4章は「就労」について、現在の就労形態、退職予定年齢、退職金見込額、退職者の過去の主たる職業、退職・引退時年齢について捉えています。

第5章は「家計」と題し、年収(年金・就労・その他)、支出(生活費・医療・介護費)、世帯保有金融資産額、既払込保険料総額を見えています。

第6章は「生活保障意識」と題し、老後、医療、介護、死亡の各保障局面の経済的不安と私的準備状況について触れています。

最後の第7章は「生活満足度」として、人生全般にわたって後悔した点、その中からやり直したい事柄、現在の生活満足度について見えています。

本報告書を通じて、高年齢層の考え方や生活の実態・意向等について、ご理解を深めていただければ幸いです。

2023年12月

公益財団法人 生命保険文化センター

<目 次>

はじめに

調査要領

調査フレーム

報告書を読むにあたって

調査結果

第Ⅰ章 健康状態

1. 健康状態	1
(1) 主観的健康観	1
(2) 客観的健康状態	3
2. 1日の歩行量	9
3. 車の運転	11
(1) 車の運転	11
(2) 外出時の移動手段	14
4. 食生活	18
5. 認知症予防のための行動	20

第Ⅱ章 性格特性・リスク意識・金融保険リテラシー

1. 自身の性格特性	24
2. リスク意識	28
(1) 時間割引率	28
(2) リスク回避性	31
3. 金融・保険リテラシー	34
(1) 金融・保険に関する知識への自信	34
(2) 利息計算	37
(3) 金融・保険に関する知識量	41
4. 特殊詐欺被害を防ぐための行動	47

第Ⅲ章 家族・人とのつながり

1. 未既婚	51
2. 家族とのつながり	52
(1) 家族形態	52
① 同居家族	52
② 家族形態	54
(2) 家族および付き合いのある親族	56
① 家族および付き合いのある親族	56
② 同居家族以外の家族および付き合いのある親族	58
(3) 社会貢献活動の実施状況と実施意向	62
(4) 生活で困った際の相談相手	65
(5) 相続・財産管理	71
① 相続準備の有無	71
② 生前贈与の贈与先	75
③ 判断能力低下時への準備の有無	76

④ 判断能力低下時の相談相手	80
⑤ 判断能力低下時の金融資産の取扱い方	86
⑥ 判断能力低下時の金融資産の取扱い者	90

第Ⅳ章 就労

1. 現在の就労形態	93
(1) 本人の現在の就労形態	93
(2) 現在就労者の退職・引退予定年齢	95
(3) 退職金見込額	100
(4) 無職者の就業意向	102
2. 退職者の過去の主たる職業	104
(1) 退職者本人の過去の主たる職業	104
(2) 退職者の退職・引退年齢	106

第Ⅴ章 家計

1. 収入	108
(1) 昨年1年間の収入	108
(2) 公的年金収入年額	111
(3) 就労収入年額	114
(4) その他収入年額	117
(5) 年収に占める割合	120
2. 支出	123
(1) 夫婦の生活費月額	123
(2) 医療・介護費用月額	126
① 医療・介護費用月額	126
② 生活費に占める医療・介護費用の割合	129
3. 保有金融資産	132
(1) 世帯保有金融資産額	132
(2) 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）	134

第Ⅵ章 生活保障意識

1. 老後保障	136
(1) 老後資産形成	136
① 何歳まで生きると思うか	136
② 老後資産に係る不安	138
③ 老後資産形成の私的準備状況	140
(2) 公的年金	142
① 公的年金受給開始年齢についての認知	142
② 公的年金受給の有無	145
③ 受給開始年齢を遅らせる場合の基準	147
2. 医療保障	149
(1) 自分の病気・ケガに係る経済的不安	149
(2) 医療保障の私的準備状況	151
3. 介護保障	153
(1) 自分の介護	153
① 自分の介護の有無	153

② 自分が要介護状態になることへの経済的不安	155
③ 自分の介護保障の私的準備状況	157
(2) 親の介護の有無	159
4. 遺族保障	161
(1) 自分が万一の際の経済的不安	161
(2) 遺族保障の私的準備状況	163
5. しておけばよかったと思う保障準備	165
第 VII 章 生活満足度	
1. 人生全般に関する後悔	167
2. やり直したい事柄	177
3. 生活満足度	183
付属統計資料	187
1. 属性間クロス	188
2. サンプルデザイン	218
3. 質問票および単純集計結果	220

調査要領

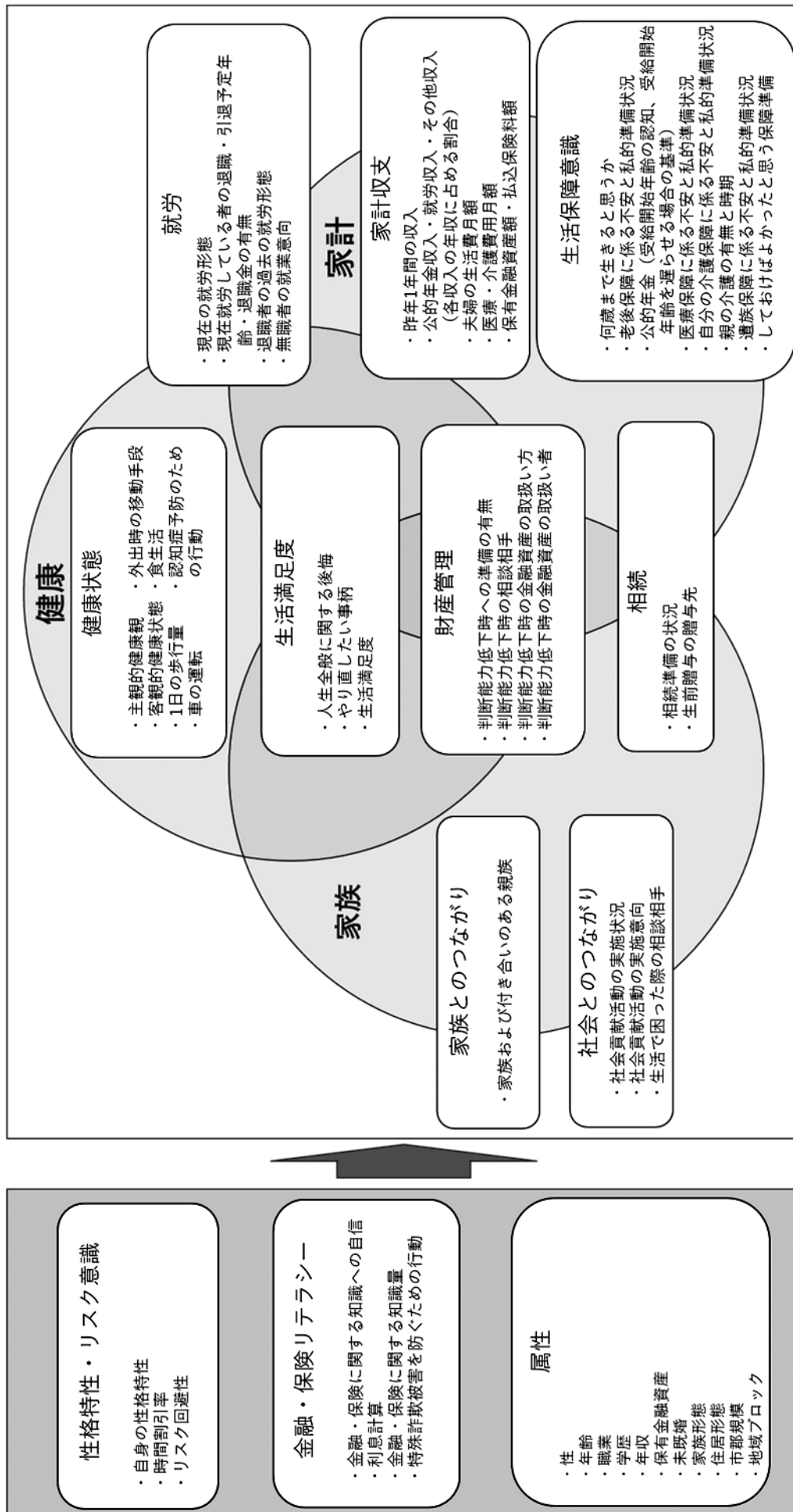
1. 調査目的

多様化する長寿社会に対する高年齢層の考え方、生活の実態・意向等を把握し、これからの長寿社会のあり方を検討することを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 1) 調査地域 | 全国 (200 地点) |
| 2) 調査対象 | 60 歳以上の男女個人 |
| 3) 抽出方法 | 層化 2 段無作為抽出 |
| 4) 調査方法 | 留置聴取法 |
| 5) 調査時期 | 2023 年 4 月 6 日～5 月 28 日 |
| 6) 調査機関 | (一社) 中央調査社 |
| 7) 回収サンプル | 2,084 |

「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」調査フレーム



報告書を読むにあたって

本報告書を読むにあたり、次の点にご留意ください。

1. 調査時期・報告書発表時期

本調査の過去の調査時期、報告書発表時期は次の通りです。

	調査時期	報告書発表時期
2023年調査（今回）	2023年4～5月	2023年12月
2020年調査（前回）	2020年10～11月	2021年6月

質問文を変更している場合は、本文または図表中にその変更内容を注記しています。

2. 本文・図表中の数値と記号

（1）データ間の差の記述と表記

①異なる年次間での差（時系列での比較）

“比率の差の検定（統計的な推論の一方法）”を行い、統計的に有意差が認められた場合、文章中で「増加〔減少〕している」と記述しています。

なお、収入や生活費などの平均値は、“平均の差の検定（統計的な推論の一方法）”を行い、統計的に有意差が認められた場合、文章中で「増加〔減少〕している」と記述しています。

②全体と部分の差（全体の割合とカテゴリーの割合を比較する場合）

全体（各分析ベースにおける総数）と属性別などで分割したカテゴリーの割合を比較する場合は、“比率の差の検定”を行っています。

なお、収入や生活費などの平均値は、“平均の差の検定”を行っています。

その結果、全体に比べて統計的に有意に高いと認められた場合、文章中では「高い」と記述し、図表中では○印を付しています。【表-A】

一方、有意に低いと認められた場合、文章中では「低い」と記述し、図表中では▲印を付しています。【表-B】

このとき、サンプル（標本）数の違いによって、全体の割合との差が小さいカテゴリーの割合に有意差が認められたり、逆に差が大きくても有意差が認められないことがあります。【表-C】

（2）統合カテゴリーの割合

2つ以上のカテゴリーを1つのカテゴリーに統合してその割合（%）を表示する場合は、小数点の端数処理の関係で、統合前のカテゴリーの割合を単純に合計した数値とは相違する場合があります。【表-D】

〔表〕

(単位：%)

		N	受 け た い	た い ど ち ら か と 受 け た い	受 け る こ と を 許 容	い ど ち ら か も え な い	受 け る こ と を 否 定	た い ど ち ら か と 受 け な い	受 け た く な い	無 回 答
全 体		2,083	8.1	10.3	18.4	45.4	33.8	17.9	15.9	2.4
性 別	男 性	964	9.0	12.9	21.9	46.2	▲29.8	17.1	▲12.7	2.2
	女 性	1,119	7.3	▲8.1	▲15.5	44.7	37.4	18.6	18.8	2.5
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	11.6	11.3	22.9	48.7	▲26.6	14.7	▲11.9	1.7
	65～69歳	406	8.9	12.8	21.7	48.3	▲28.3	18.0	▲10.3	1.7
	70～74歳	497	8.9	10.3	19.1	45.3	34.6	15.9	18.7	▲1.0
	75～79歳	407	6.1	8.6	▲14.7	44.7	38.1	20.9	17.2	2.5
	80～84歳	242	5.4	9.9	15.3	42.1	40.5	21.9	18.6	2.1
	85～89歳	132	5.3	8.3	13.6	40.2	37.9	17.4	20.5	8.3
	90歳以上	46	6.5	4.3	10.9	32.6	45.7	17.4	28.3	10.9

(注) *表-Cの場合、女性(18.8%)と85～89歳(20.5%)では、全体(15.9%)との差は85～89歳(4.6ポイント)の方が女性(2.9ポイント)を1.7ポイント上回っています。しかし、比率の差の検定を行うと、85～89歳は回答者数が132と少ないため、全体との差に有意差がありません。逆に女性は1,119と多いため、全体との間に有意差があり、○印がつきます。

*表-Dの場合、“受けたい”(8.9%)と“どちらかというを受けたい”(10.3%)を合計すると19.2%ですが、各々の回答者数を合計し母数で除すと「受けることを許容」は19.1%となります。

3. 分析に用いる属性

本調査で分析に用いる属性とそのカテゴリーは、以下のとおりです。

なお、属性間のクロスについては、巻末「付属統計資料」を参照願います。

①性別

男性

女性

②年齢別

(本人)

60～64 歳

65～69 歳

70～74 歳

75～79 歳

80～84 歳

85～89 歳

90 歳以上

(配偶者)

49 歳以下

50～59 歳

60～64 歳

65～69 歳

70～74 歳

75～79 歳

80～84 歳

85～89 歳

90 歳以上

③職業（現在）別

自営者

農林漁業

商工サービス業

自由業

常雇被用者

公務員

民間企業被用者

非正規社員

派遣社員・契約社員

パート・アルバイト

無職

その他

④本人学歴別

小中学校
高等学校
短期大学、高等専門学校、専門学校
大学
大学院修士課程
大学院博士課程

⑤年収別

収入はない
100万円未満
100～500万円未満
500～1,000万円未満
1,000～2,000万円未満
2,000万円以上

⑥未既婚別

未婚
既婚（配偶者あり）
既婚（離別・死別）

⑦家族形態別

単身
夫婦のみ
2世代世帯
夫婦と子のみ
親と自分（夫婦）のみ
3世代世帯
自分（夫婦）と子と孫
親と自分（夫婦）と子
祖父母と親と自分（夫婦）
その他

⑧本人または夫婦年収別（世帯年収別）

100万円未満
100～300万円未満
300～500万円未満
500～700万円未満
700～1,000万円未満
1,000～1,500万円未満
1,500～2,000万円未満
2,000万円以上

⑨世帯保有金融資産額別

100 万円未満

100～500 万円未満

500～1,000 万円未満

1,000～2,000 万円未満

2,000 万円以上

⑩住居形態別

持家

持家・ローンあり

持家・ローンなし

持家・夫婦以外名義

借家

賃貸住宅

社宅

高齢者住宅

その他

⑪市郡規模別

21 大市

人口 10 万人以上の市

人口 10 万人未満の市

郡部

⑫地域ブロック別

東京都

愛知県

大阪府

北海道

東北

関東（東京都除く）

北陸

中部（愛知県除く）

近畿（大阪府除く）

中国

四国

北九州

南九州

第I章 健康状態

ここでは、自分自身の健康状態についての認識、歩行や車の運転などの行動状況について、捉えている。

1. 健康状態

(1) 主観的健康観

自身の主観的な健康状態を捉えるため、以下のように尋ねた。

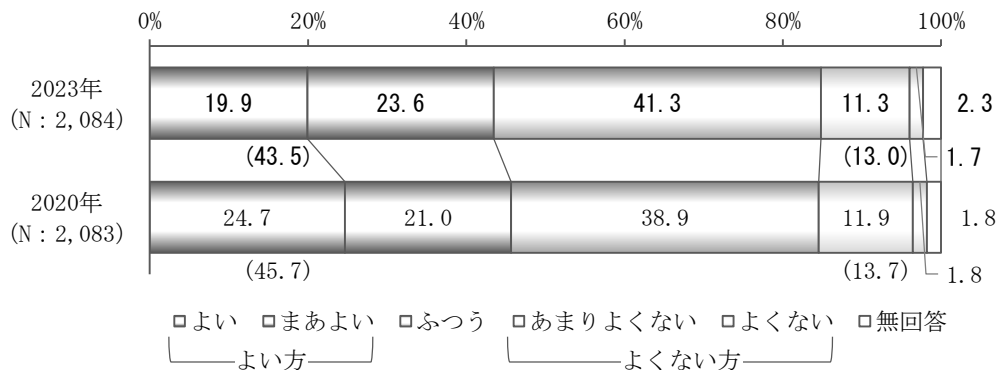
あなたの今日の健康状態はいかがですか。この中から1つだけお答えください。

- 1 よい
- 2 まあよい
- 3 ふつう
- 4 あまりよくない
- 5 よくない

その結果、「よい方」（“よい”と“まあよい”の回答の合計）が43.5%と、「よくない方」（“あまりよくない”と“よくない”の回答の合計）の13.0%を大きく上回っている。「ふつう」は41.3%で約4割となっている。

前回と比較すると、大きな差はみられない。（図表 I - 1）

<図表 I-1> 主観的健康観



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「よい方」は低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられ、60～64歳で50.0%となっている。一方、「よくない方」は80～89歳の層で高くなっている。(図表 I-2)

<図表 I-2> 主観的健康観【性別・年齢別】

(単位：%)

		N								無回答
			よい	まあよい	よい方	ふつう	方よくない	よあまりかなりいい	よくない	
全体		2,084	19.9	23.6	43.5	41.3	13.0	11.3	1.7	2.3
性別	男性	996	19.7	23.8	43.5	40.7	13.7	12.1	1.5	2.2
	女性	1,088	20.1	23.3	43.5	41.9	12.3	10.5	1.8	2.3
本人年齢別	60～64歳	380	22.4	27.6	50.0	40.8	8.2▲	7.4▲	0.8	1.1
	65～69歳	400	19.0	24.3	43.3	45.3	11.0	10.0	1.0	0.5▲
	70～74歳	463	21.6	24.4	46.0	43.0	9.1▲	8.0▲	1.1	1.9
	75～79歳	369	20.3	22.0	42.3	40.7	14.9	13.3	1.6	2.2
	80～84歳	273	20.9	19.4	40.3	39.6	16.8	12.8	4.0	3.3
	85～89歳	141	11.3▲	22.7	34.0▲	29.8▲	28.4	26.2	2.1	7.8
	90歳以上	58	10.3	17.2	27.6▲	44.8	20.7	15.5	5.2	6.9

(2) 客観的健康状態

自身の具体的・客観的な健康状態を捉えるため、以下のように尋ねた。

ここにあげられている日常生活にさしつかえがないか、1つ1つについて「はい」か「いいえ」でお答えください。

(1) バスや電車を使って一人で外出できますか …… 以下「バスや電車を使って一人で外出」

(2) 日用品の買い物ができますか …… 以下「日用品の買い物」

(3) お湯をわかせますか …… 以下「お湯をわかす」

(4) 請求書の支払いができますか …… 以下「請求書の支払い」

(5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか …… 以下「預貯金の出し入れ」

(6) 年金などの書類が書けますか …… 以下「年金などの書類が書ける」

(7) 新聞を読んでいますか …… 以下「新聞を読む」

(8) 本や雑誌を読んでいますか …… 以下「本や雑誌を読む」

(9) 健康についての記事や番組に興味がありますか …… 以下「健康についての記事や番組に興味」

(10) 友達の家を訪ねることがありますか …… 以下「友達の家を訪ねること」

(11) 家族や友達の相談にのることがありますか …… 以下「家族や友達の相談にのること」

(12) 病人を見舞うことができますか …… 以下「病人を見舞うこと」

(13) 若い人に自分から話しかけることがありますか …… 以下「若い人に自分から話しかけること」

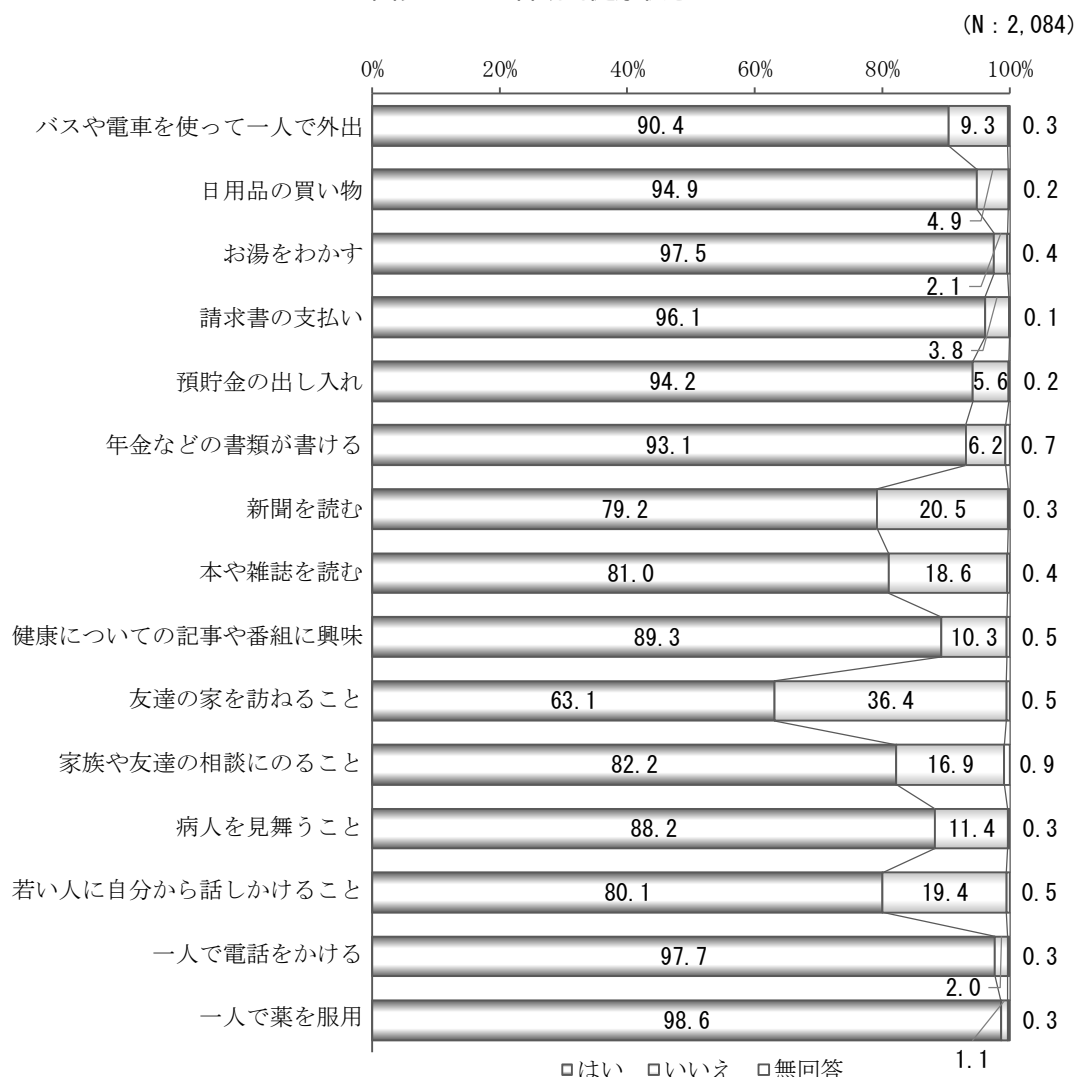
(14) 一人で電話をかけられますか …… 以下「一人で電話をかける」

(15) 一人で薬を服用できますか …… 以下「一人で薬を服用」

1 はい 2 いいえ

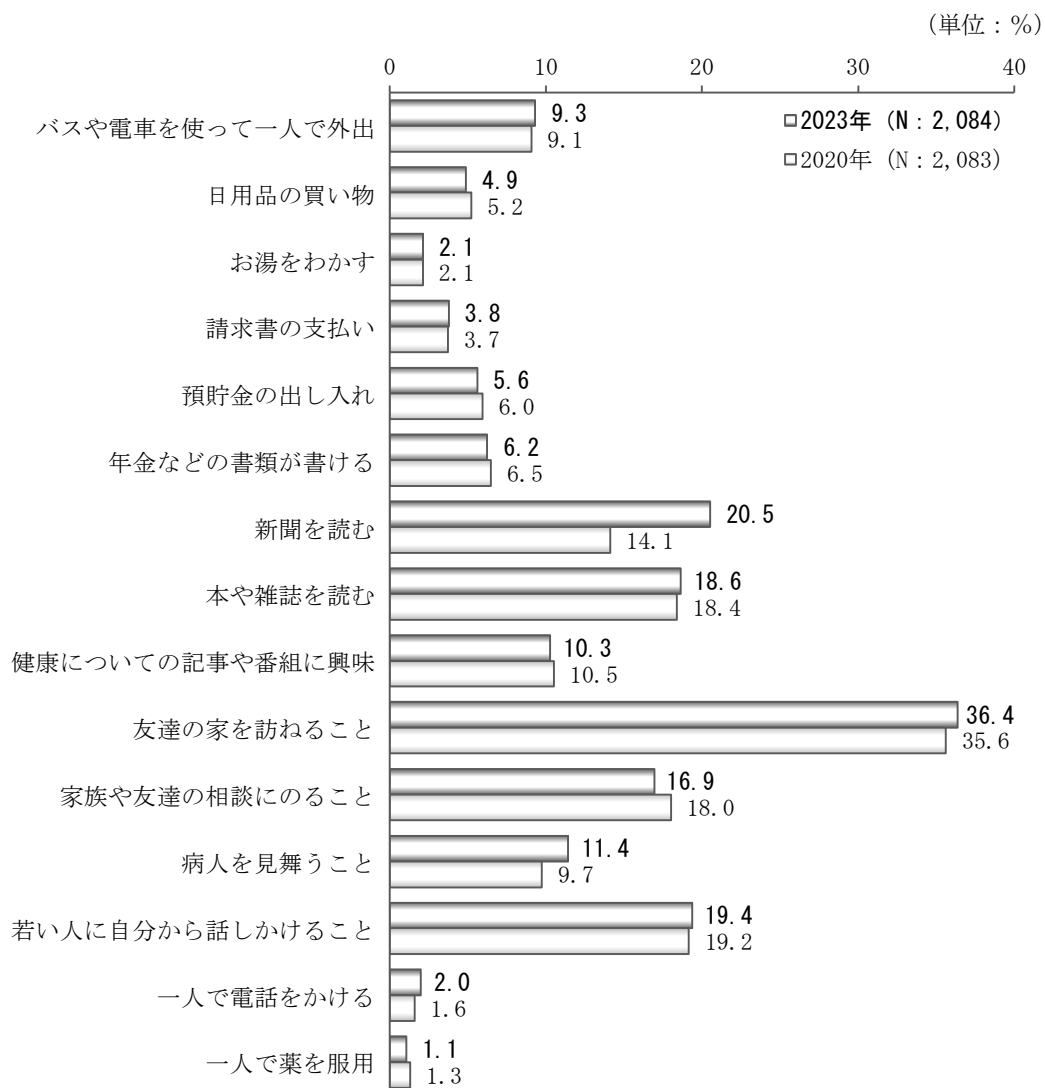
その結果、「はい」の回答をみると、「友達の家を訪ねること」が63.1%と、他に比べて顕著に低くなっている。(図表 I-3)

<図表 I-3> 客観的健康状態



客観的な健康状態について「いいえ」の回答を前回と比較すると、「新聞を読む」を“していない”が6.4ポイント増加している。(図表 I-4)

<図表 I-4> 客観的健康状態【「いいえ」の回答率】



客観的な健康状態について「いいえ」の回答を性別にみると、「本や雑誌を読む」「健康についての記事や番組に興味」「友達の家を訪ねること」「家族や友達の相談にのること」「若い人に自分から話しかけること」は、男性が女性を上回っており、これらの行為が“できない・していない”という傾向は男性の方が高くなっている。逆に、「バスや電車を使って一人で外出」「日用品の買い物」は男性より女性で高く、女性の方が“外出できない”傾向となっている。

年齢別にみると、15項目のうち、「新聞を読む」、「健康についての記事や番組に興味」以外の項目は79歳以下の層に比べ80歳以上の層で“できない・していない”という傾向がみられる。「お湯をわかす」「本や雑誌を読む」「友達の家を訪ねること」「家族や友達の相談にのること」「若い人に自分から話しかけること」が“できない・していない”という傾向は85歳以上の層で、「一人で薬を服用」「できない」は90歳以上で、それぞれ高くなっている。一方、「新聞を読む」を“していない”は、年齢層が低い60～64歳で高くなっている。(図表I-5)

<図表 I-5> 客観的健康状態【「いいえ」の回答率】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	バスや電車を使って一人で外出	日用品の買い物	お湯をわかす	請求書の支払い	預貯金の出し入れ	年金などの書類が書ける	新聞を読む	本や雑誌を読む
全体		2,084	9.3	4.9	2.1	3.8	5.6	6.2	20.5	18.6
性別	男性	996	6.9▲	3.7▲	2.2	4.4	5.9	6.1	19.0	21.3
	女性	1,088	11.5	6.0	2.0	3.2	5.3	6.3	22.0	16.2▲
本人年齢別	60～64歳	380	1.8▲	0.3▲	0.3▲	0.3▲	0.8▲	2.4▲	28.9	16.3
	65～69歳	400	4.8▲	1.3▲	0.5▲	1.5▲	1.5▲	2.3▲	24.0	15.5
	70～74歳	463	6.0▲	1.7▲	1.3	1.7▲	2.6▲	3.2▲	19.4	16.8
	75～79歳	369	6.5▲	3.5	1.6	2.4	4.6	6.2	14.4▲	18.2
	80～84歳	273	15.8	8.8	3.3	7.7	12.1	10.3	15.0▲	19.4
	85～89歳	141	29.8	18.4	7.8	12.8	19.1	20.6	19.1	32.6
	90歳以上	58	53.4	43.1	15.5	27.6	32.8	29.3	19.0	34.5
		N	健康に関する記事や番組に興味	友達の家を訪ねること	家族や友達の相談にのること	病人を見舞うこと	若い人に自分から話しかけること	一人で電話をかける	一人で薬を服用	
全体		2,084	10.3	36.4	16.9	11.4	19.4	2.0	1.1	
性別	男性	996	14.0	43.9	21.0	10.7	23.1	1.8	1.0	
	女性	1,088	6.9▲	29.5▲	13.2▲	12.0	16.0▲	2.1	1.1	
本人年齢別	60～64歳	380	11.1	36.6	12.4▲	5.5▲	11.3▲	1.1	0.3	
	65～69歳	400	9.8	35.8	11.3▲	4.8▲	16.5	0.8	0.3	
	70～74歳	463	9.7	31.3▲	15.6	8.2▲	18.1	0.9	0.6	
	75～79歳	369	9.2	31.2▲	16.5	8.7	22.2	1.4	1.4	
	80～84歳	273	10.3	38.1	20.9	18.3	21.6	3.7	1.8	
	85～89歳	141	13.5	50.4	32.6	31.9	32.6	5.0	2.1	
	90歳以上	58	12.1	70.7	43.1	56.9	41.4	13.8	6.9	

客観的な健康状態について「いいえ」の回答を本人の現在の職業別にみると、「新聞を読む」「健康についての記事や番組に興味」を除く全ての項目で“できない・していない”という傾向は、無職で高くなっている。「新聞を読む」は、非正規社員で“していない”が高くなっている。(図表 I-6)

<図表 I-6> 客観的健康状態【「いいえ」の回答率】〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	バスや電車を使って	日用品の買い物	お湯をわかす	請求書の支払い	預貯金の出し入れ	年金などの書類が書ける	新聞を読む	本や雑誌を読む
全体		2,084	9.3	4.9	2.1	3.8	5.6	6.2	20.5	18.6
本人職業（現在）別	自営者	247	4.0▲	1.6▲	0.4▲	1.2▲	4.0	3.2▲	16.2	15.0
	農林漁業	29	10.3	6.9	3.4	-	10.3	3.4	10.3	13.8
	商工サービス業	174	1.7▲	0.6▲	-	-	2.3▲	2.9	16.7	15.5
	自由業	44	9.1	2.3	-	6.8	6.8	4.5	18.2	13.6
	常雇被用者	212	1.9▲	-	-	-	1.4▲	1.4▲	21.2	12.3▲
	公務員	38	2.6	-	-	-	-	2.6	13.2	15.8
	民間企業被用者	174	1.7▲	-	-	-	1.7▲	1.1▲	23.0	11.5▲
	非正規社員	293	2.4▲	0.3▲	0.3▲	0.3▲	1.0▲	1.4▲	27.6	20.1
	派遣社員・契約社員	48	2.1	-	-	-	-	-	33.3	16.7
	パート・アルバイト	245	2.4▲	0.4▲	0.4▲	0.4▲	1.2▲	1.6▲	26.5	20.8
無職	1,285	13.4	7.5	3.2	5.8	7.6	8.7	20.1	20.4	
その他	31	-	-	-	-	-	-	3.2▲	-	

		N	健康番組に興味の記事	友達の家を訪ねること	家族や友達との相談	病人を見舞うこと	若い人から話しかけること	一人で電話をかける	一人で薬を服用
全体		2,084	10.3	36.4	16.9	11.4	19.4	2.0	1.1
本人職業（現在）別	自営者	247	11.7	22.3▲	12.1▲	5.7▲	10.9▲	-	-
	農林漁業	29	13.8	20.7	6.9	3.4	13.8	-	-
	商工サービス業	174	10.3	23.6▲	12.1	5.2▲	9.2▲	-	-
	自由業	44	15.9	18.2▲	15.9	9.1	15.9	-	-
	常雇被用者	212	11.3	41.5	11.3▲	2.8▲	6.1▲	-	-
	公務員	38	7.9	36.8	-	2.6	-	-	-
	民間企業被用者	174	12.1	42.5	13.8	2.9▲	7.5▲	-	-
	非正規社員	293	8.5	31.1▲	8.5▲	3.8▲	10.6▲	0.7	-
	派遣社員・契約社員	48	6.3	39.6	14.6	4.2	16.7	-	-
	パート・アルバイト	245	9.0	29.4▲	7.3▲	3.7▲	9.4▲	0.8	-
無職	1,285	10.4	39.7	20.9	15.7	25.5	3.0	1.6	
その他	31	-	29.0	16.1	9.7	12.9	3.2	-	

客観的な健康状態についての「いいえ」の回答数から、「健康状態の区分」を以下のように設けた。

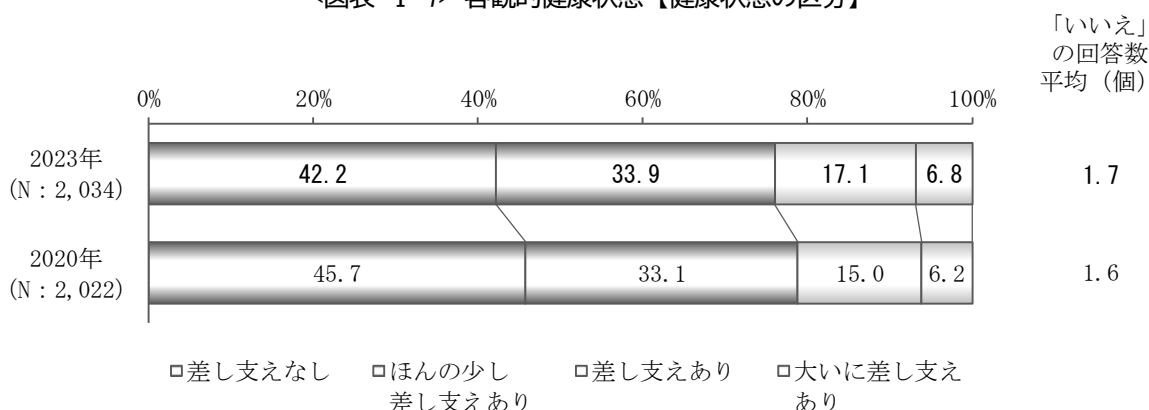
【健康状態の区分】

- 1 差し支えなし…「いいえ」の回答が1つもない
- 2 ほんの少し差し支えあり…「いいえ」の回答が1～2個
- 3 差し支えあり…「いいえ」の回答が3～5個
- 4 大いに差し支えあり…「いいえ」の回答が6個以上

健康状態の区分については、「差し支えなし」が42.2%と最も多くを占めている。次いで、「ほんの少し差し支えあり」33.9%、「差し支えあり」17.1%、「大いに差し支えあり」6.8%の順となっている。また、「いいえ」の回答数の平均は、1.7個となっている。

前回と比較すると、「差し支えなし」が3.5ポイント減少している。(図表 I-7)

<図表 I-7> 客観的健康状態【健康状態の区分】



性別にみると、「差し支えなし」は女性が男性を上回っている。逆に、「ほんの少し差し支えあり」「差し支えあり」は女性よりも男性の方が高くなっている。「大いに差し支えあり」は男女で特に差はみられない。

年齢別にみると、「大いに差し支えあり」は80歳以上の層で高く、90歳以上では5割弱となっている。

「差し支えなし」の比率は、79歳以下の層では4割台であるのに対し、85～89歳で27.9%、90歳以上で14.5%と低くなっている。(図表 I-8)

<図表 I-8> 客観的健康状態【健康状態の区分】〔性別・年齢別〕
(単位: %)

		N	差し支えなし	ほんの少し差し支えあり	差し支えあり	大いに差し支えあり	平均「いいえ」の回答数(個)
全体		2,034	42.2	33.9	17.1	6.8	1.7
性別	男性	967	35.7▲	36.7	20.5	7.1	1.9
	女性	1,067	48.1	31.3▲	14.1▲	6.6	1.5▲
本人年齢別	60～64歳	372	44.9	37.4	15.3	2.4▲	1.3▲
	65～69歳	395	43.0	39.5	15.7	1.8▲	1.3▲
	70～74歳	456	45.2	34.6	16.4	3.7▲	1.4▲
	75～79歳	361	46.5	31.6	16.6	5.3	1.5
	80～84歳	259	39.0	30.1	20.1	10.8	2.1
	85～89歳	136	27.9▲	26.5	21.3	24.3	3.3
	90歳以上	55	14.5▲	14.5▲	23.6	47.3	5.2

本人の現在の職業別にみると、「差し支えなし」は商工サービス業が 52.6%と高くなっている。一方、「ほんの少し差し支えあり」は民間企業被用者で、「差し支えあり」「大いに差し支えあり」は無職で、それぞれ高くなっている。(図表 I-9)

<図表 I-9> 客観的健康状態【健康状態の区分】〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	差し支えなし	ほんの少し差し支えあり	差し支えあり	大いに差し支えあり	平均回答数(個)
全体		2,034	42.2	33.9	17.1	6.8	1.7
本人職業 (現在) 別	自営者	242	52.9	30.6	14.0	2.5▲	1.1▲
	農林漁業	28	53.6	25.0	17.9	3.6	1.2
	商工サービス業	173	52.6	32.9	12.7	1.7▲	1.0▲
	自由業	41	53.7	24.4	17.1	4.9	1.3
	常雇被用者	207	43.0	44.0	12.1▲	1.0▲	1.1▲
	公務員	37	54.1	40.5	5.4	-	0.8▲
	民間企業被用者	170	40.6	44.7	13.5	1.2▲	1.2▲
	非正規社員	287	44.3	38.7	15.3	1.7▲	1.2▲
	派遣社員・契約社員	46	41.3	34.8	21.7	2.2	1.3
	パート・アルバイト	241	44.8	39.4	14.1	1.7▲	1.1▲
無職	1,252	39.1▲	31.8▲	19.2	10.0	2.0	
その他	31	54.8	38.7	6.5	-	0.7▲	

2. 1日の歩行量

普段の生活における1日の歩行量を捉えるため、以下のように尋ねた。

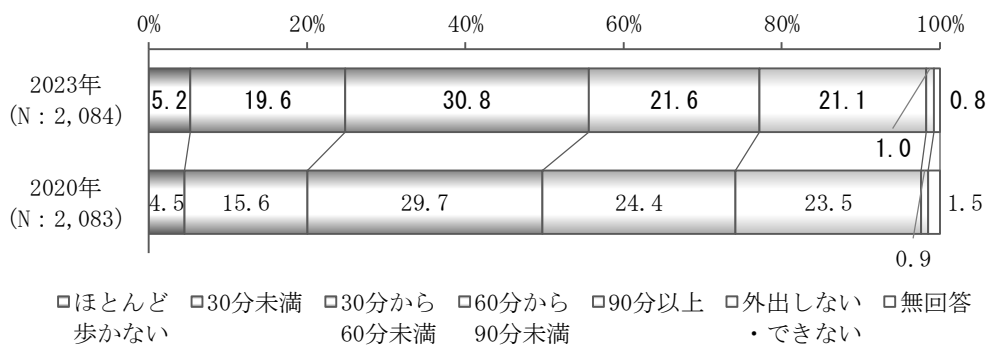
あなたは普段の生活の中で1日に何分くらい歩いていますか。散歩だけでなく、買い物や通勤・外出など移動時の歩行時間を含めてお答えください。また、杖・歩行器・車椅子などを使う場合も含めてお答えください。

- 1 ほとんど歩かない
- 2 30分未満
- 3 30分から60分未満
- 4 60分から90分未満
- 5 90分以上
- 6 外出しない・できない

その結果、「30分から60分未満」が30.8%と最も多く、次いで「60分から90分未満」21.6%、「90分以上」21.1%の順になっている。「ほとんど歩かない」は5.2%、「外出しない・できない」は1.0%となっている。

前回と比較すると、「30分未満」が4.0ポイント増加し、「60分から90分未満」が2.8ポイント減少している。(図表 I-10)

<図表 I-10> 1日の歩行量



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「90分以上」は、65～74歳の層で高く、80～89歳の層で低くなっている。一方、「ほとんど歩かない」「外出しない・できない」は85歳以上の層で高くなっている。(図表 I-11)

<図表 I-11> 1日の歩行量〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	ほとんど歩かない	30分未満	30分から60分未満	60分から90分未満	90分以上	外出しない・できない	無回答
全体		2,084	5.2	19.6	30.8	21.6	21.1	1.0	0.8
性別	男性	996	5.7	19.3	31.5	21.4	20.7	0.6	0.8
	女性	1,088	4.8	19.9	30.1	21.8	21.4	1.3	0.7
本人年齢別	60～64歳	380	3.9	21.1	31.8	18.9	23.7	0.3	0.3
	65～69歳	400	4.3	17.8	28.0	25.0	24.8	-	0.3
	70～74歳	463	3.7	17.7	32.8	20.1	24.4	0.4	0.9
	75～79歳	369	4.9	19.8	30.6	23.3	20.1	0.3	1.1
	80～84歳	273	5.5	21.2	31.9	22.7	15.8▲	1.1	1.8
	85～89歳	141	13.5	19.1	29.8	21.3	9.2▲	6.4	0.7
	90歳以上	58	13.8	29.3	25.9	12.1	12.1	6.9	-

本人の現在の職業別にみると、「90分以上」は、常雇被用者、非正規社員で高くなっている。「ほとんど歩かない」「30分未満」「30分から60分未満」は、無職で高くなっている。(図表 I-12)

<図表 I-12> 1日の歩行量〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	歩 か と な ん い ど	3 0 分 未 満	3 0 分 未 満	6 0 分 未 満	9 0 分 未 満	9 0 分 以 上	で 外 き 出 な し な い ・	無 回 答
全 体		2,084	5.2	19.6	30.8	21.6	21.1	1.0	0.8	
本人 職 業 （ 現 在 ） 別	自 営 者	247	6.1	16.6	27.1	20.6	27.1	-	2.4	
	農 林 漁 業	29	10.3	10.3	20.7	17.2	37.9	-	3.4	
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	4.6	16.1	29.3	23.0	24.7	-	2.3	
	自 由 業	44	9.1	22.7	22.7	13.6	29.5	-	2.3	
	常 雇 被 用 者	212	3.3	16.0	28.3	22.6	29.7	-	-	
	公 務 員	38	-	15.8	21.1	26.3	36.8	-	-	
	民 間 企 業 被 用 者	174	4.0	16.1	29.9	21.8	28.2	-	-	
	非 正 規 社 員	293	2.0▲	15.7	20.1▲	23.9	37.2	-	1.0	
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	2.1	14.6	20.8	25.0	35.4	-	2.1	
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	2.0▲	15.9	20.0▲	23.7	37.6	-	0.8	
無 職	1,285	6.2	21.6	34.3	21.0	14.8▲	1.6	0.5		
そ の 他	31	3.2	9.7	25.8	35.5	25.8	-	-		

客観的健康状態別にみると、「30分から60分未満」「60分から90分未満」「90分以上」は、差し支えなし層で高くなっている。一方、「ほとんど歩かない」「30分未満」は、差し支えあり層、大いに差し支えあり層で高くなっている。(図表 I-13)

<図表 I-13> 1日の歩行量〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	歩 か と な ん い ど	3 0 分 未 満	3 0 分 未 満	6 0 分 未 満	9 0 分 未 満	9 0 分 以 上	で 外 き 出 な し な い ・	無 回 答
全 体		2,084	5.2	19.6	30.8	21.6	21.1	1.0	0.8	
客 観 的 健 康 状 態 別	差 し 支 え な し	858	2.2▲	13.1▲	34.1	24.9	25.2	-	0.5	
	ほんの少し差し支えあり	689	3.5▲	20.9	31.2	23.1	20.6	-	0.7	
	差 し 支 え あ り	348	9.5	27.0	27.6	14.9▲	19.5	0.6	0.9	
	大いに差し支えあり	139	21.6	34.5	17.3▲	9.4▲	4.3▲	12.9	-	

3. 車の運転

(1) 車の運転

普段の生活の中での車の運転の有無を捉えるため、以下のように尋ねた。

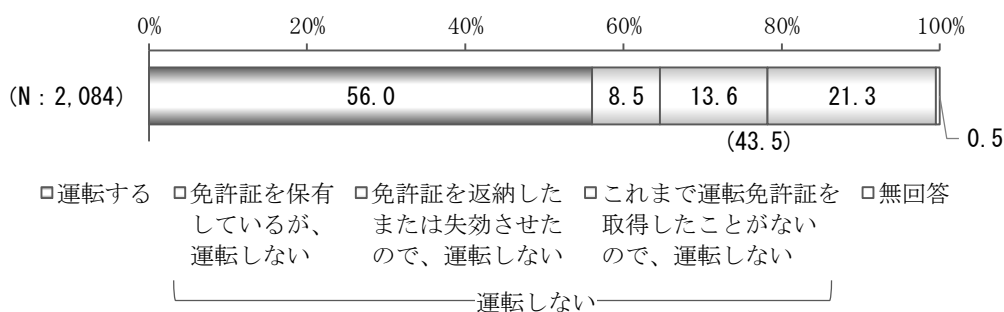
普段の生活の中で、あなたは自動車を運転しますか。仕事で運転する場合も含まれます。この中から1つだけお答えください。

- 1 運転する
- 2 免許証を保有しているが、運転しない
- 3 免許証を返納したまたは失効させたので、運転しない
- 4 これまで運転免許証を取得したことがないので、運転しない

その結果、「運転する」は56.0%で、「運転しない」（“免許証を保有しているが、運転しない”と“免許証を返納したまたは失効させたので、運転しない”と“これまで運転免許証を取得したことがないので、運転しない”の回答の合計）43.5%を12.5ポイント上回っている。

運転しないと回答した人の内訳としては、「これまで運転免許証を取得したことがないので、運転しない」が21.3%と最も多く、「免許証を返納したまたは失効させたので、運転しない」が13.6%、「免許証を保有しているが、運転しない」が8.5%となっている。（図表 I-14）

<図表 I-14> 車の運転



性別にみると、「運転する」は女性よりも男性の方が高くなっている。運転しないと回答した人のうち、「これまで運転免許証を取得したことがないので、運転しない」は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「運転する」は60～74歳の層で高く、「運転しない」は80歳以上の層で高くなっている。運転しないと回答した人のうち、「免許証を保有しているが、運転しない」は60～69歳の層で、「免許証を返納したまたは失効させたので、運転しない」は75歳以上の層で、「これまで運転免許証を取得したことがないので、運転しない」は80歳以上の層で、それぞれ高くなっている。(図表 I-15)

<図表 I-15> 車の運転〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	運転する	運転しない	る免が許、証運を転保し有なしてい	でま免、た許運は証失を返納しなせたの	いをこの取れで、しで運た転しと免が許いな証	無回答
全 体		2,084	56.0	43.5	8.5	13.6	21.3	0.5
性別	男 性	996	73.4	26.1▲	8.3	12.9	4.9▲	0.5
	女 性	1,088	40.2▲	59.4	8.7	14.3	36.3	0.5
本人年齢別	60～64歳	380	76.6	22.9▲	12.6	2.9▲	7.4▲	0.5
	65～69歳	400	66.0	34.0▲	14.3	5.0▲	14.8▲	-
	70～74歳	463	62.6	37.1▲	6.3▲	12.1	18.8	0.2
	75～79歳	369	53.7	45.8	5.1▲	19.0	21.7	0.5
	80～84歳	273	32.2▲	66.7	4.0▲	28.2	34.4	1.1
	85～89歳	141	24.1▲	75.9	7.1	24.8	44.0	-
	90歳以上	58	5.2▲	91.4	6.9	25.9	58.6	3.4

本人の現在の職業別にみると、「運転する」は商工サービス業で75.3%、常雇被用者で80.7%、非正規社員で68.6%と高くなっている。「運転しない」は無職で54.2%と高くなっている。運転しないと回答した人のうち、「免許証を保有しているが、運転しない」は民間企業被用者で、「免許証を返納したまたは失効させたので、運転しない」「これまで運転免許証を取得したことがないので、運転しない」は無職で、それぞれ高くなっている。(図表 I-16)

<図表 I-16> 車の運転〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	運転する	運転しない	免許証を保有しているが、運転しない	まだ免許証を返納しなかった	この取得で、運転しな	無回答
全体		2,084	56.0	43.5	8.5	13.6	21.3	0.5
本人職業（現在）別	自営者	247	74.1	25.5▲	4.5▲	9.7	11.3▲	0.4
	農林漁業	29	75.9	24.1▲	3.4	10.3	10.3	-
	商工サービス業	174	75.3	24.7▲	3.4▲	9.8	11.5▲	-
	自由業	44	68.2	29.5	9.1	9.1	11.4	2.3
	常雇被用者	212	80.7	19.3▲	11.8	3.3▲	4.2▲	-
	公務員	38	89.5	10.5▲	7.9	2.6▲	-	-
	民間企業被用者	174	78.7	21.3▲	12.6	3.4▲	5.2▲	-
	非正規社員	293	68.6	31.1▲	7.2	4.4▲	19.5	0.3
	派遣社員・契約社員	48	81.3	16.7▲	12.5	2.1▲	2.1▲	2.1
	パート・アルバイト	245	66.1	33.9▲	6.1	4.9▲	22.9	-
無職	1,285	45.1▲	54.2	9.2	18.4	26.7	0.6	
その他	31	74.2	25.8▲	9.7	3.2	12.9	-	

客観的健康状態別にみると、「運転する」は、差し支えなし層、ほんの少し差し支えあり層で高くなっている。一方、「運転しない」は、差し支えあり層、大いに差し支えあり層で高くなっている。(図表 I-17)

<図表 I-17> 車の運転〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	運転する	運転しない	免許証を保有しているが、運転しない	まだ免許証を返納しなかった	この取得で、運転しな	無回答
全体		2,084	56.0	43.5	8.5	13.6	21.3	0.5
客観的健康状態別	差し支えなし	858	63.3	36.1▲	6.6▲	11.2▲	18.3▲	0.6
	ほんの少し差し支えあり	689	62.1	37.6▲	8.7	11.2▲	17.7▲	0.3
	差し支えあり	348	45.4▲	54.3	11.8	18.4	24.1	0.3
	大いに差し支えあり	139	15.1▲	84.9	9.4	30.2	45.3	-

(2) 外出時の移動手段

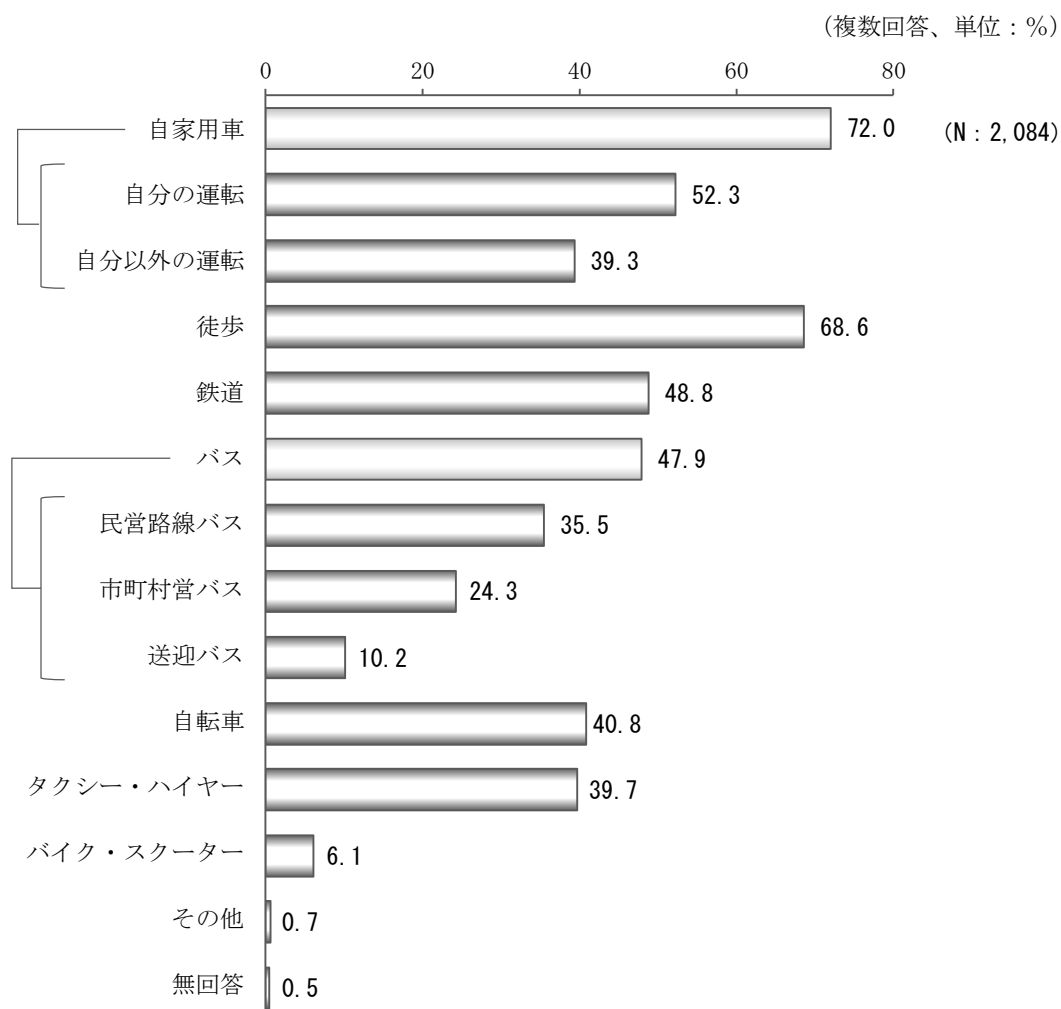
普段の生活の中での移動手段を捉えるため、以下のように尋ねた。

普段の生活の中で買い物や通院等で外出しようとするとき、ご自宅から目的地までの移動手段としてあなたが利用できる移動手段を、すべて選んでください。(〇はいくつでも)

- 1 鉄道
- 2 民営路線バス
- 3 市町村営バス
- 4 送迎バス
- 5 タクシー・ハイヤー
- 6 自家用車（自分の運転）
- 7 自家用車（自分以外の運転）
- 8 バイク・スクーター
- 9 自転車
- 10 徒歩
- 11 その他

その結果、「自家用車」（“自分の運転”と“自分以外の運転”のいずれかに回答した人）72.0%が最も多く、以下「徒歩」68.6%、「鉄道」48.8%、「バス」（“民営路線バス”と“市町村営バス”と“送迎バス”のいずれかに回答した人）47.9%、「自転車」40.8%、「タクシー・ハイヤー」39.7%の順となっている。(図表 I-18)

<図表 I-18> 外出時の移動手段



性別にみると、「自家用車」は女性よりも男性の方が高くなっているが、そのうち「自分の運転」は男性の方が、「自分以外の運転」は女性の方が高くなっている。「バス」は女性の方が、「自転車」は男性の方が、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「自家用車」は60～74歳の層で高く、そのうち「自分の運転」もこれらの層で高くなっている。「徒歩」「鉄道」「自転車」は、低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表 I-19)

<図表 I-19> 外出時の移動手段〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

	N	自家用車			徒歩	鉄道	バス	民営路線バス	市町村営バス	送迎バス
		自分の運転	自分以外の運転							
全体	2,084	72.0	52.3	39.3	68.6	48.8	47.9	35.5	24.3	10.2
性別										
男性	996	77.4	67.4	31.4▲	67.1	50.4	45.5▲	36.1	22.7	10.6
女性	1,088	67.0▲	38.4▲	46.6	69.9	47.3	50.1	34.9	25.7	9.7
本人年齢別										
60～64歳	380	83.9	74.2	40.8	74.5	58.4	48.2	37.6	26.1	10.3
65～69歳	400	76.5	61.3	39.0	70.5	53.3	46.3	35.3	27.8	9.5
70～74歳	463	76.2	57.2	42.5	73.0	51.6	48.2	37.6	22.0	10.2
75～79歳	369	68.3	49.3	35.5	65.9	46.3	48.0	34.7	23.3	10.6
80～84歳	273	59.0▲	29.7▲	36.3	62.3▲	38.5▲	47.6	30.4	23.4	7.3
85～89歳	141	53.2▲	22.7▲	35.5	61.0▲	39.0▲	55.3	40.4	24.8	14.9
90歳以上	58	58.6▲	3.4▲	55.2	46.6▲	20.7▲	37.9	24.1	15.5	13.8

	N	自転車	タクシー・ハイヤー	バイク・スクーター	その他	無回答
性別						
男性	996	45.0	39.1	9.4	0.7	0.5
女性	1,088	37.0▲	40.3	3.1▲	0.6	0.5
本人年齢別						
60～64歳	380	50.3	46.1	10.5	0.3	0.5
65～69歳	400	43.8	38.3	6.0	0.5	0.3
70～74歳	463	47.7	40.0	6.7	0.4	0.2
75～79歳	369	40.1	36.0	6.0	0.5	0.5
80～84歳	273	28.6▲	32.6▲	2.9▲	1.8	0.7
85～89歳	141	22.0▲	46.1	2.1▲	0.7	1.4
90歳以上	58	12.1▲	48.3	-	1.7	-

本人の現在の職業別にみると、「自家用車」は商工サービス業、常雇被用者で高くなっている。そのうち「自分の運転」は商工サービス業、常雇被用者、非正規社員で高くなっている。「鉄道」は民間企業被用者で、「バス」「タクシー・ハイヤー」は無職で、「自転車」は民間企業被用者とパート・アルバイトで、それぞれ高くなっている。(図表 I-20)

<図表 I-20> 外出時の移動手段〔本人職業（現在）別〕

(複数回答、単位：%)

		N	自家用車	自分の運転	自分以外の運転	徒歩	鉄道	バス	民営路線バス	市町村営バス	送迎バス
全体		2,084	72.0	52.3	39.3	68.6	48.8	47.9	35.5	24.3	10.2
本人職業（現在）別	自営者	247	81.4	70.4	36.4	65.6	46.2	40.5▲	32.4	21.5	8.5
	農林漁業	29	79.3	69.0	31.0	41.4▲	31.0	17.2▲	10.3▲	10.3	-
	商工サービス業	174	83.3	71.8	37.9	70.7	48.9	46.0	39.1	22.4	9.2
	自由業	44	75.0	65.9	34.1	61.4	45.5	34.1	20.5▲	25.0	11.4
	常雇被用者	212	84.9	75.0	38.2	73.1	59.9	41.0▲	33.0	22.6	9.4
	公務員	38	92.1	84.2	44.7	76.3	57.9	44.7	39.5	23.7	10.5
	民間企業被用者	174	83.3	73.0	36.8	72.4	60.3	40.2▲	31.6	22.4	9.2
	非正規社員	293	75.4	62.5	35.8	66.9	49.1	47.1	35.2	23.9	8.9
	派遣社員・契約社員	48	77.1	72.9	27.1	70.8	52.1	50.0	37.5	27.1	10.4
	パート・アルバイト	245	75.1	60.4	37.6	66.1	48.6	46.5	34.7	23.3	8.6
無職	1,285	66.8▲	42.3▲	40.9	68.6	46.9▲	50.7	36.7	25.0	10.8	
その他	31	80.6	71.0	32.3	77.4	74.2	54.8	38.7	35.5	16.1	

		N	自転車	タクシー・ハイヤー	バイク・スクーター	その他	無回答
全体		2,084	40.8	39.7	6.1	0.7	0.5
本人職業（現在）別	自営者	247	42.1	40.9	7.7	-	0.4
	農林漁業	29	34.5	17.2▲	13.8	-	-
	商工サービス業	174	46.6	43.1	7.5	-	-
	自由業	44	29.5	47.7	4.5	-	2.3
	常雇被用者	212	54.2	38.7	13.2	-	-
	公務員	38	55.3	34.2	15.8	-	-
	民間企業被用者	174	54.0	39.7	12.6	-	-
	非正規社員	293	49.8	30.4▲	7.2	1.0	0.7
	派遣社員・契約社員	48	54.2	25.0▲	6.3	-	2.1
	パート・アルバイト	245	49.0	31.4▲	7.3	1.2	0.4
無職	1,285	35.9▲	41.9	4.4▲	0.8	0.5	
その他	31	67.7	45.2	12.9	3.2	-	

客観的健康状態別にみると、「自家用車」「徒歩」「鉄道」「バス」は、差し支えなし層、ほんの少し差し支えあり層で高くなっている。「自転車」「タクシー・ハイヤー」は、差し支えなし層で高くなっている。(図表 I-21)

<図表 I-21> 外出時の移動手段〔客観的健康状態別〕

(複数回答、単位：%)

	N	自家用車			徒歩	鉄道	バス	民営路線バス	市町村営バス	送迎バス
		自分の運転	自分以外の運転							
全体	2,084	72.0	52.3	39.3	68.6	48.8	47.9	35.5	24.3	10.2
客観的健康状態別										
差し支えなし	858	76.6	60.0	42.1	73.4	53.5	51.0	39.4	25.6	10.4
ほんの少し差し支えあり	689	75.5	58.1	38.9	72.4	54.9	52.4	38.8	27.7	11.0
差し支えあり	348	61.5▲	39.9▲	31.0▲	64.7	40.8▲	40.5▲	29.0▲	21.3	6.9▲
大いに差し支えあり	139	60.4▲	12.9▲	50.4	33.1▲	15.8▲	28.1▲	14.4▲	9.4▲	14.4

	N	自転車	タクシー・ハイヤー	バイク・スクーター	その他	無回答
客観的健康状態別						
差し支えなし	858	47.0	43.1	6.1	0.2▲	0.6
ほんの少し差し支えあり	689	41.7	39.2	6.2	0.4	-
差し支えあり	348	34.5▲	33.6▲	7.5	0.6	0.3
大いに差し支えあり	139	16.5▲	41.7	4.3	4.3	1.4

4. 食生活

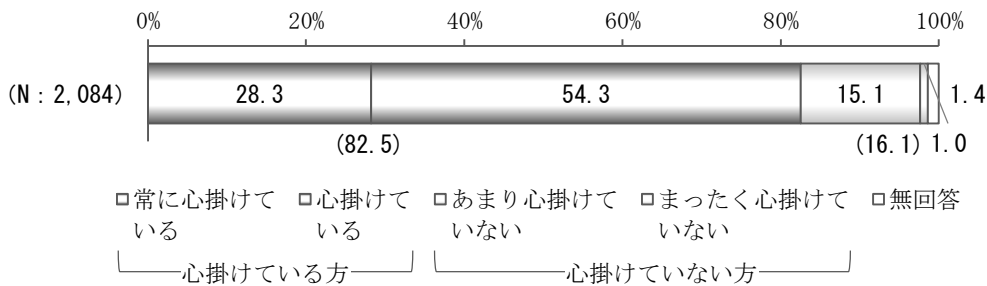
健全な食生活実践の心掛を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、日頃から健全な食生活を実践することを心掛けていますか。この中から1つだけお答えください。

- 1 常に心掛けている
- 2 心掛けている
- 3 あまり心掛けていない
- 4 まったく心掛けていない

その結果、「心掛けている方」（“常に心掛けている”と“心掛けている”の回答の合計）が82.5%と、「心掛けていない方」（“あまり心掛けていない”と“まったく心掛けていない”の回答の合計）の16.1%を大きく上回っている。（図表 I-22）

<図表 I-22> 食生活



性別にみると、「心掛けている方」は男性よりも女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「心掛けていない方」は、60～64歳で20.0%と高くなっている。（図表 I-23）

<図表 I-23> 食生活【性別・年齢別】

(単位：%)

	N	食生活						
		常に心掛けている	心掛けている	心掛けている方	心掛けていない方	あまり心掛けていない	まったく心掛けていない	無回答
全体	2,084	28.3	54.3	82.5	16.1	15.1	1.0	1.4
性別								
男性	996	25.0▲	51.6▲	76.6▲	21.6	20.0	1.6	1.8
女性	1,088	31.3	56.7	88.0	11.0▲	10.7▲	0.4▲	1.0
本人年齢別								
60～64歳	380	21.3▲	57.6	78.9▲	20.0	18.9	1.1	1.1
65～69歳	400	24.5	55.5	80.0	18.8	18.0	0.8	1.3
70～74歳	463	28.5	56.2	84.7	14.7	14.0	0.6	0.6
75～79歳	369	30.1	53.4	83.5	14.9	14.4	0.5	1.6
80～84歳	273	36.6	49.5	86.1	13.2	12.5	0.7	0.7
85～89歳	141	35.5	46.1▲	81.6	15.6	11.3	4.3	2.8
90歳以上	58	29.3	56.9	86.2	5.2▲	5.2▲	-	8.6

本人の現在の職業別にみると、「心掛けていない方」は民間企業被用者で21.8%と高くなっている。
(図表 I-24)

<図表 I-24> 食生活〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

	N							無回答	
		常に心掛けて いる	心掛けて いる	心掛けて いる方	心掛けて いない方	あまり心 掛けてい ない	まったく 心掛けて いない		
全体	2,084	28.3	54.3	82.5	16.1	15.1	1.0	1.4	
本人職業 (現在) 別	自営者	247	32.8	49.8	82.6	17.4	15.4	2.0	-
	農林漁業	29	31.0	44.8	75.9	24.1	24.1	-	-
	商工サービス業	174	31.6	51.1	82.8	17.2	14.4	2.9	-
	自由業	44	38.6	47.7	86.4	13.6	13.6	-	-
	常雇被用者	212	25.5	52.4	77.8	20.8	20.3	0.5	1.4
	公務員	38	23.7	60.5	84.2	15.8	15.8	-	-
	民間企業被用者	174	25.9	50.6	76.4▲	21.8	21.3	0.6	1.7
	非正規社員	293	21.8▲	60.1	81.9	17.1	16.4	0.7	1.0
	派遣社員・契約社員	48	22.9	56.3	79.2	18.8	18.8	-	2.1
	パート・アルバイト	245	21.6▲	60.8	82.4	16.7	15.9	0.8	0.8
無職	1,285	29.3	54.2	83.4	14.8▲	13.9▲	0.9	1.8	
その他	31	25.8	61.3	87.1	12.9	12.9	-	-	

客観的健康状態別にみると、「心かけている方」は、差し支えなし層で91.3%と高くなっている。一方、「心掛けていない方」は、差し支えあり層、大いに差し支えあり層で高くなっている。(図表 I-25)

<図表 I-25> 食生活〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

	N							無回答	
		常に心掛けて いる	心掛けて いる	心掛けて いる方	心掛けて いない方	あまり心 掛けてい ない	まったく 心掛けて いない		
全体	2,084	28.3	54.3	82.5	16.1	15.1	1.0	1.4	
客観的 健康 状態別	差し支えなし	858	35.2	56.1	91.3	7.9▲	7.6▲	0.3▲	0.8
	ほんの少し差し支えあり	689	26.6	56.9	83.5	15.7	15.7	-	0.9
	差し支えあり	348	20.7▲	49.4▲	70.1▲	28.2	25.9	2.3	1.7
	大いに差し支えあり	139	13.7▲	48.2	61.9▲	35.3	28.8	6.5	2.9

5. 認知症予防のための行動

認知症予防のための行動を捉えるため、以下のように尋ねた。

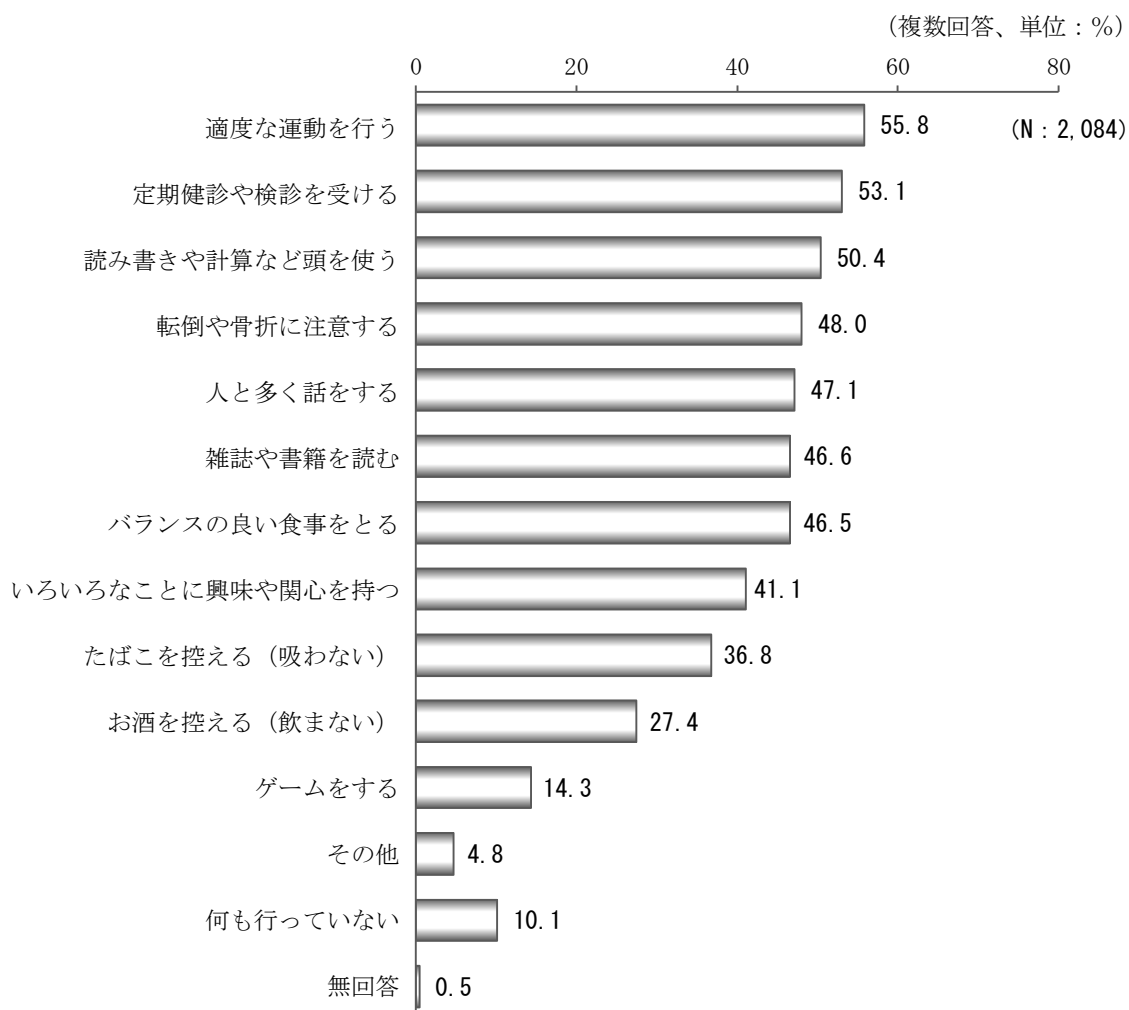
あなたは認知症を予防するためにどのようなことを行っていますか。この中からすべてお答えください。

(○はいくつでも)

- 1 人と多く話をする
- 2 読み書きや計算など頭を使う
- 3 雑誌や書籍を読む
- 4 いろいろなことに興味や関心を持つ
- 5 バランスの良い食事をとる
- 6 適度な運動を行う
- 7 定期健診や検診を受ける
- 8 たばこを控える（吸わない）
- 9 転倒や骨折に注意する
- 10 ゲームをする
- 11 お酒を控える（飲まない）
- 12 その他
- 13 何も行っていない

その結果、「適度な運動を行う」が 55.8%で最も多く、以下「定期健診や検診を受ける」53.1%、「読み書きや計算など頭を使う」50.4%、「転倒や骨折に注意する」48.0%、「人と多く話をする」47.1%の順となっている。（図表 I-26）

<図表 I-26> 認知症予防のための行動



性別にみると、「適度な運動を行う」「読み書きや計算など頭を使う」「転倒や骨折に注意する」「人と多く話をする」「雑誌や書籍を読む」「バランスの良い食事をとる」「ゲームをする」は女性の方が高く、「たばこを控える（吸わない）」は男性の方が高くなっている。また、「何も行っていない」は男性が13.9%と女性より高くなっている。

年齢別にみると、「適度な運動を行う」「たばこを控える（吸わない）」は、70～79歳の層で高くなっている。「転倒や骨折に注意する」「バランスの良い食事をとる」は高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられ、90歳以上ではいずれも6割台となっている。「ゲームをする」は低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられ、60～64歳で21.1%となっている。（図表I-27）

<図表 I-27> 認知症予防のための行動〔性別・年齢別〕

（複数回答、単位：％）

		N	適度な運動を行う	受ける定期健診や検診を	ど読み書きや計算など頭を使う	す転倒や骨折に注意	人と多く話をする	雑誌や書籍を読む	事バランスの良い食
全 体		2,084	55.8	53.1	50.4	48.0	47.1	46.6	46.5
性別	男 性	996	53.3▲	53.0	46.2▲	37.8▲	38.5▲	40.7▲	37.7▲
	女 性	1,088	58.1	53.1	54.2	57.4	55.1	52.0	54.7
本人年齢別	60～64歳	380	46.6▲	45.3▲	43.2▲	27.6▲	43.2	42.6	38.7▲
	65～69歳	400	53.5	50.3	47.3	40.0▲	40.8▲	46.8	43.5
	70～74歳	463	60.3	56.6	53.8	51.6	48.2	47.9	48.6
	75～79歳	369	61.0	56.4	56.9	57.5	52.0	51.2	49.6
	80～84歳	273	58.6	56.0	52.7	59.7	52.4	43.6	48.4
	85～89歳	141	56.0	53.2	45.4	59.6	48.2	42.6	51.8
	90歳以上	58	50.0	60.3	51.7	65.5	50.0	55.2	62.1
		N	興いろやいろな心をとつに	（たばこを控える）	（お酒を控える）	ゲームをする	その他	何も行っていない	無回答
全 体		2,084	41.1	36.8	27.4	14.3	4.8	10.1	0.5
性別	男 性	996	39.7	41.1	26.0	12.8▲	4.1	13.9	0.5
	女 性	1,088	42.4	32.9▲	28.8	15.8	5.3	6.7▲	0.5
本人年齢別	60～64歳	380	41.3	28.7▲	23.2▲	21.1	3.2	16.8	1.1
	65～69歳	400	37.8	36.8	27.5	17.0	4.5	13.0	-
	70～74歳	463	44.9	41.5	27.2	15.1	3.2	6.9▲	0.2
	75～79歳	369	40.7	43.9	30.1	11.9	4.3	8.4	0.8
	80～84歳	273	39.2	31.5	25.3	9.5▲	5.9	6.6▲	0.7
	85～89歳	141	41.1	36.2	34.8	5.0▲	13.5	6.4	-
	90歳以上	58	43.1	34.5	32.8	6.9	5.2	8.6	-

本人の現在の職業別にみると、「適度な運動を行う」「定期健診や検診を受ける」「転倒や骨折に注意する」「バランスの良い食事をとる」は無職で高くなっている。「読み書きや計算など頭を使う」は商工サービス業で、「人と多く話をする」は商工サービス業とパート・アルバイトで、それぞれ高くなっている。(図表 I-28)

<図表 I-28> 認知症予防のための行動〔本人職業（現在）別〕

(複数回答、単位：%)

		N	適度な運動を行う	定期健診や検診を受ける	読み書きや計算など頭を使う	転倒や骨折に注意する	人と多く話をする	雑誌や書籍を読む	バランスの良い食事をとる
全体		2,084	55.8	53.1	50.4	48.0	47.1	46.6	46.5
本人職業（現在）別	自営者	247	50.6	48.6	54.7	43.7	53.0	44.1	39.7▲
	農林漁業	29	55.2	41.4	48.3	48.3	44.8	37.9	27.6▲
	商工サービス業	174	52.9	50.6	59.8	45.4	54.6	44.8	42.0
	自由業	44	38.6▲	45.5	38.6	34.1	52.3	45.5	38.6
	常雇被用者	212	52.4	50.9	42.9▲	27.4▲	41.5	39.6▲	36.8▲
	公務員	38	71.1	68.4	50.0	26.3▲	47.4	55.3	36.8
	民間企業被用者	174	48.3▲	47.1	41.4▲	27.6▲	40.2	36.2▲	36.8▲
	非正規社員	293	51.5	50.2	45.7	41.3▲	55.3	48.1	42.3
	派遣社員・契約社員	48	43.8	50.0	35.4▲	31.3▲	37.5	43.8	37.5
	パート・アルバイト	245	53.1	50.2	47.8	43.3	58.8	49.0	43.3
無職	1,285	58.4	54.8	51.9	54.1	44.9▲	47.5	50.6	
その他	31	51.6	54.8	51.6	51.6	51.6	54.8	51.6	

		N	味やろ いろ 関 心 を 持 つ こ と に 興	(た ば こ を 控 え る	(お 酒 を 控 え る	ゲ ー ム を す る	そ の 他	何 も 行 っ て い な い	無 回 答
全体		2,084	41.1	36.8	27.4	14.3	4.8	10.1	0.5
本人職業（現在）別	自営者	247	44.9	37.2	21.5▲	8.5▲	6.5	15.4	0.4
	農林漁業	29	34.5	31.0	13.8	-	6.9	17.2	-
	商工サービス業	174	47.1	40.2	25.3	10.9	6.9	12.1	-
	自由業	44	43.2	29.5	11.4▲	4.5	4.5	27.3	2.3
	常雇被用者	212	42.5	34.4	22.6	17.0	1.9▲	17.9	0.9
	公務員	38	60.5	44.7	26.3	13.2	5.3	5.3	-
	民間企業被用者	174	38.5	32.2	21.8	17.8	1.1▲	20.7	1.1
	非正規社員	293	39.6	32.1	27.3	18.1	5.5	9.2	0.3
	派遣社員・契約社員	48	39.6	25.0	22.9	10.4	6.3	12.5	2.1
	パート・アルバイト	245	39.6	33.5	28.2	19.6	5.3	8.6	-
無職	1,285	40.4	37.7	28.9	14.3	4.7	7.9▲	0.5	
その他	31	45.2	51.6	45.2	9.7	9.7	12.9	-	

客観的健康状態別にみると、「お酒を控える（飲まない）」「ゲームをする」を除く全ての項目は、差し支えなし層で高くなっている。一方、「何も行っていない」は、差し支えあり層、大いに差し支えあり層で高くなっている。（図表 I-29）

<図表 I-29> 認知症予防のための行動〔客観的健康状態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	適度な運動を行う	定期的に健診や検診を受ける	ど読み書きや計算など頭を使う	転倒や骨折に注意する	人と多く話をする	雑誌や書籍を読む	バランスの良い食事をとる
全体		2,084	55.8	53.1	50.4	48.0	47.1	46.6	46.5
客観的健康状態別	差し支えなし	858	67.1	60.4	61.9	53.4	62.4	60.6	57.1
	ほんの少し差し支えあり	689	55.6	55.0	52.2	46.0	43.4▲	45.7	46.7
	差し支えあり	348	41.1▲	41.4▲	32.5▲	41.4▲	27.9▲	25.9▲	30.5▲
	大いに差し支えあり	139	28.8▲	33.8▲	23.0▲	43.9	25.2▲	20.1▲	25.9▲
		N	興味や関心を持つこと	(たばこを控える(吸わない))	(お酒を控える(飲まない))	ゲームをする	その他	何も行っていない	無回答
全体		2,084	41.1	36.8	27.4	14.3	4.8	10.1	0.5
客観的健康状態別	差し支えなし	858	51.9	42.7	29.0	15.0	3.5▲	8.2▲	0.6
	ほんの少し差し支えあり	689	42.1	37.0	28.4	17.1	5.7	8.6	-
	差し支えあり	348	25.6▲	31.0▲	24.1	11.8	5.2	13.8	0.3
	大いに差し支えあり	139	15.8▲	20.1▲	18.7▲	4.3▲	4.3	20.9	1.4

第II章 性格特性・リスク意識・金融保険リテラシー

ここでは、自分自身の普段の行動、性格や考え方について、および金融・保険に関する知識について、捉えている。

1. 自身の性格特性

自身の性格特性を捉えるため、以下のように尋ねた。

まず、あなたご自身の性格や考え方についてお尋ねします。次の(1)から(10)までの言葉は、あなたご自身にどのくらい当てはまりますか。文章全体を見て、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。「強くそう思う」を「7」、「全く違うと思う」を「1」として、1つ選んでください。

私は自分自身のことを…

- (1) 活発で、外交的だと思う
- (2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う
- (3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う
- (4) 心配性で、うろたえやすいと思う
- (5) 新しいことが好きで、変った考えをもつと思う
- (6) ひかえめで、おとなしいと思う
- (7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う
- (8) だらしなく、うっかりしていると思う
- (9) 冷静で、気分が安定していると思う
- (10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う

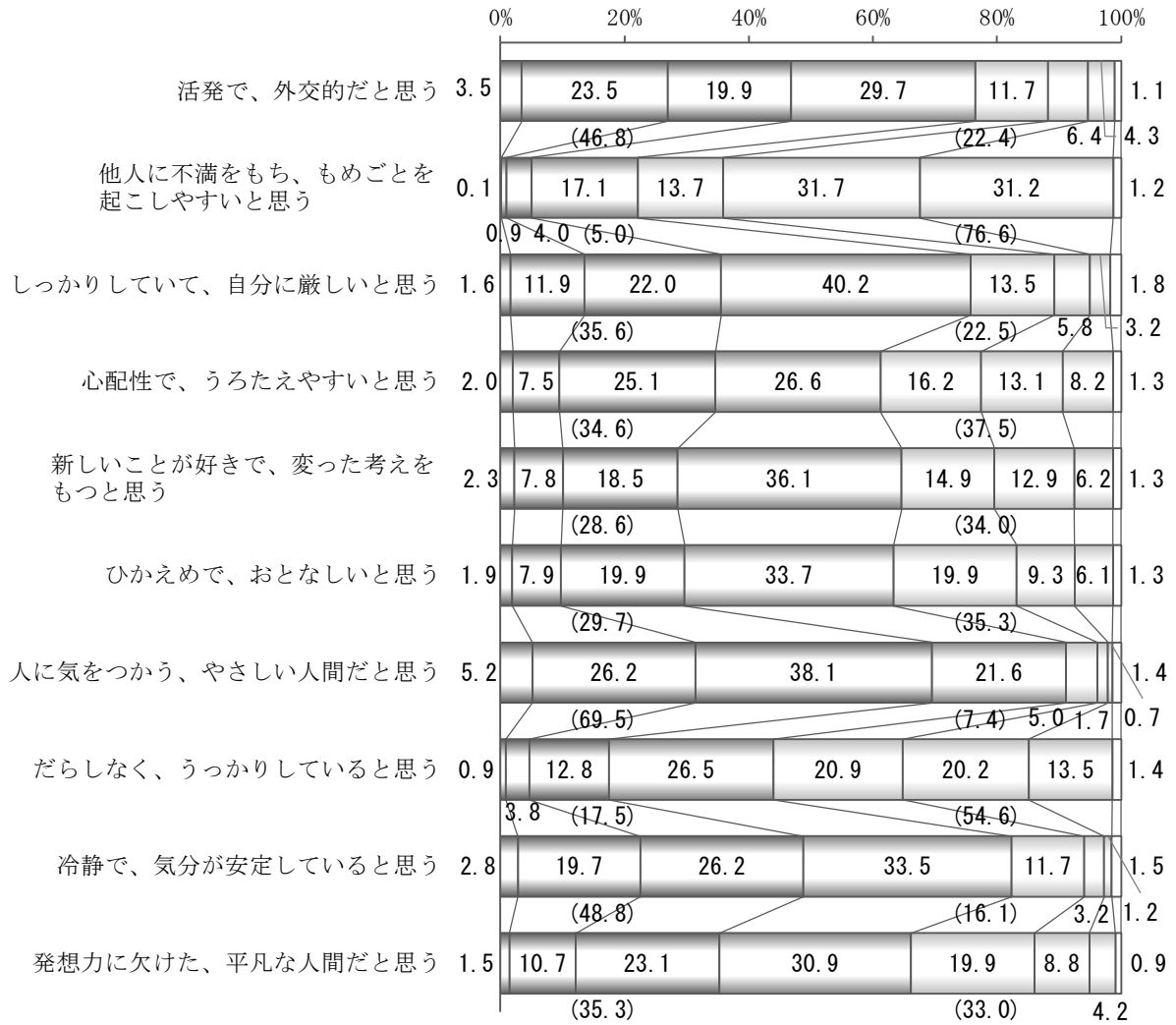
- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-----------|
| 1 全く違うと思う | 2 おおよそ違うと思う | 3 少し違うと思う | 4 どちらでもない |
| 5 少しそう思う | 6 まあまあそう思う | 7 強くそう思う | |

その結果、「そう思う」(“強くそう思う”“まあまあそう思う”“少しそう思う”の回答の合計)が最も多いのは、「人に気をつかう、やさしい人間だと思う」が69.5%、次いで、「冷静で、気分が安定していると思う」が48.8%、「活発で、外交的だと思う」が46.8%の順となっている。

逆に、「違うと思う」(“少し違うと思う”“おおよそ違うと思う”“全く違うと思う”の回答の合計)が最も多いのは、「他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う」が76.6%となっている。(図表Ⅱ-1)

<図表 II-1> 自身の性格特性

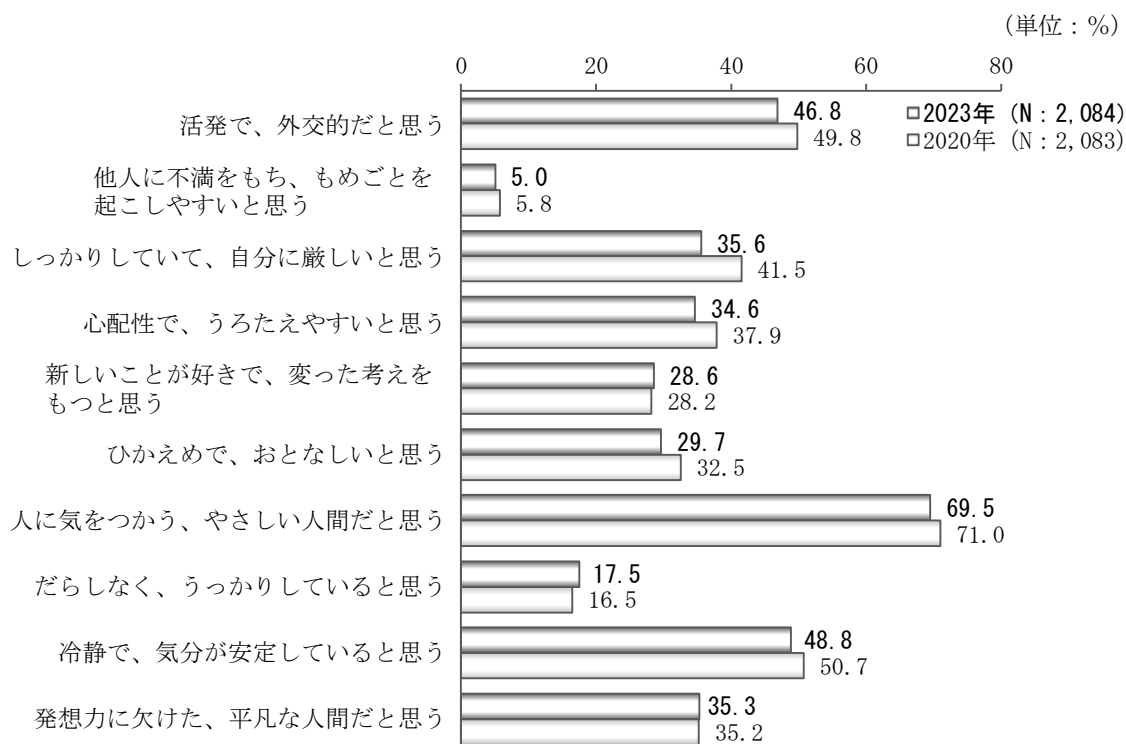
(N : 2,084)



強く思う まあ思う 少し思う どちらでもない 少し違うと思う おおよそ違うと思う 全く違うと思う 無回答
そう思う そう思う そう思う 違うと思う

自身の性格特性について「そう思う」の回答を前回と比較すると、「しっかりしていて、自分に厳しいと思う」は5.9ポイント、「心配性でうろたえやすいと思う」は3.3ポイント、いずれも減少している。(図表Ⅱ-2)

<図表Ⅱ-2> 自身の性格特性【「そう思う」の回答率】



自身の性格特性について「そう思う」の回答を性別にみると、「他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う」「新しいことが好きで、変った考えをもつと思う」「ひかえめで、おとなしいと思う」は、男性が女性を上回っている。一方、「活発で、外交的だと思う」「心配性で、うろたえやすいと思う」「人に気をつかう、やさしい人間だと思う」「発想力に欠けた、平凡な人間だと思う」は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、積極的な評価の「しっかりしていて、自分に厳しいと思う」「冷静で、気分が安定していると思う」は、90歳以上で高くなっている。逆に、消極的な評価の「ひかえめで、おとなしいと思う」は80～84歳、「だらしなく、うっかりしていると思う」は60～64歳で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅱ-3)

<図表 Ⅱ-3> 自身の性格特性【「そう思う」の回答率】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	活発で、外交的だと思う	他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う	しっかりしていて、自分に厳しいと思う	心配性で、うろたえやすいと思う	新しいことが好きで、変った考えをもつと思う	ひかえめで、おとなしいと思う	人に気をつかう、やさしい人間だと思う	だらしなく、うっかりしていると思う	冷静で、気分が安定していると思う	発想力に欠けた、平凡な人間だと思う
全体		2,084	46.8	5.0	35.6	34.6	28.6	29.7	69.5	17.5	48.8	35.3
性別	男性	996	43.9▲	7.2	34.8	29.1▲	31.4	33.1	67.1▲	18.5	48.7	31.0▲
	女性	1,088	49.5	3.0▲	36.2	39.7	25.9▲	26.5▲	71.8	16.5	48.9	39.2
本人年齢別	60～64歳	380	49.5	6.8	32.6	37.6	32.6	23.4▲	68.4	24.7	45.0	32.4
	65～69歳	400	47.8	5.0	33.0	33.3	29.0	27.5	69.5	17.5	49.3	34.3
	70～74歳	463	46.9	3.0▲	33.9	29.6▲	27.9	29.4	69.8	12.3▲	49.0	33.7
	75～79歳	369	50.7	5.4	38.8	36.6	25.7	29.5	71.5	18.4	50.1	37.7
	80～84歳	273	43.2	5.1	38.1	36.3	27.1	38.5	66.7	17.2	49.8	37.7
	85～89歳	141	39.7	6.4	35.5	39.0	26.2	33.3	68.8	14.2	45.4	36.2
90歳以上	58	32.8▲	3.4	53.4	34.5	34.5	37.9	77.6	13.8	63.8	44.8	

2. リスク意識

(1) 時間割引率

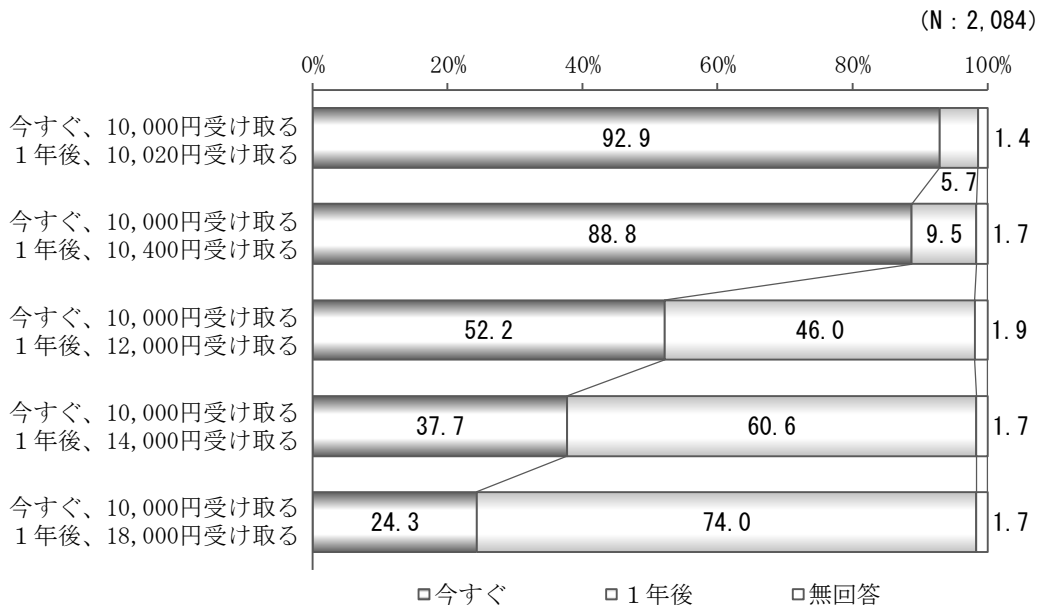
以下では、時間割引率（せっかちさ）を捉えるために、今すぐなら1万円受け取ることができ、1年間待てば1万円以上受け取れる状況を想起させ、1年後に受け取れる金額の差異からいずれを好むかを尋ねた。

あなたはお金をもらえることになりました。今すぐお金をもらうなら、1万円受け取ることができます。1年後ってお金をもらうなら、1万円以上のお金を受け取ることができます。それぞれの金額の組合せについてあなたが好む方をお答えください。

- (1) 今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、10,020円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、10,020円受け取る
- (2) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、10,400円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、10,400円受け取る
- (3) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、12,000円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、12,000円受け取る
- (4) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、14,000円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、14,000円受け取る
- (5) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、18,000円受け取るのでは、いかがですか。
 1 今すぐ、10,000円受け取る 2 1年後、18,000円受け取る

その結果、「今すぐ、10,000円受け取る」の回答をみると、1年後に受け取る額が「10,020円」の場合は92.9%、「10,400円」の場合は88.8%、「12,000円」の場合は52.2%と、割合が減少していくものの過半数を占めている。さらに「14,000円」の場合は37.7%、「18,000円」の場合は24.3%と割合が減少し、これらのケースでは「1年後」と回答した人が「今すぐ」と回答した人の割合を上回っている。（図表Ⅱ-4）

<図表Ⅱ-4> 時間割引率【5ケース】

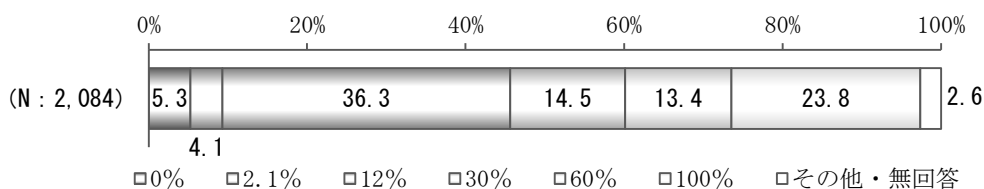


「今日よりも将来お金を受け取る方がよい」という選択に切り替わった前後で要求する金利(=切り替わる前後の金利の平均値)から「時間割引率」を以下のように分類した。

【時間割引率】	
1	0% …… (1)～(5)の回答がすべて2
2	2.1% (= (0.2%+4%) /2) …… (1)の回答が1、(2)～(5)の回答がすべて2
3	12% (= (4%+20%) /2) …… (1)～(2)の回答がすべて1、(3)～(5)の回答がすべて2
4	30% (= (20%+40%) /2) …… (1)～(3)の回答がすべて1、(4)～(5)の回答がすべて2
5	60% (= (40%+80%) /2) …… (1)～(4)の回答がすべて1、(5)の回答が2
6	100% …… (1)～(5)の回答がすべて1
7	その他・無回答 …… 上記に当てはまらない回答

時間割引率については、「12%」が36.3%と最も多く、次いで「100%」が23.8%となっている。以下、「30%」が14.5%、「60%」が13.4%となっている。(図表Ⅱ-5)

<図表Ⅱ-5> 時間割引率



性別にみると、男性の方が女性に比べ時間割引率が高い(せっかちな)傾向がみられ、「60%」は女性より男性の方が3.7ポイント高くなっている。一方、「2.1%」「12%」は男性より女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、高い年齢層ほど時間割引率が高い(せっかちな)傾向がみられ、「100%」は85歳以上の層で高くなっており、逆に、60～69歳の層で低くなっている。(図表Ⅱ-6)

<図表Ⅱ-6> 時間割引率〔性別・年齢別〕

(単位: %)

		N	0%	2.1%	12%	30%	60%	100%	その他・無回答
全 体		2,084	5.3	4.1	36.3	14.5	13.4	23.8	2.6
性別	男 性	996	5.1	2.5▲	33.5▲	16.0	15.4	24.8	2.7
	女 性	1,088	5.4	5.5	38.8	13.1	11.7▲	22.9	2.6
本人年齢別	60～64歳	380	5.5	3.4	49.5	13.2	12.1	15.3▲	1.1▲
	65～69歳	400	4.8	4.8	38.0	15.0	17.3	18.8▲	1.5
	70～74歳	463	5.4	2.8	35.6	14.9	14.0	25.3	1.9
	75～79歳	369	3.8	3.0	30.9▲	18.4	13.0	28.2	2.7
	80～84歳	273	8.1	6.2	30.8▲	11.7	12.5	25.6	5.1
	85～89歳	141	4.3	6.4	27.0▲	11.3	10.6	33.3	7.1
	90歳以上	58	5.2	5.2	25.9	12.1	5.2	43.1	3.4

本人年収別にみると、特に差はみられない。(図表Ⅱ-7)

<図表Ⅱ-7> 時間割引率〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	0%	2.1%	12%	30%	60%	100%	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.3	4.1	36.3	14.5	13.4	23.8	2.6
本人 年 収 別	収 入 は な い	261	5.0	5.4	31.8	14.9	12.3	27.2	3.4
	100 万 円 未 満	458	5.5	4.6	36.5	13.1	12.9	24.7	2.8
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	5.1	3.6	36.4	16.1	14.3	22.7	1.9▲
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	6.5	3.9	41.9	11.0	13.5	21.9	1.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	14.3	3.6	50.0	7.1	-	17.9	7.1
	2,000 万 円 以 上	9	-	11.1	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1

世帯保有金融資産別にみると、「12%」は1,000万円以上層で高く、100万円未満層で低くなっている。一方、「60%」は500万円未満層で高くなっている。また、「100%」は100万円未満層で高く、1,000万円以上層で低くなっている。

総じて、低資産層ほど時間割引率(せっかちさ)が高い傾向がみられる。(図表Ⅱ-8)

<図表Ⅱ-8> 時間割引率〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	0%	2.1%	12%	30%	60%	100%	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.3	4.1	36.3	14.5	13.4	23.8	2.6
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	204	2.5	3.4	25.0▲	17.2	19.1	29.4	3.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	5.3	3.4	35.8	16.2	17.7	20.8	0.8▲
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	5.4	3.9	35.1	13.7	14.1	26.8	1.0
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	6.4	3.9	46.1	12.5	15.4	13.9▲	1.8
	2,000 万 円 以 上	399	4.8	5.5	46.6	14.5	11.8	16.0▲	0.8▲

(2) リスク回避性

「リスク回避性」を捉えるため、賞金額と賞金の当選する確率がそれぞれ異なる、二つのクジのどちらを引きたいと思うか尋ねた。

賞金額と賞金の当選する確率がそれぞれ異なる、二つのクジA、Bがあるとします。あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

(1) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 99%の確率で3万円当選し、1%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

(2) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 90%の確率で3万円当選し、10%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

(3) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 80%の確率で3万円当選し、20%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

(4) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 60%の確率で3万円当選し、40%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

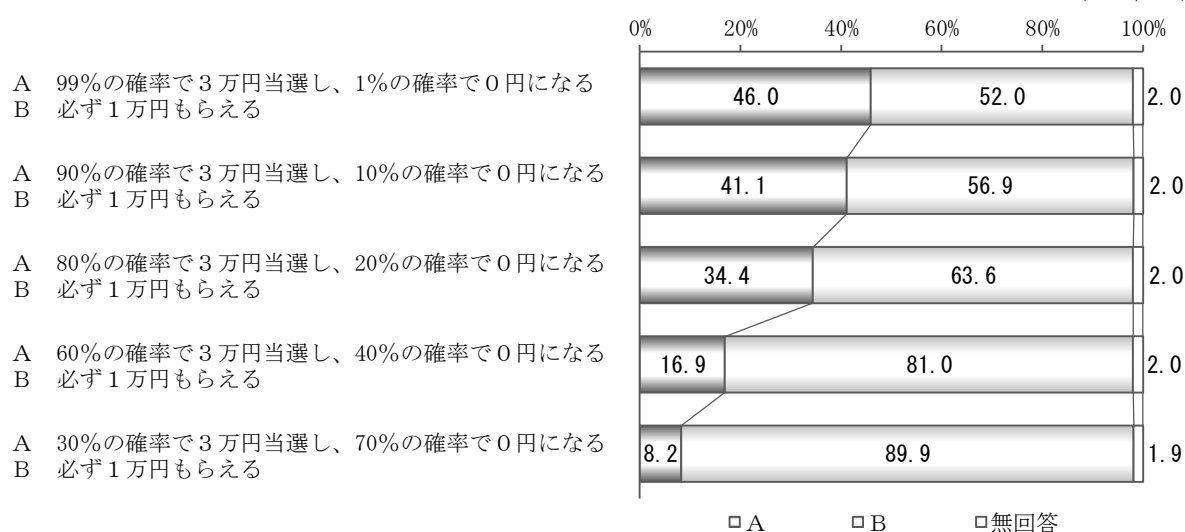
(5) 以下の二つのクジA、Bの内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

A 30%の確率で3万円当選し、70%の確率で0円になる B 必ず1万円もらえる

その結果、「A 99%の確率で3万円当選し、1%の確率で0円になる」場合は、「B 必ず1万円もらえる」と回答した人の割合が52.0%となっており、3万円当選の確率が低くなるほど「B 必ず1万円もらえる」の割合が増加している。「A 30%の確率で3万円当選し、70%の確率で0円になる」の場合は、「B 必ず1万円もらえる」が89.9%に達している。(図表Ⅱ-9)

<図表Ⅱ-9> リスク回避性【5 ケース】

(N : 2,084)

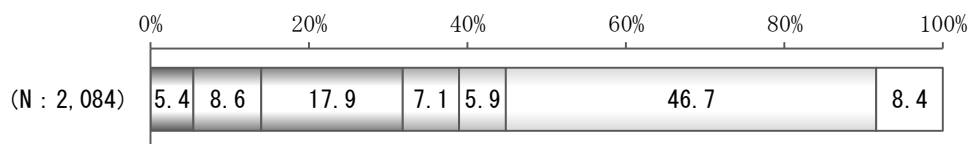


賞金額と賞金の当選する確率がそれぞれ異なる、二つのクジのどちらを引きたいと思うかの回答から「リスク回避性」を以下のように分類した。

【リスク回避性】		
1	30%リスク回避	(1)～(5)の回答がすべてA
2	60%リスク回避	(1)～(4)の回答がすべてA、(5)の回答がB
3	80%リスク回避	(1)～(3)の回答がすべてA、(4)～(5)の回答がすべてB
4	90%リスク回避	(1)～(2)の回答がすべてA、(3)～(5)の回答がすべてB
5	99%リスク回避	(1)の回答がA、(2)～(5)の回答がすべてB
6	100%リスク回避	(1)～(5)の回答がすべてB
7	その他・無回答	上記に当てはまらない回答

その結果、「100%リスク回避」が46.7%と最も多く、次いで「80%リスク回避」が17.9%となっている。(図表Ⅱ-10)

<図表Ⅱ-10> リスク回避性



□30%リスク回避 □60%リスク回避 □80%リスク回避 □90%リスク回避
 □99%リスク回避 □100%リスク回避 □その他・無回答

性別にみると、「30%リスク回避」「60%リスク回避」「80%リスク回避」は女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「99%リスク回避」「100%リスク回避」は女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「60%リスク回避」「80%リスク回避」は60～64歳で高く、「100%リスク回避」は90歳以上で高くなっている。(図表Ⅱ-11)

<図表Ⅱ-11> リスク回避性〔性別・年齢別〕

		(単位：%)							
		N	30% リスク 回避	60% リスク 回避	80% リスク 回避	90% リスク 回避	99% リスク 回避	100% リスク 回避	その他・ 無回答
全体		2,084	5.4	8.6	17.9	7.1	5.9	46.7	8.4
性別	男性	996	8.1	13.4	19.6	6.8	4.6▲	39.2▲	8.3
	女性	1,088	2.9▲	4.2▲	16.3▲	7.4	7.1	53.6	8.5
本人 年齢別	60～64歳	380	5.8	14.2	26.3	7.9	6.6	33.9▲	5.3▲
	65～69歳	400	5.0	8.3	21.0	7.8	7.0	43.3	7.8
	70～74歳	463	4.8	9.9	17.3	7.1	5.0	49.2	6.7
	75～79歳	369	6.2	6.5	14.6	7.6	5.7	50.4	8.9
	80～84歳	273	4.4	6.2	12.5▲	6.2	7.0	51.6	12.1
	85～89歳	141	8.5	2.8▲	10.6▲	5.0	2.1▲	53.9	17.0
	90歳以上	58	3.4	1.7	8.6	3.4	6.9	69.0	6.9

本人年収別にみると、「30%リスク回避」「60%リスク回避」は、500～1,000万円未満層で高くなっている。「100%リスク回避」は、収入はない、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅱ-12)

<図表Ⅱ-12> リスク回避性〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	30% リスク 回避	60% リスク 回避	80% リスク 回避	90% リスク 回避	99% リスク 回避	100% リスク 回避	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.4	8.6	17.9	7.1	5.9	46.7	8.4
本人 年 収 別	収入はない	261	2.7▲	5.4▲	14.2	6.9	3.1▲	58.6	9.2
	100万円未満	458	3.3▲	5.2▲	18.1	7.0	7.2	51.3	7.9
	100～500万円未満	1,067	5.8	9.7	18.7	8.1	6.4	43.2▲	8.2
	500～1,000万円未満	155	12.3	16.8	18.7	5.8	3.9	36.1▲	6.5
	1,000～2,000万円未満	28	3.6	14.3	25.0	-	3.6	46.4	7.1
	2,000万円以上	9	11.1	33.3	-	-	11.1	33.3	11.1

世帯保有金融資産別にみると、「60%リスク回避」「80%リスク回避」は、100万円以上層では高資産層ほど高くなっている。一方、「100%リスク回避」は、100万円以上層では高資産層ほど低くなっている。(図表Ⅱ-13)

<図表Ⅱ-13> リスク回避性〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	30% リスク 回避	60% リスク 回避	80% リスク 回避	90% リスク 回避	99% リスク 回避	100% リスク 回避	その他・ 無回答
全 体		2,084	5.4	8.6	17.9	7.1	5.9	46.7	8.4
金融 世 帯 保 有 資 産 別	100万円未満	204	3.4	9.8	18.1	6.4	4.9	48.0	9.3
	100～500万円未満	265	4.9	6.8	16.2	7.5	7.5	49.1	7.9
	500～1,000万円未満	205	5.4	8.3	17.1	9.3	3.9	48.8	7.3
	1,000～2,000万円未満	280	7.1	12.1	21.1	6.4	5.4	40.7▲	7.1
	2,000万円以上	399	6.3	14.0	24.3	8.8	8.0	33.6▲	5.0▲

3. 金融・保険リテラシー

(1) 金融・保険に関する知識への自信

金融・保険に関する知識についての自信を捉えるために、以下のように尋ねた。

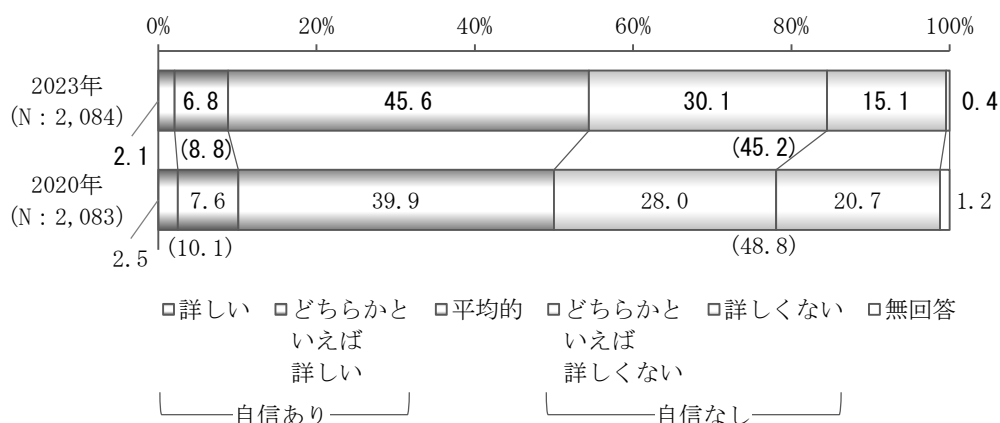
あなたは、他の人と比べて、金融や保険について詳しいと思いますか。

- 1 詳しい
- 2 どちらかといえば詳しい
- 3 平均的
- 4 どちらかといえば詳しくない
- 5 詳しくない

その結果、「自信あり」（“詳しい”と“どちらかといえば詳しい”の回答の合計）は8.8%で、「自信なし」（“どちらかといえば詳しくない”と“詳しくない”の回答の合計）の45.2%を大きく下回っている。「平均的」は45.6%となっている。

前回と比較すると、「平均的」が5.7ポイント増加し、「自信なし」が3.6ポイント減少している。（図表Ⅱ-14）

<図表Ⅱ-14> 金融・保険に関する知識への自信



性別にみると、「自信あり」は女性よりも男性の方が高く、「自信なし」は男性より女性で高くなっている。

年齢別にみると、「自信あり」は特に差はみられない。「自信なし」は80～89歳の層で高くなっている。(図表Ⅱ-15)

<図表Ⅱ-15> 金融・保険に関する知識への自信〔性別・年齢別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい どちら いばら かと	自信 あり	平均 的	自信 なし	詳しい くばら ない	詳し く ない	無 回 答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
性別	男 性	996	2.6	8.8	11.4	46.2	41.9▲	28.1	13.8	0.5
	女 性	1,088	1.6	4.9▲	6.4▲	45.0	48.2	31.9	16.3	0.4
本人 年齢 別	60～64歳	380	3.2	7.1	10.3	44.5	44.5	32.1	12.4	0.8
	65～69歳	400	1.5	7.3	8.8	47.5	43.5	30.0	13.5	0.3
	70～74歳	463	1.7	8.4	10.2	52.1	37.8▲	25.5▲	12.3	-
	75～79歳	369	2.4	5.7	8.1	47.2	44.2	29.8	14.4	0.5
	80～84歳	273	0.7	5.9	6.6	39.2▲	53.5	33.7	19.8	0.7
	85～89歳	141	3.5	5.0	8.5	32.6▲	58.2	37.6	20.6	0.7
	90歳以上	58	1.7	3.4	5.2	39.7	55.2	20.7	34.5	-

本人学歴別にみると、学校教育を受ける期間が長いほど「自信あり」は高くなっている傾向がみられ、逆に「自信なし」が低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-16)

<図表Ⅱ-16> 金融・保険に関する知識への自信〔本人学歴別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい どちら いばら かと	自信 あり	平均 的	自信 なし	詳しい くばら ない	詳し く ない	無 回 答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
本人 学歴 別	小 中 学 校	322	0.9	2.2▲	3.1▲	28.9▲	68.0	39.8	28.3	-
	高 等 学 校	904	1.8	5.5▲	7.3▲	48.0	44.1	30.6	13.5	0.6
	短期大学、高等専門 学校、専門学校	369	1.1	5.7	6.8	48.8	44.2	30.9	13.3	0.3
	大 学	446	3.6	13.0	16.6	49.6	33.4▲	22.6▲	10.8▲	0.4
	大学院修士課程	24	12.5	16.7	29.2	58.3	12.5▲	12.5	-	-
	大学院博士課程	2	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-

本人年収別にみると、「自信あり」は高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。「自信なし」は収入はない層で56.7%と最も高く、高年収層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-17)

<図表Ⅱ-17> 金融・保険に関する知識への自信〔本人年収別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい しえち いばら かと	自信 あり	平均 的	自信 なし	詳しい しえち くばら ない かと	詳 し く な い	無 回 答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
本人 年 収 別	収入はない	261	0.8	4.2	5.0▲	37.5▲	56.7	35.6	21.1	0.8
	100万円未満	458	1.1	3.7▲	4.8▲	43.7	51.3	33.2	18.1	0.2
	100～500万円未満	1,067	2.2	7.3	9.5	48.5	41.6▲	28.5	13.1▲	0.5
	500～1,000万円未満	155	5.8	14.8	20.6	50.3	29.0▲	21.9▲	7.1▲	-
	1,000～2,000万円未満	28	7.1	17.9	25.0	57.1	17.9▲	17.9	-	-
	2,000万円以上	9	11.1	33.3	44.4	11.1▲	44.4	33.3	11.1	-

世帯保有金融資産別にみると、「自信あり」は高資産層ほど高くなっている傾向がみられ、逆に、「自信なし」は100万円未満層で63.7%と最も高く、高資産層になるほど低くなっている。(図表Ⅱ-18)

<図表Ⅱ-18> 金融・保険に関する知識への自信〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

	N	詳しい	詳しい しえち いばら かと	自信 あり	平均 的	自信 なし	詳しい しえち くばら ない かと	詳 し く な い	無 回 答	
全 体	2,084	2.1	6.8	8.8	45.6	45.2	30.1	15.1	0.4	
金融 資 産 別	100万円未満	204	1.0	3.9	4.9▲	31.4▲	63.7	40.2	23.5	-
	100～500万円未満	265	0.4▲	3.8▲	4.2▲	46.0	49.8	35.1	14.7	-
	500～1,000万円未満	205	2.0	6.3	8.3	45.4	45.9	29.3	16.6	0.5
	1,000～2,000万円未満	280	2.5	7.5	10.0	55.7	34.3▲	22.9▲	11.4	-
	2,000万円以上	399	5.8	14.3	20.1	52.6	27.1▲	20.1▲	7.0▲	0.3

(2) 利息計算

利息計算が正確にできるかを捉えるため、以下のように尋ねた。

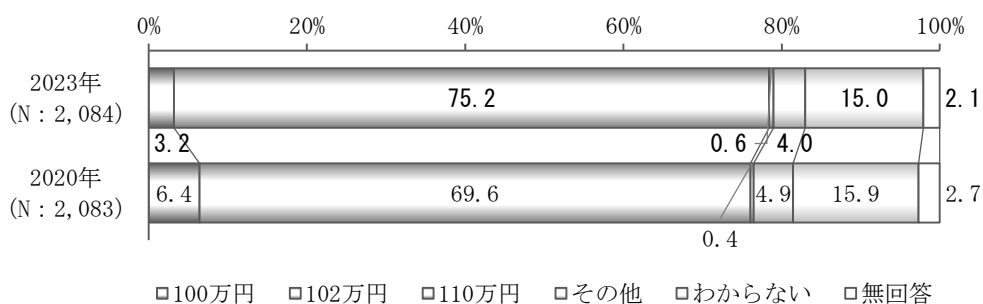
あなたは、100万円を預貯金口座に預け入れました。金利は、年率2%だとします。また、この口座には誰もこれ以上お金を預け入れないとします。1年後、口座の残高はいくらになっていると思いますか。次の中から、最も近いと思う金額をお答えください。

- 1 100万円
- 2 102万円
- 3 110万円
- 4 その他
- 5 わからない

その結果、正答の「102万円」が75.2%と最も多く、抜きんでている。次いで、「100万円」が3.2%、「110万円」が0.6%と続いている。「その他」は4.0%、「わからない」は15.0%と1割台半ばになっている。

前回と比較すると、正答の「102万円」が5.6ポイント増加し、「100万円」が3.2ポイント減少している。(図表Ⅱ-19)

<図表Ⅱ-19> 利息計算1



性別にみると、正答の「102万円」は女性の71.9%に比べ、男性が78.8%と上回っている。一方、「わからない」は男性より女性の方が上回っている。

年齢別にみると、正答の「102万円」は60～69歳の層で8割を超えており、高い年齢層ほど低くなっている。逆に「わからない」は高い年齢層ほど高くなっている。(図表Ⅱ-20)

<図表Ⅱ-20> 利息計算1〔性別・年齢別〕

(単位: %)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
性別	男 性	996	2.5	78.8	0.7	4.6	11.6▲	1.7
	女 性	1,088	3.9	71.9▲	0.5	3.4	18.0	2.4
本人年齢別	60～64歳	380	3.9	83.4	0.8	5.0	5.5▲	1.3
	65～69歳	400	2.5	81.0	0.3	6.0	9.0▲	1.3
	70～74歳	463	4.5	76.9	1.1	3.0	11.7▲	2.8
	75～79歳	369	3.3	74.5	0.3	3.8	15.7	2.4
	80～84歳	273	2.2	66.7▲	-	2.6	25.6	2.9
	85～89歳	141	2.1	58.2▲	1.4	2.1	34.8	1.4
	90歳以上	58	-	53.4▲	-	3.4	41.4	1.7

本人学歴別にみると、正答の「102万円」は学校教育を受ける期間が長いほど高くなっている傾向がみられ、大学で88.8%に達している。逆に「わからない」は学校教育を受ける期間が長いほど低くなっている。(図表Ⅱ-21)

<図表Ⅱ-21> 利息計算1〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
本人学歴別	小 中 学 校	322	4.7	52.2▲	0.3	3.4	37.6	1.9
	高 等 学 校	904	3.8	74.9	0.7	3.4	14.6	2.7
	短 期 大 学 、 高 等 専 門 学 校 、 専 門 学 校	369	3.8	78.9	1.1	4.6	10.3▲	1.4
	大 学	446	0.9▲	88.8	0.2	4.5	4.5▲	1.1
	大 学 院 修 士 課 程	24	-	83.3	-	12.5	-	4.2
	大 学 院 博 士 課 程	2	-	100.0	-	-	-	-

本人年収別にみると、正答の「102万円」は、100～1,000万円未満層で高くなっている。一方、「わからない」は、収入はない、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅱ-22)

<図表Ⅱ-22> 利息計算1〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
本人年収別	収 入 は な い	261	4.6	62.8▲	-	3.4	24.5	4.6
	100 万 円 未 満	458	3.7	71.6▲	0.2	2.8	20.5	1.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	3.0	79.5	0.8	3.5	11.4▲	1.8
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	0.6	83.2	0.6	9.0	5.2▲	1.3
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	-	78.6	-	10.7	7.1	3.6
	2,000 万 円 以 上	9	-	100.0	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、正答の「102万円」は、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。一方、「わからない」は、100万円未満層で24.0%と最も高く、高資産層ほど低くなっている。(図表Ⅱ-23)

<図表Ⅱ-23> 利息計算1〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	100万円	102万円	110万円	その他	わからない	無回答
全 体		2,084	3.2	75.2	0.6	4.0	15.0	2.1
世帯保有金融資産別	100 万 円 未 満	204	2.9	71.1	0.5	0.5▲	24.0	1.0
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	5.7	73.6	1.1	3.8	14.3	1.5
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	2.4	81.5	0.5	2.4	12.2	1.0
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	2.5	88.6	0.7	3.9	4.3▲	-
	2,000 万 円 以 上	399	1.3▲	87.2	0.8	6.3	3.0▲	1.5

前問で、最も近いと思う金額を答えた人（「わからない」「無回答」を除く回答者）に、5年後の口座残高を以下のように尋ねた。

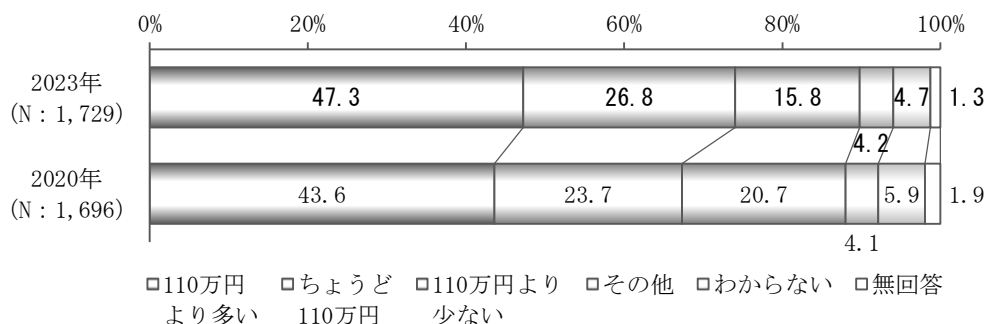
（前問で1～4と答えた方へ）では、5年後には口座の残高はいくらになっていると思いますか。

1 110万円より多い
 2 ちょうど110万円
 3 110万円より少ない
 4 その他
 5 わからない

その結果、正答の「110万円より多い」が47.3%と最も多く、次いで、「ちょうど110万円」が26.8%、「110万円より少ない」が15.8%と続いている。

前回と比較すると、正答の「110万円より多い」が3.7ポイント増加している。また、「ちょうど110万円」が3.1ポイント増加、「110万円より少ない」が4.9ポイント減少している。（図表Ⅱ-24）

<図表Ⅱ-24> 利息計算2



性別にみると、正答の「110万円より多い」は女性の40.6%に比べ、男性が53.9%と大きく上回っている。一方、「ちょうど110万円」「110万円より少ない」は男性より女性の方が上回っている。

年齢別にみると、「110万円より少ない」は低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。（図表Ⅱ-25）

<図表Ⅱ-25> 利息計算2〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
性別	男性	863	53.9	24.0▲	12.6▲	5.0	3.4▲	1.2
	女性	866	40.6▲	29.6	18.9	3.5	6.0	1.4
本人年齢別	60～64歳	354	51.4	23.4	19.2	3.1	1.7▲	1.1
	65～69歳	359	48.5	26.7	17.5	3.1	3.3	0.8
	70～74歳	396	48.7	26.5	13.9	4.8	5.6	0.5
	75～79歳	302	44.7	27.5	15.2	4.6	5.6	2.3
	80～84歳	195	41.5	28.7	14.4	6.2	7.2	2.1
	85～89歳	90	46.7	28.9	11.1	3.3	7.8	2.2
	90歳以上	33	30.3▲	42.4	9.1	9.1	9.1	-

本人学歴別にみると、正答の「110万円より多い」は学校教育を受ける期間が長いほど高くなっていく傾向がみられる。(図表Ⅱ-26)

<図表Ⅱ-26> 利息計算2〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
本人学歴別	小中学校	195	33.8▲	28.7	16.9	5.1	12.8	2.6
	高等学校	748	43.3▲	30.9	17.4	2.9▲	4.4	1.1
	短期大学、高等専門学校、専門学校	326	46.6	26.7	16.9	4.6	3.4	1.8
	大学	421	60.1	20.2▲	12.1▲	5.0	2.1▲	0.5
	大学院修士課程	23	60.9	4.3▲	13.0	13.0	8.7	-
	大学院博士課程	2	50.0	50.0	-	-	-	-

本人年収別にみると、正答の「110万円より多い」は、100～1,000万円未満層で高く、100万円未満層で低くなっている。一方、「ちょうど110万円」「わからない」は、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅱ-27)

<図表Ⅱ-27> 利息計算2〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
本人年収別	収入はない	185	41.6	25.4	18.4	5.9	6.5	2.2
	100万円未満	359	40.1▲	31.5	18.4	2.5	7.0	0.6
	100～500万円未満	926	49.8	26.8	14.1▲	4.2	3.7▲	1.4
	500～1,000万円未満	145	59.3	18.6▲	15.9	4.8	1.4▲	-
	1,000～2,000万円未満	25	48.0	32.0	8.0	8.0	4.0	-
	2,000万円以上	9	55.6	33.3	11.1	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、正答の「110万円より多い」は、2,000万円以上層で60.1%と高くなっている。「ちょうど110万円」は100万円未満層で34.6%と最も高く高資産層ほど低くなっている。(図表Ⅱ-28)

<図表Ⅱ-28> 利息計算2〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	110万円より多い	ちょうど110万円	110万円より少ない	その他	わからない	無回答
全体		1,729	47.3	26.8	15.8	4.2	4.7	1.3
世帯保有金融資産別	100万円未満	153	41.2	34.6	14.4	3.9	3.9	2.0
	100～500万円未満	223	38.6▲	31.4	17.0	4.9	6.3	1.8
	500～1,000万円未満	178	50.6	29.2	15.2	2.8	1.7▲	0.6
	1,000～2,000万円未満	268	48.1	26.1	17.5	4.5	2.6	1.1
	2,000万円以上	381	60.1	21.3▲	11.8▲	3.9	2.6▲	0.3▲

(3) 金融・保険に関する知識量

保険や金融に関する知識量を捉えるため、以下のように尋ねた。

ここにあげられている保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも間違っていると思いますか。

(1) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる …… 以下「定期保険と満期保険金」

(2) 一般的に、多くの会社の株式を同時に保有するよりも
1社の株式だけを保有する方が投資収益は安定する …… 以下「株式分散投資」

(3) 収益率が高い金融資産は、安全性が低い傾向にある …… 以下「収益と安全性の関係」

(4) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、
男女間で同じである …… 以下「男女別保険料率」

(5) お金を預ける場合、金利が下がり続けている
ときは固定金利の商品が望ましい …… 以下「固定金利か変動金利か（金利低下時）」

(6) 物価上昇率が高い時期は金利が高くなる …… 以下「物価と金利」

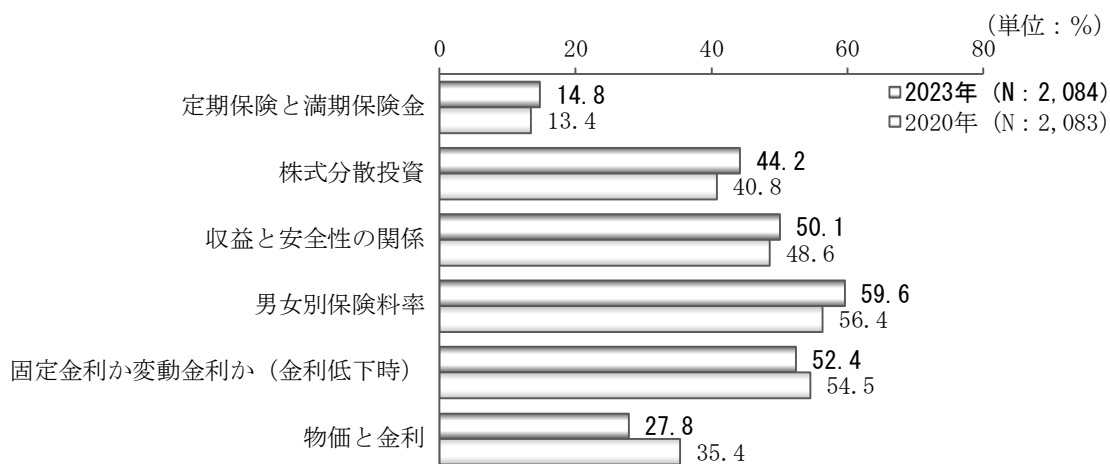
1 正しいと思う 2 間違っていると思う 3 わからない

その結果、保険や金融に関する説明の正答率は、「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」59.6%、「固定金利か変動金利か（金利低下時は固定金利の商品が望ましいは<正答>）」52.4%、「収益と安全性の関係（収益率が上げれば安全性は低いは<正答>）」50.1%が5割台となっている。次いで、「株式分散投資（1社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」44.2%、「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高いは<正答>）」27.8%が続いている。

最も低いのは「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」14.8%で、1割台半ばにとどまっている。

前回と比較すると、「株式分散投資（1社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」が3.4ポイント、「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」が3.2ポイント、いずれも増加している。一方、「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高いは<正答>）」が7.6ポイント減少している。（図表Ⅱ-29）

<図表Ⅱ-29> 金融・保険に関する知識量【正答率】



性別にみると、「定期保険と満期保険金（満期時に満期保険金を受け取れるは<誤答>）」「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」は、特に差がみられないものの、他の4つの正答については、いずれも女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、6つの正答のいずれも低い年齢層ほど高くなっている傾向が顕著にみられる。（図表Ⅱ-30）

<図表 Ⅱ-30> 金融・保険に関する知識量【正答率】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	満定期 定期 保険 金と	株 式 分 散 投 資	関 係 益 と 安 全 性 の	男 女 別 保 險 料 率	(変 動 定 金 利 金 利 低 下 時) か か	物 価 と 金 利
全 体		2,084	14.8	44.2	50.1	59.6	52.4	27.8
性 別	男 性	996	14.7	50.1	58.0	59.7	58.4	34.7
	女 性	1,088	14.9	38.9▲	42.8▲	59.5	47.0▲	21.4▲
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	21.1	57.1	61.3	72.4	58.2	36.1
	65～69歳	400	20.0	51.8	53.0	72.0	55.5	29.3
	70～74歳	463	15.6	46.4	50.8	62.6	53.6	28.1
	75～79歳	369	11.1▲	40.7	48.5	55.6	52.3	25.5
	80～84歳	273	8.8▲	32.2▲	39.9▲	41.8▲	46.9▲	22.3▲
	85～89歳	141	7.1▲	24.8▲	41.1▲	39.0▲	44.7	21.3
	90歳以上	58	1.7▲	17.2▲	31.0▲	25.9▲	31.0▲	17.2

本人学歴別にみると、学校教育を受ける期間が長いほど6つの正答のいずれも高くなっている傾向がみられる。（図表Ⅱ-31）

<図表 Ⅱ-31> 金融・保険に関する知識量【正答率】〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	満定期 定期 保険 金と	株 式 分 散 投 資	関 係 益 と 安 全 性 の	男 女 別 保 險 料 率	(変 動 定 金 利 金 利 低 下 時) か か	物 価 と 金 利
全 体		2,084	14.8	44.2	50.1	59.6	52.4	27.8
本 人 学 歴 別	小 中 学 校	322	8.7▲	18.9▲	27.6▲	37.0▲	31.7▲	16.1▲
	高 等 学 校	904	14.0	40.5▲	45.9▲	60.8	51.1	24.9▲
	短 期 大 学、高 等 専 門 学 校、専 門 学 校	369	15.4	48.2	53.1	66.1	55.8	25.2
	大 学	446	19.7	65.7	70.9	67.7	67.0	42.2
	大 学 院 修 士 課 程	24	20.8	75.0	70.8	79.2	62.5	66.7
	大 学 院 博 士 課 程	2	-	50.0	100.0	50.0	50.0	-

本人年収別にみると、「株式分散投資（1 社保有の方が収益は安定するは<誤答>）」は、高年収層ほど高くなっている。「収益と安全性の関係（収益率が高ければ安全性は低いは<正答>）」「男女別保険料率（同年齢で同じは<誤答>）」「固定金利か変動金利か（金利低下時は固定金利の商品が望ましいは<正答>）」「物価と金利（物価上昇率が高い時期は金利も高いは<正答>）」は、いずれも 100～1,000 万円未満層で高くなっている。（図表Ⅱ-32）

<図表Ⅱ-32> 金融・保険に関する知識量【正答率】〔本人年収別〕

（単位：％）

		N	満期保険金と	株式分散投資	収益と安全性の	男女別保険料率	（変動金利か固定金利低下時）	物価と金利
全体		2,084	14.8	44.2	50.1	59.6	52.4	27.8
本人年収別	収入はない	261	11.9	29.9▲	37.5▲	49.8▲	44.4▲	21.8▲
	100万円未満	458	13.8	36.9▲	43.4▲	57.2	45.9▲	23.6▲
	100～500万円未満	1,067	15.7	48.0	53.0	63.9	55.6	30.1
	500～1,000万円未満	155	16.8	64.5	71.0	69.0	65.2	41.3
	1,000～2,000万円未満	28	14.3	71.4	60.7	60.7	71.4	39.3
2,000万円以上	9	22.2	77.8	66.7	22.2▲	55.6	11.1	

世帯保有金融資産別にみると、6つの正答のいずれも高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。（図表Ⅱ-33）

<図表Ⅱ-33> 金融・保険に関する知識量【正答率】〔世帯保有金融資産別〕

（単位：％）

		N	満期保険金と	株式分散投資	収益と安全性の	男女別保険料率	（変動金利か固定金利低下時）	物価と金利
全体		2,084	14.8	44.2	50.1	59.6	52.4	27.8
世帯保有金融資産別	100万円未満	204	12.7	32.4▲	41.7▲	54.9	43.1▲	23.0
	100～500万円未満	265	17.4	39.2	45.3	60.0	51.3	25.7
	500～1,000万円未満	205	18.0	45.9	55.1	64.4	54.6	34.6
	1,000～2,000万円未満	280	18.6	57.1	62.9	69.6	65.7	31.1
	2,000万円以上	399	20.6	69.7	68.4	71.9	67.7	43.9

前述の保険や金融に関する説明の正答率の回答結果（正答数）から、以下のように「金融・保険知識量」を設けた。

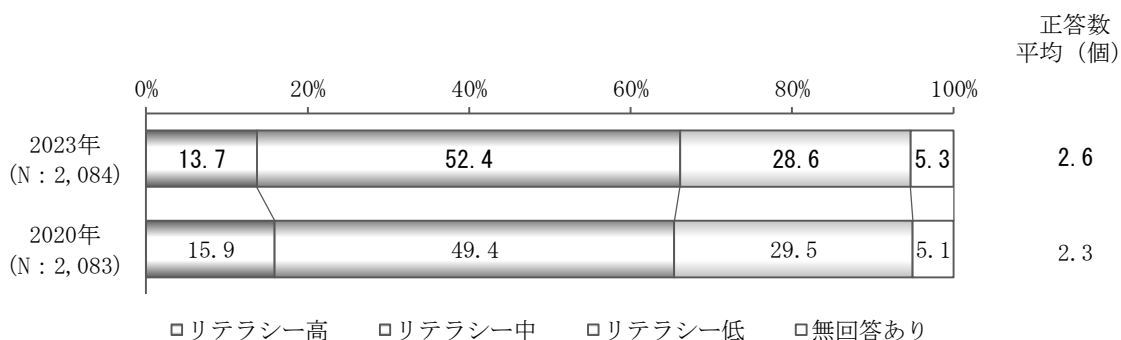
【金融・保険知識量】
 ※保険や金融に関する説明の正答率の回答結果から、正答数ごとに以下の区分を行う

- 1 リテラシー高 … 正答数が5～6
- 2 リテラシー中 … 正答数が2～4
- 3 リテラシー低 … 正答数が0～1
- 4 無回答あり …… 上記に当てはまらない回答

その結果、「リテラシー中」が52.4%と最も多く、次いで「リテラシー低」が28.6%、「リテラシー高」が13.7%となっている。また、正答数の平均は2.6個となっている。

前回と比較すると、「リテラシー高」が2.2ポイント減少している。（図表Ⅱ-34）

<図表Ⅱ-34> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】



性別にみると、「リテラシー高」は男性が女性を大きく上回っている。逆に、「リテラシー低」は女性が男性を大きく上回っている。

年齢別にみると、「リテラシー高」は60～64歳で21.8%と最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。逆に「リテラシー低」は高い年齢層ほど高く、80～89歳の層で4割台、90歳以上で65.5%を占めている。

その結果、正答数の平均は高い年齢層ほど低くなっている。（図表Ⅱ-35）

<図表Ⅱ-35> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】【性別・年齢別】

(単位: %)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	平均正答数(個)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
性別	男性	996	18.1	53.6	23.8▲	4.5	2.8
	女性	1,088	9.7▲	51.3	32.9	6.1	2.3▲
本人年齢別	60～64歳	380	21.8	55.5	20.0▲	2.6▲	3.1
	65～69歳	400	16.0	60.3	20.5▲	3.3▲	2.9
	70～74歳	463	13.6	52.3	24.8▲	9.3	2.7
	75～79歳	369	11.1	52.3	30.9	5.7	2.4
	80～84歳	273	8.4▲	46.2▲	41.0	4.4	2.0▲
	85～89歳	141	5.7▲	47.5	41.1	5.7	1.8▲
	90歳以上	58	6.9	20.7▲	65.5	6.9	1.2▲

本人学歴別にみると、学校教育を受ける期間が長いほど「リテラシー高」は高くなっている傾向がみられ、「リテラシー低」は低くなっている傾向がみられる。

その結果、正答数の平均は、学校教育を受ける期間が長いほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-36)

<図表Ⅱ-36> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	正答数(個)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
本人学歴別	小中学校	322	4.0▲	35.1▲	56.5	4.3	1.4▲
	高等学校	904	11.2▲	52.5	29.1	7.2	2.4▲
	短期大学、高等専門学校	369	10.8	60.4	23.8▲	4.9	2.7
	大学	446	26.9	58.7	12.1▲	2.2▲	3.4
	大学院修士課程	24	41.7	45.8	12.5	-	3.8
	大学院博士課程	2	-	50.0	50.0	-	2.5

本人年収別にみると、「リテラシー高」は、収入はない、100万円未満層で低く、500～1,000万円未満層で高くなっている。一方、「リテラシー低」は、100～1,000万円未満層で低く、収入はない、100万円未満層で高くなっている。

その結果、正答数の平均は、高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅱ-37)

<図表Ⅱ-37> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	正答数(個)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
本人年収別	収入はない	261	6.1▲	47.5	37.9	8.4	2.1▲
	100万円未満	458	10.9▲	48.0▲	37.1	3.9	2.2▲
	100～500万円未満	1,067	14.9	56.2	23.9▲	5.0	2.7
	500～1,000万円未満	155	26.5	56.8	13.5▲	3.2	3.3
	1,000～2,000万円未満	28	25.0	53.6	17.9	3.6	3.3
	2,000万円以上	9	22.2	44.4	33.3	-	2.6

世帯保有金融資産別にみると、「リテラシー高」は高資産層ほど高くなっている。一方、「リテラシー低」は低資産層ほど高くなっている。「リテラシー中」は、500万円以上の層で6割前後と高くなっている。

その結果、正答数の平均は、高資産層ほど高くなっており、2,000万円以上では3.5個となっている。(図表Ⅱ-38)

<図表Ⅱ-38> 金融・保険に関する知識量【金融・保険知識量】〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	リテラシー高	リテラシー中	リテラシー低	無回答あり	正答数 (平均)
全体		2,084	13.7	52.4	28.6	5.3	2.6
金融資産別 世帯保有	100万円未満	204	8.8▲	50.5	35.8○	4.9	2.2▲
	100～500万円未満	265	11.7	54.0	30.2	4.2	2.4
	500～1,000万円未満	205	13.2	62.4○	21.0▲	3.4	2.7
	1,000～2,000万円未満	280	18.6○	59.6○	15.4▲	6.4	3.1○
	2,000万円以上	399	27.3○	59.9○	10.5▲	2.3▲	3.5○

4. 特殊詐欺被害を防ぐための行動

特殊詐欺の被害を防ぐための行動を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは現在、振り込み詐欺や還付金等詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために行っていることはありますか。この中からすべてお答えください。(○はいいくつでも)

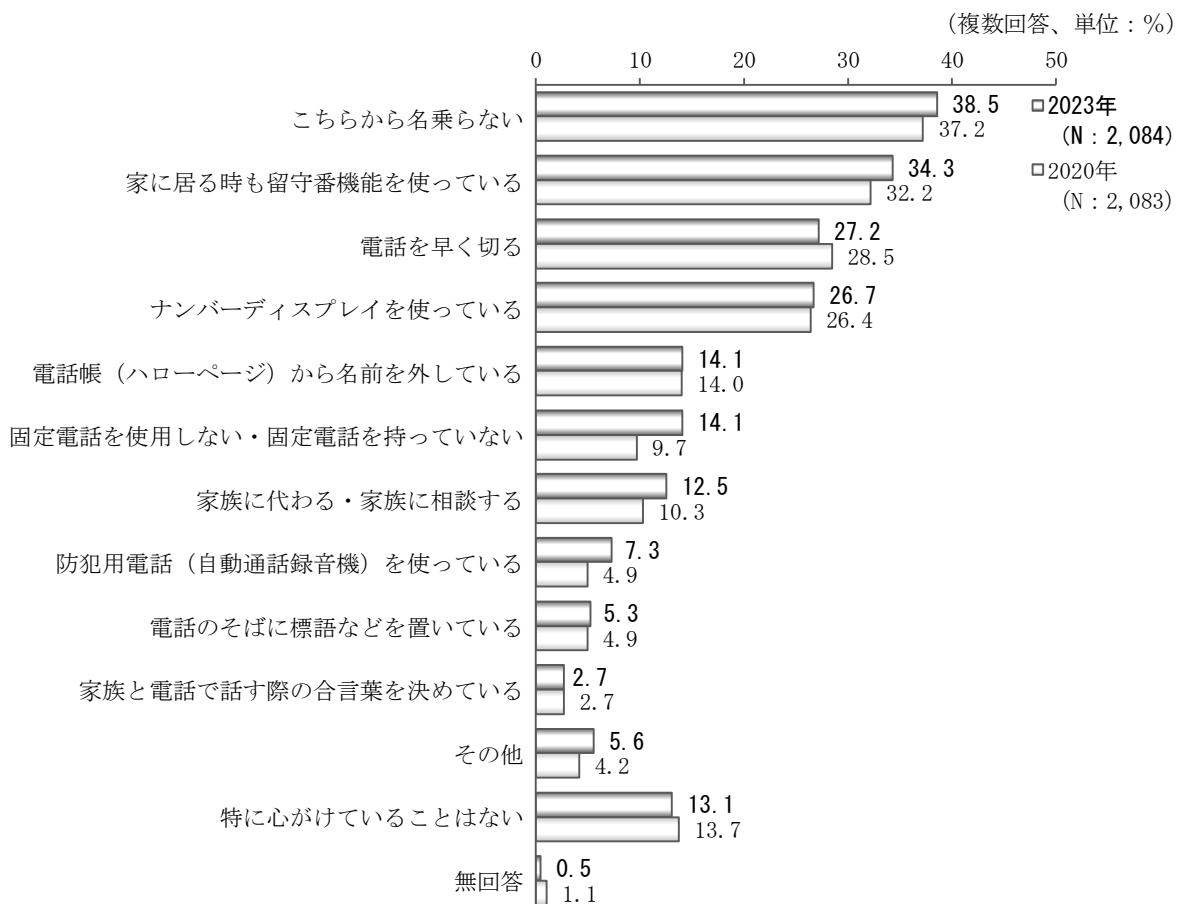
- 1 電話のそばに標語などを置いている
- 2 家族と電話で話す際の合言葉を決めている
- 3 電話帳（ハローページ）から名前を外している
- 4 ナンバーディスプレイを使っている
- 5 家に居る時も留守番機能を使っている
- 6 防犯用電話（自動通話録音機）を使っている
- 7 固定電話を使用しない・固定電話を持っていない
- 8 こちらから名乗らない
- 9 電話を早く切る
- 10 家族に代わる・家族に相談する
- 11 その他
- 12 特に心がけていることはない

その結果、「こちらから名乗らない」が38.5%と最も多く、次いで、「家に居る時も留守番機能を使っている」(34.3%)、「電話を早く切る」(27.2%)、「ナンバーディスプレイを使っている」(26.7%) までが、2～3割台で続いている。

一方、「特に心がけていることはない」は13.1%となっている。

前回と比較すると、「固定電話を使用しない・固定電話を持っていない」が4.4ポイント、「家族に代わる・家族に相談する」が2.2ポイント、「防犯用電話（自動通話録音機）を使っている」が2.4ポイント、いずれも増加している。(図表Ⅱ-39)

<図表Ⅱ-39> 特殊詐欺被害を防ぐための行動



性別にみると、「特に心がけていることはない」は、女性よりも男性で高くなっている。具体的な行動では「こちらから名乗らない」「家に居る時も留守番機能を使っている」「家族に代わる・家族に相談する」は、女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「電話を早く切る」は75～79歳で高くなっている。「ナンバーディスプレイを使っている」「電話帳（ハローページ）から名前を外している」「固定電話を使用しない・固定電話を持っていない」は、65～69歳で高くなっている。「家族に代わる・家族に相談する」は高い年齢層ほど高くなっており85歳以上層で2割台となっている。「特に心がけていることはない」は、60～64歳で高くなっている。（図表Ⅱ-40）

<図表 Ⅱ-40> 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔性別・年齢別〕

（複数回答、単位：％）

		N	こちらから名乗らない	家に居る時も留守番機能を使っている	電話を早く切る	ナンバーディスプレイを使っている	電話帳（ハローページ）から名前を外している	固定電話を使用しない	家族に代わる・家族に相談する
全体		2,084	38.5	34.3	27.2	26.7	14.1	14.1	12.5
性別	男性	996	33.1▲	32.0▲	25.9	26.7	14.0	13.8	8.4▲
	女性	1,088	43.5	36.3	28.3	26.7	14.2	14.3	16.3
本人年齢別	60～64歳	380	40.5	31.6	20.8▲	28.7	16.3	15.5	7.9▲
	65～69歳	400	39.3	37.0	25.3	32.5	19.8	20.5	8.0▲
	70～74歳	463	41.3	36.5	26.6	29.6	16.0	16.0	12.3
	75～79歳	369	36.0	33.1	32.2	26.8	9.8▲	8.7▲	13.6
	80～84歳	273	37.7	37.0	29.7	17.9▲	9.2▲	9.5▲	16.5
	85～89歳	141	33.3	29.8	30.5	14.9▲	9.2	10.6	21.3
90歳以上	58	31.0	20.7▲	34.5	20.7	6.9	8.6	29.3	
		N	通話録音機（自動）	防犯用電話（自動）	家族の合言葉を決める	その他	特に心がけている	無回答	
全体		2,084	7.3	5.3	2.7	5.6	13.1	0.5	
性別	男性	996	7.0	4.3	2.5	5.6	18.0	0.5	
	女性	1,088	7.5	6.2	2.9	5.5	8.6▲	0.5	
本人年齢別	60～64歳	380	4.5▲	2.9▲	2.4	4.7	16.3	1.3	
	65～69歳	400	6.0	1.8▲	1.8	5.3	13.8	0.3	
	70～74歳	463	6.5	6.7	3.5	5.6	10.6	-	
	75～79歳	369	7.6	5.4	3.5	6.0	14.4	0.5	
	80～84歳	273	10.3	9.9	2.6	6.2	9.2▲	0.7	
	85～89歳	141	11.3	5.7	1.4	5.7	17.0	-	
90歳以上	58	15.5	10.3	5.2	6.9	8.6	-		

本人学歴別にみると、「こちらから名乗らない」「ナンバーディスプレイを使っている」は、短期大学、高等専門学校、専門学校で高くなっている。「電話帳（ハローページ）から名前を外している」は学校教育を受ける期間が長いほど高くなっているが、「家族に代わる・家族に相談する」は学校教育を受ける期間が長いほど低くなっている。（図表Ⅱ-41）

<図表Ⅱ-41> 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔本人学歴別〕

		(複数回答、単位：%)							
		N	な こ ち ら か ら 名 乗 ら ない	番 機 に 居 る 時 も 留 い 守 る	電 話 を 早 く 切 る	レ ナ ン バ ー デ ィ ス プ レイ を 使 っ て い ス る	を ベ ー ジ ン グ ル (ハ ロ ー ペ ー ジ) か ら 名 前 を 外 し て い る	持 た ず な い 固 定 電 話 を 使 用 し ない	家 族 に 代 わ る ・ 家 族 に 相 談 す る
全 体		2,084	38.5	34.3	27.2	26.7	14.1	14.1	12.5
本人学歴別	小 中 学 校	322	31.4▲	28.9▲	31.4	16.5▲	11.2	14.9	18.0
	高 等 学 校	904	37.3	34.1	26.0	27.3	12.3▲	14.8	13.4
	短 期 大 学、高 等 専 門 学 校、専 門 学 校	369	44.2	37.1	27.1	32.8	16.3	12.7	12.7
	大 学	446	41.3	36.5	26.5	28.3	17.7	13.5	7.4▲
	大 学 院 修 士 課 程	24	37.5	29.2	20.8	25.0	20.8	4.2	-
	大 学 院 博 士 課 程	2	100.0	50.0	-	100.0	-	-	-
		N	使 通 防 つ 話 犯 用 録 音 機 を 自 動 に 使 う	な 電 話 を の そば に 置 い て い る	て 際 の 合 言 葉 を 決 め ず	そ の 他	こ と は 心 な が い て い る	無 回 答	
全 体		2,084	7.3	5.3	2.7	5.6	13.1	0.5	
本人学歴別	小 中 学 校	322	5.9	5.3	2.5	5.0	16.5	0.6	
	高 等 学 校	904	7.0	6.2	2.8	6.1	11.2▲	0.6	
	短 期 大 学、高 等 専 門 学 校、専 門 学 校	369	6.8	5.1	3.0	4.9	11.1	-	
	大 学	446	9.0	3.4▲	2.7	5.8	15.9	0.7	
	大 学 院 修 士 課 程	24	8.3	8.3	4.2	-	20.8	-	
	大 学 院 博 士 課 程	2	50.0	-	-	-	-	-	

金融・保険知識量別にみると、「こちらから名乗らない」「電話帳（ハローページ）から名前を外している」はリテラシー高の層で高く、リテラシー低の層で低くなっている。「家に居る時も留守番機能を使っている」「ナンバーディスプレイを使っている」「防犯用電話（自動通話録音機）を使っている」は、リテラシー中の層で高く、リテラシー低の層で低くなっている。「家族に代わる・家族に相談する」は、リテラシー低の層で高く、リテラシー高の層で低くなっている。（図表Ⅱ-42）

<図表Ⅱ-42> 特殊詐欺被害を防ぐための行動〔金融・保険知識量別〕

（複数回答、単位：％）

		N	な こ ち ら か ら 名 乗 ら ない	る 番 機 に 居 る 時 も 留 守 番 機 能 を 使 っ て い る	電 話 を 早 く 切 る	レ ナ イ ン を バ ー ジ ン を 使 っ て い る	を ベ ー ジ ン か ら 名 前 を 外 し て い る	持 つ て い な い	固 定 電 話 機 を 使 っ て い る	家 族 に 代 わ る ・ 家 族 に 相 談 す る
全 体		2,084	38.5	34.3	27.2	26.7	14.1	14.1	12.5	
金融・ 保険 知識 量 別	リテラシー高	286	44.1	36.0	25.9	28.7	19.2	9.8▲	7.7▲	
	リテラシー中	1,092	39.8	36.5	26.0	30.0	15.1	14.0	11.4	
	リテラシー低	595	32.3▲	28.9▲	28.7	20.7▲	10.1▲	15.5	16.8	
		N	使 つ て い る 音 機 （ 自 動 録 音 機 ）	な 電 話 を の 置 き ば い て い る 標 語	て 際 の 家 族 と 合 言 葉 を 決 め す	そ の 他	こ と は 心 な が い て い る	無 回 答		
全 体		2,084	7.3	5.3	2.7	5.6	13.1	0.5		
金融・ 保険 知識 量 別	リテラシー高	286	8.0	3.8	2.8	8.0	12.2	0.7		
	リテラシー中	1,092	8.5	5.5	2.7	4.9	12.9	0.5		
	リテラシー低	595	4.9▲	5.5	2.5	6.1	14.8	0.3		

第III章 家族・人とのつながり

ここでは、自分自身の家族や人とのつながりについて、捉えている。

1. 未既婚

自身の未既婚を捉えるため、以下のように尋ねた。

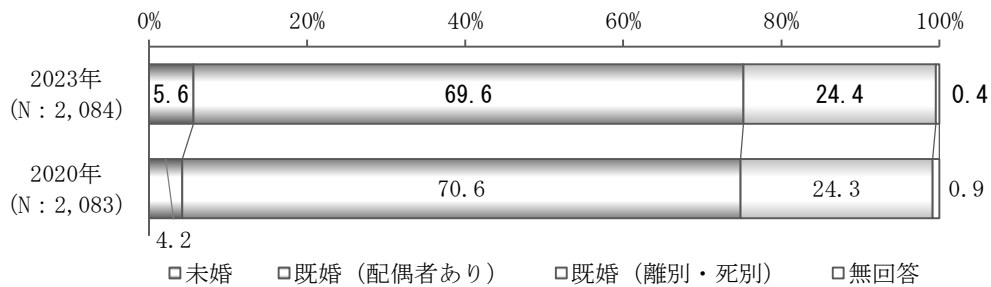
あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。

- 1 未婚
- 2 既婚（配偶者あり）
- 3 既婚（離別・死別）

本人の未既婚の別については、「既婚（配偶者あり）」が 69.6%を占めている。次いで、「既婚（離別・死別）」が 24.4%、「未婚」が 5.6%となっている。

前回と比較すると、「未婚」が 1.4 ポイント増加している。（図表Ⅲ-1）

<図表 Ⅲ-1> 未既婚



性別にみると、「既婚（配偶者あり）」と「未婚」は、女性より男性で高くなっている。一方、「既婚（離別・死別）」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「既婚（配偶者あり）」は高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。一方、「既婚（離別・死別）」は高い年齢層ほど高くなっている。（図表Ⅲ-2）

<図表 Ⅲ-2> 未既婚〔性別・年齢別〕

（単位：％）

		N	未婚	既婚 （配偶者あり）	既婚 （離別・死別）	無回答
全体		2,084	5.6	69.6	24.4	0.4
性別	男性	996	6.8	79.5	13.4▲	0.3
	女性	1,088	4.5▲	60.5▲	34.5	0.6
本人年齢別	60～64歳	380	11.1	75.5	13.4▲	-
	65～69歳	400	9.0	73.3	17.8▲	-
	70～74歳	463	3.9	75.6	20.1▲	0.4
	75～79歳	369	2.7▲	71.3	24.7	1.4
	80～84歳	273	2.9▲	63.4▲	33.7	-
	85～89歳	141	1.4▲	47.5▲	50.4	0.7
	90歳以上	58	1.7	29.3▲	67.2	1.7

2. 家族とのつながり

(1) 家族形態

①同居家族

同居家族を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(〇はいくつでも)

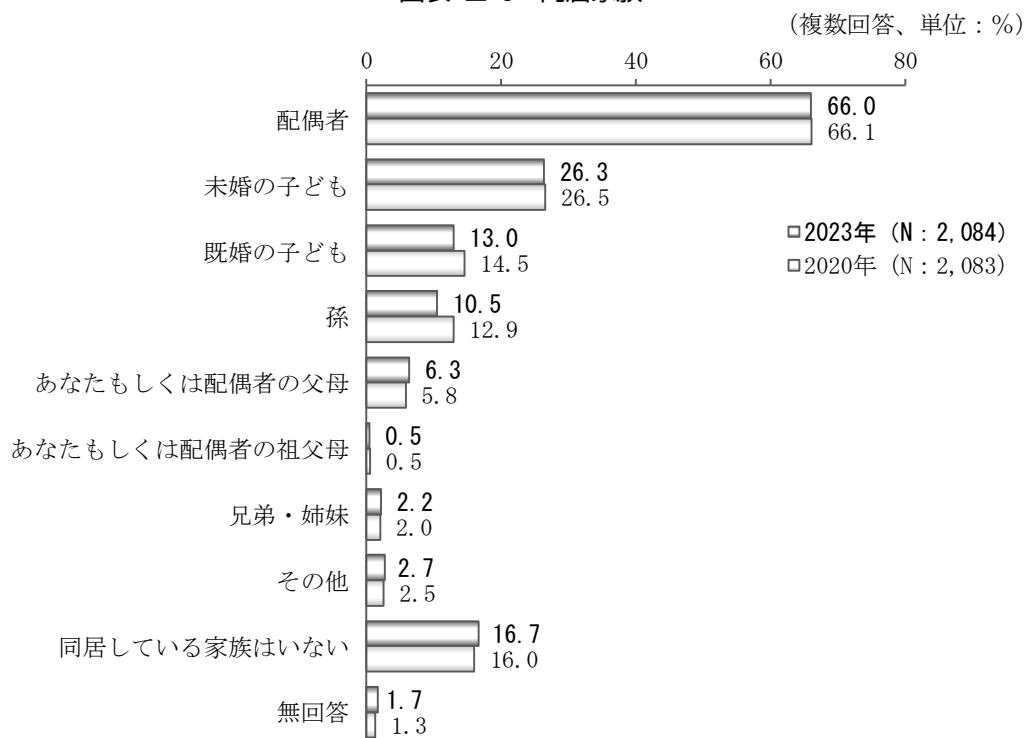
- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1 配偶者 | 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 2 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 7 兄弟・姉妹 |
| 3 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 8 その他 |
| 4 孫 (<input type="text"/> 名) | 9 同居している家族はいない |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |

その結果、「配偶者」が 66.0%と最も多く、次いで、「未婚の子ども」が 26.3%、「既婚の子ども」が 13.0%、「孫」が 10.5%となっている。また、「同居している家族はいない」は 16.7%となっている。

ちなみに、「未婚の子ども」「既婚の子ども」の平均はいずれも 1.2 人、「孫」の平均は 1.9 人となっている。

前回と比較すると、「孫」が 2.4 ポイント減少している。(図表Ⅲ-3)

<図表 Ⅲ-3> 同居家族



	2023年	2020年
未婚の子ども 平均 (人)	1.2	1.3
既婚の子ども 平均 (人)	1.2	1.3
孫 平均 (人)	1.9	1.9

性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」は、男性の方が女性を上回っている。「既婚の子ども」「孫」「同居している家族はいない」は、女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」は60～74歳の層で7割台と高くなっており、高い年齢層ほど低くなっている。「未婚の子ども」も高い年齢層ほど低くなっている。一方、「既婚の子ども」「孫」は高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。「あなたもしくは配偶者の父母」は60～64歳で高くなっている。また、「同居している家族はいない」は85～89歳で高くなっている。(図表Ⅲ-4)

<図表 Ⅲ-4> 同居家族〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父	父はあなたもしくは母	兄弟・姉妹
全体		2,084	66.0	26.3	13.0	10.5	6.3	0.5	2.2
性別	男性	996	75.8	27.4	9.8▲	8.1▲	7.4	0.7	2.5
	女性	1,088	57.0▲	25.4	15.8	12.6	5.3▲	0.3	1.8
本人年齢別	60～64歳	380	72.1	37.1	6.8▲	5.3▲	17.6	1.6	2.9
	65～69歳	400	71.5	30.0	9.3▲	7.8▲	8.3	0.8	3.3
	70～74歳	463	71.1	24.2	11.9	11.4	5.4	0.2	1.7
	75～79歳	369	66.4	23.6	16.0	13.6	1.1▲	-	2.2
	80～84歳	273	59.7▲	19.4▲	14.7	12.1	1.1▲	-	0.7
	85～89歳	141	45.4▲	18.4▲	21.3	13.5	-	-	2.1
	90歳以上	58	24.1▲	17.2	39.7	20.7	-	-	-

		N	その他	家同居はしていない	無回答	未婚の平均(子ども)	既婚の平均(子ども)	孫平均(人)
全体		2,084	2.7	16.7	1.7	1.2	1.2	1.9
性別	男性	996	1.7▲	13.8▲	1.8	1.3	1.2	1.9
	女性	1,088	3.6	19.3	1.6	1.2	1.3	1.9
本人年齢別	60～64歳	380	1.3	13.9	0.3▲	1.3	1.3	1.8
	65～69歳	400	2.0	16.3	1.3	1.3	1.2	2.0
	70～74歳	463	1.9	13.8	2.6	1.2	1.2	2.0
	75～79歳	369	2.4	15.7	2.4	1.1▲	1.3	2.1
	80～84歳	273	4.0	20.5	2.2	1.1▲	1.2	1.9
	85～89歳	141	6.4	25.5	-	1.3	1.2	1.6
	90歳以上	58	8.6	25.9	3.4	1.3	1.1	1.9

②家族形態

前述の同居している家族の選択肢から、以下のように「家族形態」を設定した。

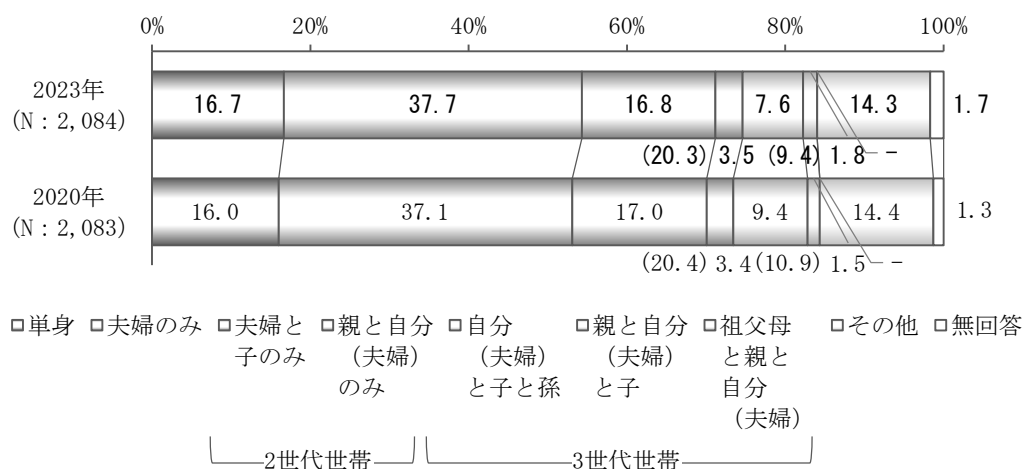
【家族形態】	
1	単身 …………… 回答が「同居している家族はいない」
2	夫婦のみ …………… 回答が「配偶者」のみ
3	2世代世帯 …………… 家族形態の4～5
4	夫婦と子のみ …………… 回答が「配偶者」と「子ども」のみ
5	親と自分（夫婦）のみ …………… 回答が「あなたもしくは配偶者の父母」（と「配偶者」）のみ
6	3世代世帯 …………… 家族形態の7～9
7	自分（夫婦）と子と孫 …………… 回答が「子ども」と「孫」
8	親と自分（夫婦）と子 …………… 回答が「あなたもしくは配偶者の父母」と「子ども」
9	祖父母と親と自分（夫婦） …… 回答が「あなたもしくは配偶者の父母」と「あなたもしくは配偶者の祖父母」
10	その他 …………… 上記に当てはまらない回答

その結果、「夫婦のみ」が37.7%と最も多く、次いで、「夫婦と子のみ」が16.8%、「単身」が16.7%の順となっている。

なお、「2世代世帯」（“夫婦と子のみ”と“親と自分（夫婦）のみ”の回答の合計）は20.3%、「3世代世帯」（“自分（夫婦）と子と孫”、“親と自分（夫婦）と子”と“祖父母と親と自分（夫婦）”の回答の合計）は9.4%となっている。

前回と比較すると、「自分（夫婦）と子と孫」が1.8ポイント減少している。（図表Ⅲ-5）

<図表 Ⅲ-5> 家族形態



性別にみると、「夫婦のみ」「夫婦と子のみ」は、男性の方が女性を上回っている。一方、「単身」「自分（夫婦）と子と孫」は、女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「単身」は85～89歳で、「夫婦のみ」は70～74歳で、「自分（夫婦）と子と孫」は90歳以上で、それぞれ高くなっている。「夫婦と子のみ」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。（図表Ⅲ-6）

<図表 Ⅲ-6> 家族形態〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	単身	夫婦のみ	2世代世帯		その他	無回答
					夫婦と子のみ	母親と自分（夫婦）		
全 体		2,084	16.7	37.7	20.3	16.8	3.5	
性別	男 性	996	13.8▲	41.5	25.3	21.4	3.9	
	女 性	1,088	19.3	34.2▲	15.7▲	12.7▲	3.0	
本人年齢別	60～64歳	380	13.9	30.8▲	33.9	24.5	9.5	
	65～69歳	400	16.3	36.3	27.0	22.3	4.8	
	70～74歳	463	13.8	43.6	17.5	14.5	3.0	
	75～79歳	369	15.7	40.7	16.3▲	16.0	0.3▲	
	80～84歳	273	20.5	41.8	12.8▲	12.1▲	0.7▲	
	85～89歳	141	25.5	33.3	5.7▲	5.7▲	-	
	90歳以上	58	25.9	17.2▲	3.4▲	3.4▲	-	
		N	3世代世帯	と自分と孫（夫婦）	母親と自分（夫婦）	自祖父母（夫婦）と	その他	無回答
全 体		2,084	9.4	7.6	1.8	-	14.3	1.7
性別	男 性	996	8.5	6.2▲	2.3	-	9.1▲	1.8
	女 性	1,088	10.2	8.9	1.3	-	19.0	1.6
本人年齢別	60～64歳	380	9.5	3.7▲	5.8	-	11.6	0.3▲
	65～69歳	400	8.5	6.8	1.8	-	10.8▲	1.3
	70～74歳	463	9.5	8.2	1.3	-	13.0	2.6
	75～79歳	369	10.3	9.8	0.5▲	-	14.6	2.4
	80～84歳	273	8.4	8.4	-	-	14.3	2.2
	85～89歳	141	8.5	8.5	-	-	27.0	-
	90歳以上	58	15.5	15.5	-	-	34.5	3.4

(2) 家族および付き合いのある親族

① 家族および付き合いのある親族

家族および付き合いのある親族を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。ここでは、単身赴任や施設などに入居されているご家族や親族も含まれます。なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1 配偶者 | 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 2 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 7 兄弟・姉妹 |
| 3 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 8 その他 |
| 4 孫 (<input type="text"/> 名) | 9 家族や付き合いのある親族はいない |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |

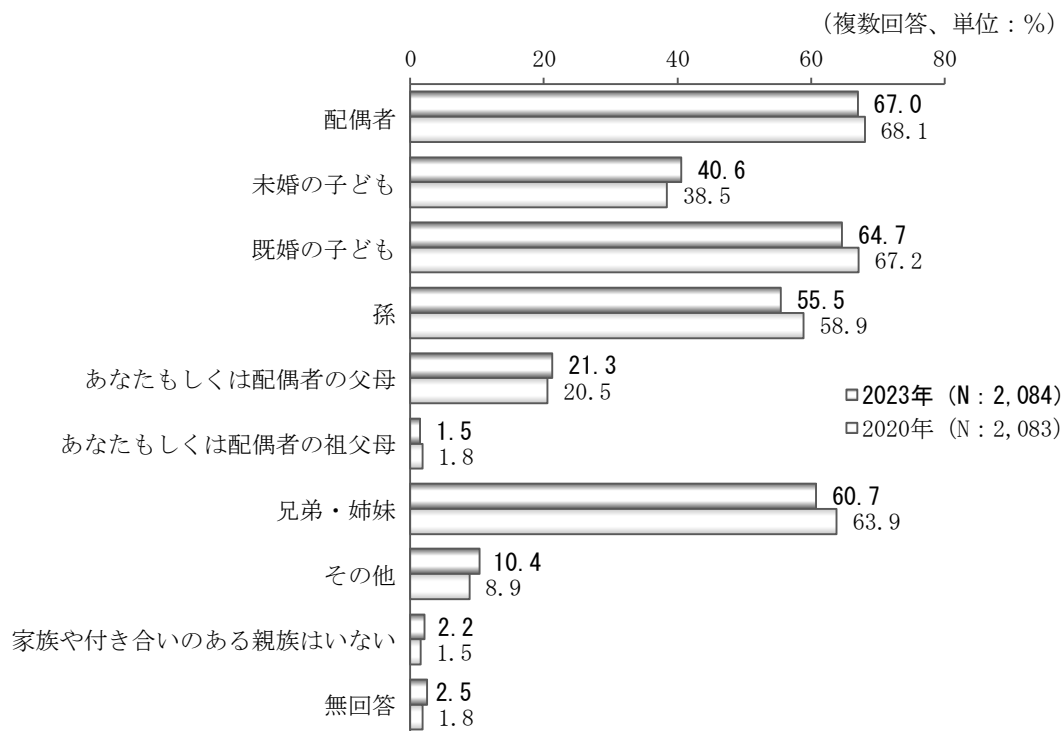
その結果、「配偶者」(67.0%)、「既婚の子ども」(64.7%)、「兄弟・姉妹」(60.7%)が6割台で高くなっており、次いで「孫」が55.5%となっている。「家族や付き合いのある親族はいない」は2.2%にとどまっている。

ちなみに、「未婚の子ども」の平均は1.4人、「既婚の子ども」は1.8人、「孫」の平均は3.2人となっている。

前回と比較すると、「孫」は3.4ポイント、「兄弟・姉妹」は3.2ポイント、いずれも減少している。

(図表Ⅲ-7)

<図表 Ⅲ-7> 家族および付き合いのある親族



	2023年	2020年
未婚の子ども 平均 (人)	1.4	1.4
既婚の子ども 平均 (人)	1.8	1.8
孫 平均 (人)	3.2	3.1

性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」は、男性の方が女性を上回っている。「既婚の子ども」「孫」は、女性の方が男性より高くなっている。また、「家族や付き合いのある親族はいない」は女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「既婚の子ども」は75～84歳の層と90歳以上で、「孫」は70～84歳の層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-8)

<図表 Ⅲ-8> 家族および付き合いのある親族〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあ配な偶た者のし父く	父はあ母配な偶た者のし祖く	兄弟・姉妹
全 体		2,084	67.0	40.6	64.7	55.5	21.3	1.5	60.7
性別	男 性	996	76.7	41.9	59.2▲	48.6▲	25.0	2.0	58.8
	女 性	1,088	58.1▲	39.5	69.7	61.9	17.9▲	1.0	62.5
本人年齢別	60～64歳	380	73.9	56.3	49.2▲	37.4▲	56.6	3.4	71.1
	65～69歳	400	72.3	50.3	61.8	50.8▲	33.5	3.8	67.8
	70～74歳	463	72.6	38.9	66.1	60.3	15.1▲	0.4▲	64.1
	75～79歳	369	67.5	32.5▲	71.5	63.4	4.6▲	-	56.4
	80～84歳	273	59.7▲	31.1▲	72.5	64.8	2.9▲	0.4	52.0▲
	85～89歳	141	45.4▲	24.1▲	68.1	62.4	-	-	44.0▲
	90歳以上	58	24.1▲	22.4▲	86.2	58.6	-	-	27.6▲

		N	その他	はい家族のあやある付き合い親族合	無回答	未婚平均の(子ども)	既婚平均の(子ども)	孫平均(人)
全 体		2,084	10.4	2.2	2.5	1.4	1.8	3.2
性別	男 性	996	6.9▲	3.1	3.0	1.5	1.8	3.2
	女 性	1,088	13.6	1.3▲	2.1	1.4	1.8	3.3
本人年齢別	60～64歳	380	13.7	2.1	1.3	1.6	1.7▲	2.6▲
	65～69歳	400	11.3	3.0	1.5	1.4	1.7▲	3.0
	70～74歳	463	8.2	2.4	2.6	1.3	2.0	3.5
	75～79歳	369	8.7	1.1	3.8	1.2▲	1.9	3.4
	80～84歳	273	11.0	1.8	2.6	1.3	1.9	3.4
	85～89歳	141	9.9	2.8	3.5	1.3	1.8	3.2
	90歳以上	58	10.3	1.7	6.9	1.7	1.6	3.5

②同居家族以外の家族および付き合いのある親族

前述の同居している家族と、家族および付き合いのある親族の回答結果から、以下のように「同居家族以外の家族および付き合いのある親族」を設定した。

【同居家族以外の家族および付き合いのある親族】

※同居家族の質問で該当せず（同居していない）、家族および付き合いのある親族の質問で該当の回答結果から、以下を作成

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 配偶者 | 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 2 未婚の子ども | 7 兄弟・姉妹 |
| 3 既婚の子ども | 8 その他 |
| 4 孫 | 9 同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | 10 同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし |

その結果、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は合わせて 83.2%を占めている。具体的な同居していない家族や親族としては、「兄弟・姉妹」が 58.3%と最も多く、次いで「既婚の子ども」が 56.9%、「孫」が 49.7%となっている。

一方、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は 13.8%となっている。

前回と比較すると、「未婚の子ども」が 3.1 ポイント増加し、「配偶者」が 1.0 ポイント、「兄弟・姉妹」が 3.1 ポイント、いずれも減少している。（図表Ⅲ-9）

<図表 Ⅲ-9> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族

（複数回答、単位：％）

	N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは配偶者の父母	あなたもしくは祖父母	兄弟・姉妹	その他	同居家族あり	同居家族なし	無回答
										同居家族以外の家族	同居家族以外の家族	
2023年	2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8	83.2	13.8	3.0
2020年	2,083	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3	84.2	13.3	2.5

性別にみると、「既婚の子ども」「孫」「兄弟・姉妹」は男性より女性の方が高く、「あなたもしくは配偶者の父母」は男性の方が女性より高くなっている。「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「既婚の子ども」は80～84歳で、「孫」は70～84歳の層でそれぞれ高く、60～64歳でいずれも低くなっている。「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は85～89歳で高く、60～64歳で低くなっている。(図表Ⅲ-10)

<図表 Ⅲ-10> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	配あ 偶な 者た のも し父 母く は	配あ 偶な 者た のも し祖 父く 母は	兄 弟・ 姉妹	そ の 他	の 家 同 居 る・ 家 族 付 き 以 外 の
全	体		2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8
性 別	男 性	996	1.4	19.1	53.4▲	44.1▲	17.7○	1.3	56.1▲	5.2▲	79.9▲
	女 性	1,088	1.5	17.7	60.0○	54.9○	12.6▲	0.7	60.4○	10.1○	86.2○
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	2.9○	29.5○	45.0▲	34.5▲	39.2○	1.8	68.2○	12.4○	89.7○
	65～69歳	400	1.3	25.3○	55.5	46.0	25.3○	3.0	64.0○	9.3	85.8
	70～74歳	463	1.5	17.1	60.0	54.0○	9.7▲	0.2	62.0	6.5	84.9
	75～79歳	369	1.4	10.3▲	61.0	56.4○	3.5▲	-	54.2	6.2	79.9
	80～84歳	273	0.4	12.8▲	63.4○	56.8○	1.8▲	0.4	50.9▲	7.0	79.9
	85～89歳	141	0.7	8.5▲	56.0	56.7	-	-	41.8▲	3.5	71.6▲
	90歳以上	58	-	10.3	63.8	48.3	-	-	27.6▲	1.7	74.1

		N	の 家 同 居 る・ 家 族 付 き 以 外 の	無 回 答
全	体		2,084	13.8
性 別	男 性	996	16.7○	3.4
	女 性	1,088	11.2▲	2.6
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	8.9▲	1.3▲
	65～69歳	400	12.3	2.0
	70～74歳	463	11.9	3.2
	75～79歳	369	16.0	4.1
	80～84歳	273	16.8	3.3
	85～89歳	141	24.8○	3.5
	90歳以上	58	17.2	8.6○

未既婚別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。なお、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、既婚（離別・死別）層で低くなっている。

一方、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は未婚層で36.8%と高くなっている。（図表Ⅲ-11）

<図表 Ⅲ-11> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは配偶者の父母は	あなたもしくは配偶者の祖父母は	兄弟・姉妹	その他	同居家族以外に付き合いのある親族あり	
全体			2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8	83.2
未既婚別	未婚	117	-	2.6▲	1.7▲	0.9▲	4.3▲	-	47.0▲	19.7	60.7▲	
	既婚（配偶者あり）	1,450	2.1	20.8	62.0	54.6	19.7	1.3	61.7	7.4	85.7	
	既婚（離別・死別）	508	-	15.4▲	55.5	47.4	4.5▲	0.4	51.8▲	6.1	81.7	
		N	同居家族以外に付き合いのある親族なし	無回答								
全体			2,084	13.8	3.0							
未既婚別	未婚	117	36.8	2.6								
	既婚（配偶者あり）	1,450	11.6▲	2.7								
	既婚（離別・死別）	508	15.2	3.1								

家族形態別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は、夫婦のみ、夫婦と子のみの層で高くなっている。また、「あなたもしくは配偶者の父母」「あなたもしくは配偶者の祖父母」「兄弟・姉妹」は2世代世帯の層で高くなっている。

一方、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。（図表Ⅲ-12）

<図表 Ⅲ-12> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	配あ 偶 な た も し く は	配あ 偶 な た も し く は	兄 弟 ・ 姉 妹	そ の 他	の 家 同 居 あ る ・ 家 族 付 き 以 外 の
全 体		2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8	83.2
家族 形態 別	単 身	347	3.7	16.1	49.3▲	40.9▲	4.0▲	0.3	56.2	11.2	84.1
	夫 婦 の み	785	-	24.2	74.1	65.6	19.0	1.1	61.1	8.2	88.9
	2 世 代 世 帯	423	0.2▲	18.2	48.0▲	41.1▲	24.1	2.4	68.1	7.3	87.2
	夫 婦 と 子 の み	351	-	16.0	47.0▲	40.2▲	29.1	2.0	67.5	7.1	87.5
	親と自分（夫婦）のみ	72	1.4	29.2	52.8	45.8	-	4.2	70.8	8.3	86.1
	3 世 代 世 帯	196	0.5	13.3	43.9▲	44.9	10.2▲	-	62.2	5.1	78.6
	自 分（夫婦）と子と孫	159	0.6	8.8▲	40.3▲	44.0	12.6	-	57.2	4.4	74.2▲
	親と自分（夫婦）と子	37	-	32.4	59.5	48.6	-	-	83.8	8.1	97.3
そ の 他	298	5.0	11.4▲	48.0▲	39.3▲	9.4▲	0.3	44.0▲	6.0	74.2▲	
		N	の 家 同 居 あ る ・ 家 族 付 き 以 外 の	無 回 答							
全 体		2,084	13.8	3.0							
家族 形態 別	単 身	347	13.0	2.9							
	夫 婦 の み	785	10.2▲	0.9▲							
	2 世 代 世 帯	423	11.8	0.9▲							
	夫 婦 と 子 の み	351	12.0	0.6▲							
	親と自分（夫婦）のみ	72	11.1	2.8							
	3 世 代 世 帯	196	20.9	0.5▲							
	自 分（夫婦）と子と孫	159	25.2	0.6							
	親と自分（夫婦）と子	37	2.7▲	-							
そ の 他	298	24.2	1.7								

(3) 社会貢献活動の実施状況と実施意向

社会貢献活動の実施の有無、および実施意向を捉えるため、以下のように尋ねた。

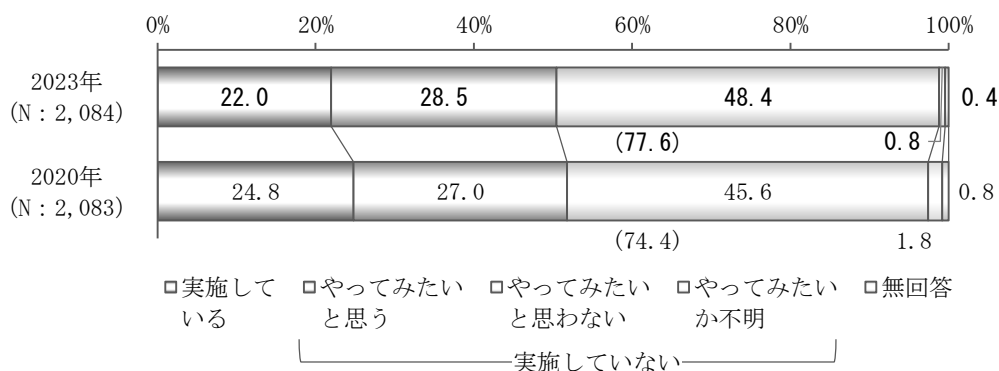
あなたは過去1年間にボランティアのような社会貢献活動をしましたか。
 1 はい 2 いいえ
 (前問で「いいえ」と答えた方へ) できることがあれば今後ボランティアのような社会貢献活動をやってみたい
 と思いますか。
 1 やってみたいと思う 2 やってみたいと思わない

その結果、社会貢献活動を「実施している」は22.0%で、「実施していない」は77.6%となっている。

実施していない人のうちでは、「やってみたいと思わない」が48.4%で、「やってみたいと思う」の28.5%を上回っている。

前回と比較すると、「実施している」が2.8ポイント減少し、「実施していない」が3.2ポイント増加している。(図表Ⅲ-13)

<図表 Ⅲ-13> 社会貢献活動の実施状況と実施意向



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「実施している」は75～79歳で高く、85歳以上の層で低くなっている。「やってみたいと思う」は、低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-14)

<図表 Ⅲ-14> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔性別・年齢別〕

(単位: %)

性別	年齢別	N	実施している	実施していない	思	思	不	無回答
					やう	やわ	や	
				つ	つ	明		
				み	な	つ		
				た	み	み		
				い	た	た		
				と	い	か		
全	体	2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4
性別	男	996	21.2	78.3	28.1	49.5	0.7	0.5
	女	1,088	22.7	76.9	28.8	47.3	0.8	0.4
本人年齢別	60～64歳	380	19.5	80.3	37.1	42.6▲	0.5	0.3
	65～69歳	400	23.0	77.0	34.5	41.8▲	0.8	-
	70～74歳	463	24.4	74.9	32.0	43.0▲	-	0.6
	75～79歳	369	26.0	73.4▲	21.1▲	51.8	0.5	0.5
	80～84歳	273	21.6	78.0	19.8▲	56.4	1.8	0.4
	85～89歳	141	14.2▲	84.4	16.3▲	66.0	2.1	1.4
	90歳以上	58	6.9▲	93.1	19.0	72.4	1.7	-

本人の現在の職業別にみると、「やってみたいと思う」は、民間企業被用者と非正規社員で高く、無職で低くなっている。(図表Ⅲ-15)

<図表 Ⅲ-15> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

	N	実施している	実施していない	思	思	不	無回答	
				やう	や	や		
				う	わ	明		
				つ	つ	つ		
				て	な	て		
				み	い	み		
				た	た	た		
				い	い	い		
				と	と	か		
全	2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4	
本人職業 (現在) 別	自 営 者	247	24.3	74.9	32.4	42.5▲	-	0.8
	農 林 漁 業	29	24.1	75.9	37.9	37.9	-	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	23.0	75.9	32.2	43.7	-	1.1
	自 由 業	44	29.5	70.5	29.5	40.9	-	-
	常 雇 被 用 者	212	20.8	79.2	41.5	36.8▲	0.9	-
	公 務 員	38	21.1	78.9	42.1	34.2	2.6	-
	民 間 企 業 被 用 者	174	20.7	79.3	41.4	37.4▲	0.6	-
	非 正 規 社 員	293	21.2	78.2	38.6	38.9▲	0.7	0.7
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	14.6	83.3	45.8	37.5	-	2.1
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	22.4	77.1	37.1	39.2▲	0.8	0.4
無 職	1,285	21.6	78.0	23.5▲	53.5	0.9	0.4	
そ の 他	31	32.3	67.7	25.8	41.9	-	-	

未既婚別にみると、「実施している」および「やってみたいと思う」は、既婚（配偶者あり）層で高くなっている。「やってみたいと思わない」は、既婚（離別・死別）層で高くなっている。(図表Ⅲ-16)

<図表 Ⅲ-16> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔未既婚別〕

(単位：%)

	N	実施している	実施していない	思	思	不	無回答	
				や	や	や		
				う	わ	明		
				つ	つ	つ		
				て	な	て		
				み	い	み		
				た	た	た		
				い	い	い		
				と	と	か		
全	2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4	
未既婚別	未 婚	117	16.2	83.8	26.5	56.4	0.9	-
	既 婚 (配 偶 者 あ り)	1,450	23.5	75.9▲	30.3	45.0▲	0.6	0.6
	既 婚 (離 別 ・ 死 別)	508	19.3	80.5	23.8▲	55.5	1.2	0.2

家族形態別にみると、「やってみたいと思わない」は、単身層で高くなっている。(図表Ⅲ-17)

<図表 Ⅲ-17> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔家族形態別〕

(単位：%)

		N	実施している	実施していない	思や うっ て み た い と	思や わっ な い み た い と	不 や 明 て み た い か	無 回 答
全 体		2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4
家族 形態 別	単 身	347	19.3	80.1	23.9▲	55.3	0.9	0.6
	夫 婦 の み	785	23.6	76.1	30.6	45.0▲	0.5	0.4
	2 世 代 世 帯	423	22.9	77.1	29.6	47.0	0.5	-
	夫 婦 と 子 の み	351	22.5	77.5	29.1	47.9	0.6	-
	親と自分(夫婦)のみ	72	25.0	75.0	31.9	43.1	-	-
	3 世 代 世 帯	196	24.0	75.0	28.1	46.4	0.5	1.0
	自 分 (夫 婦) と 子 と 孫	159	24.5	74.2	27.7	45.9	0.6	1.3
	親と自分(夫婦)と子	37	21.6	78.4	29.7	48.6	-	-
そ の 他	298	17.1▲	82.2	27.5	52.7	2.0	0.7	

(4) 生活で困った際の相談相手

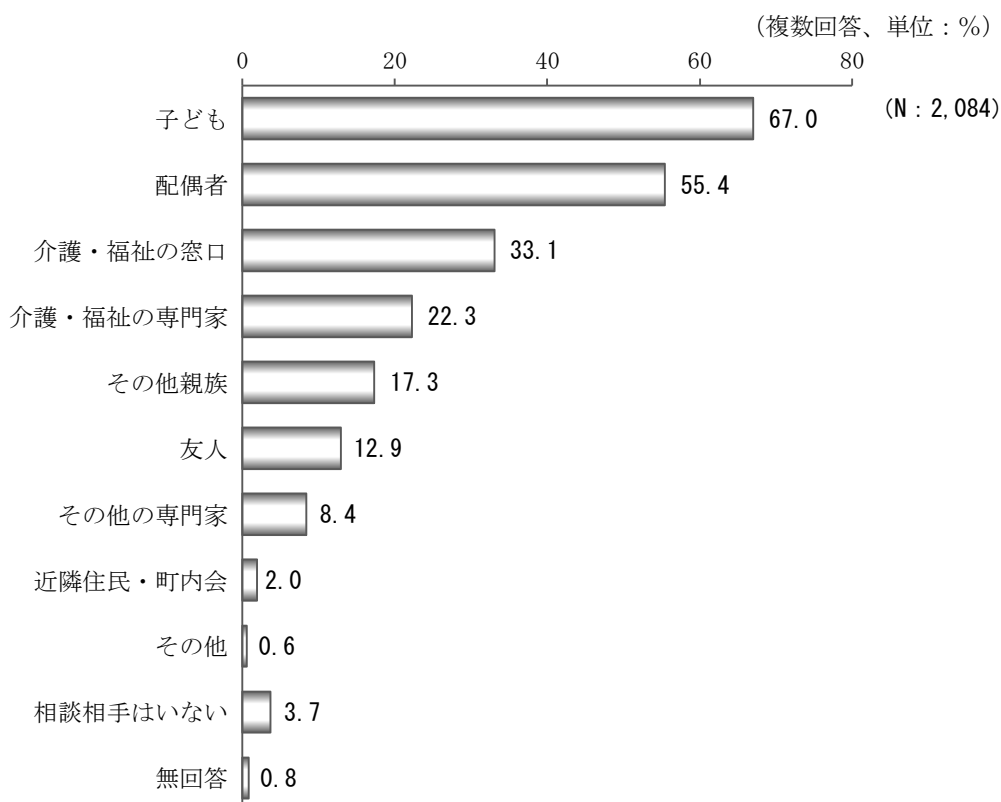
生活で困った際の相談相手を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは将来、生活で困ったことがある際にどのような人に相談をしますか。この中からすべてお答えください。
(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 その他親族
- 4 近隣住民・町内会
- 5 友人
- 6 介護・福祉の窓口（役所（福祉相談窓口）、社会福祉協議会、
地域包括支援センター、NPO法人）…………… 以下「介護・福祉の窓口」
- 7 介護・福祉の専門家（ケア・マネジャー（介護支援相談員）、
社会福祉士、民生委員、福祉委員等）…………… 以下「介護・福祉の専門家」
- 8 その他の専門家（弁護士、司法書士、会計士、税理士、
ファイナンシャルプランナー等）…………… 以下「その他の専門家」
- 9 その他
- 10 相談相手はいない

その結果、「子ども」が67.0%で最も多く、次いで「配偶者」が55.4%となっている。以下、「介護・福祉の窓口」が33.1%、「介護・福祉の専門家」が22.3%の順となっている。「相談相手はいない」は3.7%にとどまっている。（図表Ⅲ-18）

<図表 Ⅲ-18> 生活で困った際の相談相手



性別にみると、「配偶者」「その他の専門家」は、男性の方が女性を上回っている。「子ども」「介護・福祉の窓口」「介護・福祉の専門家」「友人」は女性の方が男性より高くなっている。また、「相談相手はいない」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「子ども」は高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられ、「配偶者」「友人」は低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-19)

<図表 Ⅲ-19> 生活で困った際の相談相手〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
性別	男性	996	57.4▲	63.7	29.7▲	19.7▲	16.5	11.2▲
	女性	1,088	75.7	47.9▲	36.1	24.6	18.1	14.4
本人年齢別	60～64歳	380	57.4▲	63.4	31.8	19.7	22.1	19.2
	65～69歳	400	61.5▲	61.3	37.0	22.3	21.5	17.8
	70～74歳	463	67.0	62.0	34.3	22.0	18.6	11.7
	75～79歳	369	72.9	54.5	34.7	23.0	12.5▲	10.8
	80～84歳	273	71.4	44.7▲	29.3	23.1	12.5▲	7.3▲
	85～89歳	141	75.9	34.0▲	29.1	25.5	13.5	7.8
	90歳以上	58	87.9	19.0▲	20.7▲	24.1	10.3	-

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
性別	男性	996	9.7	1.9	0.8	5.5	1.0
	女性	1,088	7.2▲	2.0	0.5	2.1▲	0.6
本人年齢別	60～64歳	380	10.8	2.4	1.3	2.6	0.3
	65～69歳	400	11.0	2.8	0.8	3.5	1.3
	70～74歳	463	8.0	1.9	0.2	3.9	1.1
	75～79歳	369	6.8	1.6	0.3	4.3	0.5
	80～84歳	273	7.3	1.1	0.4	4.8	0.7
	85～89歳	141	4.3	2.1	-	4.3	1.4
	90歳以上	58	3.4	-	3.4	1.7	-

未既婚別にみると、「子ども」は既婚（離別・死別）層で高くなっている。「その他親族」「友人」「その他の専門家」は、未婚層で高くなっている。また、「相談相手はいない」は、未婚層と既婚（離別・死別）層で高く、既婚（配偶者あり）層で低くなっている。（図表Ⅲ-20）

<図表 Ⅲ-20> 生活で困った際の相談相手〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全 体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
未既婚別	未 婚	117	3.4▲	-	41.0	29.1	41.0	27.4
	既婚（配偶者あり）	1,450	68.1	79.7	33.0	22.3	15.1▲	11.5▲
	既婚（離別・死別）	508	78.0	-	31.5	20.5	18.3	13.4

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全 体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
未既婚別	未 婚	117	17.9	3.4	0.9	7.7	1.7
	既婚（配偶者あり）	1,450	8.6	2.0	0.4	2.8▲	0.8
	既婚（離別・死別）	508	5.9▲	1.6	1.2	5.3	0.6

家族形態別にみると、「子ども」は、夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。「配偶者」は、夫婦のみ、夫婦と子のみの層で高くなっている。「その他親族」は単身層で、「友人」は単身層と親と自分（夫婦）のみの層で、それぞれ高くなっている。また、「相談相手はいない」は、単身層で高くなっている。（図表Ⅲ-21）

<図表 Ⅲ-21> 生活で困った際の相談相手〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全 体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
家族形態別	単 身	347	54.2▲	3.5▲	35.2	23.1	21.6	17.9
	夫 婦 の み	785	65.9	78.7	35.2	23.8	13.9▲	12.1
	2 世 代 世 帯	423	70.4	79.7	34.3	20.3	19.1	12.5
	夫 婦 と 子 の み	351	75.5	82.9	35.0	19.4	18.5	10.3
	親と自分（夫婦）のみ	72	45.8▲	63.9	30.6	25.0	22.2	23.6
	3 世 代 世 帯	196	79.1	54.1	21.4▲	18.9	15.8	8.7
	自 分（夫婦）と子と孫	159	81.1	47.2▲	20.1▲	16.4	17.0	8.8
	親と自分（夫婦）と子	37	70.3	83.8	27.0	29.7	10.8	8.1
そ の 他	298	72.8	21.5▲	32.2	21.8	20.5	13.1	

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全 体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
家族形態別	単 身	347	8.6	2.9	1.4	8.1	0.9
	夫 婦 の み	785	8.0	1.9	0.4	3.4	0.9
	2 世 代 世 帯	423	10.9	2.1	0.5	1.2▲	0.5
	夫 婦 と 子 の み	351	11.4	1.7	0.6	1.1▲	0.3
	親と自分（夫婦）のみ	72	8.3	4.2	-	1.4	1.4
	3 世 代 世 帯	196	6.1	1.5	-	4.1	0.5
	自 分（夫婦）と子と孫	159	5.0	0.6	-	5.0	-
	親と自分（夫婦）と子	37	10.8	5.4	-	-	2.7
そ の 他	298	7.0	1.3	1.0	2.7	1.3	

本人年収別にみると、「子ども」は100万円未満層で高く、「配偶者」は500～1,000万円未満層で高くなっている。「介護・福祉の窓口」「介護・福祉の専門家」「その他親族」「友人」は、100～500万円未満層で、「その他の専門家」は500～1,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-22)

<図表 Ⅲ-22> 生活で困った際の相談相手〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
本人年収別	収入はない	261	68.2	53.3	32.2	23.8	17.2	10.7
	100万円未満	458	75.8	57.9	33.4	19.2	13.8▲	12.4
	100～500万円未満	1,067	64.7▲	53.6	35.4	24.5	19.5	14.3
	500～1,000万円未満	155	63.2	67.1	24.5▲	14.8▲	16.8	11.6
	1,000～2,000万円未満	28	71.4	50.0	39.3	25.0	17.9	21.4
	2,000万円以上	9	44.4	55.6	-	-	-	11.1

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
本人年収別	収入はない	261	7.7	3.1	-	2.7	1.5
	100万円未満	458	5.0▲	1.7	0.2	3.1	0.4
	100～500万円未満	1,067	8.6	2.2	0.7	3.7	0.8
	500～1,000万円未満	155	18.7	1.3	1.3	3.9	-
	1,000～2,000万円未満	28	3.6	-	-	7.1	-
	2,000万円以上	9	22.2	-	11.1	11.1	-

世帯保有金融資産別にみると、「配偶者」「介護・福祉の専門家」「その他親族」「その他の専門家」は、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。「介護・福祉の窓口」は1,000～2,000万円未満層で高くなっている。また、「相談相手はいない」は、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅲ-23)

<図表 Ⅲ-23> 生活で困った際の相談相手〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全 体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
金融資産別 世帯保有	100万円未満	204	57.4▲	44.1▲	34.3	20.1	14.2	8.8
	100～500万円未満	265	66.8	46.0▲	32.8	21.1	15.1	12.8
	500～1,000万円未満	205	70.7	56.6	38.0	21.5	17.1	15.6
	1,000～2,000万円未満	280	68.2	66.4	38.2	22.5	20.0	15.7
	2,000万円以上	399	66.4	66.4	35.3	26.3	20.8	15.8
		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答	
全 体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8	
金融資産別 世帯保有	100万円未満	204	6.9	0.5	0.5	6.9	2.0	
	100～500万円未満	265	6.0	1.1	0.4	5.3	1.5	
	500～1,000万円未満	205	6.3	3.9	0.5	2.9	0.5	
	1,000～2,000万円未満	280	10.0	3.2	0.4	1.1▲	0.4	
	2,000万円以上	399	14.3	1.8	0.8	3.0	0.3	

(5) 相続・財産管理

①相続準備の有無

相続準備の有無を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたはご自身に万一があった場合のための相続準備をしていますか。この中からすべてお答えください。

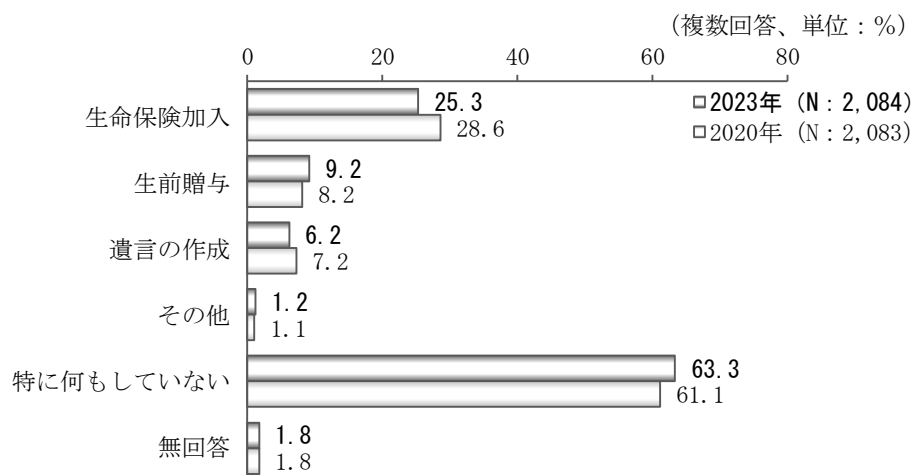
(○はいくつでも)

- 1 遺言の作成
- 2 生前贈与
- 3 生命保険加入
- 4 その他
- 5 特に何もしていない

その結果、相続準備については、「特に何もしていない」が63.3%を占めている。具体的な相続準備としては、「生命保険加入」が25.3%と最も多く、「生前贈与」が9.2%、「遺言の作成」が6.2%の順となっている。

前回と比較すると、「生命保険加入」が3.3ポイント減少している。(図表Ⅲ-24)

<図表 Ⅲ-24> 相続準備の有無



性別にみると、特に差がみられない。

年齢別にみると、「生命保険加入」は90歳以上で、「遺言の作成」は60～69歳の層で、それぞれ低くなっている。「生前贈与」は60～69歳の層で低く、75～79歳で高くなっている。また、「特に何もしていない」は、60～64歳で高くなっている。(図表Ⅲ-25)

<図表 Ⅲ-25> 相続準備の有無〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	そ の 他	い 特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
性 別	男 性	996	24.3	10.4	6.6	1.2	64.1	1.3
	女 性	1,088	26.2	8.1	5.8	1.3	62.7	2.2
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	25.8	6.1▲	3.2▲	1.6	67.9	0.8
	65～69歳	400	28.3	5.8▲	3.3▲	1.3	66.5	0.3▲
	70～74歳	463	26.6	11.2	7.3	0.9	62.0	1.3
	75～79歳	369	24.1	12.7	7.0	1.4	61.0	3.3
	80～84歳	273	23.4	11.0	8.8	1.5	60.1	2.6
	85～89歳	141	22.7	8.5	9.9	1.4	58.2	4.3
	90歳以上	58	13.8▲	8.6	10.3	-	65.5	3.4

未既婚別にみると、「特に何もしていない」は未婚層で80.3%と最も高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。(図表Ⅲ-26)

<図表 Ⅲ-26> 相続準備の有無〔未既婚別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	そ の 他	い 特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
未 既 婚 別	未 婚	117	15.4▲	3.4▲	6.0	-	80.3	-
	既婚（配偶者あり）	1,450	25.7	9.0	5.9	1.4	63.4	1.4
	既婚（離別・死別）	508	26.4	11.2	7.3	1.2	59.4▲	2.8

家族形態別にみると、「生命保険加入」は夫婦と子のみの層で、「生前贈与」は自分（夫婦）と子と孫の層で、「遺言の作成」は単身層で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-27）

<図表 Ⅲ-27> 相続準備の有無〔家族形態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その 他	い 特 な い 何 も し て	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
家族 形態 別	単 身	347	22.2	9.2	8.9	1.4	63.7	1.7
	夫 婦 の み	785	23.9	9.4	6.2	1.5	64.8	1.1
	2 世 代 世 帯	423	29.3	6.9	5.0	1.2	62.9	0.5▲
	夫 婦 と 子 の み	351	30.8	8.0	5.1	1.4	60.7	0.6
	親と自分（夫婦）のみ	72	22.2	1.4▲	4.2	-	73.6	-
	3 世 代 世 帯	196	24.5	13.3	3.6	-	61.7	5.1
	自分（夫婦）と子と孫	159	25.8	14.5	3.8	-	57.9	6.3
親と自分（夫婦）と子	37	18.9	8.1	2.7	-	78.4	-	
そ の 他	298	27.5	10.1	6.4	1.3	60.7	2.3	

本人年収別にみると、「生前贈与」「遺言の作成」は、500～1,000万円未満層で高くなっている。「特に何もしていない」は、100万円層で68.8%と最も高く、高年収層ほど低くなっている。（図表Ⅲ-28）

<図表 Ⅲ-28> 相続準備の有無〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その 他	い 特 な い 何 も し て	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
本人 年 収 別	収 入 は な い	261	21.8	8.4	5.7	0.8	65.5	3.4
	100 万 円 未 満	458	22.3	5.9▲	4.1▲	1.3	68.8	2.0
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	26.9	9.0	6.3	1.1	62.2	1.3
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	30.3	16.8	11.6	1.3	56.1	0.6
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	46.4	17.9	14.3	7.1	32.1▲	-
	2,000 万 円 以 上	9	33.3	66.7	11.1	-	11.1▲	11.1

世帯保有金融資産別にみると、「生命保険加入」「生前贈与」は、高資産層ほど高くなっている。「遺言の作成」は2,000万円以上層で高くなっている。一方、「特に何もしていない」は、100万円未満層で76.0%と高くなっている。(図表Ⅲ-29)

<図表 Ⅲ-29> 相続準備の有無〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	そ の 他	特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
金融 資産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	204	15.7▲	3.4▲	6.9	1.0	76.0	-
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	26.0	5.3▲	7.2	1.5	63.4	1.1
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	27.8	5.4▲	5.4	0.5	64.4	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	31.1	8.6	7.5	2.1	58.9	0.7
	2,000 万 円 以 上	399	32.1	22.1	8.8	2.3	49.9▲	0.5▲

②生前贈与の贈与先

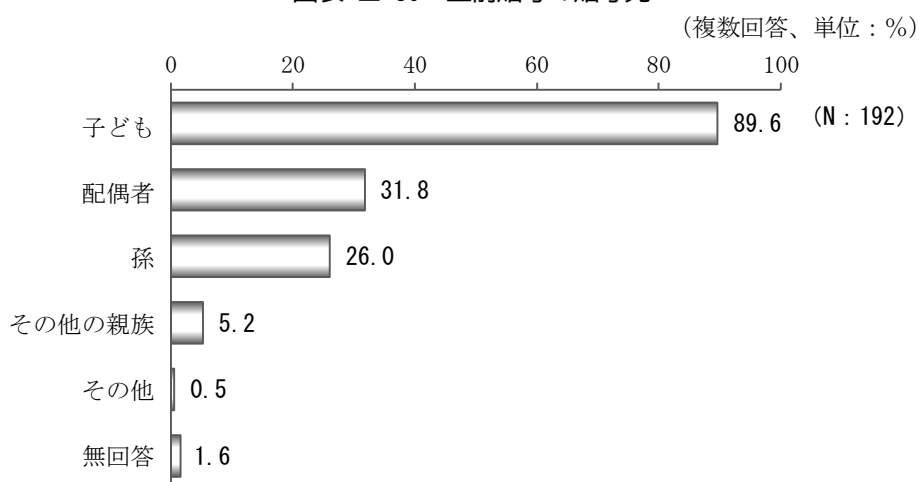
生前贈与の贈与先を捉えるため、以下のように尋ねた。

(前問で「生前贈与」と答えた方へ) その贈与先はどちらですか。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 孫
- 4 その他の親族
- 5 その他

その結果、「子ども」が89.6%と最も多く、次いで「配偶者」が31.8%、「孫」が26.0%の順となっている。(図表Ⅲ-30)

<図表 Ⅲ-30> 生前贈与の贈与先



性別にみると、「配偶者」は、男性の方が女性を大きく上回っている。「その他の親族」は、男性より女性が高くなっている。

年齢別にみると、特に差はみられない。(図表Ⅲ-31)

<図表 Ⅲ-31> 生前贈与の贈与先〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	孫	その他の親族	その他	無回答
全 体		192	89.6	31.8	26.0	5.2	0.5	1.6
性別	男 性	104	90.4	46.2	28.8	1.9▲	-	2.9
	女 性	88	88.6	14.8▲	22.7	9.1	1.1	-
本人年齢別	60～64歳	23	82.6	34.8	13.0	4.3	-	-
	65～69歳	23	91.3	39.1	30.4	4.3	-	-
	70～74歳	52	94.2	34.6	26.9	1.9	-	1.9
	75～79歳	47	85.1	36.2	31.9	10.6	2.1	2.1
	80～84歳	30	86.7	26.7	16.7	6.7	-	3.3
	85～89歳	12	100.0	8.3	50.0	-	-	-
	90歳以上	5	100.0	-	-	-	-	-

③判断能力低下時への準備の有無

判断能力低下時への準備について捉えるため、以下のように尋ねた。

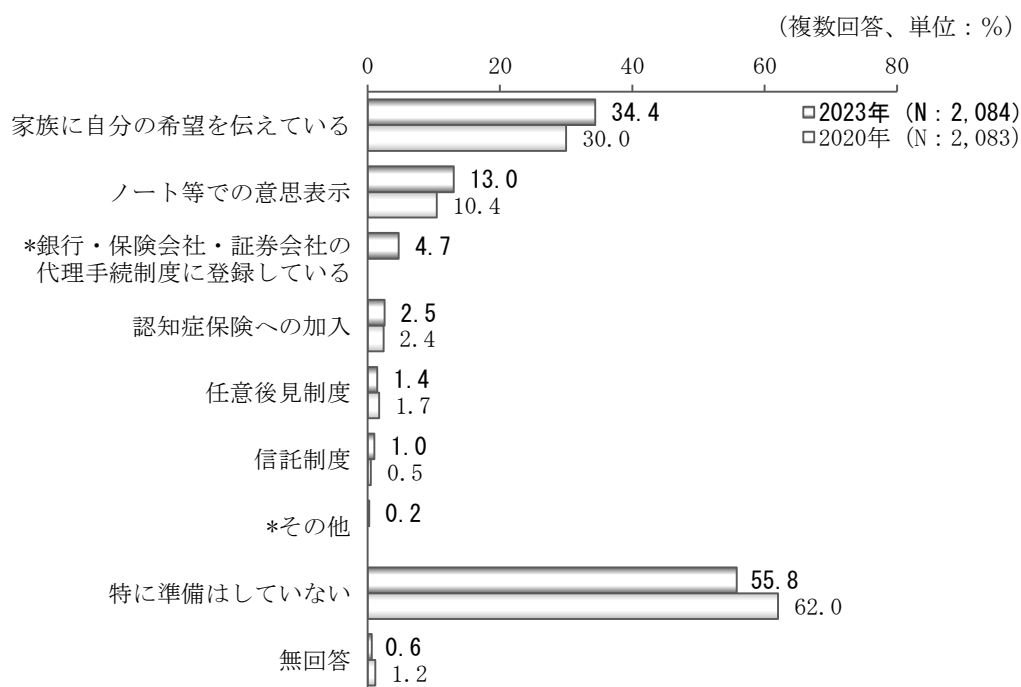
将来、判断能力が不十分になったときに備えてどのような準備をしていますか。この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 ノート等での意思表示
- 2 信託制度
- 3 任意後見制度
- 4 家族に自分の希望を伝えている
- 5 認知症保険への加入
- 6 銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している
- 7 その他
- 8 特に準備はしていない

その結果、「特に準備はしていない」が55.8%を占めている。具体的な準備としては、「家族に自分の希望を伝えている」が34.4%と最も多く、次いで「ノート等での意思表示」が13.0%、「銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している」が4.7%となっている。

前回と比較すると、「家族に自分の希望を伝えている」が4.4ポイント、「ノート等での意思表示」が2.6ポイント、いずれも増加している。一方、「特に準備はしていない」は6.2ポイント減少している。(図表Ⅲ-32)

<図表 Ⅲ-32> 判断能力低下時への準備の有無



* 2023年調査から新たに追加している

性別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」「ノート等での意思表示」「認知症保険への加入」は、女性の方が男性を上回っている。「特に準備はしていない」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は80～89歳の層で高く、60～69歳の層で低くなっている。「ノート等での意思表示」は75～79歳で高く、「銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している」は80～84歳で高く、いずれも60～64歳で低くなっている。「認知症保険への加入」「任意後見制度」は、65～69歳で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は60～64歳で高く、75～84歳の層で低くなっている。(図表Ⅲ-33)

<図表 Ⅲ-33> 判断能力低下時への準備の有無〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝えている	ノート等での意思表示	登録している銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
性別	男性	996	27.3▲	11.2▲	3.8	1.8▲	1.8	1.4	0.1	64.3	0.3
	女性	1,088	40.9	14.6	5.5	3.2	1.1	0.6	0.4	48.1▲	0.9
本人年齢別	60～64歳	380	23.9▲	7.9▲	1.6▲	1.8	1.8	1.3	0.3	71.1	-
	65～69歳	400	30.0▲	10.5	5.0	4.5	3.0	1.5	-	59.3	-
	70～74歳	463	36.3	13.2	4.5	2.2	1.3	0.2	0.4	54.0	0.4
	75～79歳	369	38.5	19.0	5.1	3.0	0.8	0.8	-	48.8▲	1.9
	80～84歳	273	41.0	16.5	7.7	1.1	0.7	1.5	-	46.5▲	1.5
	85～89歳	141	42.6	12.8	6.4	2.8	-	0.7	0.7	48.2	-
	90歳以上	58	41.4	8.6	3.4	-	-	1.7	1.7	53.4	-

未既婚別にみると、「信託制度」は、既婚（離別・死別）層で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は未婚層で高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。(図表Ⅲ-34)

<図表 Ⅲ-34> 判断能力低下時への準備の有無〔未既婚別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝えている	ノート等での意思表示	登録している銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
未既婚別	未婚	117	12.0▲	10.3	7.7	5.1	3.4	0.9	-	71.8	-
	既婚（配偶者あり）	1,450	34.9	12.8	4.7	2.3	1.3	0.8	0.2	56.3	0.5
	既婚（離別・死別）	508	37.8	14.2	3.9	2.8	1.4	1.8	0.4	50.8▲	1.2

家族形態別にみると、「ノート等での意思表示」は夫婦のみ層で高く、夫婦と子のみ、3世代世帯の層で低くなっている。「認知症保険への加入」は親と自分(夫婦)のみ、自分(夫婦)と子と孫の層で、「任意後見制度」は単身層で、それぞれ高くなっている。また、「特に準備はしていない」は夫婦と子のみ層で高く、夫婦のみ層で低くなっている。(図表Ⅲ-35)

<図表 Ⅲ-35> 判断能力低下時への準備の有無〔家族形態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝える	ノート等での意思表示	登録している銀行・代理店・証券会社の手続・証券	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
家族形態別	単身	347	30.0	14.7	4.6	3.2	2.9	1.4	0.3	57.1	0.6
	夫婦のみ	785	36.9	16.2	5.0	2.4	1.1	0.8	0.1	53.0▲	0.6
	2世代世帯	423	28.1▲	8.5▲	5.0	2.4	0.7	0.9	0.5	64.8	-
	夫婦と子のみ	351	28.2▲	8.5▲	5.7	1.4	0.6	1.1	0.6	65.2	-
	親と自分(夫婦)のみ	72	27.8	8.3	1.4	6.9	1.4	-	-	62.5	-
	3世代世帯	196	37.2	8.2▲	4.6	4.1	1.5	-	-	55.1	1.0
	自分(夫婦)と子と孫	159	39.6	10.1	5.7	5.0	1.3	-	-	50.9	1.3
	親と自分(夫婦)と子	37	27.0	-	-	-	2.7	-	-	73.0	-
その他	298	39.3	12.4	3.7	1.7	1.3	1.7	0.3	51.0	0.7	

本人年収別にみると、「信託制度」は500～1,000万円未満層で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は100万円未満層で低くなっている。(図表Ⅲ-36)

<図表 Ⅲ-36> 判断能力低下時への準備の有無〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝える	ノート等での意思表示	登録している銀行・代理店・証券会社の手続・証券	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
本人年収別	収入はない	261	35.2	12.3	3.1	0.8	0.8	-	0.4	56.7	0.8
	100万円未満	458	38.0	13.5	4.6	2.0	1.3	0.9	0.2	51.3▲	0.9
	100～500万円未満	1,067	33.3	13.9	5.0	3.1	1.4	0.9	0.3	57.1	0.4
	500～1,000万円未満	155	28.4	9.0	5.2	2.6	3.2	3.9	-	61.9	0.6
	1,000～2,000万円未満	28	39.3	14.3	3.6	10.7	3.6	3.6	-	50.0	-
	2,000万円以上	9	22.2	11.1	33.3	-	11.1	-	-	55.6	-

世帯保有金融資産別にみると、「銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している」は、高資産層ほど高くなっている。「信託制度」は、1,000～2,000万円未満層で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は、高資産層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-37)

<図表 Ⅲ-37> 判断能力低下時への準備の有無〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝える	ノート等での意思表示	登録している銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度・証券	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
金融資産別	100万円未満	204	28.9	11.8	1.5▲	1.0	1.5	0.5	-	62.7	-
	100～500万円未満	265	35.1	14.0	4.5	2.6	0.8	0.4	0.4	56.2	-
	500～1,000万円未満	205	31.7	15.6	4.9	2.0	1.0	0.5	0.5	59.0	-
	1,000～2,000万円未満	280	36.8	12.9	6.4	2.9	2.1	2.5	0.4	53.6	0.7
	2,000万円以上	399	36.3	15.0	7.3	3.5	2.0	1.8	-	50.6▲	0.3

④判断能力低下時の相談相手

判断能力が不十分になったときの相談相手を捉えるため、以下のように尋ねた。

将来、判断能力が不十分になったときにどのような相談相手がありますか。この中からすべてお答えください。
(○はいくつでも)

1 配偶者	10 弁護士
2 子ども	11 司法書士
3 その他親族	12 社会福祉士
4 近隣住民・町内会	13 民生委員
5 友人	14 福祉委員
6 役所（福祉相談窓口）	15 ケア・マネジャー（介護支援相談員）
7 社会福祉協議会	16 その他
8 地域包括支援センター	17 相談相手はいない
9 NPO法人	

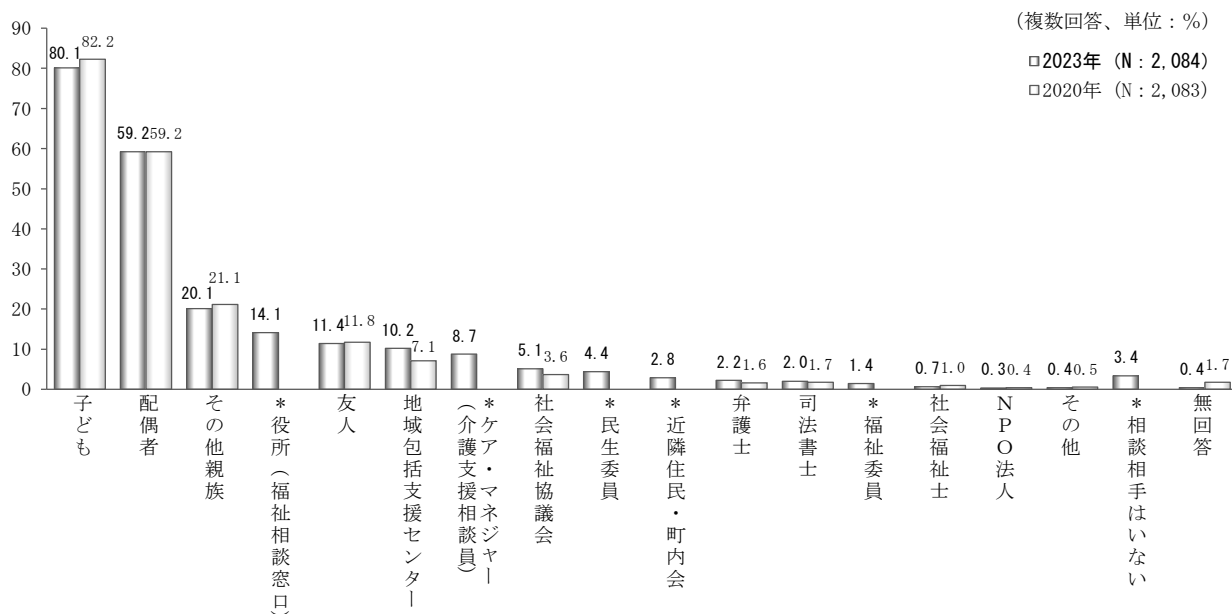
判断能力低下時の相談相手については、「子ども」が80.1%を占め、最も多くなっている。次いで、「配偶者」が59.2%、「その他親族」が20.1%と続いている。

組織、専門家の相談相手としては、「役所（福祉相談窓口）」が14.1%、「地域包括支援センター」が10.2%、「ケア・マネジャー（介護支援相談員）」が8.7%となっている。

また、「相談相手はいない」は3.4%にとどまっている。

前回と比較すると、「地域包括支援センター」が3.1ポイント、「社会福祉協議会」が1.5ポイント、いずれも増加している。（図表Ⅲ-38）

<図表 Ⅲ-38> 判断能力低下時の相談相手



* 2023年調査から新たに追加している

性別にみると、「配偶者」は、女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「子ども」「友人」「地域包括支援センター」「ケア・マネジャー（介護支援相談員）」は、女性の方が男性を上回っている。また、「相談相手はいない」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「その他親族」「友人」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。一方、「子ども」「ケア・マネジャー（介護支援相談員）」は、高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。「役所（福祉相談窓口）」は65～69歳で、「民生委員」は70～74歳で、「福祉委員」は80～84歳で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-39）

<図表 Ⅲ-39> 判断能力低下時の相談相手〔性別・年齢別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 （福祉相談窓口）	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー （介護支援相談員）	社会福祉協議会	民生委員
全体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
性別	男性	996	73.7▲	70.7	18.4	14.1	9.3▲	8.0▲	7.3▲	5.7	4.4
	女性	1,088	85.9	48.7▲	21.7	14.2	13.2	12.2	10.0	4.5	4.3
本人年齢別	60～64歳	380	71.6▲	67.4	26.1	14.5	14.7	9.2	6.3	6.8	2.1▲
	65～69歳	400	74.3▲	63.8	23.0	18.5	15.5	11.0	6.8	4.5	1.8▲
	70～74歳	463	81.0	67.4	21.0	16.6	11.7	8.2	9.5	5.4	6.5
	75～79歳	369	84.8	57.7	16.8	8.9▲	10.6	11.1	8.1	5.4	5.4
	80～84歳	273	86.1	49.1▲	15.0▲	12.1	6.2▲	12.5	9.9	4.8	4.4
	85～89歳	141	87.2	36.9▲	14.9	11.3	5.7▲	12.8	14.2	2.1	7.1
90歳以上	58	93.1	20.7▲	12.1	10.3	1.7▲	5.2	17.2	1.7	6.9	
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
性別	男性	996	2.6	2.8	2.4	1.4	0.9	0.4	0.6	5.0	0.3
	女性	1,088	3.0	1.7	1.7	1.4	0.5	0.3	0.2	1.9▲	0.6
本人年齢別	60～64歳	380	1.8	1.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	4.5	-
	65～69歳	400	2.8	3.0	2.0	0.8	0.8	-	0.8	5.0	0.3
	70～74歳	463	3.9	2.6	2.2	1.5	0.6	0.4	0.2	2.6	-
	75～79歳	369	2.7	2.2	2.4	1.6	1.1	0.5	-	2.7	1.4
	80～84歳	273	2.9	1.8	2.6	2.9	0.4	-	-	2.6	1.1
	85～89歳	141	3.5	0.7	2.8	1.4	-	-	-	3.5	-
90歳以上	58	-	1.7	1.7	-	-	-	1.7	-	-	

未既婚別にみると、「子ども」は既婚（配偶者あり）層と既婚（離別・死別）層で高くなっている。「その他親族」「役所（福祉相談窓口）」「友人」「福祉委員」は、未婚層で高くなっている。また、「相談相手はいない」は未婚層で高く、既婚（配偶者あり）層で低くなっている。（図表Ⅲ-40）

<図表 Ⅲ-40> 判断能力低下時の相談相手〔未既婚別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所（福祉相談窓口）	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー（介護支援相談員）	社会福祉協議会	民生委員
全	体	2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
未既婚別	未婚	117	4.3▲	-	56.4	26.5	22.2	12.0	9.4	6.8	3.4
	既婚（配偶者あり）	1,450	85.0	85.1	16.6▲	13.2	10.8	10.4	8.3	5.2	4.3
	既婚（離別・死別）	508	83.5	-	21.7	14.0	10.6	9.3	9.6	4.1	4.5
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全	体	2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
未既婚別	未婚	117	3.4	4.3	2.6	4.3	-	0.9	2.6	16.2	0.9
	既婚（配偶者あり）	1,450	3.0	2.3	2.0	1.0▲	0.7	0.2	0.1▲	1.9▲	0.2▲
	既婚（離別・死別）	508	2.2	1.6	2.0	2.0	0.8	0.6	0.8	4.5	1.0

家族形態別にみると、「子ども」は、夫婦のみ、夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。「配偶者」は、夫婦のみ、夫婦と子のみの層で高くなっている。「その他親族」「友人」は単身、親と自分（夫婦）のみの層で高くなっている。「役所（福祉相談窓口）」は単身層で、「地域包括支援センター」は親と自分（夫婦）のみ層で、「福祉委員」は単身、自分（夫婦）と子と孫の層で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-41）

<図表 Ⅲ-41> 判断能力低下時の相談相手〔家族形態別〕

		(複数回答、単位：%)									
		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 (福祉相談窓口)	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー (介護支援相談員)	社会福祉協議会	民生委員
全体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
家族形態別	単身	347	59.7▲	3.2▲	27.7	19.0	15.3	8.6	10.1	5.2	6.1
	夫婦のみ	785	83.3	85.4	14.3▲	13.6	10.4	11.2	8.9	5.2	5.1
	2世代世帯	423	85.6	85.1	22.7	12.5	11.6	9.0	6.6	5.4	3.3
	夫婦と子のみ	351	90.9	89.2	21.1	11.4	9.7	7.1▲	5.7▲	5.7	3.4
	親と自分(夫婦)のみ	72	59.7▲	65.3	30.6	18.1	20.8	18.1	11.1	4.2	2.8
	3世代世帯	196	88.3	54.6	18.9	13.8	9.2	9.2	10.2	4.1	4.1
	自分(夫婦)と子と孫	159	87.4	46.5▲	19.5	13.8	10.1	10.1	11.3	4.4	5.0
	親と自分(夫婦)と子	37	91.9	89.2	16.2	13.5	5.4	5.4	5.4	2.7	-
その他	298	83.2	22.8▲	23.5	12.1	11.1	12.1	9.7	4.7	2.0▲	
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
家族形態別	単身	347	3.5	2.3	2.9	3.7	0.9	0.6	1.4	8.9	0.3
	夫婦のみ	785	3.4	2.2	2.3	0.9	0.6	0.1	-	1.9▲	0.3
	2世代世帯	423	2.1	2.8	1.2	0.5	0.7	0.5	0.2	1.2▲	-
	夫婦と子のみ	351	2.0	2.8	1.4	0.3	0.6	0.6	0.3	0.9▲	-
	親と自分(夫婦)のみ	72	2.8	2.8	-	1.4	1.4	-	-	2.8	-
	3世代世帯	196	2.6	2.0	1.5	2.6	-	0.5	-	4.6	0.5
	自分(夫婦)と子と孫	159	2.5	2.5	1.9	3.1	-	0.6	-	5.7	0.6
	親と自分(夫婦)と子	37	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	298	2.0	1.3	1.3	0.7	1.0	0.3	0.7	3.0	1.3	

本人年収別にみると、「子ども」は100万円未満層で、「配偶者」は500～1,000万円未満層で、「その他親族」「地域包括支援センター」は100～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-42)

<図表 Ⅲ-42> 判断能力低下時の相談相手〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 (福祉相談窓口)	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー (介護支援相談員)	社会福祉協議会	民生委員
全 体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
本人 年 収 別	取 入 は な い	261	80.8	55.2	19.2	12.3	10.7	9.2	11.1	5.0	6.5
	100 万 円 未 満	458	84.5	58.5	16.8▲	14.2	12.7	8.5	7.9	4.1	3.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	79.1	57.8	22.4	15.4	11.5	11.9	9.3	5.7	4.6
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	80.0	76.1	18.7	9.7	12.3	9.7	7.7	4.5	3.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	78.6	60.7	21.4	25.0	7.1	10.7	7.1	7.1	14.3
	2,000 万 円 以 上	9	77.8	88.9	-	-	11.1	-	11.1	-	-
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全 体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
本人 年 収 別	取 入 は な い	261	2.7	1.1	0.4▲	2.7	0.8	-	-	3.8	1.1
	100 万 円 未 満	458	2.8	1.7	1.3	1.1	0.4	-	0.2	2.4	0.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	3.1	1.8	2.4	1.5	0.7	0.3	0.5	3.8	0.2
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	3.2	3.9	3.9	0.6	1.3	1.3	1.3	0.6▲	-
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	-	7.1	-	-	-	-	3.6	3.6	-
	2,000 万 円 以 上	9	-	44.4	11.1	-	-	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「子ども」は100万円未満層で低く、1,000～2,000万円未満層で高くなっている。「配偶者」は、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。「地域包括支援センター」は1,000万円以上の層で、「弁護士」「司法書士」は2,000万円以上層で、それぞれ高くなっている。「福祉委員」は100万円未満層で、「社会福祉士」は1,000～2,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-43)

<図表 Ⅲ-43> 判断能力低下時の相談相手〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 (福祉相談窓口)	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー (介護支援相談員)	社会福祉協議会	民生委員
全体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
金融資産別	100万円未満	204	73.5▲	49.5▲	15.7	16.7	10.8	6.9	7.4	7.4	3.4
	100～500万円未満	265	78.1	49.4▲	19.6	14.0	13.2	10.6	8.7	4.2	6.0
	500～1,000万円未満	205	84.9	62.0	23.4	12.7	11.7	8.3	5.4	3.9	4.4
	1,000～2,000万円未満	280	85.0	67.9	22.1	15.0	13.2	13.6	9.3	5.7	5.7
	2,000万円以上	399	79.2	71.2	23.1	14.3	12.3	14.5	9.5	6.3	4.5
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
金融資産別	100万円未満	204	1.0	2.0	1.5	3.9	1.0	0.5	1.0	4.9	1.0
	100～500万円未満	265	3.4	2.3	-	2.6	0.4	0.4	-	3.8	-
	500～1,000万円未満	205	2.4	0.5	-	1.5	0.5	0.5	0.5	2.4	-
	1,000～2,000万円未満	280	3.6	2.5	2.9	1.4	1.8	0.7	0.4	2.5	-
	2,000万円以上	399	3.8	5.0	5.3	0.5	0.5	0.3	-	1.8▲	-

⑤判断能力低下時の金融資産の取扱い方

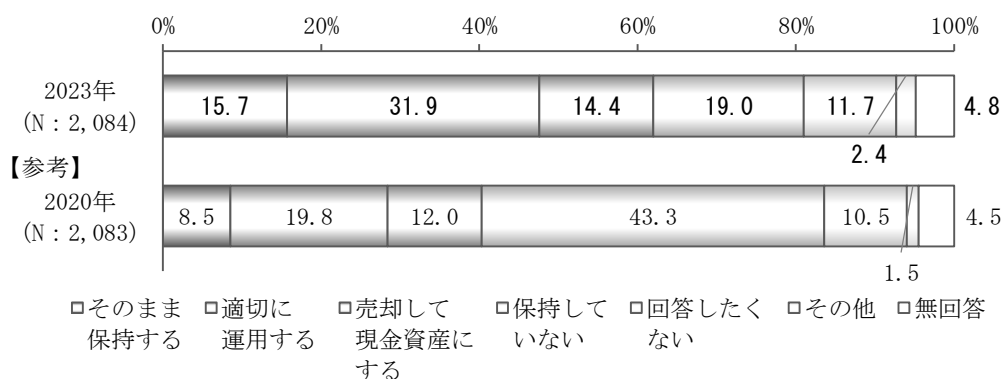
判断能力が不十分になったときに、家族や成年後見人に望む金融資産の取扱い方を捉えるため、以下のように尋ねた。

将来、判断能力が不十分になったときに株や証券、保険などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。この中から1つだけお答えください。

- 1 そのまま保持する
- 2 適切に運用する
- 3 売却して現金資産にする
- 4 保持していない
- 5 回答したくない
- 6 その他

その結果、具体的な取扱い方としては、「適切に運用する」が31.9%と最も多く、「そのまま保持する」が15.7%、「売却して現金資産にする」が14.4%と続いている。また、金融資産を「保持していない」が19.0%、「回答したくない」が11.7%となっている。(図表Ⅲ-44)

<図表 Ⅲ-44> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方



※前回との比較にあたり、質問文が、前回「将来、判断能力が不十分になったときに株や証券などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。」から、今回「将来、判断能力が不十分になったときに株や証券、保険などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。」に変更されたことに留意する必要がある。

性別にみると、「そのまま保持する」は、女性の方が男性より高くなっている。
 年齢別にみると、「適切に運用する」は、60～69歳の層で高く、80～89歳の層で低くなっている。
 「売却して現金資産にする」は、60～64歳で高くなっている。(図表Ⅲ-45)

<図表 Ⅲ-45> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 ない持 いし て	ない回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
性 別	男 性	996	13.8▲	33.9	15.0	19.6	11.0	1.9	4.8
	女 性	1,088	17.5	30.1	13.9	18.5	12.3	2.9	4.9
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	12.1▲	36.8	22.4	13.9▲	10.8	1.6	2.4▲
	65～69歳	400	14.3	37.3	11.8	18.5	13.8	2.0	2.5▲
	70～74歳	463	15.8	32.0	13.6	20.7	10.8	2.2	5.0
	75～79歳	369	16.8	30.9	13.8	18.7	9.8	2.4	7.6
	80～84歳	273	19.0	24.9▲	12.8	21.6	13.2	3.3	5.1
	85～89歳	141	20.6	22.0▲	9.9	22.0	14.2	4.3	7.1
	90歳以上	58	13.8	25.9	8.6	24.1	10.3	5.2	12.1

未既婚別にみると、「適切に運用する」「売却して現金資産にする」は、既婚（配偶者あり）層で高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。「保持していない」は既婚（離別・死別）層で高くなっている。(図表Ⅲ-46)

<図表 Ⅲ-46> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔未既婚別〕

(単位：%)

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 ない持 いし て	ない回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
未 既 婚 別	未 婚	117	8.5▲	23.9	17.9	18.8	22.2	5.1	3.4
	既婚（配偶者あり）	1,450	16.1	34.2	15.4	17.9	10.1▲	1.9▲	4.3
	既婚（離別・死別）	508	16.5	27.4▲	10.8▲	22.2	14.0	3.3	5.7

家族形態別にみると、「売却して現金資産にする」は、夫婦のみ、親と自分（夫婦）のみの層で高くなっている。「適切に運用する」は単身層で低くなっている。（図表Ⅲ-47）

<図表 Ⅲ-47> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔家族形態別〕

（単位：％）

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 な持 いし て	な回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
家 族 形 態 別	単 身	347	15.9	20.5▲	13.3	21.9	16.7	4.0	7.8
	夫 婦 の み	785	14.4	33.4	17.8	18.7	9.8▲	2.3	3.6▲
	2 世 代 世 帯	423	17.5	35.0	14.9	17.3	11.6	0.7▲	3.1
	夫 婦 と 子 の み	351	17.9	36.2	12.5	17.4	11.7	0.6▲	3.7
	親と自分（夫婦）のみ	72	15.3	29.2	26.4	16.7	11.1	1.4	-
	3 世 代 世 帯	196	16.3	37.2	10.7	17.9	10.7	1.0	6.1
	自 分（夫 婦）と 子 と 孫	159	16.4	36.5	10.1	18.9	10.1	1.3	6.9
親と自分（夫婦）と子	37	16.2	40.5	13.5	13.5	13.5	-	2.7	
そ の 他	298	16.8	33.6	9.4▲	19.8	12.1	3.7	4.7	

本人年収別にみると、「適切に運用する」は、収入はない、100万円未満層で低く、100～1,000万円未満層で高くなっている。「保持していない」は、100万円未満層で高くなっている。（図表Ⅲ-48）

<図表 Ⅲ-48> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔本人年収別〕

（単位：％）

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 な持 いし て	な回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
本 人 年 収 別	収 入 は な い	261	16.1	22.6▲	13.4	23.4	14.6	2.3	7.7
	100 万 円 未 満	458	17.7	26.4▲	11.8	23.8	13.8	2.8	3.7
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	15.6	34.3	15.6	17.3▲	9.7▲	2.6	4.9
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	14.2	43.9	16.8	12.3▲	8.4	0.6	3.9
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	17.9	39.3	25.0	7.1	10.7	-	-
	2,000 万 円 以 上	9	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「適切に運用する」「売却して現金資産にする」は、高資産層になるほど高くなっている傾向がみられる。一方、「保持していない」は、低資産層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-49)

<図表 Ⅲ-49> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし て現 金	い保 ない持 いして	な回 い答 した たく	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	204	14.7	18.1▲	6.4▲	39.7	14.2	2.9	3.9
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	17.7	35.1	12.1	19.6	9.8	2.3	3.4
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	19.5	31.7	14.1	21.0	8.8	1.5	3.4
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	16.4	40.7	20.4	11.8▲	5.4▲	1.1	4.3
	2,000 万 円 以 上	399	15.0	41.9	23.3	7.8▲	6.3▲	2.5	3.3

⑥判断能力低下時の金融資産の取扱い者

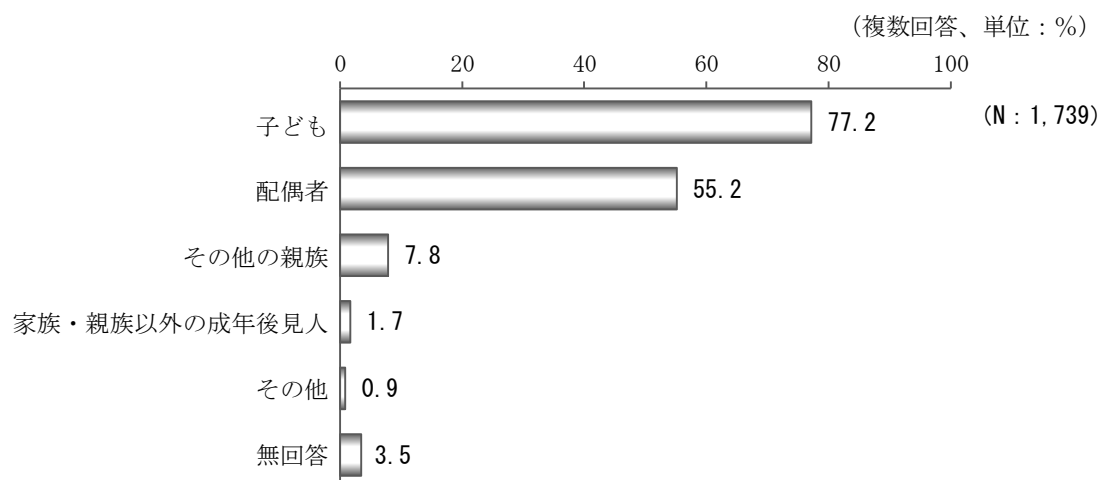
判断能力低下時の金融資産の取扱い者を捉えるため、以下のように尋ねた。

(前問で1～4、6と答えた方(「回答したくない」以外の回答の方)に)その際、家族の誰に扱ってほしいですか。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 その他の親族
- 4 家族・親族以外の成年後見人に託したい …………… 以下「家族・親族以外の成年後見人」
- 5 その他

その結果、「子ども」が77.2%と最も多く、次いで「配偶者」が55.2%となっている。(図表Ⅲ-50)

<図表 Ⅲ-50> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者



性別にみると、「子ども」は、女性の方が男性を上回っている。「配偶者」は、男性の方が女性を大きく上回っている。「家族・親族以外の成年後見人」は、女性より男性が高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「その他の親族」は、低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-51)

<図表 Ⅲ-51> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・親族以外の成年後見人	その他	無回答
全体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
性別	男性	838	71.4▲	69.1	8.4	2.5	1.3	2.5▲
	女性	901	82.7	42.3▲	7.3	0.9▲	0.4	4.3
本人年齢別	60～64歳	330	73.9	62.1	13.3	1.8	0.9	1.8
	65～69歳	335	72.8▲	60.0	9.0	2.7	0.9	3.6
	70～74歳	390	76.9	60.0	7.2	1.8	1.0	3.8
	75～79歳	305	79.3	56.4	6.2	1.6	0.7	2.6
	80～84歳	223	81.6	46.2▲	4.0▲	0.9	0.4	4.5
	85～89歳	111	82.0	32.4▲	3.6	-	1.8	6.3
	90歳以上	45	88.9	20.0▲	4.4	-	-	4.4

未既婚別にみると、「子ども」は、既婚（配偶者あり）層と既婚（離別・死別）層で高くなっている。「その他の親族」「家族・親族以外の成年後見人」は、未婚層で高くなっている。（図表Ⅲ-52）

<図表 Ⅲ-52> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・成年・後見人以外	その他	無回答
全 体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
未既婚別	未 婚	87	5.7▲	-	67.8	14.9	5.7	9.2
	既婚（配偶者あり）	1,241	78.7	77.4	3.5▲	0.6▲	0.4▲	2.5▲
	既婚（離別・死別）	408	88.0	-	8.3	2.2	1.2	4.9

家族形態別にみると、「子ども」は、夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。「配偶者」は、夫婦のみ、夫婦と子のみ層で高くなっている。「その他の親族」は、単身、親と自分（夫婦）のみの層で、「家族・親族以外の成年後見人」は単身層で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-53）

<図表 Ⅲ-53> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・成年・後見人以外	その他	無回答
全 体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
家族形態別	単 身	262	64.5▲	3.4▲	23.7	6.9	3.1	6.5
	夫 婦 の み	680	76.8	78.1	4.6▲	0.3▲	0.4	2.6
	2 世 代 世 帯	361	80.3	77.0	4.4▲	1.1	0.3	1.7▲
	夫 婦 と 子 の み	297	83.8	79.8	1.0▲	0.3▲	-	2.0
	親と自分（夫婦）のみ	64	64.1▲	64.1	20.3	4.7	1.6	-
	3 世 代 世 帯	163	89.0	49.1	1.2▲	0.6	-	2.5
	自 分（夫婦）と子と孫	132	90.2	40.9▲	1.5▲	0.8	-	3.0
	親と自分（夫婦）と子	31	83.9	83.9	-	-	-	-
そ の 他	248	79.8	20.6▲	10.1	1.2	1.2	4.8	

本人年収別にみると、「配偶者」は500～1,000万円未満層で、「その他の親族」は100～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-54)

<図表 Ⅲ-54> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・ 成年・ 後親 見族 人以外	その他	無回答
全体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
本人 年収 別	収入はない	203	73.9	50.2	9.4	-	2.0	6.9
	100万円未満	378	81.0	53.4	4.2▲	1.3	0.5	4.0
	100～500万円未満	911	76.3	54.8	9.8	2.2	1.0	2.6
	500～1,000万円未満	136	79.4	75.0	4.4	2.2	-	0.7
	1,000～2,000万円未満	25	72.0	40.0	8.0	4.0	-	-
	2,000万円以上	8	87.5	87.5	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「配偶者」は、高資産層ほど高くなっている。「家族・親族以外の成年後見人」は、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅲ-55)

<図表 Ⅲ-55> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・ 成年・ 後親 見族 人以外	その他	無回答
全体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
金融 資産 別 世帯 保有	100万円未満	167	65.9▲	41.9▲	7.8	3.6	1.8	9.6
	100～500万円未満	230	77.0	47.4▲	10.4	2.2	0.4	1.3
	500～1,000万円未満	180	80.0	53.9	6.7	0.6	0.6	2.8
	1,000～2,000万円未満	253	79.4	66.0	9.1	1.2	0.4	1.6
	2,000万円以上	361	78.7	67.6	9.1	2.2	0.3	0.6▲

第IV章 就労

ここでは、自分自身の現在および過去の就労状況について、捉えている。

1. 現在の就労形態

(1) 本人の現在の就労形態

本人の現在の就労形態を捉えるため、自身の職業について以下のように尋ねた。

あなたのご職業は何ですか。(何でしたか。) この中から1つだけお答えください。

なお、既にご退職された方は、最も長く従事したご職業をお答えください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 農・林・漁業の自営者・家族従事者 | 7 民間企業（正社員） |
| 2 商工・サービス業の自営者（法人組織の経営者） | 8 派遣社員・契約社員 |
| 3 商工・サービス業の自営者（個人事業の経営者） | 9 パート・アルバイト |
| 4 商工・サービス業の家族従事者 | 10 無職（専業主婦・主夫を含む） |
| 5 自由業 | 11 その他 |
| 6 公務員 | |

【本人の現在の就労形態】

以下①～②のいずれかに該当する者をベース（※）に、上記の回答を以下のように設定した。

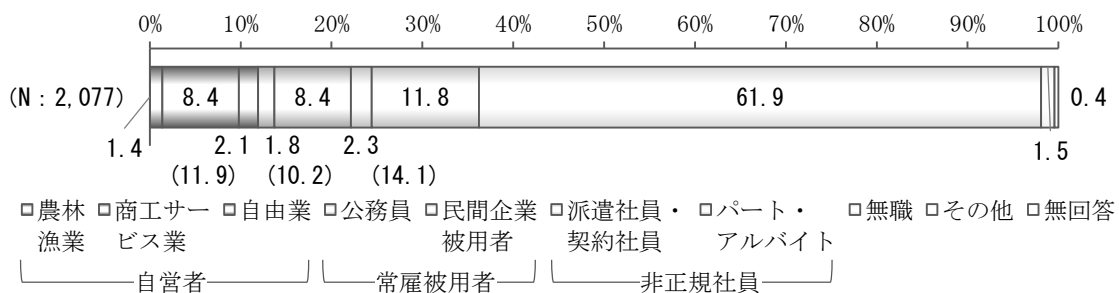
- ①自身が現在無職かどうか尋ねている質問に「いいえ」と回答した者
- ②自身が現在無職かどうか尋ねている質問に「はい」と回答した者（上記の回答が「無職」以外であれば「無職」と振り直し）

（※）自身が現在無職かどうか尋ねている質問に無回答だった者は、上記質問の回答では現在の職業が不明であるため、集計ベースからは除外している。

- | | | |
|------------------|----------------|-------------------|
| 1 自営者…回答が1～5 | 5 常雇被用者…回答が6～7 | 9 派遣社員・契約社員…回答が8 |
| 2 農林漁業…回答が1 | 6 公務員…回答が6 | 10 パート・アルバイト…回答が9 |
| 3 商工サービス業…回答が2～4 | 7 民間企業被用者…回答が7 | 11 無職…回答が10 |
| 4 自由業…回答が5 | 8 非正規社員…回答が8～9 | 12 その他…回答が11 |

その結果、専業主婦・主夫を含む「無職」が61.9%と最も多くを占めている。次いで、「非正規社員」14.1%、「自営者」11.9%、「常雇被用者」10.2%となっている。（図表IV-1）

<図表 IV-1> 本人の現在の就労形態



性別にみると、「商工サービス業」「自由業」「常雇被用者」「派遣社員・契約社員」は、女性より男性の方が高くなっている。一方、「パート・アルバイト」「無職」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「農林漁業」は75～79歳で高く、「自由業」は65～69歳で高くなっている。「常雇被用者」「非正規社員」は、低い年齢層ほど高くなっている。一方、「無職」は高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表IV-2)

<図表 IV-2> 本人の現在の就労形態〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者
全	体		2,077	11.9	1.4	8.4	2.1	10.2	1.8
性別	男性	990	15.3	1.6	10.7	2.9	16.3	2.9	13.3
	女性	1,087	8.8▲	1.2	6.3▲	1.4▲	4.7▲	0.8▲	3.9▲
本人年齢別	60～64歳	379	13.5	0.5	10.3	2.6	31.9	5.3	26.6
	65～69歳	400	12.8	0.8	8.3	3.8	15.0	3.8	11.3
	70～74歳	461	13.7	2.0	10.4	1.3	3.7▲	0.7▲	3.0▲
	75～79歳	368	14.7	2.7	9.5	2.4	3.0▲	-	3.0▲
	80～84歳	270	7.8▲	1.1	5.6	1.1	1.1▲	-	1.1▲
	85～89歳	141	2.8▲	1.4	1.4▲	-	-	-	-
	90歳以上	58	5.2	-	3.4	1.7	-	-	-

		N	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全	体		2,077	14.1	2.3	11.8	61.9	1.5
性別	男性	990	10.0▲	3.5	6.5▲	56.1▲	1.9	0.5
	女性	1,087	17.8	1.2▲	16.7	67.2	1.1	0.4
本人年齢別	60～64歳	379	25.1	5.3	19.8	26.1▲	3.4	-
	65～69歳	400	24.3	4.5	19.8	45.8▲	2.0	0.3
	70～74歳	461	14.5	1.5	13.0	66.2	1.3	0.7
	75～79歳	368	7.9▲	0.8▲	7.1▲	72.8	0.5	1.1
	80～84歳	270	1.9▲	-	1.9▲	88.1	0.7	0.4
	85～89歳	141	-	-	-	97.2	-	-
	90歳以上	58	-	-	-	94.8	-	-

(2) 現在就労者の退職・引退予定年齢

現在就労している者の退職・引退予定年齢を捉えるため、自身の退職・引退予定年齢について以下のように尋ねた。

あなたの退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

歳で

1 退職・引退済
 2 退職・引退予定

【現在就労している者の退職・引退予定年齢】
 退職・引退予定と回答した人に限った、年齢回答から設定

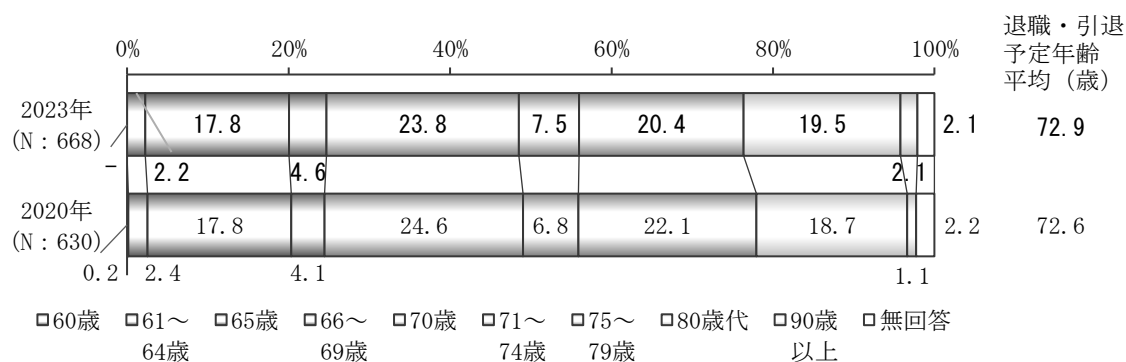
1 60歳	6 71～74歳
2 61～64歳	7 75～79歳
3 65歳	8 80歳代
4 66～69歳	9 90歳以上
5 70歳	

その結果、「70歳」が23.8%と最も多く、次いで、「75～79歳」が20.4%と2割台になっており、以下、「80歳代」19.5%、「65歳」17.8%となっている。

退職・引退予定年齢の平均は、72.9歳となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。（図表IV-3）

<図表 IV-3> 現在就労者の退職・引退予定年齢



性別にみると、「70歳」は女性の方が男性より高く、「75～79歳」「90歳以上」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、各年齢層での主な回答は以下の通りとなっている。

60～64歳では、「65歳」が43.8%、「70歳」が31.8%

65～69歳では、「70歳」が39.8%、「75～79歳」が23.1%

70～74歳では、「75～79歳」が54.2%、「80歳代」が23.7%

75～79歳では、「80歳代」が74.6%

退職・引退予定年齢の平均をみると、実年齢より数年～5年先を、退職・引退予定年齢としている傾向がみられる。(図表Ⅳ-4)

<図表Ⅳ-4> 現在就労者の退職・引退予定年齢〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳	71～74歳
全 体		668	-	2.2	17.8	4.6	23.8	7.5
性別	男 性	374	-	1.6	20.1	3.7	19.8▲	6.1
	女 性	294	-	3.1	15.0	5.8	28.9	9.2
本人年齢別	60～64歳	267	-	5.6	43.8	4.1	31.8	1.5▲
	65～69歳	186	-	-	1.1▲	10.8	39.8	13.4
	70～74歳	118	-	-	-	-	-	17.8
	75～79歳	67	-	-	-	-	-	-
	80～84歳	21	-	-	-	-	-	-
	85～89歳	7	-	-	-	-	-	-
	90歳以上	2	-	-	-	-	-	-

		N	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	平均退職・引退予定年齢(歳)
全 体		668	20.4	19.5	2.1	2.1	72.9
性別	男 性	374	24.1	20.1	3.2	1.3	73.4
	女 性	294	15.6▲	18.7	0.7▲	3.1	72.3
本人年齢別	60～64歳	267	6.7▲	5.6▲	-	0.7▲	68.3▲
	65～69歳	186	23.1	9.1▲	1.1	1.6	72.5
	70～74歳	118	54.2	23.7	0.8	3.4	76.5
	75～79歳	67	16.4	74.6	4.5	4.5	81.0
	80～84歳	21	-	85.7	9.5	4.8	84.6
	85～89歳	7	-	28.6	57.1	14.3	90.8
	90歳以上	2	-	-	100.0	-	92.5

本人の現在の職業別にみると、「61～64歳」「65歳」「70歳」は民間企業被用者で高くなっている。「70歳」は非正規社員で、「75～79歳」「80歳代」「90歳以上」は商工サービス業で、それぞれ高くなっている。

退職・引退予定年齢の平均は、常雇被用者、非正規社員より自営者で、より高齢になる傾向がみられる。(図表IV-5)

<図表 IV-5> 現在就労者の退職・引退予定年齢〔職業別〕

(単位：%)

		N	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳	71～74歳
全体		668	-	2.2	17.8	4.6	23.8	7.5
本人職業 (現在) 別	自営者	172	-	-	5.8▲	2.3	12.2▲	4.1▲
	農林漁業	10	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業	132	-	-	5.3▲	2.3	13.6▲	3.8
	自由業	30	-	-	10.0	3.3	10.0	6.7
	常雇被用者	194	-	4.6	32.5	5.2	28.4	8.8
	公務員	34	-	5.9	41.2	17.6	11.8	11.8
	民間企業被用者	160	-	4.4	30.6	2.5	31.9	8.1
	非正規社員	246	-	2.0	15.4	6.1	29.3	9.8
	派遣社員・契約社員	42	-	2.4	21.4	7.1	33.3	9.5
	パート・アルバイト	204	-	2.0	14.2	5.9	28.4	9.8
無職	27	-	-	14.8	3.7	14.8	3.7	
その他	26	-	3.8	15.4	3.8	26.9	3.8	

		N	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	平均退職・引退 予定年齢 (歳)
全体		668	20.4	19.5	2.1	2.1	72.9
本人職業 (現在) 別	自営者	172	28.5	39.0	4.7	3.5	77.3
	農林漁業	10	30.0	70.0	-	-	79.8
	商工サービス業	132	27.3	38.6	4.5	4.5	77.3
	自由業	30	33.3	30.0	6.7	-	76.5
	常雇被用者	194	11.3▲	8.8▲	0.5	-	69.9▲
	公務員	34	8.8	2.9▲	-	-	68.3▲
	民間企業被用者	160	11.9▲	10.0▲	0.6	-	70.2▲
	非正規社員	246	22.8	12.6▲	0.4▲	1.6	71.9▲
	派遣社員・契約社員	42	16.7	7.1▲	2.4	-	71.2
	パート・アルバイト	204	24.0	13.7▲	-	2.0	72.0▲
無職	27	7.4	29.6	11.1	14.8	76.8	
その他	26	23.1	23.1	-	-	72.9	

本人年収別にみると、「71～74歳」は100万円未満層で、「90歳以上」は500～1,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表IV-6)

<図表 IV-6> 現在就労者の退職・引退予定年齢〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳	71～74歳
全 体		668	-	2.2	17.8	4.6	23.8	7.5
本人 年 収 別	収 入 は な い	8	-	-	-	-	12.5	-
	100 万 円 未 満	114	-	0.9	12.3	7.0	28.9	14.0
	100 ～ 500 万 円 未 満	392	-	2.3	17.3	4.3	21.9	7.9
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	107	-	2.8	21.5	5.6	29.0	2.8▲
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	19	-	5.3	26.3	-	15.8	-
2,000 万 円 以 上	7	-	-	28.6	-	14.3	-	

		N	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	平 均 退 職 ・ 引 退 予 定 年 齢 (歳)
全 体		668	20.4	19.5	2.1	2.1	72.9
本人 年 収 別	収 入 は な い	8	12.5	12.5	25.0	37.5	83.8
	100 万 円 未 満	114	15.8	18.4	-	2.6	72.5
	100 ～ 500 万 円 未 満	392	21.9	20.9	1.8	1.5	73.1
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	107	15.0	18.7	4.7	-	72.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	19	31.6	15.8	-	5.3	72.2
2,000 万 円 以 上	7	42.9	14.3	-	-	73.9	

世帯保有金融資産別にみると、「80歳代」は2,000万円以上層で、「90歳以上」は100～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表IV-7)

<図表 IV-7> 現在就労者の退職・引退予定年齢〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳	71～74歳
全 体		668	-	2.2	17.8	4.6	23.8	7.5
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	71	-	1.4	14.1	2.8	23.9	11.3
	100 ～ 500 万 円 未 満	111	-	1.8	13.5	3.6	20.7	10.8
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	82	-	2.4	17.1	4.9	25.6	4.9
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	92	-	1.1	18.5	5.4	26.1	12.0
	2,000 万 円 以 上	134	-	3.0	23.1	6.0	20.9	4.5

		N	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	平 均 退 職 ・ 引 退 予 定 年 齢 (歳)
全 体		668	20.4	19.5	2.1	2.1	72.9
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	71	22.5	21.1	2.8	-	73.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	111	19.8	20.7	5.4	3.6	74.3
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	82	24.4	19.5	-	1.2	72.6
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	92	22.8	14.1	-	-	72.1
	2,000 万 円 以 上	134	13.4▲	26.1	2.2	0.7	72.9

客観的健康状態別にみると、特に差はみられない。(図表IV-8)

<図表 IV-8> 現在就労者の退職・引退予定年齢〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳	71～74歳
全 体		668	-	2.2	17.8	4.6	23.8	7.5
客観的健康状態別	差し支えなし	302	-	2.6	16.6	2.6▲	22.5	7.9
	ほんの少し差し支えあり	249	-	2.4	21.3	5.6	27.3	5.6
	差し支えあり	93	-	-	14.0	8.6	22.6	9.7
	大いに差し支えあり	12	-	-	16.7	8.3	-	8.3

		N	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	平均退職・引退予定年齢(歳)
全 体		668	20.4	19.5	2.1	2.1	72.9
客観的健康状態別	差し支えなし	302	21.5	22.5	1.0	2.6	73.2
	ほんの少し差し支えあり	249	19.3	16.1	2.4	-	72.2
	差し支えあり	93	21.5	16.1	3.2	4.3	73.3
	大いに差し支えあり	12	8.3	33.3	16.7	8.3	78.4

(3) 退職金見込額

今後受け取る予定の退職金の見込み額を捉えるため、以下のように尋ねた。

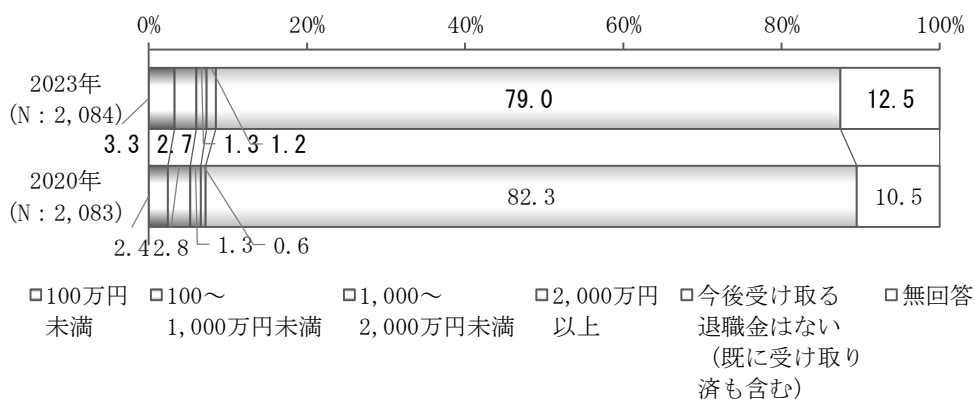
あなたご自身が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

- 1 100万円未満
- 2 100万円以上1,000万円未満 …………… 以下「100～1,000万円未満」
- 3 1,000万円以上2,000万円未満 …………… 以下「1,000～2,000万円未満」
- 4 2,000万円以上
- 5 今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）

その結果、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」が79.0%を占めている。具体的な見込額としては、「100万円未満」3.3%、「100～1,000万円未満」2.7%、「1,000～2,000万円未満」1.3%、「2,000万円以上」1.2%と続いている。

前回と比較すると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」が3.3ポイント減少している。（図表IV-9）

<図表 IV-9> 退職金見込額



性別にみると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」は、特に差がみられない。具体的な見込額のうち、「100～1,000万円未満」「1,000～2,000万円未満」「2,000万円以上」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」は60～64歳で低く、70～74歳で高くなっている。（図表IV-10）

<図表 IV-10> 退職金見込額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000万円以上	け金今 取は後 りな受 済いけ も（取 含む） るに退 受職	無回答
全 体		2,084	3.3	2.7	1.3	1.2	79.0	12.5
性 別	男 性	996	3.6	3.6	2.3	2.3	77.9	10.2▲
	女 性	1,088	2.9	1.9▲	0.4▲	0.2▲	80.0	14.6
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	6.8	8.7	3.9	3.4	70.5▲	6.6▲
	65～69歳	400	5.3	2.8	2.0	1.0	82.0	7.0▲
	70～74歳	463	2.6	1.7	0.2▲	1.1	83.4	11.0
	75～79歳	369	1.9	0.8▲	0.5	0.8	79.7	16.3
	80～84歳	273	0.4▲	-	0.4	-	82.4	16.8
	85～89歳	141	0.7	1.4	-	-	69.5▲	28.4
	90歳以上	58	-	-	-	-	81.0	19.0

本人の現在の職業別にみると、「今後受け取る退職金はない（既に受け取り済も含む）」はパート・アルバイトと、無職で高くなっている。具体的な見込額はいずれも商工サービス業と民間企業被用者で高くなっている。（図表IV-11）

<図表 IV-11> 退職金見込額〔職業別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000万円以上	け金今 取は後 りな受 済いけ も（取 含む） るに退 受職	無回答
全 体		2,084	3.3	2.7	1.3	1.2	79.0	12.5
本 人 職 業 (現 在) 別	自 営 者	247	6.1	6.5	3.6	4.9	65.6▲	13.4
	農 林 漁 業	29	-	-	-	-	65.5	34.5
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	7.5	7.5	3.4	6.3	66.1▲	9.2
	自 由 業	44	4.5	6.8	6.8	2.3	63.6▲	15.9
	常 雇 被 用 者	212	11.3	13.2	7.5	4.7	54.2▲	9.0
	公 務 員	38	7.9	-	2.6	7.9	71.1	10.5
	民 間 企 業 被 用 者	174	12.1	16.1	8.6	4.0	50.6▲	8.6
	非 正 規 社 員	293	9.6	2.4	0.7	0.3	84.6	2.4▲
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	8.3	8.3	-	-	79.2	4.2
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	9.8	1.2	0.8	0.4	85.7	2.0▲
	無 職	1,285	0.1▲	0.3▲	-	-	84.8	14.8
そ の 他	31	-	6.5	-	3.2	74.2	16.1	

世帯年収別にみると、特に差はみられない。(図表IV-14)

<図表 IV-14> 無職者の就業意向〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	はい	いいえ	無回答
全 体		1,285	26.3	72.1	1.6
世帯 年 収 別	100万円未満	48	31.3	64.6	4.2
	100～300万円未満	245	23.3	73.1	3.7
	300～500万円未満	197	28.4	70.6	1.0
	500～700万円未満	39	17.9	82.1	-
	700～1,000万円未満	22	31.8	68.2	-
	1,000～1,500万円未満	7	71.4	28.6▲	-
	1,500～2,000万円未満	0	-	-	-
2,000万円以上	3	-	100.0	-	

世帯保有金融資産別にみると、「はい」(就業意向あり)は100万円未満層で高くなっている。(図表IV-15)

<図表 IV-15> 無職者の就業意向〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	はい	いいえ	無回答
全 体		1,285	26.3	72.1	1.6
金 融 資 産 別	100万円未満	128	46.9	52.3▲	0.8
	100～500万円未満	140	31.4	67.1	1.4
	500～1,000万円未満	116	22.4	75.0	2.6
	1,000～2,000万円未満	175	23.4	74.9	1.7
	2,000万円以上	247	23.9	74.9	1.2

客観的健康状態別にみると、「はい」(就業意向あり)は差し支えなし層で高く、健康状態に差し支えがある層ほど低くなっている。(図表IV-16)

<図表 IV-16> 無職者の就業意向〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	はい	いいえ	無回答
全 体		1,285	26.3	72.1	1.6
客 観 的 健 康 状 態 別	差し支えなし	489	30.3	68.9▲	0.8
	ほんの少し差し支えあり	398	27.9	70.4	1.8
	差し支えあり	240	25.0	71.7	3.3
	大いに差し支えあり	125	9.6▲	89.6	0.8

2. 退職者の過去の主たる職業

(1) 退職者本人の過去の主たる職業

退職者本人の過去の主たる職業を捉えるため、自身の職業について以下のように尋ねた。

あなたのご職業は何ですか。(何でしたか。) この中から1つだけお答えください。

なお、既にご退職された方は、最も長く従事したご職業をお答えください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 農・林・漁業の自営者・家族従事者 | 7 民間企業(正社員) |
| 2 商工・サービス業の自営者(法人組織の経営者) | 8 派遣社員・契約社員 |
| 3 商工・サービス業の自営者(個人事業の経営者) | 9 パート・アルバイト |
| 4 商工・サービス業の家族従事者 | 10 無職(専業主婦・主夫を含む) |
| 5 自由業 | 11 その他 |
| 6 公務員 | |

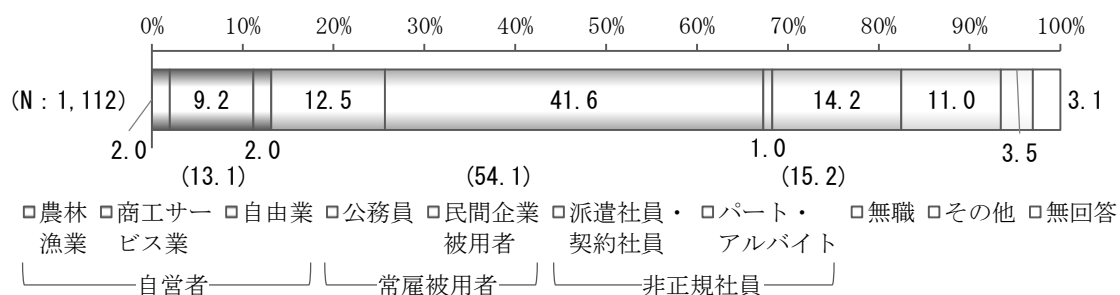
【退職者本人の過去の主たる職業】

現在無職かつ退職・引退済と回答した者をベースに、上記の回答を以下のように設定した。

- | | | |
|------------------|----------------|-------------------|
| 1 自営者…回答が1～5 | 5 常雇被用者…回答が6～7 | 9 派遣社員・契約社員…回答が8 |
| 2 農林漁業…回答が1 | 6 公務員…回答が6 | 10 パート・アルバイト…回答が9 |
| 3 商工サービス業…回答が2～4 | 7 民間企業被用者…回答が7 | 11 無職…回答が10 |
| 4 自由業…回答が5 | 8 非正規社員…回答が8～9 | 12 その他…回答が11 |

その結果、「常雇被用者」が54.1%と最も多く、そのうち「民間企業被用者」が41.6%と4割強を占めている。「自営者」は13.1%で、そのうち「商工サービス業」が9.2%と多くなっている。「非正規社員」は15.2%で、そのうち「パート・アルバイト」が14.2%と多くなっている。専業主婦・主夫を含む「無職」は11.0%となっている。(図表IV-17)

<図表 IV-17> 退職者本人の過去の主たる職業



性別にみると、「商工サービス業」、「常雇被用者」は、女性より男性で高くなっている。一方、「パート・アルバイト」「無職」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「農林漁業」は80～84歳で、「商工サービス業」は80～89歳の層で、それぞれ高くなっている。「公務員」は60～64歳で、「民間企業被用者」は75～79歳で、それぞれ高くなっている。「派遣社員・契約社員」は60～69歳の層で、「無職」は60～64歳で、それぞれ高くなっている。
(図表IV-18)

<図表 IV-18> 退職者本人の過去の主たる職業〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者
全 体			1,112	13.1	2.0	9.2	2.0	54.1	12.5
性別	男 性	528	16.5	1.9	12.7	1.9	72.7	15.3	57.4
	女 性	584	10.1▲	2.1	6.0▲	2.1	37.3▲	9.9▲	27.4▲
本人年齢別	60～64歳	80	3.8▲	-	1.3▲	2.5	55.0	22.5	32.5
	65～69歳	170	5.9▲	0.6	4.7▲	0.6	55.9	17.1	38.8
	70～74歳	273	11.4	1.1	7.3	2.9	56.4	12.8	43.6
	75～79歳	235	13.6	2.1	8.5	3.0	57.9	9.4	48.5
	80～84歳	211	20.4	4.3	15.2	0.9	50.7	9.5	41.2
	85～89歳	103	19.4	1.9	16.5	1.0	49.5	11.7	37.9
	90歳以上	40	17.5	5.0	10.0	2.5	37.5▲	7.5	30.0

		N	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全 体			1,112	15.2	1.0	14.2	11.0	3.5
性別	男 性	528	1.9▲	0.6	1.3▲	-	3.4	5.5
	女 性	584	27.2	1.4	25.9	20.9	3.6	0.9▲
本人年齢別	60～64歳	80	16.3	3.8	12.5	18.8	3.8	2.5
	65～69歳	170	21.2	2.9	18.2	11.8	2.9	2.4
	70～74歳	273	15.4	0.7	14.7	10.3	2.9	3.7
	75～79歳	235	13.2	-	13.2	9.8	2.6	3.0
	80～84歳	211	14.2	-	14.2	6.2▲	5.7	2.8
	85～89歳	103	12.6	1.0	11.7	12.6	3.9	1.9
	90歳以上	40	10.0	-	10.0	25.0	2.5	7.5

(2) 退職者の退職・引退年齢

退職者の退職・引退年齢を捉えるため、自身の退職・引退年齢について以下のように尋ねた。

あなたの退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

歳で

- 1 退職・引退済
- 2 退職・引退予定

【退職者の退職・引退年齢】

退職・引退済と回答した者をベースに、以下のカテゴリーを設けた。

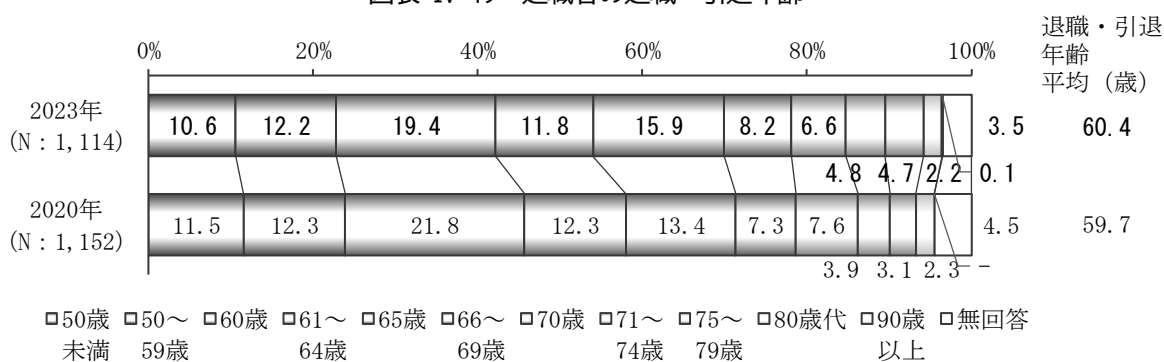
- | | |
|----------|----------|
| 1 50歳未満 | 7 70歳 |
| 2 50～59歳 | 8 71～74歳 |
| 3 60歳 | 9 75～79歳 |
| 4 61～64歳 | 10 80歳代 |
| 5 65歳 | 11 90歳以上 |
| 6 66～69歳 | |

その結果、「60歳」が19.4%と最も多く、次いで、「65歳」が15.9%、「50～59歳」が12.2%、「61～64歳」が11.8%、「50歳未満」が10.6%となっている。

退職・引退年齢の平均は、60.4歳となっている。

前回と比較すると、「75～79歳」が1.6ポイント増加している。（図表IV-19）

<図表 IV-19> 退職者の退職・引退年齢



性別にみると、退職・引退年齢が「50歳未満」「50～59歳」は、男性よりも女性の方が高くなっている。一方、「61～64歳」「65歳」「66～69歳」「71～74歳」「75～79歳」は、男性の方が女性よりも高くなっている。

退職・引退年齢の平均は、男性が65.0歳、女性が56.1歳と男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、各年齢層での主な回答は以下の通りとなっている。

60～64歳では、「50～59歳」が37.0%、「60歳」が25.9%

65～69歳では、「65歳」が30.0%「61～64歳」が20.0%

70～74歳では、「60歳」「65歳」がともに19.3%

75～79歳では、「65歳」が17.0%、「60歳」が14.5%

また、80～84歳、85～89歳では、いずれも「60歳」が最も多くなっている（それぞれ、25.1%、21.4%）。

退職・引退年齢の平均は、60～64歳で53.6歳と最も低く、80～84歳の62.6歳にかけて高くなっている。（図表IV-20）

<図表 IV-20> 退職者の退職・引退年齢〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	50歳未満	50～59歳	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳
全 体		1,114	10.6	12.2	19.4	11.8	15.9	8.2	6.6
性別	男 性	529	0.6▲	7.4▲	21.4	14.6	21.4	10.4	8.1
	女 性	585	19.7	16.6	17.6	9.4▲	10.9▲	6.2▲	5.3
本人年齢別	60～64歳	81	17.3	37.0	25.9	19.8	-	-	-
	65～69歳	170	10.0	13.5	15.9	20.0	30.0	7.6	-
	70～74歳	274	10.6	10.6	19.3	12.0	19.3	10.9	7.7
	75～79歳	235	9.8	9.4	14.5▲	11.5	17.0	9.4	8.1
	80～84歳	211	9.5	8.5	25.1	7.6▲	9.0▲	7.6	7.6
	85～89歳	103	11.7	8.7	21.4	4.9▲	9.7	7.8	12.6
	90歳以上	40	7.5	12.5	15.0	2.5	10.0	5.0	12.5

		N	71～74歳	75～79歳	80歳代	90歳以上	無回答	平年退職・引退(歳)
全 体		1,114	4.8	4.7	2.2	0.1	3.5	60.4
性別	男 性	529	6.2	6.2	2.5	-	1.3▲	65.0
	女 性	585	3.4▲	3.2▲	2.1	0.2	5.5	56.1▲
本人年齢別	60～64歳	81	-	-	-	-	-	53.6▲
	65～69歳	170	-	-	-	-	2.9	58.8
	70～74歳	274	5.5	-	-	-	4.0	59.5
	75～79歳	235	9.8	8.5	-	-	2.1	61.7
	80～84歳	211	3.8	9.0	7.6	-	4.7	62.6
	85～89歳	103	4.9	7.8	4.9	-	5.8	61.6
	90歳以上	40	5.0	12.5	10.0	2.5	5.0	66.1

第V章 家計

ここでは、世帯の収入内訳（年収）と支出（生活費、医療・介護費の月額）および世帯として保有している資産について捉えている。

1. 収入

(1) 昨年1年間の収入

昨年1年間の収入を捉えるため、自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の昨年1年間の収入内訳について以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と(2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですのでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【昨年1年間の収入】

(1) 公的年金 (2) 働いて得る収入 (3) その他の収入 に回答した金額を合算し、以下の金額帯に分類

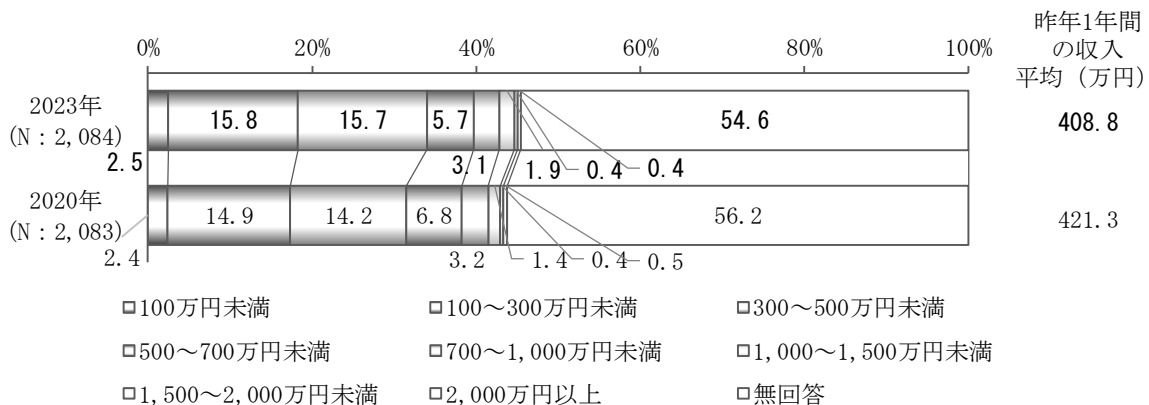
- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 100万円未満 | 5 700～1,000万円未満 |
| 2 100～300万円未満 | 6 1,000～1,500万円未満 |
| 3 300～500万円未満 | 7 1,500～2,000万円未満 |
| 4 500～700万円未満 | 8 2,000万円以上 |

その結果、「100～300万円未満」が15.8%、「300～500万円未満」が15.7%と多く、次いで、「500～700万円未満」が5.7%の順となっている。

また、平均は408.8万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。(図表V-1)

<図表 V-1> 昨年1年間の収入



性別にみると、「100万円未満」は、女性の方が男性を上回っている。一方、「300～500万円未満」「500～700万円未満」「700～1,000万円未満」「1,000～1,500万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の344.8万円より男性の469.6万円が上回っている。

年齢別に平均をみると、概ね高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表V-2)

<図表 V-2> 昨年1年間の収入〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円 未満	100～300 万円未満	300～500 万円未満	500～700 万円未満	700～ 1,000 万円未満
全 体		2,084	2.5	15.8	15.7	5.7	3.1
性別	男 性	996	1.5▲	14.3	17.5	7.3	4.0
	女 性	1,088	3.4	17.2	14.2▲	4.1▲	2.3▲
本人 年齢別	60～64歳	380	1.1▲	9.2▲	17.9	11.1	6.3
	65～69歳	400	2.3	13.3	17.5	8.8	4.8
	70～74歳	463	1.9	14.7	18.6	5.4	2.6
	75～79歳	369	2.4	20.6	18.7	2.2▲	1.9
	80～84歳	273	3.3	20.1	7.3▲	2.2▲	0.7▲
	85～89歳	141	6.4	18.4	7.8▲	0.7▲	0.7
	90歳以上	58	5.2	27.6	6.9	1.7	-

		N	1,000～ 1,500 万円未満	1,500～ 2,000 万円未満	2,000 万円以上	無回答	平収昨 均入年 1年 (万円 間 の)
全 体		2,084	1.9	0.4	0.4	54.6	408.8
性別	男 性	996	3.0	0.6	0.6	51.2▲	469.6
	女 性	1,088	0.8▲	0.2	0.2	57.6	344.8▲
本人 年齢別	60～64歳	380	5.8	1.1	1.1	46.6▲	565.5
	65～69歳	400	2.3	0.3	0.3	50.8	442.5
	70～74歳	463	1.1	0.2	0.2	55.3	398.5
	75～79歳	369	0.5▲	0.5	0.3	52.8	349.1▲
	80～84歳	273	0.4▲	-	0.4	65.6	278.7▲
	85～89歳	141	-	-	-	66.0	218.1▲
	90歳以上	58	-	-	-	58.6	221.0▲

本人の現在の職業別にみると、「100万円未満」「100～300万円未満」は無職で高くなっている。「300～500万円未満」は非正規社員で、「500～700万円未満」は常雇被用者、パート・アルバイトで、「700～1,000万円未満」は常雇被用者で、「1,000～1,500万円未満」は商工サービス業、常雇被用者で、それぞれ高くなっている。

平均をみると、商工サービス業は 615.2 万円、常雇被用者は 645.2 万円であるのに対し、無職は 314.3 万円と低くなっている。(図表V-3)

<図表 V-3> 昨年1年間の収入〔本人職業（現在）別〕

		(単位：%)					
		N	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全体		2,084	2.5	15.8	15.7	5.7	3.1
本人職業（現在）別	自営者	247	1.2	9.7▲	13.4	7.3	5.3
	農林漁業	29	-	6.9	3.4	3.4	3.4
	商工サービス業	174	1.7	10.3▲	16.7	8.0	5.7
	自由業	44	-	9.1	6.8	6.8	4.5
	常雇被用者	212	-	6.1▲	15.1	15.1	10.4
	公務員	38	-	2.6▲	18.4	21.1	10.5
	民間企業被用者	174	-	6.9▲	14.4	13.8	10.3
	非正規社員	293	0.3▲	14.7	20.1	8.2	2.7
	派遣社員・契約社員	48	-	14.6	27.1	6.3	2.1
	パート・アルバイト	245	0.4▲	14.7	18.8	8.6	2.9
無職	1,285	3.7	19.1	15.3	3.0▲	1.7▲	
その他	31	-	3.2	16.1	12.9	-	

		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平収昨 均入年 （万 円） 1年 間の の
全体		2,084	1.9	0.4	0.4	54.6	408.8
本人職業（現在）別	自営者	247	5.7	1.6	0.8	55.1	609.2
	農林漁業	29	3.4	-	-	79.3	574.0
	商工サービス業	174	5.2	2.3	1.1	48.9	615.2
	自由業	44	9.1	-	-	63.6	588.9
	常雇被用者	212	6.6	1.4	0.9	44.3▲	645.2
	公務員	38	7.9	2.6	-	36.8▲	652.5
	民間企業被用者	174	6.3	1.1	1.1	46.0▲	643.3
	非正規社員	293	0.3▲	-	-	53.6	381.6
	派遣社員・契約社員	48	2.1	-	-	47.9	397.7
	パート・アルバイト	245	-	-	-	54.7	377.9
無職	1,285	0.5▲	-	0.2	56.3	314.3▲	
その他	31	9.7	3.2	-	54.8	691.9	

(2) 公的年金収入年額

昨年1年間の公的年金収入年額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と (2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【公的年金収入年額】

(1) 公的年金に回答した金額を、以下の金額帯に分類

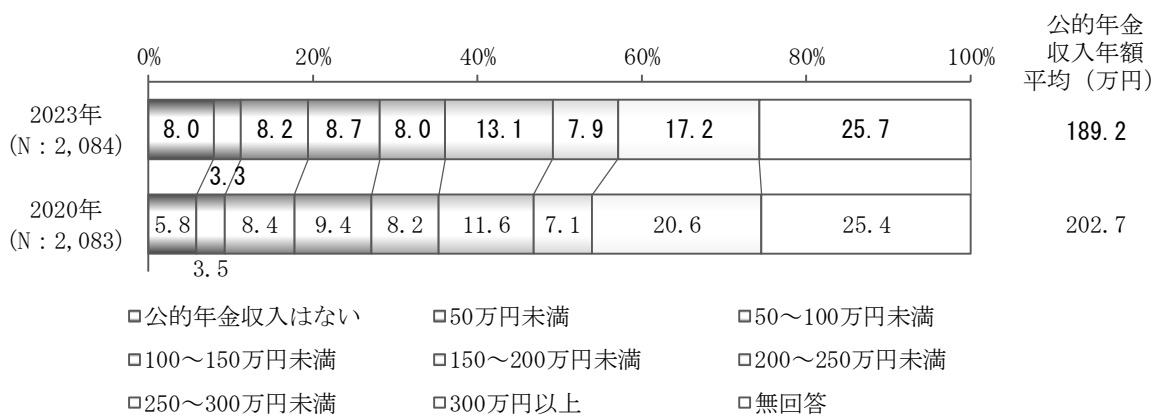
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 公的年金収入はない | 5 150～200万円未満 |
| 2 50万円未満 | 6 200～250万円未満 |
| 3 50～100万円未満 | 7 250～300万円未満 |
| 4 100～150万円未満 | 8 300万円以上 |

その結果、「300万円以上」が17.2%と最も多く、次いで、「200～250万円未満」が13.1%、「100～150万円未満」が8.7%、「50～100万円未満」が8.2%の順となっている。

また、「公的年金収入はない」は8.0%であり、平均は、189.2万円となっている。

前回と比較すると、「公的年金収入はない」が2.2ポイント増加し、「300万円以上」が3.4ポイント減少している。また、平均は13.5万円減少している。(図表V-4)

<図表 V-4> 公的年金収入年額



性別にみると、「公的年金収入はない」「300万円以上」は女性より男性で高くなっている。「50～100万円未満」は、女性の方が男性を上回っている。

平均をみると、性別では大きな差がみられない。

年齢別にみると、「公的年金収入はない」は60～64歳で37.9%と高く、この年齢層では50万円以上の金額帯で低くなっている。

平均をみると、60～64歳で66.5万円と低く、70～89歳の層で215.2～232.4万円と200万円を超えて高くなっている。(図表V-5)

<図表 V-5> 公的年金収入年額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	公的年金 収入は ない	50万円 未満	50～100 万円未満	100～150 万円未満	150～200 万円未満
全 体		2,084	8.0	3.3	8.2	8.7	8.0
性別	男 性	996	10.9	3.0	6.6▲	8.1	7.4
	女 性	1,088	5.2▲	3.6	9.6	9.2	8.5
本人 年齢別	60～64歳	380	37.9	6.6	4.5▲	5.5▲	3.9▲
	65～69歳	400	3.8▲	5.0	10.5	11.5	8.3
	70～74歳	463	0.4▲	2.2	6.7	7.3	8.9
	75～79歳	369	1.4▲	0.8▲	8.7	9.5	8.1
	80～84歳	273	-	1.8	9.5	9.5	11.7
	85～89歳	141	-	1.4	12.8	10.6	7.1
	90歳以上	58	-	6.9	6.9	6.9	8.6

		N	200～250 万円未満	250～300 万円未満	300万円 以上	無回答	平収公 均入的 (年 万額金 円)
全 体		2,084	13.1	7.9	17.2	25.7	189.2
性別	男 性	996	14.1	7.9	19.1	22.8▲	192.0
	女 性	1,088	12.2	7.9	15.4▲	28.4	186.5
本人 年齢別	60～64歳	380	5.3▲	2.9▲	3.4▲	30.0	66.5▲
	65～69歳	400	13.8	9.0	13.3▲	25.0	178.3
	70～74歳	463	18.1	9.7	23.8	22.9	232.4
	75～79歳	369	14.9	10.3	22.8	23.6	224.5
	80～84歳	273	11.4	9.2	21.2	25.6	224.7
	85～89歳	141	13.5	4.3	20.6	29.8	215.2
	90歳以上	58	15.5	6.9	19.0	29.3	208.1

本人の現在の職業別にみると、「公的年金収入はない」は、常雇被用者で高くなっている。低額の「50万円未満」は自営者、パート・アルバイトで、「50～100万円未満」は商工サービス業で、それぞれ高くなっている。無職では、「公的年金収入はない」および低額の「50万円未満」が低く、一方、「200万円以上」の高額帯でいずれも高くなっている。

平均をみると、無職が219.8万円と高くなっている。(図表V-6)

<図表 V-6> 公的年金収入年額〔本人職業（現在）別〕

		(単位：%)					
		N	公的年金 収入は ない	50万円 未満	50～100 万円未満	100～150 万円未満	150～200 万円未満
全 体		2,084	8.0	3.3	8.2	8.7	8.0
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	10.1	6.1	13.0	11.3	8.9
	農 林 漁 業	29	3.4	6.9	20.7	6.9	13.8
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	9.2	5.7	14.4	11.5	9.8
	自 由 業	44	18.2	6.8	2.3	13.6	2.3
	常 雇 被 用 者	212	31.1	5.2	7.5	8.5	5.2
	公 務 員	38	23.7	5.3	5.3	5.3	2.6
	民 間 企 業 被 用 者	174	32.8	5.2	8.0	9.2	5.7
	非 正 規 社 員	293	7.8	5.5	8.5	10.2	8.5
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	12.5	4.2	6.3	12.5	8.3
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	6.9	5.7	9.0	9.8	8.6
無 職	1,285	3.6▲	2.1▲	7.3	8.1	8.1	
そ の 他	31	19.4	-	3.2	3.2	3.2	

		N	200～250 万円未満	250～300 万円未満	300万円 以上	無回答	平 均 公 的 年 金 入 収 (年 均 額 万 円)
全 体		2,084	13.1	7.9	17.2	25.7	189.2
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	9.7	4.9	6.5▲	29.6	132.4▲
	農 林 漁 業	29	6.9	-	6.9	34.5	128.6▲
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	11.5	5.7	5.7▲	26.4	136.1▲
	自 由 業	44	4.5	4.5	9.1	38.6	117.3▲
	常 雇 被 用 者	212	7.5▲	3.3▲	6.1▲	25.5	96.9▲
	公 務 員	38	10.5	10.5	10.5	26.3	137.6▲
	民 間 企 業 被 用 者	174	6.9▲	1.7▲	5.2▲	25.3	88.2▲
	非 正 規 社 員	293	13.3	5.8	11.3▲	29.0	164.5▲
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	10.4	4.2	8.3	33.3	142.2▲
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	13.9	6.1	11.8▲	28.2	168.6▲
無 職	1,285	14.6	9.7	22.6	23.9▲	219.8	
そ の 他	31	9.7	12.9	9.7	38.7	159.6	

(3) 就労収入年額

昨年1年間の就労収入年額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。（1）公的年金と（2）働いて得る収入、（3）その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【就労収入年額】

(2) 働いて得る収入に回答した金額を、以下の金額帯に分類

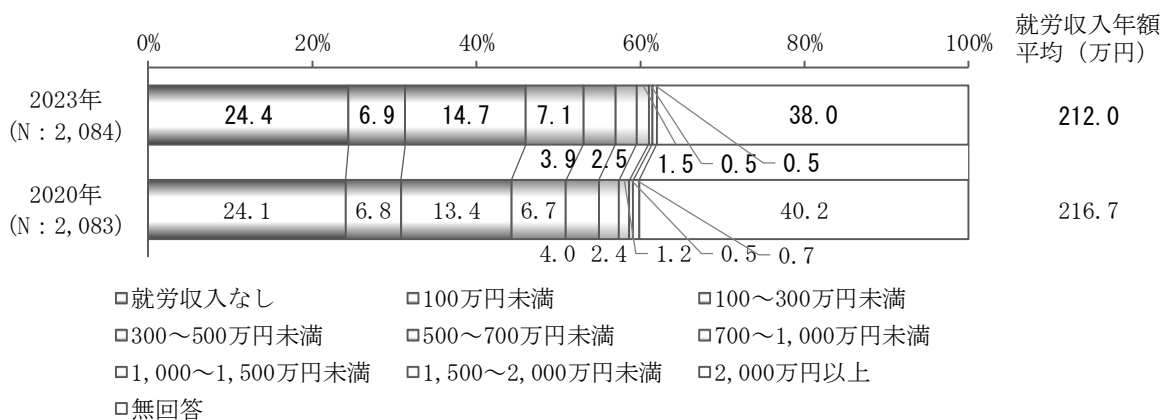
- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 就労収入なし | 6 700～1,000万円未満 |
| 2 100万円未満 | 7 1,000～1,500万円未満 |
| 3 100～300万円未満 | 8 1,500～2,000万円未満 |
| 4 300～500万円未満 | 9 2,000万円以上 |
| 5 500～700万円未満 | |

その結果、「就労収入なし」が24.4%と最も多く、次いで、「100～300万円未満」が14.7%、「300～500万円未満」が7.1%、「100万円未満」が6.9%の順となっている。

また、平均は、212.0万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。（図表V-7）

<図表 V-7> 就労収入年額



性別にみると、「500～700万円未満」「700～1,000万円未満」「1,000～1,500万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の161.2万円より男性の263.6万円が上回っている。

年齢別にみると、「就労収入なし」は60～69歳の層で低く、高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。「100万円未満」「100～300万円未満」は、65～69歳で最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。

平均は、60～64歳の458.9万円が最も高く、高い年齢層ほど急激に低くなっている傾向がみられる。
(図表V-8)

<図表 V-8> 就労収入年額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	就労収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全 体		2,084	24.4	6.9	14.7	7.1	3.9	2.5
性別	男 性	996	22.6	6.0	14.7	8.1	6.1	3.4
	女 性	1,088	26.1	7.7	14.7	6.1	1.8▲	1.7▲
本人年齢別	60～64歳	380	9.5▲	4.5▲	14.2	20.5	11.1	9.2
	65～69歳	400	15.3▲	9.8	24.5	8.8	6.0	3.0
	70～74歳	463	25.1	8.6	21.4	5.2	1.7▲	0.9▲
	75～79歳	369	34.1	8.9	11.4▲	1.9▲	1.4▲	0.3▲
	80～84歳	273	32.6	4.0▲	4.0▲	0.7▲	-	0.4▲
	85～89歳	141	35.5	2.8▲	0.7▲	0.7▲	1.4	-
	90歳以上	58	53.4	-	1.7▲	-	-	-

		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平年就均額労 収入 (万円)
全 体		2,084	1.5	0.5	0.5	38.0	212.0
性別	男 性	996	2.1	0.5	0.8	35.6▲	263.6
	女 性	1,088	0.9▲	0.5	0.3	40.2	161.2▲
本人年齢別	60～64歳	380	5.3	2.1	1.3	22.4▲	458.9
	65～69歳	400	1.0	-	0.3	31.5▲	219.1
	70～74歳	463	0.6	0.4	0.4	35.6	157.0▲
	75～79歳	369	0.3▲	-	0.5	41.2	96.9▲
	80～84歳	273	0.7	-	0.4	57.1	66.7▲
	85～89歳	141	-	-	-	58.9	29.4▲
	90歳以上	58	1.7	-	-	43.1	36.4▲

本人の現在の職業別にみると、「就労収入なし」は無職で38.3%と高くなっている。「100万円未満」は、パート・アルバイトで高くなっている。

平均は、商工サービス業、常雇被用者で400万円台と高くなっている。一方、無職は75.9万円と低く、次いでパート・アルバイトが185.1万円となっている。(図表V-9)

<図表 V-9> 就労収入年額〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	就労収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満
全体		2,084	24.4	6.9	14.7	7.1	3.9	2.5
本人職業（現在）別	自営者	247	2.4▲	8.5	23.5	14.6	8.9	3.6
	農林漁業	29	-	10.3	27.6	3.4	3.4	-
	商工サービス業	174	1.7▲	7.5	26.4	17.8	9.2	4.0
	自由業	44	6.8▲	11.4	9.1	9.1	11.4	4.5
	常雇被用者	212	1.4▲	3.3▲	19.8	21.2	15.6	12.7
	公務員	38	-	5.3	21.1	18.4	15.8	13.2
	民間企業被用者	174	1.7▲	2.9▲	19.5	21.8	15.5	12.6
	非正規社員	293	1.7▲	19.1	36.9	15.4	2.7	1.0
	派遣社員・契約社員	48	-	8.3	37.5	27.1	6.3	2.1
	パート・アルバイト	245	2.0▲	21.2	36.7	13.1	2.0	0.8
無職	1,285	38.3	4.4▲	6.8▲	1.3▲	1.0▲	0.9▲	
その他	31	-	3.2	29.0	9.7	12.9	9.7	

		N	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平年就労均額収入(万円)
全体		2,084	1.5	0.5	0.5	38.0	212.0
本人職業（現在）別	自営者	247	5.7	1.6	1.6	29.6▲	435.9
	農林漁業	29	-	-	-	55.2	194.8
	商工サービス業	174	5.7	2.3	1.7	23.6▲	449.2
	自由業	44	9.1	-	2.3	36.4	485.0
	常雇被用者	212	4.7	1.4	1.4	18.4▲	498.4
	公務員	38	2.6	2.6	-	21.1▲	471.0
	民間企業被用者	174	5.2	1.1	1.7	17.8▲	504.1
	非正規社員	293	-	0.3	-	22.9▲	199.3
	派遣社員・契約社員	48	-	-	-	18.8▲	267.0
	パート・アルバイト	245	-	0.4	-	23.7▲	185.1▲
無職	1,285	0.5▲	0.1▲	0.2▲	46.6	75.9▲	
その他	31	3.2	3.2	-	29.0	449.6	

(4) その他収入年額

昨年1年間のその他収入年額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の昨年1年間の収入額（税込み）の内訳はどのようになりますか。(1) 公的年金と(2) 働いて得る収入、(3) その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですのでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金) …… 年間約 万円
 (2) 働いて得る収入 …… 年間約 万円
 (3) その他の収入 …… 年間約 万円

【その他収入年額】

(3) その他の収入に回答した金額を、以下の金額帯に分類

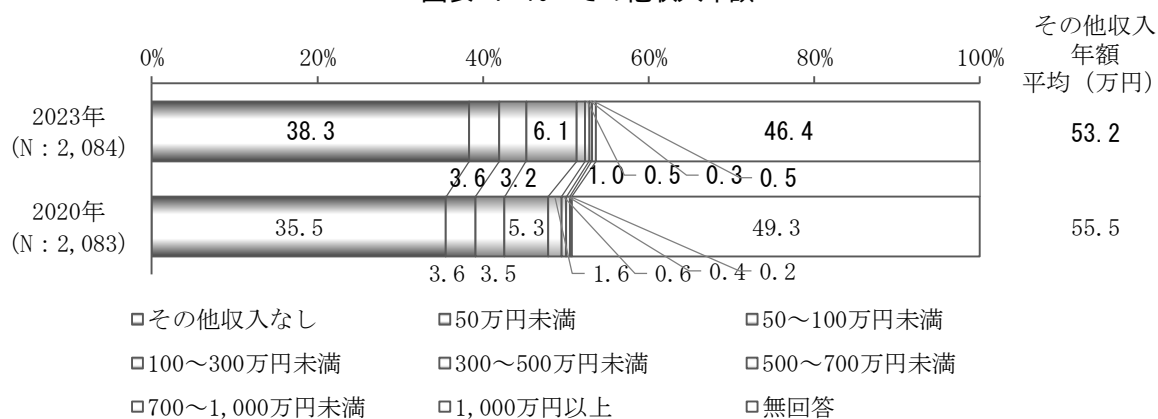
- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 その他収入なし | 5 300～500万円未満 |
| 2 50万円未満 | 6 500～700万円未満 |
| 3 50～100万円未満 | 7 700～1,000万円未満 |
| 4 100～300万円未満 | 8 1,000万円以上 |

その結果、「その他収入なし」が38.3%を占めており、次いで、「100～300万円未満」が6.1%、「50万円未満」が3.6%、「50～100万円未満」が3.2%の順となっている。

また、平均は53.2万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。(図表V-10)

<図表 V-10> その他収入年額



性別にみると、「50万円未満」「700～1,000万円未満」は、男性の方が女性より高くなっている。平均は、性別では大きな差がみられない。
 年齢別にみると、「その他収入なし」は、60～64歳と90歳以上で高くなっている。平均は60～64歳で35.9万円と低くなっている。(図表V-11)

<図表 V-11> その他収入年額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	その他 収入なし	50万円 未満	50～100 万円未満	100～300 万円未満	300～500 万円未満
全 体		2,084	38.3	3.6	3.2	6.1	1.0
性別	男 性	996	38.3	4.6	3.9	6.6	1.1
	女 性	1,088	38.4	2.8▲	2.6	5.6	0.9
本人 年齢別	60～64歳	380	45.0	5.5	3.9	6.3	0.8
	65～69歳	400	37.0	4.0	4.5	6.0	1.0
	70～74歳	463	35.2	2.6	3.7	7.1	1.3
	75～79歳	369	37.7	4.1	1.9	7.9	1.4
	80～84歳	273	35.2	1.8	2.9	3.7	1.1
	85～89歳	141	35.5	5.0	0.7	2.1▲	-
	90歳以上	58	55.2	-	1.7	6.9	-

		N	500～700 万円未満	700～ 1,000 万円未満	1,000 万円以上	無回答	平年そ 均額の 他 収入 (万 円)
全 体		2,084	0.5	0.3	0.5	46.4	53.2
性別	男 性	996	0.6	0.6	0.5	43.8▲	58.0
	女 性	1,088	0.5	-	0.6	48.7	48.3
本人 年齢別	60～64歳	380	-	0.3	0.5	37.6▲	35.9▲
	65～69歳	400	1.3	-	0.3	46.0	46.4
	70～74歳	463	0.4	0.2	0.9	48.6	63.7
	75～79歳	369	-	0.3	0.3	46.6	48.3
	80～84歳	273	0.4	0.4	1.1	53.5	91.4
	85～89歳	141	2.1	0.7	-	53.9	50.0
	90歳以上	58	-	1.7	-	34.5	36.9

本人の現在の職業別にみると、「その他収入なし」は自営者で低くなっている。
平均は、非正規社員で20.4万円と低くなっている。(図表V-12)

<図表 V-12> その他収入年額〔本人職業（現在）別〕

		(単位：%)					
		N	その他 収入なし	50万円 未満	50～100 万円未満	100～300 万円未満	300～500 万円未満
全 体		2,084	38.3	3.6	3.2	6.1	1.0
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	31.6▲	4.0	4.0	7.7	1.6
	農 林 漁 業	29	6.9▲	6.9	3.4	3.4	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	35.6	3.4	5.2	8.6	2.3
	自 由 業	44	31.8	4.5	-	6.8	-
	常 雇 被 用 者	212	41.0	4.7	3.8	7.5	0.5
	公 務 員	38	42.1	5.3	7.9	13.2	-
	民 間 企 業 被 用 者	174	40.8	4.6	2.9	6.3	0.6
	非 正 規 社 員	293	37.9	4.1	2.4	4.4	1.0
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	41.7	8.3	-	6.3	-
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	37.1	3.3	2.9	4.1	1.2
無 職	1,285	39.8	3.3	3.1	5.8	1.0	
そ の 他	31	29.0	3.2	6.5	6.5	-	

		N	500～700 万円未満	700～ 1,000 万円未満	1,000 万円以上	無回答	平年そ 均額の 他収入 (万円)
全 体		2,084	0.5	0.3	0.5	46.4	53.2
本人 職業 (現在) 別	自 営 者	247	-	0.4	1.6	49.0	84.9
	農 林 漁 業	29	-	3.4	3.4	72.4	320.0
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	-	-	1.7	43.1	78.6
	自 由 業	44	-	-	-	56.8	19.0▲
	常 雇 被 用 者	212	0.5	0.5	0.5	41.0	49.8
	公 務 員	38	-	-	-	31.6	37.6
	民 間 企 業 被 用 者	174	0.6	0.6	0.6	43.1	53.0
	非 正 規 社 員	293	-	-	-	50.2	20.4▲
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	-	-	-	43.8	16.3▲
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	-	-	-	51.4	21.4▲
無 職	1,285	0.8	0.2	0.5	45.6	54.3	
そ の 他	31	-	3.2	-	51.6	70.7	

(5) 年収に占める割合

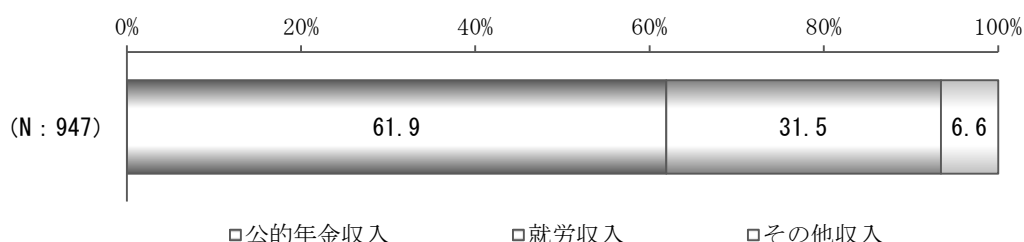
前述の(1)～(4)の項目に基づき、世帯年収に占める公的年金収入、就労収入、その他収入の割合を算出し、それぞれの平均を求めた。

【年収に占める割合】

- 1 公的年金収入／世帯年収……………以下「公的年金収入」
- 2 就労収入／世帯年収……………以下「就労収入」
- 3 その他収入／世帯年収……………以下「その他収入」

その結果、「公的年金収入」が 61.9%と最も多く、次いで、「就労収入」が 31.5%、「その他収入」が 6.6%となっている。(図表V-13)

<図表 V-13> 年収に占める割合【平均】



性別にみると、世帯年収に占める「公的年金収入」の割合は女性の方が男性を上回っているが、「就労収入」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「公的年金収入」は60～64歳で18.1%と最も低く、高い年齢層ほど高くなっている。逆に「就労収入」は60～64歳で74.6%と最も高く、高い年齢層ほど低くなっている。(図表V-14)

<図表 V-14> 年収に占める割合【平均】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
性別	男 性	486	55.8▲	37.2	6.9
	女 性	461	68.3	25.5▲	6.2
本人年齢別	60～64歳	203	18.1▲	74.6	7.3
	65～69歳	197	55.0▲	37.3	7.7
	70～74歳	207	72.7	20.7▲	6.5
	75～79歳	174	79.8	13.0▲	7.2
	80～84歳	94	88.0	6.9▲	5.1
	85～89歳	48	94.4	2.6▲	2.9
	90歳以上	24	99.1	-	0.9▲

本人の現在の職業別にみると、「公的年金収入」は無職で82.2%と高くなっている。「就労収入」は有職者で高くなっている。(図表V-15)

<図表 V-15> 年収に占める割合【平均】〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
本人職業（現在）別	自 営 者	111	30.5▲	60.8	8.6
	農 林 漁 業	6	39.1▲	33.8	27.1
	商 工 サ ー ビ ス 業	89	31.0▲	61.2	7.8
	自 由 業	16	24.8▲	68.6	6.6
	常 雇 被 用 者	118	18.0▲	76.3	5.7
	公 務 員	24	26.3▲	67.5	6.2
	民 間 企 業 被 用 者	94	15.9▲	78.6	5.5
	非 正 規 社 員	136	45.5▲	50.2	4.3▲
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	25	31.2▲	65.7	3.1▲
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	111	48.7▲	46.8	4.5▲
無 職	561	82.2	10.9▲	6.9	
そ の 他	14	28.3▲	68.0	3.7	

世帯年収別にみると、「公的年金収入」は300万円未満の層で8割台と高くなっているが、高年収層ほど低くなっている傾向がみられる。「就労収入」は高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。「その他収入」は、500～1,000万円未満の層で高くなっている。(図表V-16)

<図表 V-16> 年収に占める割合【平均】〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
世帯年収別	100 万 円 未 満	52	89.1	8.9▲	1.9▲
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	81.7	14.9▲	3.4▲
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	63.0	30.5	6.5
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	37.4▲	52.2	10.4
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	24.1▲	63.0	12.9
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	9.4▲	77.1	13.4
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	10.0▲	68.0	22.0
	2,000 万 円 以 上	8	2.7▲	84.8	12.5

世帯保有金融資産別にみると、「公的年金収入」は100万円未満層で70.3%と高くなっている。「就労収入」は、500～1,000万円未満層で高くなっている。「その他収入」は、2,000万円以上層で高くなっている。(図表V-17)

<図表 V-17> 年収に占める割合【平均】〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	公的年金収入	就労収入	その他収入
全 体		947	61.9	31.5	6.6
金融資産別 世帯保有	100万円未満	99	70.3	27.9	1.8▲
	100～500万円未満	144	61.4	34.9	3.7▲
	500～1,000万円未満	120	53.6▲	43.8	2.6▲
	1,000～2,000万円未満	164	59.7	33.8	6.5
	2,000万円以上	256	55.3▲	31.2	13.5

2. 支出

(1) 夫婦の生活費月額

自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の生活費月額を捉えるため、以下のよう
に尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の生活費についてお伺いします。(1) 月々の生活費（注）と（2）そのうち医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですのでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0円とお答えください。

（注） 含めるもの： 衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
除くもの： 住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

(1) 月々の生活費 ……月額約 万円

(2) うち医療・介護費用 ……月額約 万 千円

【夫婦の生活費月額】

(1) 月々の生活費に回答した金額を、以下の金額帯に分類

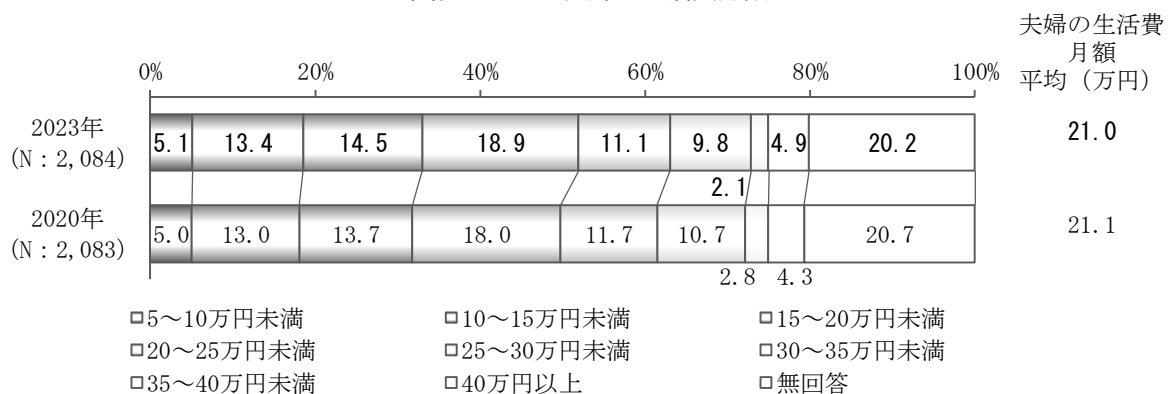
- | | |
|-------------|-------------|
| 1 5～10万円未満 | 5 25～30万円未満 |
| 2 10～15万円未満 | 6 30～35万円未満 |
| 3 15～20万円未満 | 7 35～40万円未満 |
| 4 20～25万円未満 | 8 40万円以上 |

その結果、「20～25万円未満」が18.9%と最も多く、次いで、「15～20万円未満」が14.5%、「10～15万円未満」が13.4%、「25～30万円未満」が11.1%の順となっている。

また、平均は21.0万円となっている。

前回と比較すると、特に差はみられない。(図表V-18)

<図表 V-18> 夫婦の生活費月額



性別にみると、「5～10万円未満」「10～15万円未満」は、男性より女性の方が上回っている。一方、「25～30万円未満」「35～40万円未満」「40万円以上」は男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の19.4万円より男性の22.6万円が上回っている。

年齢別にみると、「5～10万円未満」「10～15万円未満」は、85～89歳で最も高くなっている。

平均は、60～64歳の22.6万円が最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表V-19)

<図表 V-19> 夫婦の生活費月額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	5～10 万円未満	10～15 万円未満	15～20 万円未満	20～25 万円未満	25～30 万円未満
全 体		2,084	5.1	13.4	14.5	18.9	11.1
性別	男 性	996	4.1▲	11.3▲	14.0	18.8	12.6
	女 性	1,088	6.1	15.3	15.0	19.0	9.7▲
本人 年齢別	60～64歳	380	4.5	10.0▲	13.9	21.1	11.6
	65～69歳	400	4.8	13.3	12.8	22.5	13.3
	70～74歳	463	3.5	11.4	14.9	20.7	12.3
	75～79歳	369	5.4	14.4	17.6	17.1	11.9
	80～84歳	273	5.5	17.2	13.2	15.8	8.4
	85～89歳	141	10.6	19.9	14.9	13.5	4.3▲
	90歳以上	58	8.6	12.1	12.1	5.2▲	6.9

		N	30～35 万円未満	35～40 万円未満	40万円 以上	無回答	平月夫 均額婦 の生活 費 (万円)
全 体		2,084	9.8	2.1	4.9	20.2	21.0
性別	男 性	996	11.0	2.8	7.1	18.3▲	22.6
	女 性	1,088	8.7	1.5▲	2.8▲	21.9	19.4▲
本人 年齢別	60～64歳	380	13.4	1.6	7.1	16.8	22.6
	65～69歳	400	9.5	3.0	5.5	15.5▲	21.3
	70～74歳	463	11.4	2.4	4.8	18.6	21.7
	75～79歳	369	7.9	2.4	3.5	19.8	20.1▲
	80～84歳	273	7.7	0.7	4.4	27.1	20.0▲
	85～89歳	141	5.7	2.1	3.5	25.5	17.6▲
	90歳以上	58	8.6	1.7	1.7	43.1	18.5▲

世帯年収別にみると、「5～10万円未満」は100万円未満層で、「10～15万円未満」「15～20万円未満」は100～300万円未満層で、「20～25万円未満」「25～30万円未満」は300～500万円未満層で、「30～35万円未満」は700～1,000万円未満層で、それぞれ最も高くなっている。

平均は、概ね高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表V-20)

<図表 V-20> 夫婦の生活費月額〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	5～10 万円未満	10～15 万円未満	15～20 万円未満	20～25 万円未満	25～30 万円未満
全 体		2,084	5.1	13.4	14.5	18.9	11.1
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	52	25.0	26.9	9.6	11.5	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	5.8	28.9	26.4	21.6	6.4▲
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	0.6▲	8.2▲	14.0	29.6	24.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	-	1.7▲	11.9	22.0	18.6
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	-	-	6.2	18.5	16.9
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	-	5.1	10.3	10.3	12.8
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	12.5	-	-	-	25.0
	2,000 万 円 以 上	8	-	-	-	-	12.5

		N	30～35 万円未満	35～40 万円未満	40万円 以上	無回答	平月夫 均額婦 の生 活費 (万 円)
全 体		2,084	9.8	2.1	4.9	20.2	21.0
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	52	5.8	-	1.9	19.2	14.7▲
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	1.8▲	0.9	0.9▲	7.3▲	16.4▲
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	13.4	3.4	3.0	3.0▲	22.9
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	24.6	6.8	11.0	3.4▲	26.6
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	29.2	6.2	23.1	-	31.3
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	25.6	-	30.8	5.1▲	29.3
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	25.0	-	37.5	-	31.9
	2,000 万 円 以 上	8	25.0	-	25.0	37.5	37.0

(2) 医療・介護費用月額

①医療・介護費用月額

自分自身と配偶者（配偶者がいない場合は自分自身のみ）の医療・介護費用月額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと配偶者の夫婦2人（配偶者がいらっしゃらない場合はあなた）の生活費についてお伺いします。(1) 月々の生活費（注）と（2）そのうち医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0円とお答えください。

（注）含めるもの： 衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
 除くもの： 住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

(1) 月々の生活費 ……月額約 万円

(2) うち医療・介護費用 ……月額約 万 千円

【医療・介護費用月額】

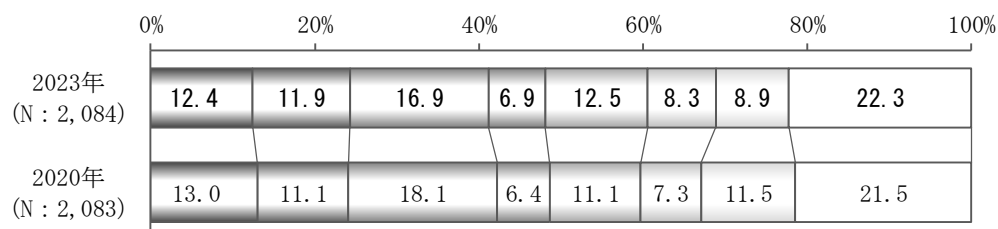
(2) 医療・介護費用に回答した金額を、以下の金額帯に分類

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 5,000円未満 | 5 20,000～30,000円未満 |
| 2 5,000～10,000円未満 | 6 30,000～50,000円未満 |
| 3 10,000～15,000円未満 | 7 50,000円以上 |
| 4 15,000～20,000円未満 | |

その結果、「10,000～15,000円未満」が16.9%と最も多く、次いで、「20,000～30,000円未満」が12.5%、「5,000円未満」が12.4%、「5,000～10,000円未満」が11.9%の順となっている。

平均は20,600円となっている。（図表V-21）

<図表 V-21> 医療・介護費用月額



- | | | |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 5,000円未満 | <input type="checkbox"/> 5,000～10,000円未満 | <input type="checkbox"/> 10,000～15,000円未満 |
| <input type="checkbox"/> 15,000～20,000円未満 | <input type="checkbox"/> 20,000～30,000円未満 | <input type="checkbox"/> 30,000～50,000円未満 |
| <input type="checkbox"/> 50,000円以上 | <input type="checkbox"/> 無回答 | |

性別にみると、「5,000円未満」「5,000～10,000円未満」は、男性より女性の方が上回っている。一方、「20,000～30,000円未満」「30,000～50,000円未満」「50,000円以上」は男性の方が女性より高くなっている。

平均は、女性の17,600円より男性の23,800円が上回っている。

年齢別にみると、平均は60～64歳で16,200円と低くなっている。(図表V-22)

<図表 V-22> 医療・介護費用月額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	無回答	平費医 均用療 (月・ 万額介 護 円)
全 体		2,084	12.4	11.9	16.9	6.9	12.5	8.3	8.9	22.3	2.06
性別	男 性	996	10.3▲	9.9▲	16.6	7.7	14.3	9.6	11.1	20.4▲	2.38
	女 性	1,088	14.3	13.6	17.2	6.2	10.8▲	7.1▲	6.8▲	24.0	1.76▲
本人 年齢別	60～64歳	380	17.1	12.9	21.1	6.1	8.9▲	6.8	6.8	20.3	1.62▲
	65～69歳	400	11.3	9.5	16.3	7.8	15.5	10.8	10.0	19.0	2.13
	70～74歳	463	10.8	11.7	16.4	7.1	14.9	8.4	9.5	21.2	2.17
	75～79歳	369	10.6	13.3	18.4	8.4	11.4	8.4	7.0	22.5	1.90
	80～84歳	273	11.0	11.0	13.2	6.6	11.4	8.8	9.2	28.9	2.35
	85～89歳	141	14.9	15.6	13.5	5.0	9.9	5.7	12.8	22.7	2.55
	90歳以上	58	15.5	8.6	13.8	1.7	13.8	3.4	10.3	32.8	2.28

世帯年収別にみると、「5,000円未満」は、100万円未満層で38.5%と最も高く、100～300万円未満層でも20.4%と高くなっている。「5,000～10,000円未満」は300～500万円未満層で、「10,000～15,000円未満」は100～500万円未満の層で、「15,000～20,000円未満」は500～700万円未満層で、「20,000～30,000円未満」は300～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。

平均は、100万円未満層で8,500円、100～300万円未満層で17,100円と低くなっている。(図表V-23)

<図表 V-23> 医療・介護費用月額〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	無回答	平費医 均用療 (月・ 万額介 護 円)
全 体		2,084	12.4	11.9	16.9	6.9	12.5	8.3	8.9	22.3	2.06
世帯 年収別	100万円未満	52	38.5	11.5	15.4	3.8	9.6	5.8	-	15.4	0.85▲
	100～300万円未満	329	20.4	13.7	22.5	8.8	15.2	6.4	7.3	5.8▲	1.71▲
	300～500万円未満	328	11.9	17.4	20.7	7.9	19.5	11.0	7.9	3.7▲	1.94
	500～700万円未満	118	7.6	12.7	18.6	13.6	16.1	11.0	15.3	5.1▲	2.55
	700～1,000万円未満	65	7.7	6.2	20.0	12.3	18.5	12.3	16.9	6.2▲	2.76
	1,000～1,500万円未満	39	15.4	10.3	12.8	12.8	15.4	12.8	17.9	2.6▲	3.41
	1,500～2,000万円未満	8	25.0	12.5	12.5	-	-	37.5	12.5	-	2.13
	2,000万円以上	8	12.5	-	12.5	-	-	37.5	25.0	12.5	2.93

客観的健康状態別にみると、平均は、差し支えあり層で17,800円と低くなっている。(図表V-24)

<図表 V-24> 医療・介護費用月額〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 15,000円 未満	15,000～ 20,000円 未満	20,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上	無回答	平均医療 費用月額 (万円・介 護)
全 体		2,084	12.4	11.9	16.9	6.9	12.5	8.3	8.9	22.3	2.06
客 観 的 健 康 状 態 別	差 し 支 え な し	858	11.5	11.1	18.1	6.3	12.2	9.8	9.8	21.2	2.13
	ほんの少し差し支えあり	689	11.6	14.5	18.6	7.5	11.6	8.6	8.9	18.7▲	2.05
	差 し 支 え あ り	348	15.5	10.3	14.1	6.9	14.7	4.9▲	6.6	27.0	1.78▲
	大いに差し支えあり	139	11.5	9.4	10.1▲	6.5	15.1	8.6	10.1	28.8	2.50

②生活費に占める医療・介護費用の割合

前述の(1)～(2)の結果に基づき、生活費に占める医療・介護費用の割合を算出し、以下のように分類した。

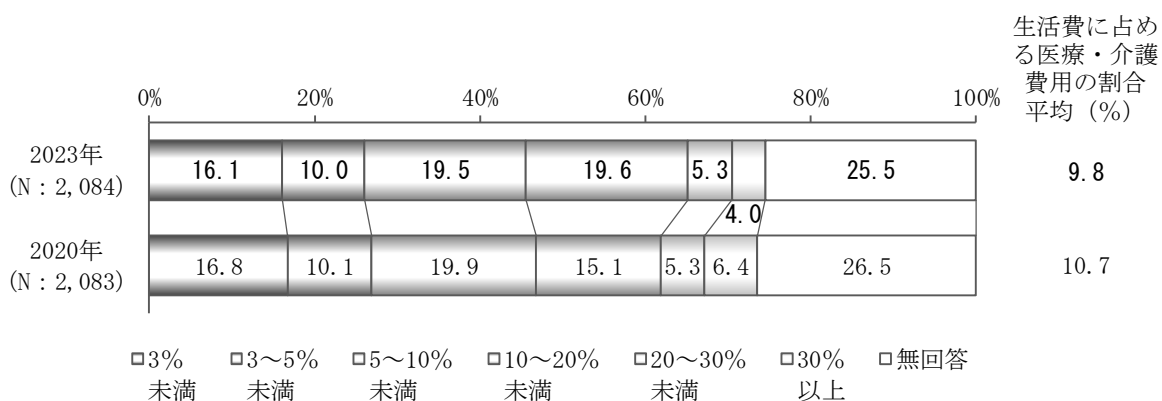
【生活費に占める医療・介護費用の割合】	
1 3%未満	4 10～20%未満
2 3～5%未満	5 20～30%未満
3 5～10%未満	6 30%以上

その結果、「10～20%未満」が19.6%と最も多く、次いで、「5～10%未満」が19.5%、「3%未満」が16.1%、「3～5%未満」が10.0%の順となっている。

また、平均は9.8%となっている。

前回と比較すると、「10～20%未満」が4.5ポイント増加し、「30%以上」が2.4ポイント減少している。また、平均は0.9ポイント減少している。(図表V-25)

<図表 V-25> 生活費に占める医療・介護費用の割合



性別にみると、「3%未満」は女性の方が男性を上回り、「10~20%未満」「30%以上」は男性の方が女性より高くなっている。

平均をみると、女性で9.0%と低くなっている。

年齢別にみると、「3%未満」は60~64歳で高くなっている。

平均をみると、60~64歳で7.8%と低くなっている。(図表V-26)

<図表 V-26> 生活費に占める医療・介護費用の割合〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	3%未満	3~5%未満	5~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30%以上	無回答	平均介護費用に占める医療・生活費に占める割合(%)
全 体		2,084	16.1	10.0	19.5	19.6	5.3	4.0	25.5	9.8
性別	男 性	996	14.3▲	10.6	19.5	21.6○	6.1	4.9○	23.0▲	10.6
	女 性	1,088	17.7○	9.4	19.5	17.8▲	4.6	3.2▲	27.8○	9.0▲
本人年齢別	60~64歳	380	24.2○	12.6	17.9	17.6	2.9▲	2.6	22.1	7.8▲
	65~69歳	400	14.8	8.3	24.8○	21.0	6.8	4.3	20.3▲	10.1
	70~74歳	463	15.3	9.9	19.9	20.5	6.9	3.0	24.4	9.6
	75~79歳	369	15.4	11.1	19.8	20.3	4.3	4.9	24.1	10.0
	80~84歳	273	9.5▲	8.4	17.9	19.4	5.1	4.8	34.8○	11.2
	85~89歳	141	15.6	8.5	14.9	19.1	6.4	6.4	29.1	11.6
	90歳以上	58	13.8	8.6	6.9▲	13.8	3.4	5.2	48.3○	11.0

世帯年収別にみると、「3%未満」は、500万円未満の層で高くなっている。「3~5%未満」は300~700万円未満の層で、「5~10%未満」は300~500万円未満層で、「10~20%未満」は100~300万円未満層で、それぞれ高くなっている。

平均をみると、100万円未満層と300~500万円未満層で低くなっている。(図表V-27)

<図表 V-27> 生活費に占める医療・介護費用の割合〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	3%未満	3~5%未満	5~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30%以上	無回答	平均介護費用に占める医療・生活費に占める割合(%)
全 体		2,084	16.1	10.0	19.5	19.6	5.3	4.0	25.5	9.8
世帯年収別	100万円未満	52	26.9○	7.7	15.4	17.3	3.8	-	28.8	6.1▲
	100~300万円未満	329	21.6○	9.7	20.4	26.4○	6.7	5.2	10.0▲	10.1
	300~500万円未満	328	23.8○	14.0○	26.2○	23.5	4.6	2.7	5.2▲	8.4▲
	500~700万円未満	118	19.5	16.9○	26.3	23.7	1.7	5.9	5.9▲	9.1
	700~1,000万円未満	65	20.0	15.4	26.2	24.6	3.1	4.6	6.2▲	9.2
	1,000~1,500万円未満	39	20.5	12.8	25.6	23.1	-	12.8○	5.1▲	12.2
	1,500~2,000万円未満	8	37.5	-	25.0	37.5	-	-	-	6.9
	2,000万円以上	8	-	12.5	25.0	12.5	12.5	-	37.5	9.5

客観的健康状態別にみると、「3%未満」はほんの少し差し支えあり層で高く、大いに差し支えあり層で低くなっている。「30%以上」は、大いに差し支えあり層で高くなっている。

平均は、大いに差し支えあり層で14.2%と高くなっている。(図表V-28)

<図表 V-28> 生活費に占める医療・介護費用の割合〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	3%未満	3~5%未満	5~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30%以上	無回答	平均生活費に占める医療・介護費用の割合(%)
全体		2,084	16.1	10.0	19.5	19.6	5.3	4.0	25.5	9.8
客観的健康状態別	差し支えなし	858	15.2	10.7	21.2	20.0	5.6	3.7	23.5	9.6
	ほんの少し差し支えあり	689	18.6	11.3	20.8	19.4	5.2	4.1	20.6▲	9.5
	差し支えあり	348	16.7	6.6▲	17.8	19.3	4.9	3.2	31.6	9.5
	大いに差し支えあり	139	7.9▲	6.5	10.8▲	20.1	6.5	7.9	40.3	14.2

3. 保有金融資産

(1) 世帯保有金融資産額

世帯の保有金融資産の合計金額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の（1）金額合計と、（2）そのうち保険の金額合計はそれぞれこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構ですのでお答えください。

- （注1）不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。
 （注2）株式は時価、公社債は額面金額としてください。
 （注3）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

(1) 保有金融資産の合計金額

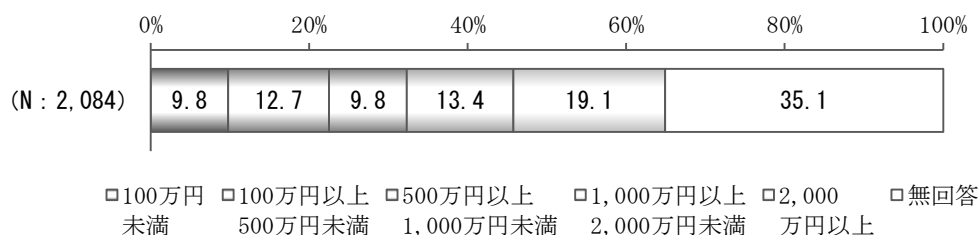
- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 100万円未満 | 11 1,000万円以上1,200万円未満 |
| 2 100万円以上200万円未満 | 12 1,200万円以上1,400万円未満 |
| 3 200万円以上300万円未満 | 13 1,400万円以上1,600万円未満 |
| 4 300万円以上400万円未満 | 14 1,600万円以上1,800万円未満 |
| 5 400万円以上500万円未満 | 15 1,800万円以上2,000万円未満 |
| 6 500万円以上600万円未満 | 16 2,000万円以上2,500万円未満 |
| 7 600万円以上700万円未満 | 17 2,500万円以上3,000万円未満 |
| 8 700万円以上800万円未満 | 18 3,000万円以上4,000万円未満 |
| 9 800万円以上900万円未満 | 19 4,000万円以上 |
| 10 900万円以上1,000万円未満 | |

【世帯保有金融資産額】

- | | |
|----------------------|----------|
| 1 100万円未満 | 回答が1 |
| 2 100万円以上500万円未満 | 回答が2～5 |
| 3 500万円以上1,000万円未満 | 回答が6～10 |
| 4 1,000万円以上2,000万円未満 | 回答が11～15 |
| 5 2,000万円以上 | 回答が16～19 |

その結果、「2,000万円以上」が19.1%と最も多く、次いで、「1,000万円以上2,000万円未満」が13.4%、「100万円以上500万円未満」が12.7%の順となっている。（図表V-29）

<図表 V-29> 世帯保有金融資産額



性別にみると、「2,000万円以上」は、男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「100万円以上500万円未満」は65～69歳で、「500万円以上1,000万円未満」は60～64歳で、それぞれ高くなっている。「2,000万円以上」は、85～89歳で低くなっている。(図表V-30)

<図表 V-30> 世帯保有金融資産額〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体		2,084	9.8	12.7	9.8	13.4	19.1	35.1
性別	男 性	996	10.1	13.7	10.1	14.9	22.1	29.1▲
	女 性	1,088	9.5	11.9	9.6	12.1	16.5▲	40.5
本人 年齢別	60～64歳	380	8.9	11.8	14.5	16.1	20.5	28.2▲
	65～69歳	400	11.8	15.8	7.3	12.3	22.5	30.5▲
	70～74歳	463	9.9	10.4	11.2	14.5	20.1	33.9
	75～79歳	369	8.1	12.7	7.6	14.9	17.6	39.0
	80～84歳	273	9.9	15.0	8.1	11.0	16.5	39.6
	85～89歳	141	9.2	11.3	9.9	10.6	12.8▲	46.1
	90歳以上	58	12.1	8.6	8.6	5.2	17.2	48.3

世帯年収別にみると、「100万円未満」「100万円以上500万円未満」は、低年収層ほど高くなっている傾向がみられる。一方、「2,000万円以上」は、高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表V-31)

<図表 V-31> 世帯保有金融資産額〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体		2,084	9.8	12.7	9.8	13.4	19.1	35.1
世帯 年収別	100万円未満	52	32.7	21.2	5.8	9.6	5.8▲	25.0
	100～300万円未満	329	16.1	17.3	17.0	11.6	14.0▲	24.0▲
	300～500万円未満	328	6.1▲	17.1	8.8	22.0	31.4	14.6▲
	500～700万円未満	118	4.2▲	9.3	15.3	22.0	36.4	12.7▲
	700～1,000万円未満	65	4.6	10.8	16.9	23.1	36.9	7.7▲
	1,000～1,500万円未満	39	-	5.1	7.7	15.4	66.7	5.1▲
	1,500～2,000万円未満	8	12.5	-	-	25.0	50.0	12.5
	2,000万円以上	8	-	-	-	-	87.5	12.5

(2) 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）

既払込保険料総額を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の（1）金額合計と、（2）そのうち保険の金額合計はそれぞれこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構ですでお答えください。

- （注1）不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。
 （注2）株式は時価、公社債は額面金額としてください。
 （注3）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

(2) うち保険の合計金額

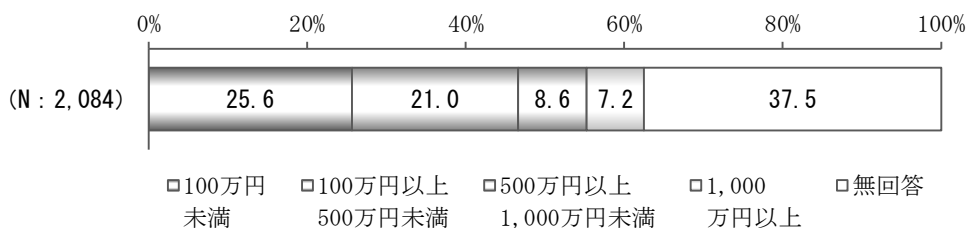
- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 100万円未満 | 7 600万円以上700万円未満 |
| 2 100万円以上200万円未満 | 8 700万円以上800万円未満 |
| 3 200万円以上300万円未満 | 9 800万円以上900万円未満 |
| 4 300万円以上400万円未満 | 10 900万円以上1,000万円未満 |
| 5 400万円以上500万円未満 | 11 1,000万円以上 |
| 6 500万円以上600万円未満 | |

【既払込保険料総額（掛け捨てを除く）】

- | | | |
|--------------------|-----|---------|
| 1 100万円未満 | ……… | 回答が1 |
| 2 100万円以上500万円未満 | ……… | 回答が2～5 |
| 3 500万円以上1,000万円未満 | ……… | 回答が6～10 |
| 4 1,000万円以上 | ……… | 回答が11 |

その結果、「100万円未満」が25.6%と最も多く、次いで、「100万円以上500万円未満」が21.0%、「500万円以上1,000万円未満」が8.6%、「1,000万円以上」が7.2%の順となっている。（図表V-32）

<図表 V-32> 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）



性別にみると、「100万円未満」は男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「100万円未満」は65～69歳で高く、80～84歳で低くなっている。「100万円以上500万円未満」は85～89歳で低く、「500万円以上1,000万円未満」は60～64歳で高くなっている。

(図表V-33)

<図表 V-33> 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全 体		2,084	25.6	21.0	8.6	7.2	37.5
性別	男 性	996	29.4	21.6	9.1	7.6	32.2▲
	女 性	1,088	22.2▲	20.5	8.2	6.9	42.3
本人 年齢別	60～64歳	380	27.6	23.9	11.3	7.9	29.2▲
	65～69歳	400	30.0	22.5	7.8	9.3	30.5▲
	70～74歳	463	26.6	21.8	9.1	6.9	35.6
	75～79歳	369	24.1	20.3	10.3	5.7	39.6
	80～84歳	273	19.8▲	20.1	6.6	6.6	46.9
	85～89歳	141	23.4	12.8▲	5.0	6.4	52.5
	90歳以上	58	17.2	13.8	1.7	6.9	60.3

世帯年収別にみると、「100万円未満」は100～300万円未満層で、「100万円以上500万円未満」は300～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。「500万円以上1,000万円未満」「1,000万円以上」は、概ね高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表V-34)

<図表 V-34> 既払込保険料総額（掛け捨てを除く）〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全 体		2,084	25.6	21.0	8.6	7.2	37.5
世帯 年収別	100万円未満	52	36.5	23.1	-	5.8	34.6
	100～300万円未満	329	40.4	18.2	7.6	4.0▲	29.8▲
	300～500万円未満	328	29.9	29.3	14.6	9.8	16.5▲
	500～700万円未満	118	23.7	27.1	17.8	19.5	11.9▲
	700～1,000万円未満	65	23.1	26.2	24.6	20.0	6.2▲
	1,000～1,500万円未満	39	17.9	28.2	25.6	20.5	7.7▲
	1,500～2,000万円未満	8	25.0	-	37.5	25.0	12.5
	2,000万円以上	8	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5

第VI章 生活保障意識

ここでは、年金制度を含めた長寿社会における様々な不安に対する準備状況について、捉えている。

1. 老後保障

(1) 老後資産形成

①何歳まで生きると思うか

何歳まで生きると思うかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは何歳まで生きると思いますか。

歳

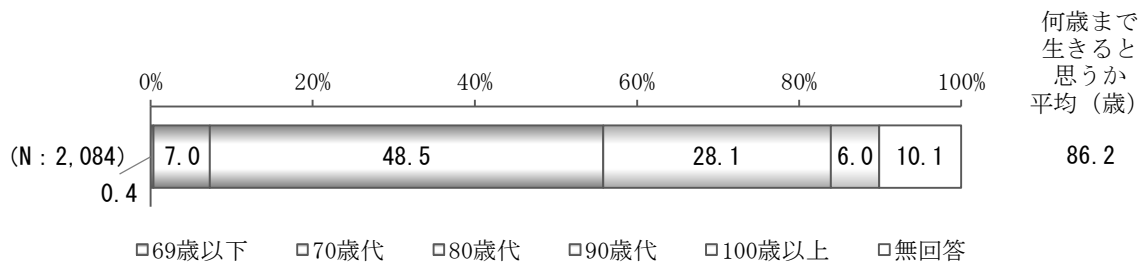
【何歳まで生きると思うか】
以下の年齢帯に分類

- 1 69歳以下
- 2 70歳代
- 3 80歳代
- 4 90歳代
- 5 100歳以上

その結果、「80歳代」が48.5%と最も多く、次いで、「90歳代」が28.1%となっている。「70歳代」(7.0%)、「100歳以上」(6.0%)は1割に満たなかった。

平均をみると、86.2歳となっている。(図表VI-1)

<図表 VI-1> 何歳まで生きると思うか



性別にみると、「70 歳代」「100 歳以上」は男性の方が女性より高くなっている。一方、「90 歳代」は女性が男性より高くなっている。ただし、平均をみると、男性が 86.0 歳、女性が 86.5 歳で、性別での大きな差はみられない。

年齢別にみると、「69 歳以下」は 60～64 歳で、「70 歳代」は 60～69 歳の層で、「80 歳代」は 65～79 歳の層で、「90 歳代」は 80 歳以上の層で、「100 歳以上」は 85 歳以上の層で、それぞれ高くなっている。

平均をみると、高い年齢層になるほど高くなっている傾向がみられる。(図表VI-2)

<図表 VI-2> 何歳まで生きると思うか〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答	平均と何歳までか(歳)
全 体		2,084	0.4	7.0	48.5	28.1	6.0	10.1	86.2
性別	男 性	996	0.4	8.5	49.8	25.5▲	7.0	8.7▲	86.0
	女 性	1,088	0.4	5.5▲	47.2	30.5	5.0▲	11.4	86.5
本人年齢別	60～64歳	380	1.6	15.8	52.9	18.9▲	5.3	5.5▲	83.6▲
	65～69歳	400	0.5	14.8	54.8	20.0▲	1.8▲	8.3	83.2▲
	70～74歳	463	-	4.1▲	57.5	23.8▲	5.2	9.5	85.7
	75～79歳	369	-	1.9▲	57.7	25.2	6.0	9.2	87.0
	80～84歳	273	-	-	35.9▲	41.4	6.2	16.5	89.6
	85～89歳	141	-	-	9.2▲	63.1	12.1	15.6	93.0
	90歳以上	58	-	-	-	50.0	29.3	20.7	97.0

客観的健康状態別にみると、「69 歳以下」「70 歳代」は差し支えあり層で、「80 歳代」はほんの少し差し支えあり層で、それぞれ高くなっている。また、「100 歳以上」は、大いに差し支えあり層で高くなっている。

平均をみると、大いに差し支えあり層で 89.0 歳と高くなっている。(図表VI-3)

<図表 VI-3> 何歳まで生きると思うか〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	69歳以下	70歳代	80歳代	90歳代	100歳以上	無回答	平均と何歳までか(歳)
全 体		2,084	0.4	7.0	48.5	28.1	6.0	10.1	86.2
客観的健康状態別	差し支えなし	858	0.1	5.8	48.1	30.3	5.9	9.7	86.7
	ほんの少し差し支えあり	689	0.4	6.8	53.1	26.9	5.1	7.7▲	85.8
	差し支えあり	348	1.1	10.6	46.8	24.4	4.9	12.1	85.0▲
	大いに差し支えあり	139	-	5.0	34.5▲	30.9	13.7	15.8	89.0

②老後資産に係る不安

老後資産に係る不安を捉えるため、以下のように尋ねた。

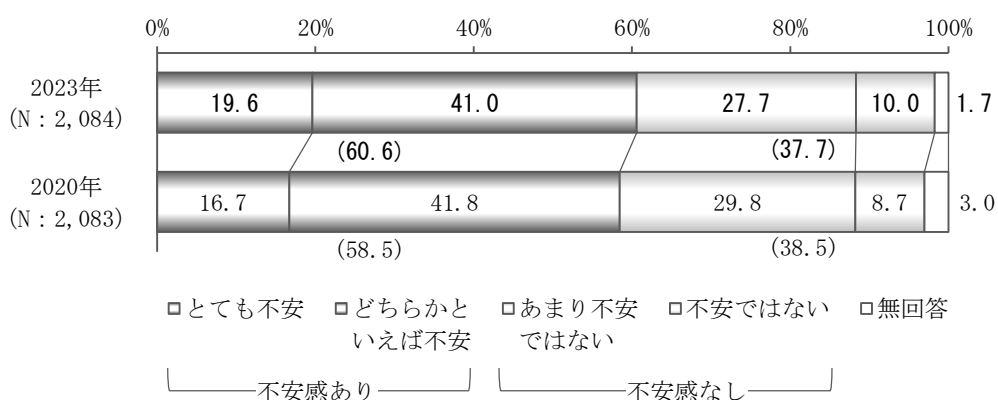
あなたは退職後の生活資金に不安がありますか。

1 とても不安
2 どちらかといえば不安
3 あまり不安ではない
4 不安ではない

その結果、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は60.6%で、「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）の37.7%を大きく上回っている。

前回と比較すると、「とても不安」が2.9ポイント増加している。（図表VI-4）

<図表 VI-4> 老後資産に係る不安



性別にみると、「不安感なし」のうち「不安ではない」は、男性の方が女性より高くなっている。年齢別にみると、「不安感あり」は60～69歳の層で7割弱と高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。逆に、「不安感なし」は、高い年齢層ほど高くなり、85歳以上の層で5割を超えている。（図表VI-5）

<図表 VI-5> 老後資産に係る不安〔性別・年齢別〕

(単位：%)

	性別	本人年齢別	N	不安感あり		不安感なし		無回答		
				とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない			
全	体		2,084	19.6	41.0	60.6	37.7	27.7	10.0	1.7
性	男	性	996	19.0	39.9	58.8	39.4	28.0	11.3	1.8
別	女	性	1,088	20.2	42.0	62.2	36.1	27.4	8.7▲	1.7
		60～64歳	380	25.5	42.6	68.2	30.8▲	25.0	5.8▲	1.1
		65～69歳	400	25.8	43.5	69.3	29.3▲	22.0▲	7.3▲	1.5
		70～74歳	463	17.5	43.6	61.1	37.4	27.6	9.7	1.5
		75～79歳	369	18.2	41.2	59.3	39.3	28.2	11.1	1.4
		80～84歳	273	16.5	36.6	53.1▲	45.1	34.1	11.0	1.8
		85～89歳	141	7.8▲	31.2▲	39.0▲	55.3	38.3	17.0	5.7
		90歳以上	58	8.6▲	34.5	43.1▲	55.2	25.9	29.3	1.7

世帯年収別にみると、「不安感なし」は500～700万円未満層で高くなっている。「不安感あり」のうち「どちらかといえば不安」は300～500万円未満層で高くなっている。(図表VI-6)

<図表 VI-6> 老後資産に係る不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	いど		不安感あり	不安感なし	不安		無回答
			とても不安	えち			不安感あり	不安感なし	
全体		2,084	19.6	41.0	60.6	37.7	27.7	10.0	1.7
世帯 年 収 別	100万円未満	52	19.2	42.3	61.5	38.5	26.9	11.5	-
	100～300万円未満	329	21.6	37.4	59.0	40.1	28.6	11.6	0.9
	300～500万円未満	328	16.5	46.0	62.5	36.3	28.0	8.2	1.2
	500～700万円未満	118	16.9	35.6	52.5	46.6	35.6	11.0	0.8
	700～1,000万円未満	65	24.6	41.5	66.2	33.8	27.7	6.2	-
	1,000～1,500万円未満	39	5.1▲	17.9▲	23.1▲	76.9	59.0	17.9	-
	1,500～2,000万円未満	8	-	25.0	25.0▲	75.0	25.0	50.0	-
	2,000万円以上	8	-	25.0	25.0▲	62.5	25.0	37.5	12.5

③老後資産形成の私的準備状況

老後資産形成の私的準備状況を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは退職後の生活資金形成のための経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

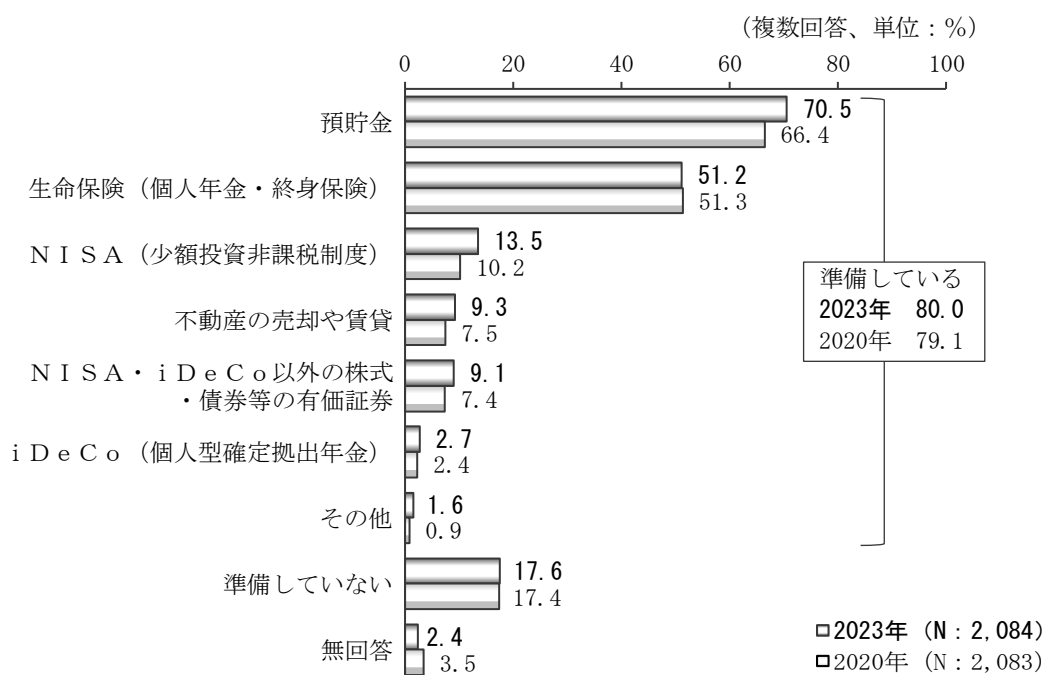
- 1 預貯金
- 2 生命保険（個人年金・終身保険）
- 3 N I S A（少額投資非課税制度）
- 4 i D e C o（個人型確定拠出年金）
- 5 N I S A・i D e C o以外の株式・債券等の有価証券
- 6 不動産の売却や賃貸
- 7 その他
- 8 準備していない

その結果、「準備している」が80.0%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が70.5%と最も多く、次いで、「生命保険（個人年金・終身保険）」が51.2%と5割以上となっている。以下、「N I S A（少額投資非課税制度）」が13.5%、「不動産の売却や賃貸」が9.3%、「N I S A・i D e C o以外の株式・債券等の有価証券」が9.1%の順になっている。

「準備していない」は17.6%にとどまる。

前回と比較すると、「預貯金」「N I S A（少額投資非課税制度）」「不動産の売却や賃貸」「N I S A・i D e C o以外の株式・債券等の有価証券」は、いずれも増加している。（図表VI-7）

<図表 VI-7> 老後資産形成の私的準備状況



性別にみると、「準備している」は、女性の方が男性より高くなっている。具体的な準備としては、「預貯金」「生命保険（個人年金・終身保険）」は、女性の方が男性より高くなっている。一方、「NISA（少額投資非課税制度）」「不動産の売却や賃貸」「NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、80～84歳で低くなっている。具体的な準備としては、「生命保険（個人年金・終身保険）」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「NISA（少額投資非課税制度）」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、60～64歳で高くなっている。（図表VI-8）

<図表 VI-8> 老後資産形成の私的準備状況〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

	N	預貯金	金・生命・終身保険(個人年金)	非課税制度(A)(少額投資)	不動産の売却や賃貸	等oNの以外SのA証券・株式・債券C	確定拠出年金(iDeCo)(個人型)	その他	準備している	準備していない	無回答	
		全体	2,084	70.5	51.2	13.5	9.3	9.1	2.7	1.6	80.0	17.6
性別	男性	996	66.7▲	47.8▲	15.5	12.0	11.9	4.3	1.8	77.7▲	20.1	2.2
	女性	1,088	74.1	54.2	11.8▲	6.8▲	6.4▲	1.3▲	1.5	82.2	15.3▲	2.6
本人年齢別	60～64歳	380	71.6	55.0	20.3	7.6	10.5	6.3	2.6	83.2	15.8	1.1
	65～69歳	400	71.3	53.8	16.3	8.5	9.8	2.8	1.0	81.3	17.5	1.3
	70～74歳	463	71.9	53.8	11.4	10.8	7.6	2.4	1.5	80.6	17.5	1.9
	75～79歳	369	67.5	54.2	10.8	10.3	10.6	1.9	1.1	79.1	17.9	3.0
	80～84歳	273	68.9	44.3▲	10.3	8.1	8.4	0.7▲	2.2	75.5▲	20.9	3.7
	85～89歳	141	70.2	39.0▲	10.6	11.3	7.8	1.4	2.1	78.0	16.3	5.7
	90歳以上	58	75.9	29.3▲	6.9	8.6	3.4	-	-	79.3	15.5	5.2

世帯年収別にみると、「準備している」は、300～500万円未満層で高くなっている。「準備していない」は、300万円未満の層で高く2割台となっている。

具体的な準備としては、「預貯金」「生命保険（個人年金・終身保険）」は300～700万円未満の層で、「NISA（少額投資非課税制度）」は300～1,000万円未満の層で、「不動産の売却や賃貸」は500～1,000万円未満の層で、それぞれ高くなっている。「NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券」は、高年収層ほど高くなっている傾向がみられる。（図表VI-9）

<図表 VI-9> 老後資産形成の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

	N	預貯金	金・生命・終身保険(個人年金)	非課税制度(A)(少額投資)	不動産の売却や賃貸	等oNの以外SのA証券・株式・債券C	確定拠出年金(iDeCo)(個人型)	その他	準備している	準備していない	無回答	
		全体	2,084	70.5	51.2	13.5	9.3	9.1	2.7	1.6	80.0	17.6
世帯年収別	100万円未満	52	57.7▲	42.3	3.8▲	3.8	-	-	-	71.2	28.8	-
	100～300万円未満	329	66.6	45.3▲	8.8▲	7.9	5.2▲	0.6▲	2.1	76.3	21.9	1.8
	300～500万円未満	328	78.7	62.2	17.7	7.6	11.9	0.9▲	0.9	88.7	10.7▲	0.6▲
	500～700万円未満	118	81.4	66.1	25.4	14.4	14.4	3.4	0.8	85.6	13.6	0.8
	700～1,000万円未満	65	80.0	63.1	29.2	23.1	18.5	6.2	1.5	87.7	10.8	1.5
	1,000～1,500万円未満	39	82.1	51.3	20.5	25.6	33.3	10.3	2.6	94.9	2.6▲	2.6
	1,500～2,000万円未満	8	87.5	62.5	25.0	12.5	37.5	25.0	-	87.5	12.5	-
	2,000万円以上	8	62.5	25.0	25.0	12.5	37.5	-	-	75.0	12.5	12.5

本人の現在の職業別にみると、「知っている」は、常雇被用者で95.3%と高く、無職で85.6%と低くなっている。(図表VI-12)

<図表 VI-12> 公的年金受給開始年齢についての認知〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

		N	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,084	87.3	11.9	0.8
本人 職 業 (現 在) 別	自 営 者	247	86.2	12.6	1.2
	農 林 漁 業	29	86.2	10.3	3.4
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	87.4	12.1	0.6
	自 由 業	44	81.8	15.9	2.3
	常 雇 被 用 者	212	95.3	4.7▲	-
	公 務 員	38	100.0	-	-
	民 間 企 業 被 用 者	174	94.3	5.7▲	-
	非 正 規 社 員	293	90.4	9.2	0.3
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	95.8	2.1▲	2.1
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	89.4	10.6	-
無 職	1,285	85.6▲	13.5	0.9	
そ の 他	31	87.1	12.9	-	

本人学歴別にみると、「知っている」は、短期大学、高等専門学校、専門学校で93.2%、大学で94.4%と高くなっている。一方、小中学校では「知らない」が26.4%を占めている。(図表VI-13)

<図表 VI-13> 公的年金受給開始年齢についての認知〔本人学歴別〕

(単位：%)

		N	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,084	87.3	11.9	0.8
本人 学 歴 別	小 中 学 校	322	73.3▲	26.4	0.3
	高 等 学 校	904	86.4	12.4	1.2
	短期大学、高等専門 学校、専門学校	369	93.2	6.5▲	0.3
	大 学	446	94.4	4.9▲	0.7
	大 学 院 修 士 課 程	24	91.7	8.3	-
	大 学 院 博 士 課 程	2	100.0	-	-

金融・保険知識量別にみると、「知っている」は、リテラシーが高い層ほど高く、リテラシー高、リテラシー中の層で、それぞれ 95.8%、91.7%となっている。一方、リテラシー低の層では、「知らない」が 23.5%を占めている。(図表VI-14)

<図表 VI-14> 公的年金受給開始年齢についての認知〔金融・保険知識量別〕

(単位：%)

		N	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,084	87.3	11.9	0.8
金融・ 保険 知識 量別	リテラシー高	286	95.8	3.5▲	0.7
	リテラシー中	1,092	91.7	8.0▲	0.4▲
	リテラシー低	595	75.3▲	23.5	1.2

②公的年金受給の有無

公的年金受給の有無を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、現在、公的年金を受け取っていますか。

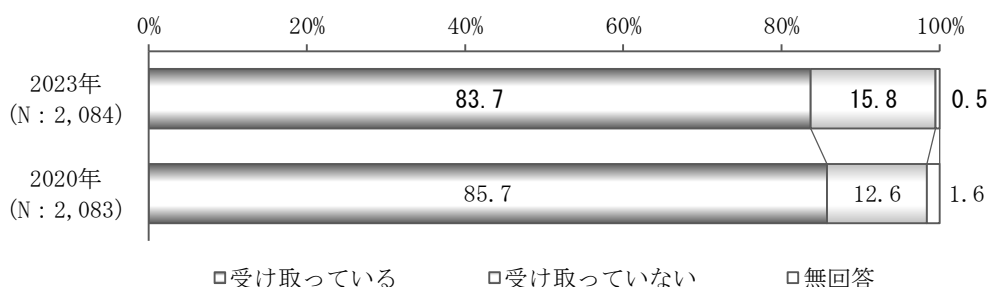
1 受け取っている

2 受け取っていない

その結果、「受け取っている」が 83.7%を占めており、「受け取っていない」は 15.8%となっている。

前回と比較すると、「受け取っていない」が 3.2 ポイント増加している。(図表VI-15)

<図表 VI-15> 公的年金受給の有無



性別にみると、「受け取っている」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「受け取っている」は 60～64 歳で 28.9%と低く、他の年齢層ではいずれも 9 割台となっている。(図表VI-16)

<図表 VI-16> 公的年金受給の有無〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	い受 るけ 取っ て	い受 ない け い取 っ て	無 回 答
全 体		2,084	83.7	15.8	0.5
性別	男 性	996	81.0▲	18.5	0.5
	女 性	1,088	86.1	13.3▲	0.6
本人 年齢別	60～64 歳	380	28.9▲	69.7	1.3
	65～69 歳	400	90.3	9.5▲	0.3
	70～74 歳	463	97.6	2.2▲	0.2
	75～79 歳	369	97.0	2.4▲	0.5
	80～84 歳	273	98.2	1.5▲	0.4
	85～89 歳	141	97.9	2.1▲	-
	90 歳以上	58	98.3	-	1.7

本人の現在の職業別にみると、「受け取っている」は無職が92.3%と高くなっている。一方、「受け取っていない」は、常雇被用者で51.4%と目立って高いほか、商工サービス業(22.4%)、非正規社員(21.5%)でも高くなっている。(図表VI-17)

<図表 VI-17> 公的年金受給の有無〔本人職業(現在)別〕

(単位：%)

		N	い 受 け 取 っ て	い 受 け な い 取 っ て	無 回 答
全 体		2,084	83.7	15.8	0.5
本人 職業 (現 在) 別	自 営 者	247	78.1▲	21.5	0.4
	農 林 漁 業	29	96.6	3.4	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	77.6▲	22.4	-
	自 由 業	44	68.2▲	29.5	2.3
	常 雇 被 用 者	212	48.1▲	51.4	0.5
	公 務 員	38	52.6▲	47.4	-
	民 間 企 業 被 用 者	174	47.1▲	52.3	0.6
	非 正 規 社 員	293	77.8▲	21.5	0.7
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	68.8▲	29.2	2.1
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	79.6	20.0	0.4
	無 職	1,285	92.3	7.2▲	0.5
そ の 他	31	61.3▲	38.7	-	

③受給開始年齢を遅らせる場合の基準

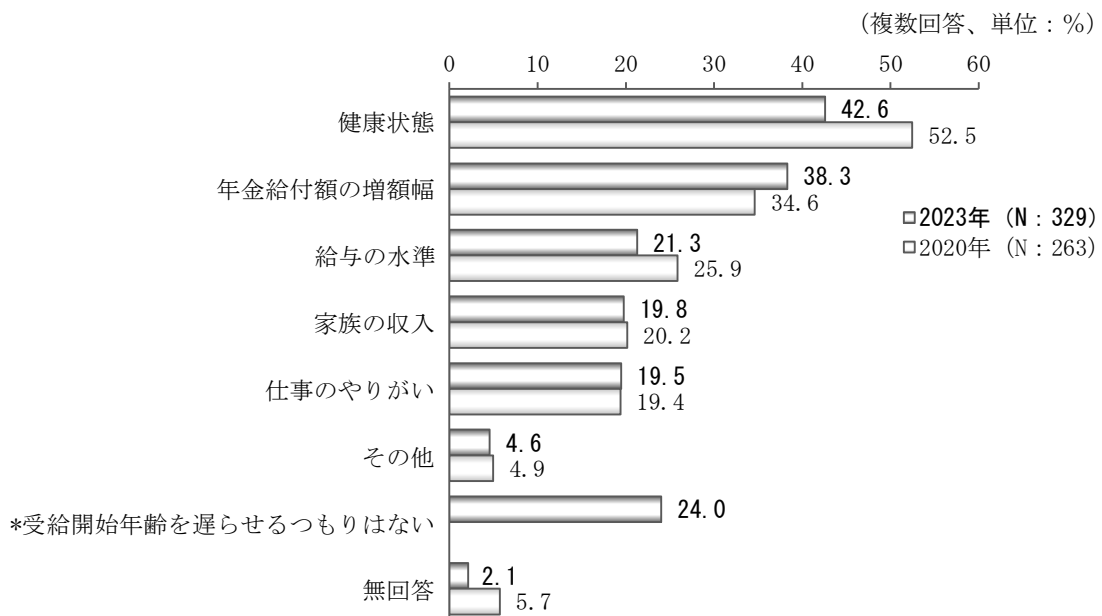
公的年金を受け取っていない者に、受給開始年齢を遅らせる場合の基準を捉えるため、以下のよう
に尋ねた。

(前問で「受け取っていない」と答えた方へ) 公的年金の受給開始年齢を遅らせると年金給付額が増額されます。
あなたは受給開始年齢を遅らせることを検討する際、何を基準にしますか。(なりそうですか)。この中からすべてお
答えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 仕事のやりがい | 5 年金給付額の増額幅 |
| 2 給与の水準 | 6 その他 |
| 3 健康状態 | 7 受給開始年齢を遅らせるつもりはない |
| 4 家族の収入 | |

その結果、「健康状態」が42.6%と最も多く、次いで、「年金給付額の増額幅」が38.3%、「給与の
水準」が21.3%、「家族の収入」が19.8%、「仕事のやりがい」が19.5%の順となっている。また、
「受給開始年齢を遅らせるつもりはない」は24.0%となっている。(図表VI-18)

<図表 VI-18> 受給開始年齢を遅らせる場合の基準



* 2023年調査から新たに追加している

性別にみると、「給与の水準」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「家族の収入」は女性の方が男性を上回っている。(図表VI-19)

<図表 VI-19> 受給開始年齢を遅らせる場合の基準〔性別〕

(複数回答、単位：%)

		N	健康状態	増額金幅給付額の	給与の水準	家族の収入	仕事のやりがい	その他	もを受給はらせ始める年齢	無回答
全体		329	42.6	38.3	21.3	19.8	19.5	4.6	24.0	2.1
性別	男性	184	42.4	37.5	27.2	13.6▲	21.7	3.8	25.5	2.7
	女性	145	42.8	39.3	13.8▲	27.6	16.6	5.5	22.1	1.4

本人の現在の職業別にみると、「給与の水準」は民間企業被用者で、「仕事のやりがい」は常雇被用者で、「家族の収入」は無職で、それぞれ高くなっている。(図表VI-20)

<図表 VI-20> 受給開始年齢を遅らせる場合の基準〔本人職業（現在）別〕

(複数回答、単位：%)

		N	健康状態	増額金幅給付額の	給与の水準	家族の収入	仕事のやりがい	その他	もを受給はらせ始める年齢	無回答
全体		329	42.6	38.3	21.3	19.8	19.5	4.6	24.0	2.1
本人職業（現在）別	自営者	53	34.0	41.5	24.5	11.3	26.4	5.7	20.8	1.9
	農林漁業	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	商工サービス業	39	35.9	41.0	30.8	10.3	25.6	7.7	23.1	-
	自由業	13	30.8	38.5	7.7	15.4	30.8	-	15.4	7.7
	常雇被用者	109	45.0	44.0	40.4	14.7	25.7	1.8	22.0	-
	公務員	18	44.4	44.4	38.9	16.7	27.8	5.6	33.3	-
	民間企業被用者	91	45.1	44.0	40.7	14.3	25.3	1.1	19.8	-
	非正規社員	63	52.4	44.4	11.1▲	25.4	23.8	1.6	25.4	1.6
	派遣社員・契約社員	14	57.1	57.1	42.9	14.3	35.7	-	28.6	-
	パート・アルバイト	49	51.0	40.8	2.0▲	28.6	20.4	2.0	24.5	2.0
無職	92	34.8	22.8▲	3.3▲	27.2	3.3▲	9.8	28.3	5.4	
その他	12	66.7	58.3	25.0	16.7	33.3	-	16.7	-	

2. 医療保障

(1) 自分の病気・ケガに係る経済的不安

自分の病気・ケガに係る経済的不安を捉えるため、以下のように尋ねた。

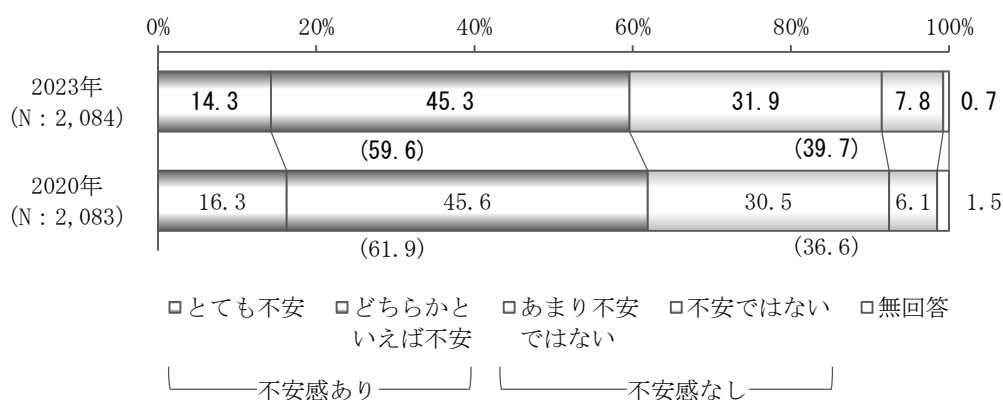
あなたはご自身の病気・ケガに経済的な不安がありますか。

- 1 とても不安
- 2 どちらかといえば不安
- 3 あまり不安ではない
- 4 不安ではない

その結果、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は59.6%で、「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）の39.7%を大きく上回っている。

前回と比較すると、「不安感なし」が3.1ポイント増加している。（図表VI-21）

<図表 VI-21> 自分の病気・ケガに係る経済的不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「不安感あり」は、65～69歳で高くなっている。

「不安感なし」のうち、「不安ではない」は、85～89歳で14.9%、90歳以上で24.1%と高くなっている。(図表VI-22)

<図表 VI-22> 自分の病気・ケガに係る経済的不安〔性別・年齢別〕

(単位：%)

	N	不安感						無回答
		とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感あり	不安 感なし	であ はま なり 不安	い不安 では な	
全 体	2,084	14.3	45.3	59.6	39.7	31.9	7.8	0.7
性別								
男 性	996	15.1	44.3	59.3	39.5	32.5	6.9	1.2
女 性	1,088	13.6	46.2	59.8	39.9	31.3	8.5	0.3▲
本人 年齢別								
60～64歳	380	12.9	46.6	59.5	40.0	34.2	5.8	0.5
65～69歳	400	17.5	47.0	64.5	35.0▲	31.5	3.5▲	0.5
70～74歳	463	12.5	49.2	61.8	37.4	29.8	7.6	0.9
75～79歳	369	12.2	46.6	58.8	40.4	30.9	9.5	0.8
80～84歳	273	16.8	38.5▲	55.3	43.6	35.9	7.7	1.1
85～89歳	141	15.6	37.6	53.2	46.1	31.2	14.9	0.7
90歳以上	58	13.8	36.2	50.0	50.0	25.9	24.1	-

世帯年収別にみると、「不安感あり」は、500～700万円未満層で低く、この層では「不安感なし」が半数を占めている。また、「不安感あり」のうち、「とても不安」は100万円未満層で高くなっている。

(図表VI-23)

<図表 VI-23> 自分の病気・ケガに係る経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

	N	不安感						無回答
		とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感あり	不安 感なし	であ はま なり 不安	い不安 では な	
全 体	2,084	14.3	45.3	59.6	39.7	31.9	7.8	0.7
世帯 年収別								
100万円未満	52	25.0	40.4	65.4	34.6	26.9	7.7	-
100～300万円未満	329	16.4	42.6	59.0	40.4	31.9	8.5	0.6
300～500万円未満	328	10.1▲	49.7	59.8	39.3	33.5	5.8	0.9
500～700万円未満	118	9.3	40.7	50.0▲	50.0	42.4	7.6	-
700～1,000万円未満	65	13.8	44.6	58.5	41.5	36.9	4.6	-
1,000～1,500万円未満	39	-	20.5▲	20.5▲	79.5	59.0	20.5	-
1,500～2,000万円未満	8	-	25.0	25.0▲	75.0	50.0	25.0	-
2,000万円以上	8	-	12.5	12.5▲	87.5	75.0	12.5	-

(2) 医療保障の私的準備状況

医療保障の準備状況を捉えるため、以下のように尋ねた。

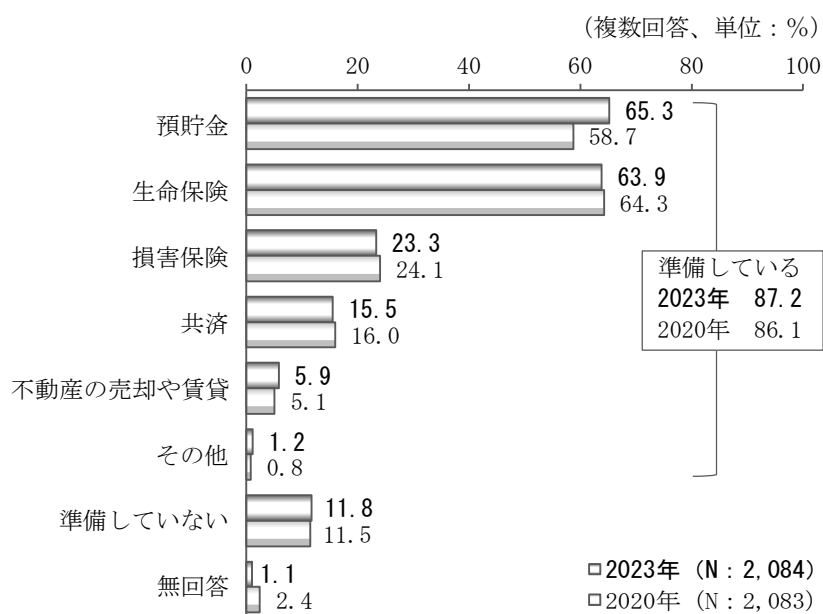
あなたはご自身の病気・ケガに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------|-------------|
| 1 預貯金 | 5 不動産の売却や賃貸 |
| 2 生命保険 | 6 その他 |
| 3 損害保険 | 7 準備していない |
| 4 共済 | |

その結果、「準備している」が87.2%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が65.3%と最も多く、次いで、「生命保険」が63.9%、「損害保険」が23.3%、「共済」が15.5%の順となっている。

前回と比較すると、「預貯金」が6.6ポイント増加している。（図表VI-24）

<図表 VI-24> 医療保障の私的準備状況



性別にみると、「準備している」は、女性の方が男性より高くなっている。具体的な準備としては、「預貯金」は、女性の方が男性より高くなっている。一方、「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、85～89歳で低くなっている。具体的な準備としては、「預貯金」がどの年齢層でも60%以上であるのに対し、「生命保険」は高い年齢層ほど低くなっている。また、「損害保険」「共済」は70～74歳で最も高く、以降、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表VI-25)

<図表 VI-25> 医療保障の私的準備状況〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,084	65.3	63.9	23.3	15.5	5.9	1.2	87.2	11.8	1.1
性別	男性	996	62.6▲	63.9	27.8	17.0	7.4	1.8	85.2▲	13.5	1.3
	女性	1,088	67.7	63.9	19.2▲	14.2	4.4▲	0.6▲	89.0	10.2▲	0.8
本人年齢別	60～64歳	380	61.3	76.6	22.4	15.8	5.0	0.8	89.7	10.0	0.3
	65～69歳	400	64.3	71.0	24.5	17.8	4.3	0.5	88.0	11.5	0.5
	70～74歳	463	65.9	65.4	29.8	20.3	6.7	0.6	87.7	10.8	1.5
	75～79歳	369	66.4	62.3	23.8	18.4	7.3	1.1	88.9	10.0	1.1
	80～84歳	273	67.4	52.7▲	18.7	6.6▲	4.8	2.9	85.0	13.2	1.8
	85～89歳	141	66.0	42.6▲	14.9▲	7.8▲	7.1	3.5	78.7▲	19.1	2.1
	90歳以上	58	74.1	32.8▲	8.6▲	3.4▲	8.6	-	81.0	19.0	-

世帯年収別にみると、「準備している」は、300～500万円未満層で高くなっている。具体的な準備としては、「預貯金」は300～700万円未満の層で、「生命保険」は300～1,000万円未満の層で、「損害保険」は500～1,000万円未満の層で、「不動産の売却や賃貸」は500～700万円未満の層で、それぞれ高くなっている。(図表VI-26)

<図表 VI-26> 医療保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,084	65.3	63.9	23.3	15.5	5.9	1.2	87.2	11.8	1.1
世帯年収別	100万円未満	52	55.8	42.3▲	9.6▲	9.6	-	1.9	80.8	19.2	-
	100～300万円未満	329	60.8	55.6▲	16.7▲	16.4	4.9	1.2	84.5	15.2	0.3
	300～500万円未満	328	74.1	71.6	23.2	15.5	4.6	1.2	93.9	5.5▲	0.6
	500～700万円未満	118	74.6	75.4	38.1	15.3	11.0	0.8	90.7	9.3	-
	700～1,000万円未満	65	70.8	75.4	33.8	21.5	7.7	1.5	92.3	7.7	-
	1,000～1,500万円未満	39	82.1	76.9	41.0	20.5	25.6	-	97.4	2.6	-
	1,500～2,000万円未満	8	87.5	62.5	37.5	25.0	12.5	-	87.5	12.5	-
	2,000万円以上	8	62.5	87.5	50.0	-	12.5	-	87.5	12.5	-

世帯年収別にみると、「介護を受けている」は、100～300万円未満層で9.4%と高くなっている。(図表VI-29)

<図表 VI-29> 自分の介護の有無〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	て介 い護 るを 受け	て介 い護 ない 受け	無 回 答
全 体		2,084	5.1	94.3	0.6
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	52	7.7	92.3	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	9.4	90.0▲	0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	2.1▲	97.3	0.6
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	2.5	97.5	-
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	1.5	98.5	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	-	100.0	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	100.0	-
	2,000 万 円 以 上	8	-	100.0	-

②自分が要介護状態になることへの経済的不安

介護を受けていない者に、自分が要介護状態になることへの経済的不安を捉えるため、以下のよう
に尋ねた。

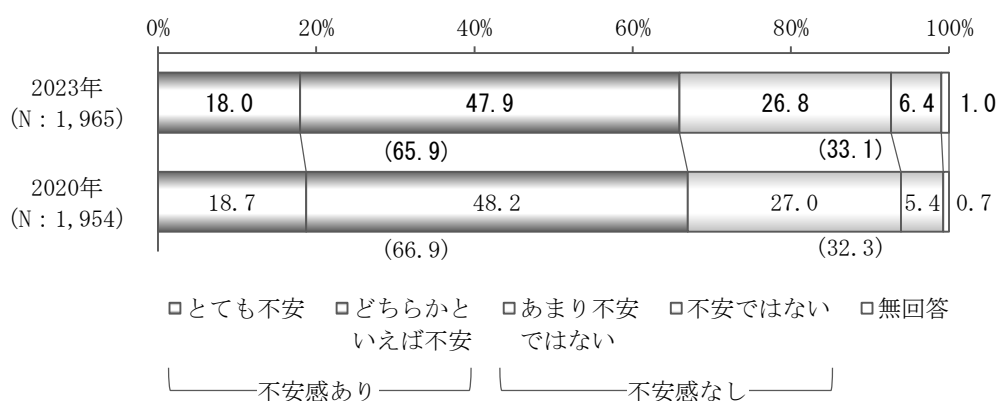
(前問で「介護を受けていない」と答えた方へ) あなたはご自身が要介護状態になることに経済的な不安がありま
すか。

- 1 とても不安
- 2 どちらかといえば不安
- 3 あまり不安ではない
- 4 不安ではない

その結果、「不安感あり」(“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計)は65.9%で、
「不安感なし」(“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計)の33.1%を大きく上回っ
ている。

前回と比較すると、特に差はみられない。(図表VI-30)

<図表 VI-30> 自分が要介護状態になることへの経済的不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「不安感あり」は60～69歳の層で7割台と高く、高い年齢層ほど低くなっている
傾向がみられる。逆に、「不安感なし」は80～89歳の層で4割台と高くなっている。(図表VI-31)

<図表 VI-31> 自分が要介護状態になることへの経済的不安〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	とても不安	どちらか い え ば 不 安	不安 感 あ り	不安 感 な し	あ ま り 不 安 で は な い	不 安 で は な い	無 回 答
全 体		1,965	18.0	47.9	65.9	33.1	26.8	6.4	1.0
性 別	男 性	945	17.9	46.0	63.9	35.1	28.1	7.0	1.0
	女 性	1,020	18.0	49.7	67.7	31.3	25.5	5.8	1.0
本 人 年 齢 別	60～64歳	377	18.0	56.2	74.3	25.2▲	21.0▲	4.2	0.5
	65～69歳	391	22.3	49.9	72.1	27.1▲	23.5	3.6▲	0.8
	70～74歳	448	16.1	46.4	62.5	35.9	29.2	6.7	1.6
	75～79歳	353	16.7	47.3	64.0	34.0	26.3	7.6	2.0
	80～84歳	243	17.3	42.0▲	59.3▲	40.7	32.9	7.8	-
	85～89歳	113	16.8	38.1▲	54.9▲	45.1	36.3	8.8	-
	90歳以上	40	15.0	37.5	52.5	47.5	25.0	22.5	-

世帯年収別にみると、大きな差はみられない。(図表VI-32)

<図表 VI-32> 自分が要介護状態になることへの経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いどち えちばら なかと	不安感あり	不安感なし	ではま なり不安	い不安 ではな	無回答
全	体								
世帯 年 収 別	100万円未満	48	18.8	50.0	68.8	31.3	25.0	6.3	-
	100～300万円未満	296	19.3	45.6	64.9	34.8	28.4	6.4	0.3
	300～500万円未満	319	15.4	50.8	66.1	32.6	27.0	5.6	1.3
	500～700万円未満	115	16.5	46.1	62.6	37.4	31.3	6.1	-
	700～1,000万円未満	64	17.2	45.3	62.5	37.5	32.8	4.7	-
	1,000～1,500万円未満	39	-	38.5	38.5▲	59.0	46.2	12.8	2.6
	1,500～2,000万円未満	8	-	50.0	50.0	37.5	37.5	-	12.5
2,000万円以上	8	-	25.0	25.0▲	75.0	62.5	12.5	-	

③自分の介護保障の私的準備状況

介護保障の準備状況を捉えるため、以下のように尋ねた。

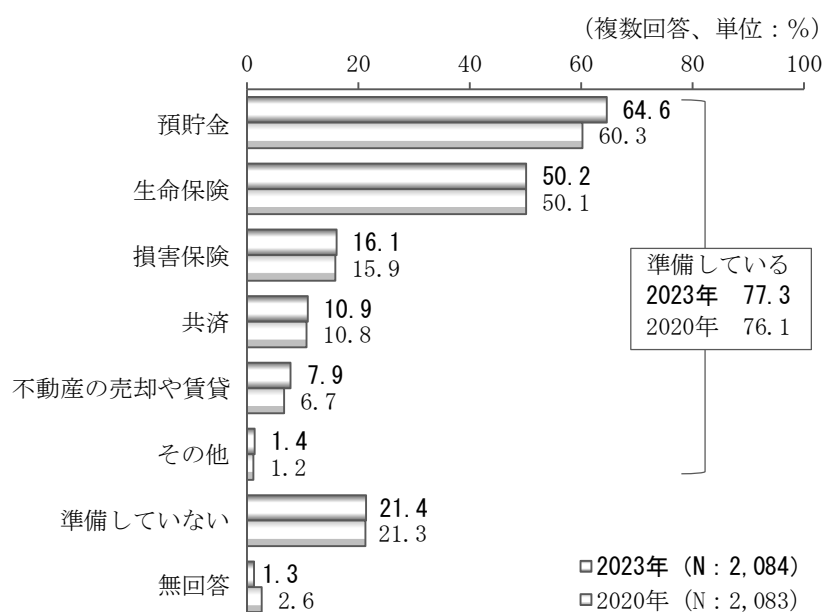
あなたはご自身が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------|-------------|
| 1 預貯金 | 5 不動産の売却や賃貸 |
| 2 生命保険 | 6 その他 |
| 3 損害保険 | 7 準備していない |
| 4 共済 | |

その結果、「準備している」が77.3%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が64.6%と最も多く、次いで、「生命保険」が50.2%、「損害保険」が16.1%、「共済」が10.9%の順となっている。「準備していない」は21.4%となっている。

前回と比較すると、「預貯金」が4.3ポイント増加している。（図表VI-33）

<図表 VI-33>自分の介護保障の私的準備状況



性別にみると、「準備している」は、女性の方が男性より高くなっている。具体的な準備状況としては、「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「預貯金」は、90歳以上で77.6%と最も高くなっている。「生命保険」は60～64歳で58.7%と最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「損害保険」「共済」は、いずれも70～74歳で最も高く、以降、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表VI-34)

<図表 VI-34> 自分の介護保障の私的準備状況〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,084	64.6	50.2	16.1	10.9	7.9	1.4	77.3	21.4	1.3
性別	男性	996	62.4	49.3	18.6	12.0	9.8	2.3	74.9▲	24.4	0.7▲
	女性	1,088	66.5	51.0	13.9▲	9.9	6.1▲	0.6▲	79.4	18.8▲	1.8
本人年齢別	60～64歳	380	60.3	58.7	15.8	11.3	6.6	1.3	76.8	23.2	-
	65～69歳	400	62.8	52.3	16.3	11.5	6.8	1.0	76.5	23.0	0.5
	70～74歳	463	68.0	53.3	20.3	15.8	8.9	0.9	79.5	18.8	1.7
	75～79歳	369	63.7	49.6	17.1	12.5	9.5	1.6	78.3	19.8	1.9
	80～84歳	273	65.2	44.3▲	13.2	4.4▲	6.6	2.2	75.5	22.7	1.8
	85～89歳	141	66.0	34.8▲	10.6	5.0▲	10.6	2.8	72.3	24.1	3.5
	90歳以上	58	77.6	24.1▲	5.2▲	1.7▲	5.2	1.7	81.0	19.0	-

世帯年収別にみると、「準備している」は、300～500万円未満層で高くなっている。具体的な準備としては、「預貯金」は300～500万円未満の層で、「生命保険」は300～700万円未満の層で、「損害保険」は500～700万円未満の層で、「不動産の売却や賃貸」は700～1,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表VI-35)

<図表 VI-35> 自分の介護保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,084	64.6	50.2	16.1	10.9	7.9	1.4	77.3	21.4	1.3
世帯年収別	100万円未満	52	50.0▲	30.8▲	3.8▲	7.7	1.9	1.9	63.5▲	32.7	3.8
	100～300万円未満	329	61.7	44.1▲	11.6▲	13.4	5.8	0.9	73.9	26.1	-
	300～500万円未満	328	74.1	60.1	16.2	10.7	5.5	2.4	86.6	13.4▲	-
	500～700万円未満	118	72.9	64.4	28.0	11.9	11.9	2.5	83.9	16.1	-
	700～1,000万円未満	65	70.8	58.5	21.5	13.8	23.1	3.1	84.6	13.8	1.5
	1,000～1,500万円未満	39	82.1	66.7	25.6	15.4	23.1	-	92.3	7.7▲	-
	1,500～2,000万円未満	8	87.5	62.5	37.5	12.5	25.0	-	87.5	12.5	-
	2,000万円以上	8	75.0	62.5	12.5	-	12.5	-	87.5	12.5	-

世帯年収別にみると、「ある」は、300～1,000万円未満の層で高くなっている。(図表VI-38)

<図表 VI-38> 親の介護の有無〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	ある	受現在、 いて介 護を	受過去に いて介 護を	ない	無 回 答
全 体		2,084	51.6	10.5	41.1	46.9	1.4
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	52	44.2	7.7	36.5	55.8	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	329	48.3	7.6	40.7	51.4	0.3
	300 ～ 500 万 円 未 満	328	58.5	11.0	47.6	41.5▲	-
	500 ～ 700 万 円 未 満	118	68.6	17.8	50.8	31.4▲	-
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	65	67.7	16.9	50.8	30.8▲	1.5
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	39	56.4	28.2	28.2	41.0	2.6
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	25.0	12.5	12.5	75.0	-
	2,000 万 円 以 上	8	62.5	12.5	50.0	37.5	-

世帯年収別にみると、300～500万円未満層で「とても不安」が低く、「あまり不安ではない」が高くなっている。(図表VI-41)

<図表 VI-41> 自身が万一の際の経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

	N	とても不安	いど えち ばら か 安と	不安 感 あ り	不安 感 な し	であ はま なり 不安	い不安 では な	無 回 答	
全 体	2,084	11.8	31.8	43.6	55.2	37.5	17.7	1.2	
世 帯 年 収 別	100万円未満	52	13.5	32.7	46.2	53.8	32.7	21.2	-
	100～300万円未満	329	13.7	28.6	42.2	56.2	35.6	20.7	1.5
	300～500万円未満	328	7.9▲	33.8	41.8	57.9	43.9	14.0	0.3
	500～700万円未満	118	13.6	36.4	50.0	50.0	37.3	12.7	-
	700～1,000万円未満	65	15.4	29.2	44.6	55.4	36.9	18.5	-
	1,000～1,500万円未満	39	5.1	12.8▲	17.9▲	82.1	48.7	33.3	-
	1,500～2,000万円未満	8	-	12.5	12.5	87.5	50.0	37.5	-
	2,000万円以上	8	-	-	-	100.0	87.5	12.5	-

(2) 遺族保障の私的準備状況

遺族保障の準備状況を捉えるため、以下のように尋ねた。

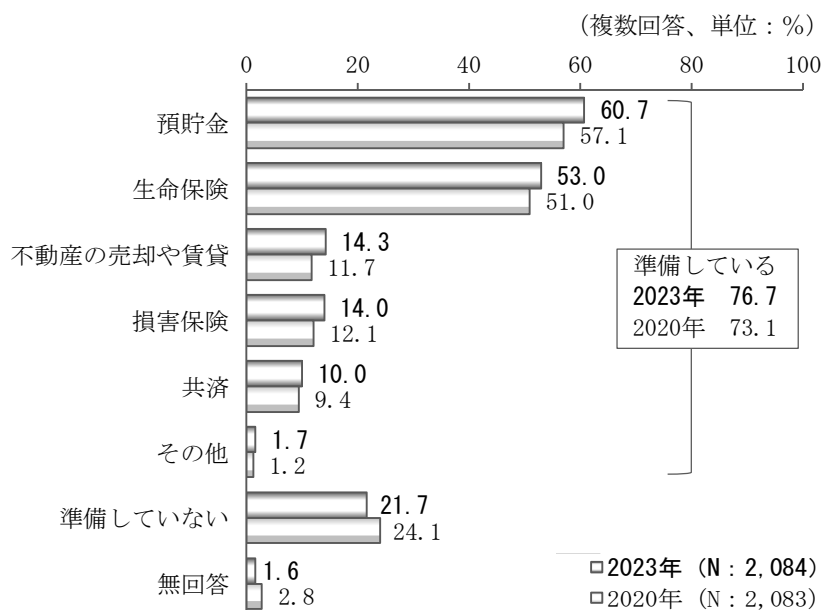
あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）

- | | |
|--------|-------------|
| 1 預貯金 | 5 不動産の売却や賃貸 |
| 2 生命保険 | 6 その他 |
| 3 損害保険 | 7 準備していない |
| 4 共済 | |

その結果、「準備している」が76.7%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が60.7%と最も多く、次いで、「生命保険」の53.0%が5割以上となっている。以下、「不動産の売却や賃貸」が14.3%、「損害保険」が14.0%、「共済」が10.0%の順となっている。「準備していない」は21.7%となっている。

前回と比較すると、「準備している」が3.6ポイント増加している。具体的な準備状況として、「預貯金」が3.6ポイント、「不動産の売却や賃貸」が2.6ポイント、いずれも増加している。（図表VI-42）

<図表 VI-42> 遺族保障の私的準備状況



性別にみると、「不動産の売却や賃貸」「損害保険」「共済」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「預貯金」が年齢による差がない一方、「生命保険」は60～64歳で62.9%と最も高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「不動産の売却や賃貸」は、75～79歳と85～89歳で高くなっている。「損害保険」「共済」は70～74歳で最も高く、以降、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表VI-43)

<図表 VI-43> 遺族保障の私的準備状況〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	貸不動産の売却や	損害保険	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,084	60.7	53.0	14.3	14.0	10.0	1.7	76.7	21.7	1.6
性別	男性	996	61.9	53.7	17.1	17.8	11.8	2.5	77.7	21.2	1.1
	女性	1,088	59.7	52.4	11.7▲	10.6▲	8.4▲	0.9▲	75.8	22.2	2.0
本人年齢別	60～64歳	380	58.9	62.9	10.3▲	11.3	9.7	1.3	78.4	20.8	0.8
	65～69歳	400	59.5	55.0	14.8	16.0	11.3	1.3	76.5	22.8	0.8
	70～74歳	463	64.1	54.0	14.5	18.4	14.7	0.9	78.2	20.1	1.7
	75～79歳	369	58.8	54.2	17.6	14.1	10.8	2.4	77.2	20.6	2.2
	80～84歳	273	61.5	45.4▲	12.5	10.3	4.4▲	2.6	75.1	23.4	1.5
	85～89歳	141	61.0	38.3▲	19.9	11.3	5.0▲	3.5	73.8	22.7	3.5
	90歳以上	58	62.1	31.0▲	8.6	6.9	-	-	67.2	29.3	3.4

世帯年収別にみると、「準備している」は300万円未満の低収入層で低く、300～700万円未満の層で高くなっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」は300～700万円未満の層で、「生命保険」は300～1,000万円未満の層で、「不動産の売却や賃貸」「損害保険」は500～1,000万円未満の層で、それぞれ高くなっている。(図表VI-44)

<図表 VI-44> 遺族保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	貸不動産の売却や	損害保険	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,084	60.7	53.0	14.3	14.0	10.0	1.7	76.7	21.7	1.6
世帯年収別	100万円未満	52	48.1	32.7▲	7.7	1.9▲	5.8	1.9	65.4▲	32.7	1.9
	100～300万円未満	329	54.7▲	44.7▲	11.9	10.6	10.3	0.9	70.2▲	28.9	0.9
	300～500万円未満	328	72.0	64.6	11.3	14.3	11.6	2.7	85.4	14.6▲	-
	500～700万円未満	118	74.6	66.1	22.9	23.7	11.9	2.5	89.0	11.0▲	-
	700～1,000万円未満	65	69.2	72.3	30.8	23.1	16.9	3.1	84.6	13.8	1.5
	1,000～1,500万円未満	39	84.6	59.0	30.8	23.1	10.3	2.6	89.7	10.3	-
	1,500～2,000万円未満	8	87.5	62.5	25.0	37.5	12.5	-	87.5	12.5	-
	2,000万円以上	8	62.5	62.5	25.0	-	-	-	75.0	25.0	-

5. しておけばよかったと思う保障準備

しておけばよかったと思う保障準備を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、今振り返って、経済的な準備を（もっと）しておけばよかったと思うものはありますか。この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

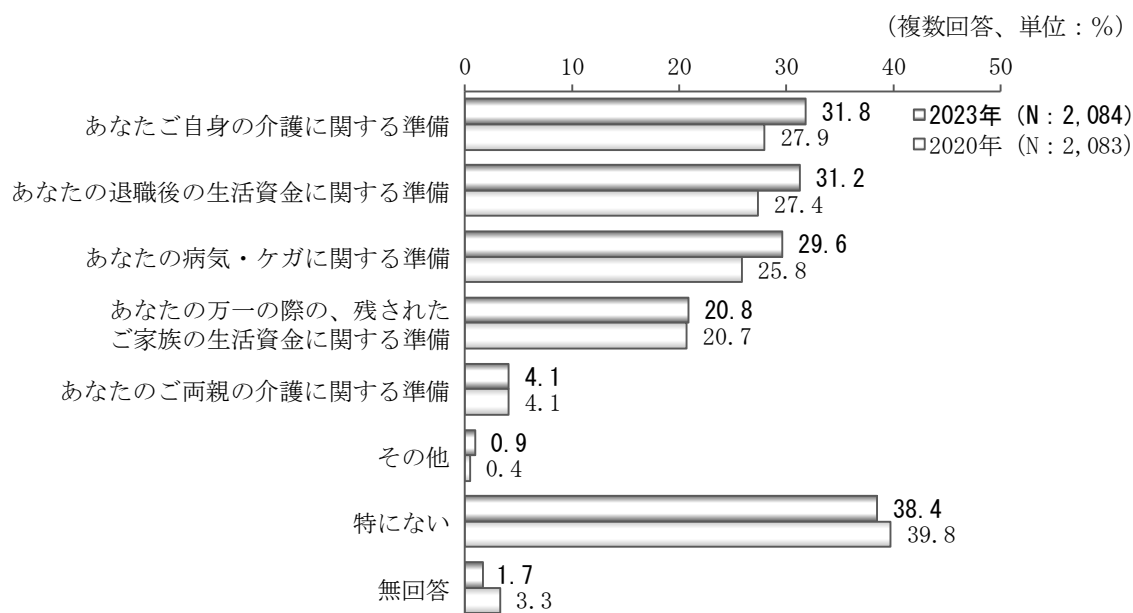
- 1 あなたの退職後の生活資金に関する準備
- 2 あなたの病気・ケガに関する準備
- 3 あなたご自身の介護に関する準備
- 4 あなたのご両親の介護に関する準備
- 5 あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備
- 6 その他
- 7 特にない

その結果、「特にない」が38.4%を占めている。

具体的な保障準備としては、「あなたご自身の介護に関する準備」が31.8%と最も多く、次いで「あなたの退職後の生活資金に関する準備」が31.2%、「あなたの病気・ケガに関する準備」が29.6%、「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」が20.8%の順となっている。

前回と比較すると、「あなたご自身の介護に関する準備」「あなたの退職後の生活資金に関する準備」「あなたの病気・ケガに関する準備」は、いずれも増加している。（図表VI-45）

<図表 VI-45> しておけばよかったと思う保障準備



性別にみると、「あなたの退職後の生活資金に関する準備」「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」「あなたのご両親の介護に関する準備」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「あなたご自身の介護に関する準備」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「あなたの退職後の生活資金に関する準備」は60～69歳の層で高く、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。また、「あなたのご両親の介護に関する準備」も、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「特にない」は、80～84歳で高くなっている。(図表VI-46)

<図表 VI-46> しておけばよかったと思う保障準備〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

	N	あなたご自身の介護に関する準備	あなたに退職後の生活資金に関する準備	あなたに病気・ケガに関する準備	あなたに万一の際の生活資金に関する準備	あなたに両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全体	2,084	31.8	31.2	29.6	20.8	4.1	0.9	38.4	1.7
性別									
男性	996	29.5▲	35.9	29.9	27.5	5.5	0.7	37.8	1.1
女性	1,088	33.9	26.9▲	29.3	14.7▲	2.8▲	1.1	39.1	2.2
本人年齢別									
60～64歳	380	29.5	42.9	27.9	20.5	10.5	0.8	35.3	-
65～69歳	400	31.3	38.0	27.5	18.0	5.5	1.8	35.3	0.3▲
70～74歳	463	31.5	33.7	31.1	23.8	3.0	0.4	35.6	1.7
75～79歳	369	32.8	24.1▲	32.8	20.9	1.1▲	0.5	42.0	2.4
80～84歳	273	33.7	18.7▲	31.1	19.8	1.5▲	1.1	44.0	2.9
85～89歳	141	35.5	19.9▲	29.1	20.6	0.7▲	1.4	43.3	3.5
90歳以上	58	29.3	20.7	17.2▲	24.1	-	-	43.1	6.9

世帯年収別にみると、「あなたの退職後の生活資金に関する準備」は、300～500万円未満層と700～1,000万円未満層で高くなっている。「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」は、700～1,000万円未満層で高くなっている。「あなたのご両親の介護に関する準備」は、500～1,000万円未満の層で高くなっている。(図表VI-47)

<図表 VI-47> しておけばよかったと思う保障準備〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

	N	あなたご自身の介護に関する準備	あなたに退職後の生活資金に関する準備	あなたに病気・ケガに関する準備	あなたに万一の際の生活資金に関する準備	あなたに両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全体	2,084	31.8	31.2	29.6	20.8	4.1	0.9	38.4	1.7
世帯年収別									
100万円未満	52	34.6	25.0	36.5	13.5	-	-	42.3	-
100～300万円未満	329	33.1	30.7	29.5	19.5	2.7	-	37.7	1.2
300～500万円未満	328	33.2	36.3	27.1	24.1	3.4	0.6	35.4	0.3▲
500～700万円未満	118	27.1	32.2	30.5	15.3	8.5	1.7	40.7	1.7
700～1,000万円未満	65	30.8	43.1	24.6	30.8	9.2	-	36.9	-
1,000～1,500万円未満	39	12.8▲	10.3▲	2.6▲	10.3	7.7	-	66.7	2.6
1,500～2,000万円未満	8	12.5	-	37.5	37.5	-	-	50.0	-
2,000万円以上	8	12.5	-	-	-	12.5	-	75.0	-

第VII章 生活満足度

ここでは、人生全般に関する後悔と生活満足について、捉えている。

1. 人生全般に関する後悔

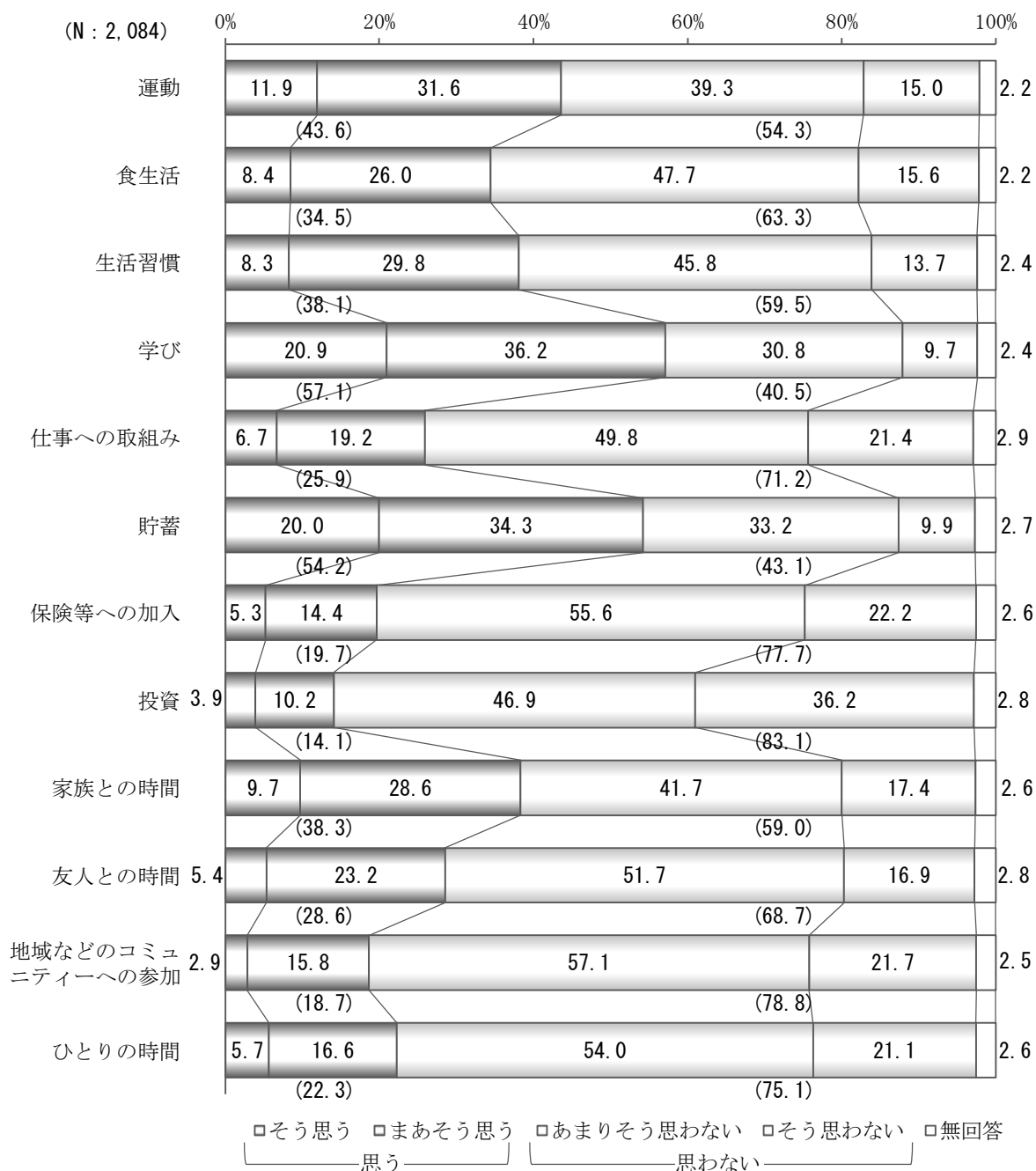
人生全般に関する後悔を捉えるため、以下のように尋ねた。

これまでの人生を振り返りあなたは、次にあげるような事柄について、どのように感じていますか。1つ1つについて当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|-------|--------------------------|
| (1) もっと運動をしておけばよかった | …………… | 以下「運動」 |
| (2) もっと食生活を気遣えばよかった | …………… | 以下「食生活」 |
| (3) もっと生活習慣を見直せばよかった | …………… | 以下「生活習慣」 |
| (4) もっと学べばよかった | …………… | 以下「学び」 |
| (5) もっと仕事に取り組めばよかった | …………… | 以下「仕事への取り組み」 |
| (6) もっと貯蓄を行えばよかった | …………… | 以下「貯蓄」 |
| (7) もっと保険等に加入すればよかった | …………… | 以下「保険等への加入」 |
| (8) もっと投資を行えばよかった | …………… | 以下「投資」 |
| (9) もっと家族との時間を大切にすればよかった | …………… | 以下「家族との時間」 |
| (10) もっと友人との時間を大切にすればよかった | …………… | 以下「友人との時間」 |
| (11) もっと地域などのコミュニティーに
参加すればよかった | …………… | 以下「地域などのコミュニティー
への参加」 |
| (12) もっとひとりの時間を大切にすればよかった | …………… | 以下「ひとりの時間」 |
- 1 そう思う 2 まあそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

その結果、「思う」（“そう思う”“まあそう思う”の回答の合計）が最も多いのは、「学び」が57.1%、次いで、「貯蓄」が54.2%で、これら2項目のみ「思う」が「思わない」を上回っている。（図表VII-1）

<図表 VII-1> 人生全般に関する後悔



人生全般に関する後悔について「思う」の回答を性別にみると、「生活習慣」「投資」「家族との時間」「友人との時間」「地域などのコミュニティーへの参加」は、男性が女性を上回っている。中でも「家族との時間」は11.4ポイントの差が開いている。

年齢別にみると、「運動」「食生活」「生活習慣」「学び」「仕事への取組み」「貯蓄」「投資」は低い年齢層ほど高い傾向がみられる。そのうち、「運動」「食生活」「生活習慣」「学び」「貯蓄」は、60～69歳の層で高く、「仕事への取組み」「投資」は60～64歳で高くなっている。また、「家族との時間」「ひとりの時間」は65～69歳で、「地域などのコミュニティーへの参加」は85～89歳で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅶ-2)

<図表Ⅶ-2> 人生全般に関する後悔【「思う」の回答率】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取組み	貯蓄
全体		2,084	43.6	34.5	38.1	57.1	25.9	54.2
性別	男性	996	42.4	36.3	41.0	56.2	26.9	54.4
	女性	1,088	44.7	32.7	35.5▲	57.9	25.0	54.0
本人年齢別	60～64歳	380	51.1	40.0	44.5	62.4	30.3	63.4
	65～69歳	400	51.5	43.3	46.0	63.8	28.0	60.3
	70～74歳	463	42.3	30.5▲	38.0	58.3	28.5	56.2
	75～79歳	369	35.2▲	32.0	33.6▲	52.0▲	21.7▲	46.9▲
	80～84歳	273	39.9	29.3	31.5▲	49.5▲	22.3	48.0▲
	85～89歳	141	36.9	29.1	28.4▲	51.8	21.3	42.6▲
	90歳以上	58	36.2	22.4	25.9	48.3	17.2	41.4▲
		N	保険等への加入	投資	家族との時間	友人との時間	地域などへの参加	ひとりの時間
全体		2,084	19.7	14.1	38.3	28.6	18.7	22.3
性別	男性	996	19.9	17.4	44.3	31.9	21.1	22.2
	女性	1,088	19.5	11.1▲	32.9▲	25.5▲	16.5▲	22.3
本人年齢別	60～64歳	380	17.6	24.7	37.6	26.8	14.2▲	23.9
	65～69歳	400	22.8	14.8	44.3	31.5	19.5	26.0
	70～74歳	463	19.2	11.7	36.5	28.9	17.1	19.0
	75～79歳	369	17.6	11.9	37.4	27.1	20.3	21.4
	80～84歳	273	21.6	9.5▲	36.3	26.7	20.9	21.2
	85～89歳	141	18.4	11.3	36.2	31.2	25.5	21.3
	90歳以上	58	22.4	1.7▲	37.9	27.6	17.2	24.1

本人年収別にみると、「運動」は100万円未満層で、「生活習慣」は100～500万円未満層で、「仕事への取組み」「保険等への加入」は収入はない層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅶ-3)

<図表 Ⅶ-3> 人生全般に関する後悔【「思う」の回答率】〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取組み	貯蓄
全体		2,084	43.6	34.5	38.1	57.1	25.9	54.2
本人年収別	収入はない	261	45.6	37.9	39.1	54.8	31.8	59.0
	100万円未満	458	47.6	32.3	35.8	59.8	28.2	54.8
	100～500万円未満	1,067	42.5	35.2	40.2	57.0	24.7	54.6
	500～1,000万円未満	155	45.2	34.2	36.8	60.0	22.6	51.6
	1,000～2,000万円未満	28	39.3	32.1	39.3	60.7	21.4	42.9
	2,000万円以上	9	11.1▲	33.3	22.2	44.4	22.2	44.4
		N	保険等への加入	投資	家族との時間	友人との時間	地域などへのコミユ	ひとりの時間
全体		2,084	19.7	14.1	38.3	28.6	18.7	22.3
本人年収別	収入はない	261	26.1	13.0	37.9	28.4	21.5	25.7
	100万円未満	458	19.4	10.9▲	34.1▲	28.8	17.5	24.5
	100～500万円未満	1,067	20.1	15.1	40.3	29.1	18.7	21.2
	500～1,000万円未満	155	14.2	17.4	41.9	31.0	18.7	21.9
	1,000～2,000万円未満	28	3.6▲	25.0	32.1	21.4	21.4	21.4
	2,000万円以上	9	11.1	44.4	55.6	33.3	22.2	11.1

世帯保有金融資産別にみると、「貯蓄」「保険等への加入」は、2,000万円以上層で最も低く、低資産層ほど高くなっている。「学び」「家族との時間」「友人との時間」は、100～500万円未満層でいずれも高くなっている。(図表Ⅶ-4)

<図表Ⅶ-4> 人生全般に関する後悔【「思う」の回答率】〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取組み	貯蓄
全体		2,084	43.6	34.5	38.1	57.1	25.9	54.2
金融資産別	100万円未満	204	41.2	36.3	36.8	57.4	29.4	69.1
	100～500万円未満	265	47.9	38.1	42.6	63.0	29.8	64.9
	500～1,000万円未満	205	44.4	37.1	36.6	59.0	26.8	61.0
	1,000～2,000万円未満	280	44.3	33.2	37.9	53.2	25.0	54.3
	2,000万円以上	399	44.6	31.3	37.3	57.9	19.8▲	38.1▲

		N	保険等への加入	投資	家族との時間	友人との時間	地域などへのコミユ	ひとりの時間
全体		2,084	19.7	14.1	38.3	28.6	18.7	22.3
金融資産別	100万円未満	204	35.3	17.2	42.6	27.0	18.6	26.0
	100～500万円未満	265	28.3	14.7	44.9	37.7	22.3	26.4
	500～1,000万円未満	205	18.5	13.2	39.5	25.9	13.7	19.5
	1,000～2,000万円未満	280	16.8	16.8	35.0	25.4	16.8	17.9
	2,000万円以上	399	9.8▲	15.0	38.1	31.6	21.1	22.3

家族形態別にみると、「食生活」「保険等への加入」「ひとりの時間」は、単身層で高くなっている。「貯蓄」は夫婦と子のみの層で高く、「友人との時間」は3世代世帯の層で高くなっている。(図表VII-5)

<図表 VII-5> 人生全般に関する後悔【「思う」の回答率】〔家族形態別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取り組み	貯蓄
全体		2,084	43.6	34.5	38.1	57.1	25.9	54.2
家族形態別	単身	347	41.5	39.8	40.9	59.4	28.5	55.9
	夫婦のみ	785	42.2	31.6▲	37.2	54.0▲	23.4▲	50.1▲
	2世代世帯	423	46.6	33.6	39.0	60.0	27.4	60.8
	夫婦と子のみ	351	47.9	32.5	37.6	60.4	27.4	59.8
	親と自分(夫婦)のみ	72	40.3	38.9	45.8	58.3	27.8	65.3
	3世代世帯	196	45.9	32.7	35.2	61.2	26.5	51.5
	自分(夫婦)と子と孫	159	44.7	30.2	34.0	61.0	25.8	47.2
	親と自分(夫婦)と子	37	51.4	43.2	40.5	62.2	29.7	70.3
その他	298	43.3	37.6	37.2	55.7	26.5	55.4	

		N	保険等への加入	投資	家族との時間	友人との時間	地域などへの参加	ひとりの時間
全体		2,084	19.7	14.1	38.3	28.6	18.7	22.3
家族形態別	単身	347	25.1	12.7	40.6	28.5	21.3	27.1
	夫婦のみ	785	16.9▲	14.1	35.9	25.9▲	16.3▲	20.3
	2世代世帯	423	18.7	15.6	40.0	29.1	18.4	21.7
	夫婦と子のみ	351	19.1	14.8	41.0	29.3	19.4	21.7
	親と自分(夫婦)のみ	72	16.7	19.4	34.7	27.8	13.9	22.2
	3世代世帯	196	19.9	14.3	43.4	35.2	20.9	20.4
	自分(夫婦)と子と孫	159	20.8	13.2	44.0	34.6	22.0	20.8
	親と自分(夫婦)と子	37	16.2	18.9	40.5	37.8	16.2	18.9
その他	298	20.8	12.4	37.2	30.2	20.1	23.5	

客観的健康状態別にみると、「生活習慣」は差し支えなし層で低く、ほんの少し差し支えあり層で高くなっている。「保険等への加入」は差し支えあり層で、「地域などのコミュニティへの参加」は大いに差し支えあり層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅶ-6)

<図表 Ⅶ-6> 人生全般に関する後悔【「思う」の回答率】〔客観的健康状態別〕

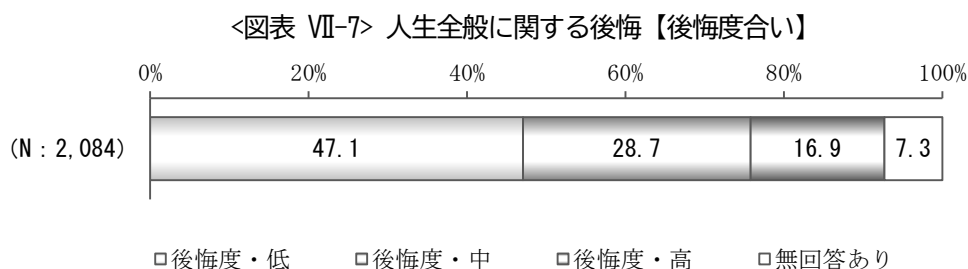
(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取り組み	貯蓄
全体		2,084	43.6	34.5	38.1	57.1	25.9	54.2
健康客観的状態別	差し支えなし	858	43.9	32.1	35.2▲	57.8	26.3	52.2
	ほんの少し差し支えあり	689	43.5	36.0	41.5	57.5	24.7	54.7
	差し支えあり	348	42.8	37.6	40.2	58.0	27.9	57.5
	大いに差し支えあり	139	48.2	37.4	39.6	50.4	25.9	55.4
		N	保険等への加入	投資	家族との時間	友人との時間	地域などへの参加	ひとりの時間
全体		2,084	19.7	14.1	38.3	28.6	18.7	22.3
健康客観的状態別	差し支えなし	858	17.9	14.1	35.3▲	26.6	17.2	19.0▲
	ほんの少し差し支えあり	689	18.9	15.2	41.2	29.8	19.7	23.8
	差し支えあり	348	23.9	13.8	41.1	30.7	18.4	25.6
	大いに差し支えあり	139	25.2	11.5	39.6	31.7	26.6	26.6

人生全般に関する後悔についての「思う」の回答数から、「後悔度合い」を以下のように設けた。

【後悔度合い】	
1	後悔度・低 …… 「思う」に該当した数が0～3個
2	後悔度・中 …… 「思う」に該当した数が4～7個
3	後悔度・高 …… 「思う」に該当した数が8個以上
4	無回答あり …… 上記に当てはまらない回答

その結果、「後悔度・低」が47.1%と最も多く、次いで「後悔度・中」が28.7%、「後悔度・高」が16.9%となっている。(図表VII-7)



性別にみると、「後悔度・高」は男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「後悔度・低」は90歳以上で60.3%と最も高く、次いで75～79歳で53.1%となっている。「後悔度・中」は60～69歳で3割台半ばと高く、高い年齢層ほど低くなっている。(図表VII-8)

<図表 VII-8> 人生全般に関する後悔【後悔度合い】〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	後悔度・低	後悔度・中	後悔度・高	無回答あり
全体		2,084	47.1	28.7	16.9	7.3
性別	男性	996	45.9	28.1	19.1	6.9
	女性	1,088	48.2	29.2	14.9▲	7.7
本人年齢別	60～64歳	380	41.8▲	36.6	17.9	3.7▲
	65～69歳	400	40.0▲	34.5	19.3	6.3
	70～74歳	463	48.6	28.3	16.6	6.5
	75～79歳	369	53.1	25.5	14.6	6.8
	80～84歳	273	49.1	24.5	15.8	10.6
	85～89歳	141	51.1	14.9▲	17.0	17.0
	90歳以上	58	60.3	13.8▲	15.5	10.3

本人年収別にみると、特に差はみられない。(図表Ⅶ-9)

<図表 Ⅶ-9> 人生全般に関する後悔【後悔度合い】〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	後悔度・低	後悔度・中	後悔度・高	無回答あり
全 体		2,084	47.1	28.7	16.9	7.3
本人 年 収 別	収 入 は な い	261	41.8	28.0	21.1	9.2
	100 万 円 未 満	458	45.6	30.6	16.4	7.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	47.7	28.7	16.6	7.0
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	49.0	29.0	16.1	5.8
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	53.6	25.0	17.9	3.6
	2,000 万 円 以 上	9	66.7	-	33.3	-

世帯保有金融資産別にみると、「後悔度・低」は100～500万円未満層で38.1%と最も低く、高資産層ほど高くなっており2,000万円以上層で53.6%となっている。「後悔度・高」は100万円未満層で22.5%と高くなっている。(図表Ⅶ-10)

<図表 Ⅶ-10> 人生全般に関する後悔【後悔度合い】〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	後悔度・低	後悔度・中	後悔度・高	無回答あり
全 体		2,084	47.1	28.7	16.9	7.3
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	204	45.1	25.0	22.5	7.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	38.1▲	33.6	20.8	7.5
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	46.8	33.2	14.1	5.9
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	48.6	30.7	15.0	5.7
	2,000 万 円 以 上	399	53.6	26.3	16.0	4.0▲

家族形態別にみると、「後悔度・低」は、夫婦のみの層で 50.1%と高くなっている。(図表VII-11)

<図表 VII-11> 人生全般に関する後悔【後悔度合い】〔家族形態別〕

(単位：%)

		N	後悔度・低	後悔度・中	後悔度・高	無回答あり
全 体		2,084	47.1	28.7	16.9	7.3
家族形態別	単 身	347	45.0	26.5	18.7	9.8
	夫 婦 の み	785	50.1	28.9	14.4▲	6.6
	2 世 代 世 帯	423	46.1	31.2	18.0	4.7▲
	夫 婦 と 子 の み	351	46.7	30.2	18.5	4.6▲
	親と自分(夫婦)のみ	72	43.1	36.1	15.3	5.6
	3 世 代 世 帯	196	43.9	28.1	17.9	10.2
	自分(夫婦)と子と孫	159	45.3	25.8	17.0	11.9
	親と自分(夫婦)と子	37	37.8	37.8	21.6	2.7
そ の 他	298	45.3	28.9	18.1	7.7	

客観的健康状態別にみると、「後悔度・低」は、差し支えなし層で 50.3%と高くなっている。(図表VII-12)

<図表 VII-12> 人生全般に関する後悔【後悔度合い】〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	後悔度・低	後悔度・中	後悔度・高	無回答あり
全 体		2,084	47.1	28.7	16.9	7.3
健康客観的状態別	差 し 支 え な し	858	50.3	26.8	16.3	6.5
	ほんの少し差し支えあり	689	44.8	29.9	17.9	7.4
	差 し 支 え あ り	348	42.5	31.9	17.2	8.3
	大いに差し支えあり	139	46.8	29.5	17.3	6.5

2. やり直したい事柄

前問で、(1)から(12)の質問に「そう思う」または「まあそう思う」と1つでも答えた人に、そのうちどれか1つやり直せるとしたらどれを選ぶか、以下のように尋ねた。

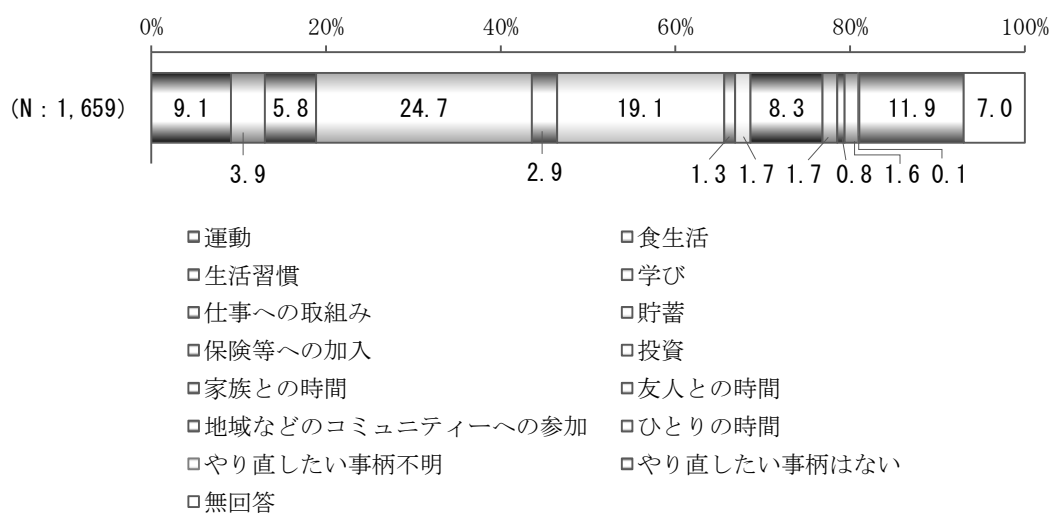
(前問で(1)から(12)の質問に1つでも「そう思う」または「まあそう思う」と答えた方へ) そのうちどれか1つやり直せるとしたらどれを選びますか。前問の(1)～(12)で「そう思う」または「まあそう思う」に○をつけられたものの中からその質問番号を1つお選びください。下の枠内に質問番号を記入してください。

- 1 やり直したい事柄 → 番
 2 やり直したい事柄はない

その結果、「学び」が24.7%で最も多く、次いで、「貯蓄」が19.1%、「運動」が9.1%、「家族との時間」が8.3%の順となっている。

また、「やり直したい事柄はない」は11.9%となっている。(図表Ⅶ-13)

<図表 Ⅶ-13> やり直したい事柄



性別にみると、「生活習慣」「投資」「家族との時間」は、男性が女性を上回っている。一方、「運動」「ひとりの時間」は、女性が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「投資」は60～64歳で、「ひとりの時間」は70～74歳で、それぞれ高くなっている。また、「やり直したい事柄はない」は85～89歳で高くなっている。(図表Ⅶ-14)

<図表 Ⅶ-14> やり直したい事柄〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取組み	貯蓄	保険等への加入	投資
全体		1,659	9.1	3.9	5.8	24.7	2.9	19.1	1.3	1.7
性別	男性	797	7.2▲	3.9	7.8	23.1	2.4	17.8	1.3	2.9
	女性	862	10.9	3.9	4.1▲	26.2	3.4	20.3	1.3	0.7▲
本人年齢別	60～64歳	324	5.9▲	4.3	6.2	26.5	4.0	22.5	0.6	4.6
	65～69歳	347	10.1	4.6	7.8	25.1	2.6	19.3	1.2	2.0
	70～74歳	367	9.3	3.5	5.7	25.6	2.5	21.0	0.8	0.8
	75～79歳	277	8.7	3.6	6.9	23.5	3.2	17.7	0.7	1.1
	80～84歳	205	12.7	3.4	1.5▲	21.0	3.4	18.0	2.4	0.5
	85～89歳	99	6.1	4.0	5.1	26.3	-	9.1▲	3.0	-
	90歳以上	40	17.5	2.5	5.0	22.5	2.5	12.5	5.0	-

		N	家族との時間	友人との時間	地域などへの参加	ひとりの時間	やり直したい事柄	やり直したい事柄	無回答
全体		1,659	8.3	1.7	0.8	1.6	0.1	11.9	7.0
性別	男性	797	10.3	2.0	0.6	0.9▲	0.1	12.5	7.3
	女性	862	6.4▲	1.4	1.0	2.2	0.1	11.4	6.7
本人年齢別	60～64歳	324	8.3	0.6	0.3	0.9	-	9.6	5.6
	65～69歳	347	7.2	2.3	1.2	0.6	0.3	9.8	6.1
	70～74歳	367	8.4	0.8	0.5	2.7	0.3	12.0	6.0
	75～79歳	277	10.5	2.2	1.1	1.8	-	11.6	7.6
	80～84歳	205	7.8	2.4	1.5	2.0	-	13.2	10.2
	85～89歳	99	7.1	3.0	-	1.0	-	23.2	12.1
	90歳以上	40	5.0	2.5	2.5	2.5	-	17.5	2.5

本人年収別にみると、「運動」「仕事への取組み」は100万円未満層で、「貯蓄」は収入はない層で、「友人との時間」は500～1,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。「投資」は、高年収層ほど高くなっている。(図表Ⅶ-15)

<図表 Ⅶ-15> やり直したい事柄〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取組み	貯蓄	保険等への加入	投資
全 体		1,659	9.1	3.9	5.8	24.7	2.9	19.1	1.3	1.7
本人年収別	収入はない	202	6.9	4.0	6.9	18.8▲	3.0	25.7	2.0	-
	100万円未満	369	12.5	2.2▲	4.1	27.4	4.6	18.4	1.6	0.3▲
	100～500万円未満	865	8.3	4.5	6.4	24.2	2.1▲	20.0	1.0	2.1
	500～1,000万円未満	127	10.2	4.7	8.7	27.6	2.4	9.4▲	-	4.7
	1,000～2,000万円未満	22	9.1	4.5	4.5	40.9	-	9.1	-	9.1
	2,000万円以上	5	-	-	-	40.0	-	-	-	20.0
		N	家族との時間	友人との時間	地域などへのコミユ	ひとりの時間	やり直したい事柄	はやり直したい事柄	無回答	
全 体		1,659	8.3	1.7	0.8	1.6	0.1	11.9	7.0	
本人年収別	収入はない	202	7.9	1.5	1.5	2.0	-	11.4	8.4	
	100万円未満	369	6.0	1.9	0.5	1.9	-	11.4	7.3	
	100～500万円未満	865	8.9	1.4	0.8	1.2	0.1	12.3	6.8	
	500～1,000万円未満	127	10.2	3.9	1.6	1.6	0.8	9.4	4.7	
	1,000～2,000万円未満	22	13.6	-	-	4.5	-	4.5	-	
	2,000万円以上	5	20.0	-	-	-	-	20.0	-	

世帯保有金融資産別にみると、「学び」「投資」「地域などのコミュニティーへの参加」は、2,000万円以上層で高くなっている。「貯蓄」は、低資産層ほど高くなっている。(図表Ⅶ-16)

<図表 Ⅶ-16> やり直したい事柄〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取組み	貯蓄	保険等への加入	投資
全体		1,659	9.1	3.9	5.8	24.7	2.9	19.1	1.3	1.7
金融資産別	100万円未満	170	2.4▲	1.8	3.5	20.6	3.5	34.1	1.8	1.2
	100～500万円未満	222	7.7	4.5	6.3	21.2	0.9	24.8	1.8	0.9
	500～1,000万円未満	171	7.0	6.4	7.0	22.8	3.5	23.4	1.2	0.6
	1,000～2,000万円未満	223	9.9	1.3▲	6.3	23.3	3.6	16.6	0.9	1.8
	2,000万円以上	317	11.7	3.8	7.9	30.6	3.8	7.3▲	0.9	4.4
		N	家族との時間	友人との時間	地域などへの参加	ひとりの時間	やり直したい事柄	はやりに直したい事柄	無回答	
全体		1,659	8.3	1.7	0.8	1.6	0.1	11.9	7.0	
金融資産別	100万円未満	170	7.1	1.2	-	0.6	-	14.1	8.2	
	100～500万円未満	222	9.0	1.8	1.4	1.4	-	12.6	5.9	
	500～1,000万円未満	171	8.2	0.6	-	1.8	-	9.4	8.2	
	1,000～2,000万円未満	223	9.9	1.3	1.3	1.3	-	15.2	7.2	
	2,000万円以上	317	10.1	2.5	1.9	2.2	0.6	7.6▲	4.7	

家族形態別にみると、「保険等への加入」は単身層、「投資」は親と自分（夫婦）のみの層で、「地域などのコミュニティーへの参加」は自分（夫婦）と子と孫の層で、それぞれ高くなっている。（図表VII-17）

<図表 VII-17> やり直したい事柄〔家族形態別〕

（単位：％）

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取り組み	貯蓄	保険等への加入	投資
全 体		1,659	9.1	3.9	5.8	24.7	2.9	19.1	1.3	1.7
家族形態別	単身	284	10.2	4.9	7.0	22.9	2.8	17.3	2.5	1.4
	夫婦のみ	614	9.6	3.3	7.0	23.6	3.6	19.4	0.5▲	2.1
	2世代世帯	347	8.9	3.5	4.9	25.1	3.2	19.9	1.2	2.0
	夫婦と子のみ	288	9.4	3.1	5.2	25.3	2.8	20.5	1.0	1.4
	親と自分（夫婦）のみ	59	6.8	5.1	3.4	23.7	5.1	16.9	1.7	5.1
	3世代世帯	161	5.0	4.3	5.0	29.8	1.9	18.0	1.9	3.1
	自分（夫婦）と子と孫	127	6.3	4.7	5.5	29.1	1.6	15.7	2.4	0.8
	親と自分（夫婦）と子	34	-	2.9	2.9	32.4	2.9	26.5	-	11.8
その他	228	9.2	4.4	3.9	24.6	1.8	20.6	1.8	-	
		N	家族との時間	友人との時間	地域などへの参加	ひとりの時間	やり直したい事柄	やはり直したい事柄	無回答	
全 体		1,659	8.3	1.7	0.8	1.6	0.1	11.9	7.0	
家族形態別	単身	284	9.9	1.1	0.7	0.7	-	12.7	6.0	
	夫婦のみ	614	8.6	1.6	0.8	1.6	0.2	10.9	7.2	
	2世代世帯	347	8.1	1.7	-	1.4	-	13.3	6.9	
	夫婦と子のみ	288	7.6	1.7	-	1.0	-	13.2	7.6	
	親と自分（夫婦）のみ	59	10.2	1.7	-	3.4	-	13.6	3.4	
	3世代世帯	161	7.5	1.2	3.7	1.2	-	6.8▲	10.6	
	自分（夫婦）と子と孫	127	7.1	1.6	3.9	1.6	-	7.1	12.6	
	親と自分（夫婦）と子	34	8.8	-	2.9	-	-	5.9	2.9	
その他	228	7.0	3.1	0.4	2.2	0.4	14.9	5.7		

客観的健康状態別にみると、「学び」「ひとりの時間」は差し支えなし層で、「生活習慣」は差し支えあり層で、「保険等への加入」「友人との時間」は大いに差し支えあり層で、それぞれ高くなっている。また、「やり直したい事柄はない」は、健康状態に差し支えがない層ほど低くなっている。(図表VII-18)

<図表 VII-18> やり直したい事柄〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	運動	食生活	生活習慣	学び	仕事への取組み	貯蓄	保険等への加入	投資
全 体		1,659	9.1	3.9	5.8	24.7	2.9	19.1	1.3	1.7
健康状態別	差し支えなし	673	9.8	4.2	4.6	29.7	2.7	18.1	0.7	1.8
	ほんの少し差し支えあり	554	9.6	3.6	6.3	22.0	2.9	20.0	1.4	2.3
	差し支えあり	281	5.7▲	3.2	9.3	23.5	3.2	19.2	1.1	1.4
	大いに差し支えあり	113	11.5	5.3	3.5	8.8▲	3.5	20.4	3.5	-
		N	家族との時間	友人との時間	地域などへの参加	ひとりの時間	やり直したい事柄	やり直したい事柄	無回答	
全 体		1,659	8.3	1.7	0.8	1.6	0.1	11.9	7.0	
健康状態別	差し支えなし	673	8.6	1.6	0.7	2.4	-	8.2▲	6.8	
	ほんの少し差し支えあり	554	8.7	1.4	1.3	1.3	0.2	12.8	6.1	
	差し支えあり	281	7.1	1.1	0.4	0.7	0.4	16.7	7.1	
	大いに差し支えあり	113	9.7	4.4	0.9	0.9	-	21.2	6.2	

3. 生活満足度

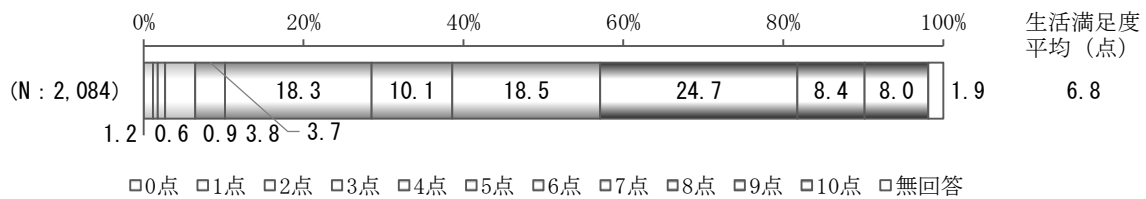
現在の生活満足度を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。『全く満足していない』を0点、『非常に満足している』を10点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれか1つだけ選んでください。

い足全 なしく いて満	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	て満非 いる 足常 しに

その結果、「8点」が24.7%で最も多く、次いで、「7点」が18.5%、「5点」が18.3%の順となっている。平均点は6.8点となっている。(図表VII-19)

<図表 VII-19> 生活満足度



性別にみると、平均点は、女性が6.9点と男性を上回っている。

年齢別にみると、平均点は、90歳以上が最も高く7.5点、次いで85～89歳が7.0点となっている。一方、最も低いのは65～69歳で、6.4点となっている。(図表VII-20)

<図表 VII-20> 生活満足度〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全 体		2,084	1.2	0.6	0.9	3.8	3.7	18.3	10.1
性別	男 性	996	1.2	0.8	1.1	4.2	4.5	17.6	12.0
	女 性	1,088	1.1	0.5	0.7	3.4	2.9	19.0	8.4▲
本人 年齢別	60～64歳	380	0.8	0.5	0.5	5.5	6.1	14.7▲	9.7
	65～69歳	400	1.5	1.5	1.0	4.8	4.3	20.5	11.3
	70～74歳	463	0.9	0.6	1.1	2.8	3.5	18.1	12.5
	75～79歳	369	1.4	-	0.8	4.3	3.0	18.7	8.1
	80～84歳	273	1.5	0.4	1.5	2.2	2.6	19.0	7.3
	85～89歳	141	1.4	0.7	0.7	2.1	1.4	19.1	11.3
	90歳以上	58	-	-	-	1.7	1.7	20.7	8.6

		N	7点	8点	9点	10点	無回答	生活満足度 平均 (点)
全 体		2,084	18.5	24.7	8.4	8.0	1.9	6.8
性別	男 性	996	18.2	23.6	7.3	7.0	2.4	6.6▲
	女 性	1,088	18.8	25.6	9.4	8.8	1.4	6.9
本人 年齢別	60～64歳	380	21.8	22.1	8.9	7.9	1.3	6.7
	65～69歳	400	17.8	22.5	6.3	6.3	2.5	6.4▲
	70～74歳	463	18.4	25.9	9.3	5.8	1.1	6.8
	75～79歳	369	20.3	24.4	8.4	8.1	2.4	6.8
	80～84歳	273	18.3	27.8	6.6	9.9	2.9	6.9
	85～89歳	141	11.3▲	29.1	10.6	10.6	1.4	7.0
	90歳以上	58	8.6▲	22.4	15.5	20.7	-	7.5

本人年収別にみると、平均点は、収入はない層で6.4点と最も低く、高収入層ほど高くなっている。
(図表Ⅶ-21)

<図表 Ⅶ-21> 生活満足度〔本人年収別〕

(単位：%)

		N	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全 体		2,084	1.2	0.6	0.9	3.8	3.7	18.3	10.1
本人 年 収 別	収入はない	261	1.5	0.8	1.1	6.9	5.4	24.5	9.2
	100万円未満	458	2.0	1.1	1.3	3.5	3.7	17.0	10.3
	100～500万円未満	1,067	0.7	0.5	0.7	3.5	3.6	17.7	10.6
	500～1,000万円未満	155	-	0.6	-	3.2	1.3	12.9	9.7
	1,000～2,000万円未満	28	-	-	-	-	3.6	14.3	7.1
	2,000万円以上	9	-	-	-	-	-	11.1	-

		N	7点	8点	9点	10点	無回答	生活満足度平均(点)
全 体		2,084	18.5	24.7	8.4	8.0	1.9	6.8
本人 年 収 別	収入はない	261	14.2	19.5▲	5.0▲	10.0	1.9	6.4▲
	100万円未満	458	19.7	24.0	9.6	5.9	2.0	6.6
	100～500万円未満	1,067	19.6	25.5	8.6	7.2	1.8	6.8
	500～1,000万円未満	155	18.1	31.6	9.7	11.6	1.3	7.3
	1,000～2,000万円未満	28	10.7	35.7	14.3	14.3	-	7.6
	2,000万円以上	9	22.2	33.3	-	33.3	-	8.1

世帯保有金融資産別にみると、平均点は、100万円未満層で5.8点と最も低く、高資産層ほど高くなっており、2,000万円以上層で7.4点となっている。(図表Ⅶ-22)

<図表 Ⅶ-22> 生活満足度〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全 体		2,084	1.2	0.6	0.9	3.8	3.7	18.3	10.1
金融 資 産 別	100万円未満	204	3.4	1.5	1.0	7.8	9.8	23.5	12.7
	100～500万円未満	265	1.9	0.8	1.1	6.8	5.3	18.5	10.9
	500～1,000万円未満	205	1.0	-	0.5	3.4	4.4	17.1	11.2
	1,000～2,000万円未満	280	0.4	0.7	0.4	0.7▲	1.8	17.1	11.4
	2,000万円以上	399	0.5	0.5	0.3	1.8▲	1.3▲	9.0▲	7.8

		N	7点	8点	9点	10点	無回答	生活満足度平均(点)
全 体		2,084	18.5	24.7	8.4	8.0	1.9	6.8
金融 資 産 別	100万円未満	204	10.3▲	17.2▲	3.9▲	6.4	2.5	5.8▲
	100～500万円未満	265	19.2	21.9	6.4	6.4	0.8	6.4▲
	500～1,000万円未満	205	19.5	27.8	8.3	5.4	1.5	6.8
	1,000～2,000万円未満	280	20.7	28.6	12.1	5.4	0.7	7.1
	2,000万円以上	399	20.1	37.6	10.8	9.0	1.5	7.4

家族形態別にみると、平均点は、夫婦のみの層で最も高く7.1点となっている。一方、単身層で最も低く6.2点となっている。(図表Ⅶ-23)

<図表 Ⅶ-23> 生活満足度〔家族形態別〕

(単位：%)

		N	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全 体		2,084	1.2	0.6	0.9	3.8	3.7	18.3	10.1
家族形態別	単 身	347	2.3	1.4	2.6	6.9	5.2	23.3	8.4
	夫 婦 の み	785	1.0	0.3	0.4▲	2.9	2.4▲	15.3▲	9.3
	2 世 代 世 帯	423	0.5	0.5	0.5	4.3	3.1	18.4	11.8
	夫 婦 と 子 の み	351	0.3	-	0.6	4.3	2.6	18.5	11.7
	親と自分(夫婦)のみ	72	1.4	2.8	-	4.2	5.6	18.1	12.5
	3 世 代 世 帯	196	1.0	1.5	0.5	1.5	5.6	18.4	10.7
	自 分 (夫 婦) と 子 と 孫	159	1.3	1.3	-	0.6▲	5.0	17.6	10.7
	親と自分(夫婦)と子	37	-	2.7	2.7	5.4	8.1	21.6	10.8
そ の 他	298	1.3	0.3	1.0	3.4	5.0	19.5	11.4	

		N	7点	8点	9点	10点	無回答	生活満足度平均(点)
全 体		2,084	18.5	24.7	8.4	8.0	1.9	6.8
家族形態別	単 身	347	13.8▲	20.2▲	5.2▲	8.4	2.3	6.2▲
	夫 婦 の み	785	19.2	28.7	9.6	9.2	1.8	7.1
	2 世 代 世 帯	423	21.5	24.8	7.3	5.9	1.4	6.7
	夫 婦 と 子 の み	351	21.9	26.2	6.3	6.3	1.4	6.8
	親と自分(夫婦)のみ	72	19.4	18.1	12.5	4.2	1.4	6.5
	3 世 代 世 帯	196	19.9	24.5	7.1	7.1	2.0	6.7
	自 分 (夫 婦) と 子 と 孫	159	21.4	23.9	7.5	8.2	2.5	6.8
	親と自分(夫婦)と子	37	13.5	27.0	5.4	2.7	-	6.2
そ の 他	298	16.8	20.5	11.4	8.4	1.0	6.7	

客観的健康状態別にみると、平均点は、差し支えなし層で最も高く7.2点となっている。一方、差し支えあり層で6.1点、大いに差し支えありで6.3点と低くなっている。(図表Ⅶ-24)

<図表 Ⅶ-24> 生活満足度〔客観的健康状態別〕

(単位：%)

		N	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全 体		2,084	1.2	0.6	0.9	3.8	3.7	18.3	10.1
健康客観的状態別	差 し 支 え な し	858	0.6▲	0.1▲	0.2▲	1.5▲	2.2▲	15.9▲	9.2
	ほんの少し差し支えあり	689	1.2	0.4	0.7	4.4	3.5	17.4	11.5
	差 し 支 え あ り	348	2.0	0.9	2.9	6.3	6.9	23.9	10.6
	大いに差し支えあり	139	1.4	2.2	1.4	5.8	5.8	25.2	9.4

		N	7点	8点	9点	10点	無回答	生活満足度平均(点)
全 体		2,084	18.5	24.7	8.4	8.0	1.9	6.8
健康客観的状態別	差 し 支 え な し	858	20.5	29.5	9.2	9.2	1.9	7.2
	ほんの少し差し支えあり	689	18.6	25.7	8.1	7.1	1.5	6.7
	差 し 支 え あ り	348	16.4	13.5▲	7.8	6.3	2.6	6.1▲
	大いに差し支えあり	139	11.5▲	20.9	6.5	8.6	1.4	6.3▲

後悔度合い別にみると、平均点は、後悔度・高の層で6.0点と最も低く、後悔度・中の層で6.5点、後悔度・低の層で7.2点と、後悔度が低いほど高くなっている。(図表Ⅶ-25)

<図表 Ⅶ-25> 生活満足度〔後悔度合い別〕

(単位：%)

		N	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全 体		2,084	1.2	0.6	0.9	3.8	3.7	18.3	10.1
後悔度 別	後悔度・低	981	1.2	0.4	0.7	1.8▲	2.2▲	14.3▲	8.5▲
	後悔度・中	598	1.2	0.5	1.0	4.3	4.7	20.1	11.5
	後悔度・高	352	1.1	1.7	1.1	6.8	6.3	25.9	13.1

		N	7点	8点	9点	10点	無回答	生活満足度 平均 (点)
全 体		2,084	18.5	24.7	8.4	8.0	1.9	6.8
後悔度 別	後悔度・低	981	17.8	29.1	12.0	10.9	1.0▲	7.2
	後悔度・中	598	20.9	22.9	5.5▲	5.7▲	1.7	6.5▲
	後悔度・高	352	16.8	18.5▲	4.0▲	2.6▲	2.3	6.0▲

「付属統計資料」

1. 属性間クロス

- ①性別
- ②本人年齢
- ③本人職業（現在）
- ④本人学歴
- ⑤本人年収
- ⑥未既婚
- ⑦配偶者年齢
- ⑧配偶者職業（現在）
- ⑨配偶者年収
- ⑩家族形態
- ⑪本人または夫婦年収（世帯年収）
- ⑫世帯保有金融資産額
- ⑬住居形態
- ⑭市郡規模別
- ⑮地域ブロック別

2. サンプルデザイン

3. 質問票および単純集計結果

1. 属性間クロス

① 性別

(単位：%)

	N	男	女
全 体	2084	47.8	52.2
本 人 年 齢			
60～64歳	380	48.9	51.1
65～69歳	400	47.5	52.5
70～74歳	463	49.9	50.1
75～79歳	369	47.2	52.8
80～84歳	273	46.5	53.5
85～89歳	141	46.8	53.2
90歳以上	58	37.9	62.1
本 人 職 業			
自営者	247	61.1	38.9
農林漁業	29	55.2	44.8
商工サービス業	174	60.9	39.1
自由業	44	65.9	34.1
常雇被用者	212	75.9	24.1
公務員	38	76.3	23.7
民間企業被用者	174	75.9	24.1
非正規社員	293	33.8	66.2
派遣社員・契約社員	48	72.9	27.1
パート・アルバイト	245	26.1	73.9
無職	1285	43.2	56.8
その他	31	61.3	38.7
本 人 学 歴			
小中学校	322	48.1	51.9
高等学校	904	42.3	57.7
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	23.6	76.4
大学	446	76.2	23.8
大学院修士課程	24	91.7	8.3
大学院博士課程	2	100.0	0.0
本 人 年 収			
収入はない	261	29.1	70.9
100万円未満	458	17.9	82.1
100～500万円未満	1067	58.8	41.2
500～1,000万円未満	155	85.8	14.2
1,000～2,000万円未満	28	75.0	25.0
2,000万円以上	9	88.9	11.1
未 既 婚			
未婚	117	58.1	41.9
既婚(配偶者あり)	1450	54.6	45.4
既婚(離別・死別)	508	26.2	73.8
配 偶 者 年 齢			
49歳以下	9	77.8	22.2
50～59歳	85	89.4	10.6
60～64歳	218	71.1	28.9
65～69歳	261	57.1	42.9
70～74歳	302	48.0	52.0
75～79歳	253	47.0	53.0
80～84歳	177	42.9	57.1
85～89歳	61	34.4	65.6
90歳以上	17	23.5	76.5
配 偶 者 職 業			
自営者	152	43.4	56.6
農林漁業	20	50.0	50.0
商工サービス業	110	42.7	57.3
自由業	22	40.9	59.1
常雇被用者	113	33.6	66.4
公務員	22	45.5	54.5
民間企業被用者	91	30.8	69.2
非正規社員	228	64.5	35.5
派遣社員・契約社員	54	37.0	63.0
パート・アルバイト	174	73.0	27.0
無職	909	56.4	43.6
その他	18	55.6	44.4

① 性別

(単位：%)

	N	男	女
全 体	2084	47.8	52.2
配 偶 者 年 収			
収入はない	303	70.0	30.0
100万円未満	362	82.0	18.0
100～500万円未満	597	36.3	63.7
500～1,000万円未満	62	37.1	62.9
1,000～2,000万円未満	17	17.6	82.4
2,000万円以上	7	14.3	85.7
家 族 形 態			
単身	347	39.5	60.5
夫婦のみ	785	52.6	47.4
2世代世帯	423	59.6	40.4
夫婦と子のみ	351	60.7	39.3
親と自分(夫婦)のみ	72	54.2	45.8
3世代世帯	196	43.4	56.6
自分(夫婦)と子と孫	159	39.0	61.0
親と自分(夫婦)と子	37	62.2	37.8
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0
その他	298	30.5	69.5
本人または夫婦年収			
100万円未満	52	28.8	71.2
100～300万円未満	329	43.2	56.8
300～500万円未満	328	53.0	47.0
500～700万円未満	118	61.9	38.1
700～1,000万円未満	65	61.5	38.5
1,000～1,500万円未満	39	76.9	23.1
1,500～2,000万円未満	8	75.0	25.0
2,000万円以上	8	75.0	25.0
世帯保有金融資産額			
100万円未満	204	49.5	50.5
100～500万円未満	265	51.3	48.7
500～1,000万円未満	205	49.3	50.7
1,000～2,000万円未満	280	52.9	47.1
2,000万円以上	399	55.1	44.9
住 居 形 態			
持家	1759	47.1	52.9
持家・ローンあり	284	52.8	47.2
持家・ローンなし	1308	47.8	52.2
持家・夫婦以外名義	167	32.3	67.7
借家	245	49.4	50.6
賃貸住宅	233	49.8	50.2
社宅	7	42.9	57.1
高齢者住宅	5	40.0	60.0
その他	14	64.3	35.7
市 郡 規 模 別			
21大市	709	48.1	51.9
人口10万人以上の市	833	45.7	54.3
人口10万人未満の市	382	50.8	49.2
郡部	160	50.0	50.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別			
東京都	437	51.0	49.0
愛知県	270	46.7	53.3
大阪府	336	45.2	54.8
北海道	62	45.2	54.8
東北	105	45.7	54.3
関東(東京都除く)	290	45.2	54.8
北陸	65	43.1	56.9
中部(愛知県除く)	105	50.5	49.5
近畿(大阪府除く)	120	51.7	48.3
中国	94	47.9	52.1
四国	42	64.3	35.7
北九州	95	49.5	50.5
南九州	63	41.3	58.7

② 本人年齢

(単位：%)

	N	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	平均(歳)
全 体	2084	18.2	19.2	22.2	17.7	13.1	6.8	2.8	73.0
性 別									
男性	996	18.7	19.1	23.2	17.5	12.8	6.6	2.2	72.8
女性	1088	17.8	19.3	21.3	17.9	13.4	6.9	3.3	73.2
本 人 職 業									
自営者	247	20.6	20.6	25.5	21.9	8.5	1.6	1.2	71.4
農林漁業	29	6.9	10.3	31.0	34.5	10.3	6.9	0.0	74.8
商工サービス業	174	22.4	19.0	27.6	20.1	8.6	1.1	1.1	71.2
自由業	44	22.7	34.1	13.6	20.5	6.8	0.0	2.3	70.2
常雇被用者	212	57.1	28.3	8.0	5.2	1.4	0.0	0.0	65.1
公務員	38	52.6	39.5	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	64.6
民間企業被用者	174	58.0	25.9	8.0	6.3	1.7	0.0	0.0	65.3
非正規社員	293	32.4	33.1	22.9	9.9	1.7	0.0	0.0	67.7
派遣社員・契約社員	48	41.7	37.5	14.6	6.3	0.0	0.0	0.0	66.7
パート・アルバイト	245	30.6	32.2	24.5	10.6	2.0	0.0	0.0	67.9
無職	1285	7.7	14.2	23.7	20.9	18.5	10.7	4.3	75.9
その他	31	41.9	25.8	19.4	6.5	6.5	0.0	0.0	67.9
本 人 学 歴									
小中学校	322	4.7	10.9	17.1	20.8	26.7	14.6	5.3	77.9
高等学校	904	14.8	18.4	24.1	21.6	11.9	6.5	2.7	73.4
短期大学・高等専門学校・専門学校	369	29.0	24.1	22.2	9.8	8.9	4.3	1.6	70.2
大学	446	25.8	23.1	21.1	14.8	9.0	4.0	2.2	71.0
大学院修士課程	24	20.8	25.0	33.3	4.2	16.7	0.0	0.0	70.5
大学院博士課程	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0
本 人 年 収									
収入はない	261	19.5	12.6	20.7	17.6	14.6	10.0	5.0	74.3
100万円未満	458	11.6	20.3	24.7	20.1	13.5	7.2	2.6	73.8
100～500万円未満	1067	17.2	20.4	22.8	17.8	13.3	6.1	2.4	72.9
500～1,000万円未満	155	36.1	27.1	14.8	9.0	6.5	5.2	1.3	69.0
1,000～2,000万円未満	28	50.0	3.6	17.9	14.3	7.1	3.6	3.6	69.6
2,000万円以上	9	22.2	11.1	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	71.3
未 既 婚									
未婚	117	35.9	30.8	15.4	8.5	6.8	1.7	0.9	68.4
既婚(配偶者あり)	1450	19.8	20.2	24.1	18.1	11.9	4.6	1.2	72.0
既婚(離別・死別)	508	10.0	14.0	18.3	17.9	18.1	14.0	7.7	76.6
配 偶 者 年 齢									
49歳以下	9	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	67.7
50～59歳	85	78.8	20.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	62.8
60～64歳	218	55.0	31.2	10.6	2.8	0.0	0.0	0.5	64.9
65～69歳	261	23.8	40.6	31.0	4.6	0.0	0.0	0.0	68.0
70～74歳	302	5.3	24.8	46.0	20.9	3.0	0.0	0.0	71.7
75～79歳	253	0.8	4.7	31.2	41.1	19.8	2.0	0.4	76.1
80～84歳	177	0.0	1.1	2.8	35.6	40.7	17.5	2.3	80.8
85～89歳	61	0.0	3.3	0.0	6.6	47.5	29.5	13.1	83.9
90歳以上	17	0.0	0.0	0.0	5.9	29.4	52.9	11.8	85.6
配 偶 者 職 業									
自営者	152	17.8	21.1	29.6	19.7	9.9	1.3	0.7	71.7
農林漁業	20	10.0	10.0	40.0	25.0	10.0	5.0	0.0	73.6
商工サービス業	110	17.3	20.9	30.9	19.1	10.9	0.9	0.0	71.6
自由業	22	27.3	31.8	13.6	18.2	4.5	0.0	4.5	70.1
常雇被用者	113	55.8	20.4	12.4	7.1	2.7	0.9	0.9	66.1
公務員	22	59.1	18.2	13.6	4.5	4.5	0.0	0.0	66.1
民間企業被用者	91	54.9	20.9	12.1	7.7	2.2	1.1	1.1	66.2
非正規社員	228	38.2	28.5	24.6	7.5	0.9	0.4	0.0	67.2
派遣社員・契約社員	54	53.7	27.8	11.1	7.4	0.0	0.0	0.0	65.7
パート・アルバイト	174	33.3	28.7	28.7	7.5	1.1	0.6	0.0	67.7
無職	909	10.7	18.2	24.9	21.8	16.0	6.9	1.7	74.1
その他	18	33.3	22.2	11.1	16.7	16.7	0.0	0.0	69.4

② 本人年齢

(単位：%)

	N	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	平均(歳)
全 体	2084	18.2	19.2	22.2	17.7	13.1	6.8	2.8	73.0
配 偶 者 年 収									
収入はない	303	17.5	21.5	24.1	18.5	10.9	6.3	1.3	72.4
100万円未満	362	11.3	16.9	24.3	22.7	17.4	5.2	2.2	74.1
100～500万円未満	597	21.9	23.8	25.5	15.9	8.4	3.9	0.7	71.0
500～1,000万円未満	62	45.2	19.4	16.1	11.3	6.5	1.6	0.0	67.9
1,000～2,000万円未満	17	47.1	17.6	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	69.4
2,000万円以上	7	28.6	0.0	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	74.6
家 族 形 態									
単身	347	15.3	18.7	18.4	16.7	16.1	10.4	4.3	74.3
夫婦のみ	785	14.9	18.5	25.7	19.1	14.5	6.0	1.3	73.3
2世代世帯	423	30.5	25.5	19.1	14.2	8.3	1.9	0.5	69.4
夫婦と子のみ	351	26.5	25.4	19.1	16.8	9.4	2.3	0.6	70.1
親と自分(夫婦)のみ	72	50.0	26.4	19.4	1.4	2.8	0.0	0.0	65.8
3世代世帯	196	18.4	17.3	22.4	19.4	11.7	6.1	4.6	73.3
自分(夫婦)と子と孫	159	8.8	17.0	23.9	22.6	14.5	7.5	5.7	75.2
親と自分(夫婦)と子	37	59.5	18.9	16.2	5.4	0.0	0.0	0.0	65.1
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	14.8	14.4	20.1	18.1	13.1	12.8	6.7	75.3
本人または夫婦年収									
100万円未満	52	7.7	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	5.8	76.9
100～300万円未満	329	10.6	16.1	20.7	23.1	16.7	7.9	4.9	74.9
300～500万円未満	328	20.7	21.3	26.2	21.0	6.1	3.4	1.2	71.4
500～700万円未満	118	35.6	29.7	21.2	6.8	5.1	0.8	0.8	68.0
700～1,000万円未満	65	36.9	29.2	18.5	10.8	3.1	1.5	0.0	68.0
1,000～1,500万円未満	39	56.4	23.1	12.8	5.1	2.6	0.0	0.0	66.0
1,500～2,000万円未満	8	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	67.6
2,000万円以上	8	50.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	68.9
世帯保有金融資産額									
100万円未満	204	16.7	23.0	22.5	14.7	13.2	6.4	3.4	72.8
100～500万円未満	265	17.0	23.8	18.1	17.7	15.5	6.0	1.9	72.9
500～1,000万円未満	205	26.8	14.1	25.4	13.7	10.7	6.8	2.4	71.8
1,000～2,000万円未満	280	21.8	17.5	23.9	19.6	10.7	5.4	1.1	72.0
2,000万円以上	399	19.5	22.6	23.3	16.3	11.3	4.5	2.5	72.1
住 居 形 態									
持家	1759	18.3	18.5	22.5	18.1	12.8	7.0	2.8	73.1
持家・ローンあり	284	30.3	24.3	17.3	14.4	9.5	3.2	1.1	70.1
持家・ローンなし	1308	15.3	17.0	24.0	19.6	14.1	7.3	2.7	73.7
持家・夫婦以外名義	167	21.6	20.4	19.8	12.6	8.4	10.8	6.6	73.4
借家	245	18.0	26.1	20.8	13.9	14.3	4.5	2.4	72.1
賃貸住宅	233	18.0	27.0	21.0	13.3	13.7	4.3	2.6	71.9
社宅	7	28.6	0.0	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	74.4
高齢者住宅	5	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	76.6
その他	14	14.3	21.4	21.4	21.4	7.1	7.1	7.1	73.8
市 郡 規 模 別									
21大市	709	17.9	20.2	20.5	14.0	15.9	8.2	3.4	73.4
人口10万人以上の市	833	17.3	20.2	24.1	19.9	10.6	5.8	2.2	72.6
人口10万人未満の市	382	20.7	15.7	23.0	18.8	13.4	6.0	2.4	72.8
郡部	160	18.8	18.1	18.1	20.0	13.1	7.5	4.4	73.6
地 域 ブ ロ ッ ク 別									
東京都	437	17.8	17.8	23.1	14.4	16.9	6.4	3.4	73.4
愛知県	270	16.3	21.5	18.5	20.4	13.3	7.8	2.2	73.3
大阪府	336	17.6	20.2	22.6	19.0	11.0	6.8	2.7	73.0
北海道	62	30.6	24.2	22.6	8.1	4.8	8.1	1.6	69.7
東北	105	21.9	17.1	20.0	15.2	18.1	5.7	1.9	72.7
関東(東京都除く)	290	19.0	16.9	20.7	17.2	14.5	7.6	4.1	73.5
北陸	65	9.2	24.6	29.2	23.1	7.7	4.6	1.5	72.9
中部(愛知県除く)	105	17.1	13.3	29.5	21.9	8.6	4.8	4.8	73.2
近畿(大阪府除く)	120	15.0	14.2	18.3	25.0	15.8	10.0	1.7	74.4
中国	94	21.3	24.5	25.5	16.0	9.6	3.2	0.0	70.9
四国	42	21.4	14.3	33.3	11.9	11.9	2.4	4.8	72.2
北九州	95	20.0	23.2	21.1	17.9	10.5	7.4	0.0	71.8
南九州	63	19.0	25.4	17.5	17.5	7.9	7.9	4.8	72.6

③ 本人職業（現在）

(単位：%)

	N	自営者	農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全体	2077	11.9	1.4	8.4	2.1	10.2	1.8	8.4	14.1	2.3	11.8	61.9	1.5	0.4
性別														
男性	990	15.3	1.6	10.7	2.9	16.3	2.9	13.3	10.0	3.5	6.5	56.1	1.9	0.5
女性	1087	8.8	1.2	6.3	1.4	4.7	0.8	3.9	17.8	1.2	16.7	67.2	1.1	0.4
本人年齢														
60～64歳	379	13.5	0.5	10.3	2.6	31.9	5.3	26.6	25.1	5.3	19.8	26.1	3.4	0.0
65～69歳	400	12.8	0.8	8.3	3.8	15.0	3.8	11.3	24.3	4.5	19.8	45.8	2.0	0.3
70～74歳	461	13.7	2.0	10.4	1.3	3.7	0.7	3.0	14.5	1.5	13.0	66.2	1.3	0.7
75～79歳	368	14.7	2.7	9.5	2.4	3.0	0.0	3.0	7.9	0.8	7.1	72.8	0.5	1.1
80～84歳	270	7.8	1.1	5.6	1.1	1.1	0.0	1.1	1.9	0.0	1.9	88.1	0.7	0.4
85～89歳	141	2.8	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.2	0.0	0.0
90歳以上	58	5.2	0.0	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.8	0.0	0.0
本人学歴														
小中学校	321	8.4	2.2	4.4	1.9	5.6	0.3	5.3	10.9	0.6	10.3	73.2	1.2	0.6
高等学校	903	10.4	1.6	7.6	1.2	6.8	1.0	5.8	16.4	1.9	14.5	65.0	1.1	0.3
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	16.0	1.9	11.9	2.2	10.0	1.4	8.7	14.9	2.7	12.2	55.8	2.7	0.5
大学	446	14.1	0.2	10.1	3.8	19.5	4.5	15.0	11.9	4.0	7.8	52.9	1.3	0.2
大学院修士課程	24	8.3	0.0	4.2	4.2	29.2	8.3	20.8	4.2	4.2	0.0	54.2	4.2	0.0
大学院博士課程	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
本人年収														
収入はない	261	2.3	1.1	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	97.3	0.0	0.0
100万円未満	458	8.5	1.5	5.2	1.7	0.4	0.0	0.4	21.6	1.1	20.5	68.6	0.4	0.4
100～500万円未満	1065	11.5	1.1	8.7	1.7	11.3	2.1	9.2	16.9	3.7	13.2	57.8	2.0	0.5
500～1,000万円未満	155	25.8	1.3	20.6	3.9	43.9	8.4	35.5	3.2	1.9	1.3	24.5	2.6	0.0
1,000～2,000万円未満	28	46.4	0.0	42.9	3.6	25.0	3.6	21.4	0.0	0.0	0.0	25.0	3.6	0.0
2,000万円以上	9	66.7	0.0	44.4	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
未婚既婚														
未婚	117	11.1	1.7	6.0	3.4	12.0	3.4	8.5	15.4	3.4	12.0	60.7	0.9	0.0
既婚(配偶者あり)	1443	13.1	1.5	9.4	2.1	11.6	2.2	9.4	13.9	2.5	11.4	59.1	1.9	0.4
既婚(離別・死別)	508	8.7	1.0	5.9	1.8	6.1	0.4	5.7	14.6	1.6	13.0	69.5	0.6	0.6
配偶者年齢														
49歳以下	9	22.2	0.0	22.2	0.0	33.3	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0
50～59歳	85	12.9	1.2	9.4	2.4	42.4	7.1	35.3	15.3	8.2	7.1	24.7	4.7	0.0
60～64歳	218	17.9	0.9	13.8	3.2	29.4	6.0	23.4	22.9	5.0	17.9	25.7	4.1	0.0
65～69歳	261	14.2	1.1	11.1	1.9	10.3	2.3	8.0	21.5	2.7	18.8	52.9	0.8	0.4
70～74歳	302	9.6	0.7	7.3	1.7	7.9	1.7	6.3	15.6	2.3	13.2	63.9	2.0	1.0
75～79歳	253	13.8	3.6	9.5	0.8	1.6	0.0	1.6	9.1	0.8	8.3	73.1	2.0	0.4
80～84歳	175	10.3	2.3	6.9	1.1	0.0	0.0	0.0	4.0	0.6	3.4	85.7	0.0	0.0
85～89歳	61	8.2	0.0	6.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.2	0.0	1.6
90歳以上	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
配偶者職業														
自営者	152	57.2	9.2	43.4	4.6	4.6	0.0	4.6	9.2	0.0	9.2	28.3	0.7	0.0
農林漁業	20	75.0	65.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	20.0	0.0	0.0
商工サービス業	110	59.1	0.9	57.3	0.9	5.5	0.0	5.5	5.5	0.0	5.5	29.1	0.9	0.0
自由業	22	31.8	0.0	4.5	27.3	4.5	0.0	4.5	31.8	0.0	31.8	31.8	0.0	0.0
常雇被用者	113	5.3	0.0	3.5	1.8	22.1	5.3	16.8	22.1	2.7	19.5	45.1	4.4	0.9
公務員	22	4.5	0.0	4.5	0.0	22.7	18.2	4.5	9.1	0.0	9.1	54.5	9.1	0.0
民間企業被用者	91	5.5	0.0	3.3	2.2	22.0	2.2	19.8	25.3	3.3	22.0	42.9	3.3	1.1
非正規社員	228	11.4	0.0	7.9	3.5	21.5	2.6	18.9	31.1	6.1	25.0	34.2	1.3	0.4
派遣社員・契約社員	54	14.8	0.0	11.1	3.7	20.4	1.9	18.5	27.8	5.6	22.2	37.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	174	10.3	0.0	6.9	3.4	21.8	2.9	19.0	32.2	6.3	25.9	33.3	1.7	0.6
無職	907	6.9	0.7	5.1	1.2	9.0	2.1	6.9	9.4	2.0	7.4	73.2	1.3	0.1
その他	18	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	5.6	16.7	0.0	16.7	33.3	27.8	0.0

③ 本人職業（現在）

(単位：%)

	N	自営者	業種			雇用形態			雇用形態			無職	その他	無回答
			農林漁業	商工サービス業	自由業	常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト			
全体	2077	11.9	1.4	8.4	2.1	10.2	1.8	8.4	14.1	2.3	11.8	61.9	1.5	0.4
配偶者年取														
収入はない	302	12.9	1.7	9.3	2.0	16.6	2.3	14.2	12.6	3.0	9.6	56.6	1.0	0.3
100万円未満	361	13.6	1.1	9.7	2.8	10.5	1.7	8.9	12.5	2.8	9.7	60.7	2.2	0.6
100～500万円未満	597	10.6	0.7	8.7	1.2	9.7	2.3	7.4	16.9	2.5	14.4	61.3	1.2	0.3
500～1,000万円未満	62	17.7	1.6	11.3	4.8	16.1	4.8	11.3	14.5	1.6	12.9	46.8	4.8	0.0
1,000～2,000万円未満	17	35.3	0.0	29.4	5.9	17.6	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	47.1	0.0	0.0
2,000万円以上	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0	14.3
家族形態														
単身	347	8.4	0.6	5.8	2.0	8.4	1.2	7.2	15.0	2.6	12.4	67.4	0.9	0.0
夫婦のみ	783	11.5	0.9	8.2	2.4	9.3	1.9	7.4	12.8	1.4	11.4	64.4	1.4	0.6
2世代世帯	421	12.4	1.0	9.5	1.9	16.2	3.1	13.1	15.7	3.8	11.9	53.2	2.4	0.2
夫婦と子のみ	349	12.9	1.1	10.0	1.7	16.0	2.6	13.5	14.0	2.6	11.5	54.4	2.3	0.3
親と自分(夫婦)のみ	72	9.7	0.0	6.9	2.8	16.7	5.6	11.1	23.6	9.7	13.9	47.2	2.8	0.0
3世代世帯	195	17.9	3.1	13.8	1.0	12.3	2.6	9.7	12.8	1.5	11.3	55.9	1.0	0.0
自分(夫婦)と子と孫	158	17.7	3.8	12.7	1.3	7.0	1.3	5.7	13.3	0.6	12.7	61.4	0.6	0.0
親と自分(夫婦)と子	37	18.9	0.0	18.9	0.0	35.1	8.1	27.0	10.8	5.4	5.4	32.4	2.7	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	297	11.1	2.4	7.4	1.3	5.4	0.3	5.1	15.8	3.0	12.8	65.3	1.3	1.0
本人または夫婦年取														
100万円未満	52	5.8	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	92.3	0.0	0.0
100～300万円未満	328	7.3	0.6	5.5	1.2	4.0	0.3	3.7	13.1	2.1	11.0	74.7	0.3	0.6
300～500万円未満	326	10.1	0.3	8.9	0.9	9.8	2.1	7.7	18.1	4.0	14.1	60.4	1.5	0.0
500～700万円未満	118	15.3	0.8	11.9	2.5	27.1	6.8	20.3	20.3	2.5	17.8	33.1	3.4	0.8
700～1,000万円未満	65	20.0	1.5	15.4	3.1	33.8	6.2	27.7	12.3	1.5	10.8	33.8	0.0	0.0
1,000～1,500万円未満	39	35.9	2.6	23.1	10.3	35.9	7.7	28.2	2.6	2.6	0.0	17.9	7.7	0.0
1,500～2,000万円未満	8	50.0	0.0	50.0	0.0	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
2,000万円以上	8	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5
世帯保有金融資産額														
100万円未満	203	6.9	0.5	4.4	2.0	6.4	0.5	5.9	21.7	2.5	19.2	63.1	1.5	0.5
100～500万円未満	265	13.2	0.8	11.7	0.8	14.3	1.1	13.2	18.1	2.3	15.8	52.8	1.1	0.4
500～1,000万円未満	205	12.2	1.5	9.3	1.5	11.7	0.5	11.2	17.1	5.9	11.2	56.6	1.5	1.0
1,000～2,000万円未満	280	12.5	1.4	8.6	2.5	13.2	2.9	10.4	11.1	1.4	9.6	62.5	0.7	0.0
2,000万円以上	396	13.4	0.5	9.8	3.0	12.9	4.3	8.6	8.1	1.3	6.8	62.4	2.5	0.8
住居形態														
持家	1754	12.0	1.5	8.5	2.0	10.4	2.0	8.4	13.2	2.1	11.1	62.4	1.5	0.5
持家・ローンあり	284	15.5	2.5	10.6	2.5	16.2	2.8	13.4	20.4	3.5	16.9	44.4	2.8	0.7
持家・ローンなし	1303	12.0	1.4	8.4	2.1	9.5	2.1	7.4	11.2	1.8	9.4	65.5	1.3	0.5
持家・夫婦以外名義	167	6.0	0.6	5.4	0.0	7.8	0.0	7.8	16.8	2.4	14.4	68.3	1.2	0.0
借家	244	10.2	0.0	7.8	2.5	9.0	0.4	8.6	20.9	4.1	16.8	59.0	0.4	0.4
賃貸住宅	232	9.1	0.0	6.5	2.6	9.5	0.4	9.1	21.6	3.9	17.7	59.1	0.4	0.4
社宅	7	57.1	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
高齢者住宅	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	14	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0
市郡規模別														
21大市	707	11.6	0.7	8.6	2.3	10.2	1.4	8.8	13.7	2.0	11.7	62.4	1.8	0.3
人口10万人以上の市	829	11.2	1.8	7.1	2.3	11.8	2.5	9.3	12.7	2.4	10.3	62.4	1.4	0.5
人口10万人未満の市	381	13.4	1.8	10.0	1.6	7.3	1.0	6.3	17.6	2.6	15.0	60.1	1.0	0.5
郡部	160	13.1	1.3	10.0	1.9	8.8	1.9	6.9	15.0	2.5	12.5	61.3	1.3	0.6
地域ブロック別														
東京都	437	12.6	0.9	9.2	2.5	12.1	2.1	10.1	12.6	3.0	9.6	60.9	1.4	0.5
愛知県	270	8.5	1.1	5.2	2.2	9.6	1.5	8.1	16.3	1.5	14.8	63.3	1.9	0.4
大阪府	335	10.4	0.6	6.9	3.0	11.3	1.5	9.9	13.1	3.0	10.1	63.0	1.8	0.3
北海道	62	11.3	0.0	8.1	3.2	17.7	3.2	14.5	14.5	1.6	12.9	56.5	0.0	0.0
東北	104	19.2	1.9	14.4	2.9	2.9	1.0	1.9	17.3	2.9	14.4	58.7	1.0	1.0
関東(東京都除く)	288	9.4	0.3	8.0	1.0	9.7	1.4	8.3	15.3	2.8	12.5	63.2	2.1	0.3
北陸	64	18.8	3.1	12.5	3.1	3.1	0.0	3.1	9.4	0.0	9.4	68.8	0.0	0.0
中部(愛知県除く)	105	19.0	5.7	13.3	0.0	9.5	1.9	7.6	19.0	1.9	17.1	50.5	1.9	0.0
近畿(大阪府除く)	118	11.9	2.5	7.6	1.7	11.0	3.4	7.6	11.0	0.8	10.2	63.6	1.7	0.8
中国	94	10.6	2.1	7.4	1.1	8.5	1.1	7.4	13.8	2.1	11.7	64.9	1.1	1.1
四国	42	7.1	0.0	4.8	2.4	7.1	0.0	7.1	16.7	7.1	9.5	66.7	2.4	0.0
北九州	95	10.5	0.0	8.4	2.1	10.5	4.2	6.3	12.6	1.1	11.6	64.2	1.1	1.1
南九州	63	17.5	6.3	9.5	1.6	11.1	3.2	7.9	12.7	0.0	12.7	58.7	0.0	0.0

④ 本人学歴

(単位：%)

	N	小中学校	高等学校	短期大学、 高等専門 学校、専門 学校	大学	大学院修 士課程	大学院博 士課程	無回答
全 体	2084	15.5	43.4	17.7	21.4	1.2	0.1	0.8
性 別								
男性	996	15.6	38.4	8.7	34.1	2.2	0.2	0.8
女性	1088	15.3	48.0	25.9	9.7	0.2	0.0	0.8
本 人 年 齢								
60～64歳	380	3.9	35.3	28.2	30.3	1.3	0.0	1.1
65～69歳	400	8.8	41.5	22.3	25.8	1.5	0.3	0.0
70～74歳	463	11.9	47.1	17.7	20.3	1.7	0.2	1.1
75～79歳	369	18.2	52.8	9.8	17.9	0.3	0.0	1.1
80～84歳	273	31.5	39.6	12.1	14.7	1.5	0.0	0.7
85～89歳	141	33.3	41.8	11.3	12.8	0.0	0.0	0.7
90歳以上	58	29.3	41.4	10.3	17.2	0.0	0.0	1.7
本 人 職 業								
自営者	247	10.9	38.1	23.9	25.5	0.8	0.0	0.8
農林漁業	29	24.1	48.3	24.1	3.4	0.0	0.0	0.0
商工サービス業	174	8.0	39.7	25.3	25.9	0.6	0.0	0.6
自由業	44	13.6	25.0	18.2	38.6	2.3	0.0	2.3
常雇被用者	212	8.5	28.8	17.5	41.0	3.3	0.5	0.5
公務員	38	2.6	23.7	13.2	52.6	5.3	2.6	0.0
民間企業被用者	174	9.8	29.9	18.4	38.5	2.9	0.0	0.6
非正規社員	293	11.9	50.5	18.8	18.1	0.3	0.0	0.3
派遣社員・契約社員	48	4.2	35.4	20.8	37.5	2.1	0.0	0.0
パート・アルバイト	245	13.5	53.5	18.4	14.3	0.0	0.0	0.4
無職	1285	18.3	45.7	16.0	18.4	1.0	0.0	0.6
その他	31	12.9	32.3	32.3	19.4	3.2	0.0	0.0
本 人 年 収								
収入はない	261	26.8	41.4	21.1	10.0	0.4	0.0	0.4
100万円未満	458	20.3	50.2	17.9	11.6	0.0	0.0	0.0
100～500万円未満	1067	12.8	43.2	17.9	24.4	1.3	0.1	0.3
500～1,000万円未満	155	4.5	31.6	15.5	43.9	4.5	0.0	0.0
1,000～2,000万円未満	28	7.1	21.4	17.9	42.9	7.1	0.0	3.6
2,000万円以上	9	0.0	11.1	0.0	77.8	0.0	11.1	0.0
未 既 婚								
未婚	117	16.2	30.8	27.4	23.1	1.7	0.0	0.9
既婚(配偶者あり)	1450	12.0	43.3	17.5	24.7	1.3	0.1	1.0
既婚(離別・死別)	508	24.6	46.5	16.3	11.8	0.6	0.0	0.2
配 偶 者 年 齢								
49歳以下	9	11.1	66.7	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
50～59歳	85	5.9	34.1	14.1	45.9	0.0	0.0	0.0
60～64歳	218	2.3	33.9	22.9	36.7	3.7	0.5	0.0
65～69歳	261	9.6	42.5	19.2	26.8	1.9	0.0	0.0
70～74歳	302	11.9	44.7	20.5	21.5	0.3	0.3	0.7
75～79歳	253	14.6	49.0	16.2	18.6	0.8	0.0	0.8
80～84歳	177	19.2	50.8	11.3	17.5	0.6	0.0	0.6
85～89歳	61	23.0	47.5	13.1	16.4	0.0	0.0	0.0
90歳以上	17	35.3	29.4	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0
配 偶 者 職 業								
自営者	152	11.2	47.4	21.1	18.4	1.3	0.0	0.7
農林漁業	20	30.0	45.0	20.0	5.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業	110	7.3	48.2	21.8	20.0	1.8	0.0	0.9
自由業	22	13.6	45.5	18.2	22.7	0.0	0.0	0.0
常雇被用者	113	5.3	36.3	31.9	23.9	1.8	0.9	0.0
公務員	22	4.5	40.9	9.1	45.5	0.0	0.0	0.0
民間企業被用者	91	5.5	35.2	37.4	18.7	2.2	1.1	0.0
非正規社員	228	11.4	44.7	15.8	27.2	0.9	0.0	0.0
派遣社員・契約社員	54	7.4	38.9	27.8	25.9	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	174	12.6	46.6	12.1	27.6	1.1	0.0	0.0
無職	909	13.1	43.6	16.0	25.3	1.3	0.0	0.8
その他	18	11.1	44.4	16.7	22.2	5.6	0.0	0.0

④ 本人学歴

(単位：%)

	N	小中学校	高等学校	短期大学、 高等専門 学校、専門 学校	大学	大学院修 士課程	大学院博 士課程	無回答
全 体	2084	15.5	43.4	17.7	21.4	1.2	0.1	0.8
配 偶 者 年 収								
収入はない	303	15.8	38.3	14.2	28.4	3.0	0.0	0.3
100万円未満	362	17.4	45.6	8.6	27.1	1.4	0.0	0.0
100～500万円未満	597	8.2	47.2	21.4	22.1	0.5	0.2	0.3
500～1,000万円未満	62	3.2	25.8	33.9	33.9	3.2	0.0	0.0
1,000～2,000万円未満	17	11.8	11.8	58.8	17.6	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	7	0.0	14.3	14.3	57.1	0.0	14.3	0.0
家 族 形 態								
単身	347	22.8	40.3	19.3	15.9	1.4	0.0	0.3
夫婦のみ	785	11.2	44.1	17.1	25.2	1.4	0.3	0.8
2世代世帯	423	9.5	42.3	18.2	27.7	1.4	0.0	0.9
夫婦と子のみ	351	10.3	43.0	17.4	27.1	1.1	0.0	1.1
親と自分(夫婦)のみ	72	5.6	38.9	22.2	30.6	2.8	0.0	0.0
3世代世帯	196	25.0	40.3	17.9	16.3	0.5	0.0	0.0
自分(夫婦)と子と孫	159	28.3	40.3	18.2	13.2	0.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	37	10.8	40.5	16.2	29.7	2.7	0.0	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	20.1	47.3	18.5	13.1	0.3	0.0	0.7
本人または夫婦年収								
100万円未満	52	36.5	50.0	7.7	5.8	0.0	0.0	0.0
100～300万円未満	329	21.6	47.7	14.3	15.2	0.6	0.0	0.6
300～500万円未満	328	6.7	43.6	20.4	28.7	0.3	0.0	0.3
500～700万円未満	118	5.1	38.1	19.5	32.2	5.1	0.0	0.0
700～1,000万円未満	65	1.5	24.6	30.8	38.5	1.5	1.5	1.5
1,000～1,500万円未満	39	7.7	28.2	15.4	48.7	0.0	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
2,000万円以上	8	0.0	12.5	12.5	50.0	12.5	12.5	0.0
世帯保有金融資産額								
100万円未満	204	22.1	48.5	14.7	14.2	0.0	0.5	0.0
100～500万円未満	265	20.4	46.0	17.4	15.8	0.4	0.0	0.0
500～1,000万円未満	205	12.7	43.4	21.5	19.5	1.5	0.0	1.5
1,000～2,000万円未満	280	6.4	39.6	22.5	30.0	1.4	0.0	0.0
2,000万円以上	399	5.5	33.3	17.3	40.6	2.3	0.3	0.8
住 居 形 態								
持家	1759	14.1	43.0	18.2	22.6	1.3	0.1	0.6
持家・ローンあり	284	11.3	43.7	18.7	24.6	1.1	0.4	0.4
持家・ローンなし	1308	14.1	42.4	18.4	22.9	1.5	0.1	0.6
持家・夫婦以外名義	167	18.6	46.7	16.2	17.4	0.0	0.0	1.2
借家	245	24.5	45.7	15.5	13.1	0.4	0.0	0.8
賃貸住宅	233	24.5	45.1	16.3	12.9	0.4	0.0	0.9
社宅	7	0.0	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
高齢者住宅	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	14	28.6	28.6	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0
市 郡 規 模 別								
21大市	709	15.7	39.9	18.3	24.5	1.1	0.1	0.3
人口10万人以上の市	833	15.0	43.7	17.9	20.8	1.4	0.1	1.1
人口10万人未満の市	382	14.9	48.4	17.0	18.6	0.3	0.0	0.8
郡部	160	18.1	45.0	15.6	17.5	1.9	0.0	1.9
地 域 ブ ロ ッ ク 別								
東京都	437	13.0	35.0	19.5	30.0	2.1	0.2	0.2
愛知県	270	21.1	41.9	15.9	20.0	1.1	0.0	0.0
大阪府	336	18.8	43.8	13.4	21.1	2.1	0.0	0.9
北海道	62	11.3	50.0	25.8	9.7	3.2	0.0	0.0
東北	105	13.3	56.2	15.2	14.3	0.0	0.0	1.0
関東(東京都除く)	290	13.4	43.4	19.7	20.0	1.0	0.3	2.1
北陸	65	20.0	44.6	16.9	16.9	0.0	0.0	1.5
中部(愛知県除く)	105	12.4	51.4	24.8	10.5	0.0	0.0	1.0
近畿(大阪府除く)	120	8.3	45.8	14.2	30.8	0.0	0.0	0.8
中国	94	7.4	54.3	17.0	19.1	0.0	0.0	2.1
四国	42	16.7	38.1	14.3	31.0	0.0	0.0	0.0
北九州	95	11.6	46.3	23.2	17.9	0.0	0.0	1.1
南九州	63	38.1	41.3	14.3	6.3	0.0	0.0	0.0

⑤ 本人年収

(単位：%)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全体	2084	12.5	22.0	51.2	7.4	1.3	0.4	5.1
性別								
男性	996	7.6	8.2	63.0	13.4	2.1	0.8	4.9
女性	1088	17.0	34.6	40.4	2.0	0.6	0.1	5.2
本人年齢								
60～64歳	380	13.4	13.9	48.2	14.7	3.7	0.5	5.5
65～69歳	400	8.3	23.3	54.5	10.5	0.3	0.3	3.0
70～74歳	463	11.7	24.4	52.5	5.0	1.1	0.6	4.8
75～79歳	369	12.5	24.9	51.5	3.8	1.1	0.8	5.4
80～84歳	273	13.9	22.7	52.0	3.7	0.7	0.0	7.0
85～89歳	141	18.4	23.4	46.1	5.7	0.7	0.0	5.7
90歳以上	58	22.4	20.7	44.8	3.4	1.7	0.0	6.9
本人職業								
自営者	247	2.4	15.8	49.8	16.2	5.3	2.4	8.1
農林漁業	29	10.3	24.1	41.4	6.9	0.0	0.0	17.2
商工サービス業	174	0.6	13.8	53.4	18.4	6.9	2.3	4.6
自由業	44	4.5	18.2	40.9	13.6	2.3	4.5	15.9
常雇被用者	212	0.0	0.9	56.6	32.1	3.3	0.9	6.1
公務員	38	0.0	0.0	57.9	34.2	2.6	0.0	5.3
民間企業被用者	174	0.0	1.1	56.3	31.6	3.4	1.1	6.3
非正規社員	293	0.3	33.8	61.4	1.7	0.0	0.0	2.7
派遣社員・契約社員	48	0.0	10.4	81.3	6.3	0.0	0.0	2.1
パート・アルバイト	245	0.4	38.4	57.6	0.8	0.0	0.0	2.9
無職	1285	19.8	24.4	47.9	3.0	0.5	0.0	4.4
その他	31	0.0	6.5	67.7	12.9	3.2	0.0	9.7
本人学歴								
小中学校	322	21.7	28.9	42.5	2.2	0.6	0.0	4.0
高等学校	904	11.9	25.4	51.0	5.4	0.7	0.1	5.4
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	14.9	22.2	51.8	6.5	1.4	0.0	3.3
大学	446	5.8	11.9	58.3	15.2	2.7	1.6	4.5
大学院修士課程	24	4.2	0.0	58.3	29.2	8.3	0.0	0.0
大学院博士課程	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
未婚既婚								
未婚	117	17.1	12.8	61.5	4.3	0.9	0.0	3.4
既婚(配偶者あり)	1450	12.1	22.8	49.1	8.8	1.3	0.6	5.2
既婚(離別・死別)	508	12.0	22.0	55.3	4.3	1.6	0.0	4.7
配偶者年齢								
49歳以下	9	22.2	11.1	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0
50～59歳	85	5.9	2.4	63.5	21.2	2.4	0.0	4.7
60～64歳	218	7.3	13.3	49.5	21.6	4.1	1.8	2.3
65～69歳	261	12.3	21.5	55.2	8.8	0.4	0.0	1.9
70～74歳	302	12.3	24.5	53.3	5.3	0.3	0.7	3.6
75～79歳	253	10.7	31.6	47.8	3.6	0.8	0.8	4.7
80～84歳	177	14.1	29.9	43.5	4.0	1.7	0.0	6.8
85～89歳	61	23.0	26.2	39.3	4.9	0.0	0.0	6.6
90歳以上	17	29.4	41.2	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者職業								
自営者	152	9.9	19.7	44.7	14.5	2.6	1.3	7.2
農林漁業	20	20.0	25.0	25.0	10.0	0.0	0.0	20.0
商工サービス業	110	9.1	16.4	47.3	15.5	3.6	1.8	6.4
自由業	22	4.5	31.8	50.0	13.6	0.0	0.0	0.0
常雇被用者	113	18.6	22.1	43.4	9.7	1.8	0.0	4.4
公務員	22	13.6	31.8	40.9	13.6	0.0	0.0	0.0
民間企業被用者	91	19.8	19.8	44.0	8.8	2.2	0.0	5.5
非正規社員	228	9.6	25.0	52.2	9.6	0.4	0.0	3.1
派遣社員・契約社員	54	14.8	25.9	46.3	9.3	0.0	0.0	3.7
パート・アルバイト	174	8.0	24.7	54.0	9.8	0.6	0.0	2.9
無職	909	12.5	22.8	50.6	7.5	1.2	0.7	4.7
その他	18	5.6	16.7	55.6	11.1	5.6	0.0	5.6

⑤ 本人年収

(単位：%)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全体	2084	12.5	22.0	51.2	7.4	1.3	0.4	5.1
配偶者年収								
収入はない	303	28.4	11.6	41.3	11.9	2.0	1.3	3.6
100万円未満	362	5.8	19.1	63.0	9.4	1.4	0.0	1.4
100～500万円未満	597	6.4	33.5	51.9	7.0	0.7	0.2	0.3
500～1,000万円未満	62	19.4	17.7	38.7	19.4	3.2	1.6	0.0
1,000～2,000万円未満	17	29.4	0.0	52.9	0.0	11.8	5.9	0.0
2,000万円以上	7	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0
家族形態								
単身	347	13.3	17.3	58.5	5.2	1.4	0.0	4.3
夫婦のみ	785	12.1	25.0	49.2	7.5	1.3	0.8	4.2
2世代世帯	423	13.2	19.9	49.2	10.6	1.7	0.5	5.0
夫婦と子のみ	351	12.8	21.1	49.0	10.8	1.1	0.6	4.6
親と自分(夫婦)のみ	72	15.3	13.9	50.0	9.7	4.2	0.0	6.9
3世代世帯	196	10.7	22.4	53.6	8.7	2.0	0.5	2.0
自分(夫婦)と子と孫	159	10.7	23.9	54.1	6.9	1.9	0.6	1.9
親と自分(夫婦)と子	37	10.8	16.2	51.4	16.2	2.7	0.0	2.7
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	12.8	22.1	52.3	5.0	0.7	0.0	7.0
本人または夫婦年収								
100万円未満	52	28.8	55.8	13.5	0.0	0.0	0.0	1.9
100～300万円未満	329	13.1	25.8	60.5	0.0	0.0	0.0	0.6
300～500万円未満	328	7.0	20.4	71.6	0.6	0.0	0.0	0.3
500～700万円未満	118	3.4	14.4	55.9	26.3	0.0	0.0	0.0
700～1,000万円未満	65	9.2	6.2	36.9	44.6	0.0	0.0	3.1
1,000～1,500万円未満	39	2.6	0.0	28.2	46.2	23.1	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
2,000万円以上	8	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0
世帯保有金融資産額								
100万円未満	204	21.1	26.5	48.0	3.9	0.5	0.0	0.0
100～500万円未満	265	10.6	22.3	61.5	4.5	0.4	0.0	0.8
500～1,000万円未満	205	9.8	18.5	62.4	6.3	2.4	0.0	0.5
1,000～2,000万円未満	280	10.0	23.6	54.6	10.7	1.1	0.0	0.0
2,000万円以上	399	7.5	15.0	56.4	15.5	3.0	1.5	1.0
住居形態								
持家	1759	12.3	22.0	51.1	8.1	1.4	0.4	4.7
持家・ローンあり	284	9.2	23.2	46.8	16.2	0.7	1.1	2.8
持家・ローンなし	1308	12.8	21.6	51.8	6.9	1.8	0.3	4.9
持家・夫婦以外名義	167	13.8	22.8	52.7	4.2	0.0	0.0	6.6
借家	245	12.7	23.7	54.7	3.3	1.2	0.8	3.7
賃貸住宅	233	12.0	23.6	56.2	3.4	1.3	0.0	3.4
社宅	7	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	14.3
高齢者住宅	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	14	14.3	28.6	50.0	0.0	0.0	0.0	7.1
市郡規模別								
21大市	709	11.6	22.1	51.3	7.9	1.3	0.4	5.4
人口10万人以上の市	833	13.9	22.4	47.8	8.8	1.6	0.4	5.2
人口10万人未満の市	382	11.3	23.6	54.2	4.7	0.8	0.5	5.0
郡部	160	12.5	15.0	61.3	5.0	1.9	0.6	3.8
地域ブロック別								
東京都	437	12.1	19.9	48.7	11.9	2.5	0.2	4.6
愛知県	270	12.6	21.9	52.6	5.6	0.7	0.4	6.3
大阪府	336	13.4	27.1	46.7	6.0	0.3	0.9	5.7
北海道	62	11.3	17.7	53.2	14.5	1.6	0.0	1.6
東北	105	9.5	21.9	61.0	1.0	0.0	0.0	6.7
関東(東京都除く)	290	10.7	23.4	52.4	8.3	1.0	0.3	3.8
北陸	65	12.3	15.4	66.2	1.5	0.0	0.0	4.6
中部(愛知県除く)	105	9.5	21.0	53.3	8.6	2.9	0.0	4.8
近畿(大阪府除く)	120	15.8	18.3	50.8	9.2	1.7	0.8	3.3
中国	94	17.0	18.1	46.8	6.4	1.1	0.0	10.6
四国	42	7.1	19.0	64.3	4.8	0.0	0.0	4.8
北九州	95	14.7	18.9	50.5	5.3	3.2	2.1	5.3
南九州	63	17.5	34.9	42.9	0.0	1.6	0.0	3.2

⑥ 未既婚

(単位：%)

	N	未婚	既婚(配偶者あり)	既婚(離別・死別)	無回答
全 体	2084	5.6	69.6	24.4	0.4
性 別					
男性	996	6.8	79.5	13.4	0.3
女性	1088	4.5	60.5	34.5	0.6
本 人 年 齢					
60～64歳	380	11.1	75.5	13.4	0.0
65～69歳	400	9.0	73.3	17.8	0.0
70～74歳	463	3.9	75.6	20.1	0.4
75～79歳	369	2.7	71.3	24.7	1.4
80～84歳	273	2.9	63.4	33.7	0.0
85～89歳	141	1.4	47.5	50.4	0.7
90歳以上	58	1.7	29.3	67.2	1.7
本 人 職 業					
自営者	247	5.3	76.5	17.8	0.4
農林漁業	29	6.9	75.9	17.2	0.0
商工サービス業	174	4.0	78.2	17.2	0.6
自由業	44	9.1	70.5	20.5	0.0
常雇被用者	212	6.6	78.8	14.6	0.0
公務員	38	10.5	84.2	5.3	0.0
民間企業被用者	174	5.7	77.6	16.7	0.0
非正規社員	293	6.1	68.6	25.3	0.0
派遣社員・契約社員	48	8.3	75.0	16.7	0.0
パート・アルバイト	245	5.7	67.3	26.9	0.0
無職	1285	5.5	66.4	27.5	0.6
その他	31	3.2	87.1	9.7	0.0
本 人 学 歴					
小中学校	322	5.9	54.0	38.8	1.2
高等学校	904	4.0	69.5	26.1	0.4
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	8.7	68.8	22.5	0.0
大学	446	6.1	80.3	13.5	0.2
大学院修士課程	24	8.3	79.2	12.5	0.0
大学院博士課程	2	0.0	100.0	0.0	0.0
本 人 年 収					
収入はない	261	7.7	67.4	23.4	1.5
100万円未満	458	3.3	72.1	24.5	0.2
100～500万円未満	1067	6.7	66.7	26.3	0.2
500～1,000万円未満	155	3.2	82.6	14.2	0.0
1,000～2,000万円未満	28	3.6	67.9	28.6	0.0
2,000万円以上	9	0.0	100.0	0.0	0.0
配 偶 者 年 齢					
49歳以下	9	0.0	100.0	0.0	0.0
50～59歳	85	0.0	100.0	0.0	0.0
60～64歳	218	0.0	100.0	0.0	0.0
65～69歳	261	0.0	100.0	0.0	0.0
70～74歳	302	0.0	100.0	0.0	0.0
75～79歳	253	0.0	100.0	0.0	0.0
80～84歳	177	0.0	100.0	0.0	0.0
85～89歳	61	0.0	100.0	0.0	0.0
90歳以上	17	0.0	100.0	0.0	0.0
配 偶 者 職 業					
自営者	152	0.0	100.0	0.0	0.0
農林漁業	20	0.0	100.0	0.0	0.0
商工サービス業	110	0.0	100.0	0.0	0.0
自由業	22	0.0	100.0	0.0	0.0
常雇被用者	113	0.0	100.0	0.0	0.0
公務員	22	0.0	100.0	0.0	0.0
民間企業被用者	91	0.0	100.0	0.0	0.0
非正規社員	228	0.0	100.0	0.0	0.0
派遣社員・契約社員	54	0.0	100.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	174	0.0	100.0	0.0	0.0
無職	909	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	18	0.0	100.0	0.0	0.0

⑥ 未既婚

(単位：%)

	N	未婚	既婚(配偶者あり)	既婚(離別・死別)	無回答
全 体	2084	5.6	69.6	24.4	0.4
配 偶 者 年 収					
収入はない	303	0.0	100.0	0.0	0.0
100万円未満	362	0.0	100.0	0.0	0.0
100～500万円未満	597	0.0	100.0	0.0	0.0
500～1,000万円未満	62	0.0	100.0	0.0	0.0
1,000～2,000万円未満	17	0.0	100.0	0.0	0.0
2,000万円以上	7	0.0	100.0	0.0	0.0
家 族 形 態					
単身	347	22.5	6.1	70.0	1.4
夫婦のみ	785	0.0	100.0	0.0	0.0
2世代世帯	423	2.6	95.3	2.1	0.0
夫婦と子のみ	351	0.0	100.0	0.0	0.0
親と自分(夫婦)のみ	72	15.3	72.2	12.5	0.0
3世代世帯	196	0.0	68.9	31.1	0.0
自分(夫婦)と子と孫	159	0.0	63.5	36.5	0.0
親と自分(夫婦)と子	37	0.0	91.9	8.1	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	9.1	27.2	63.1	0.7
本人または夫婦年収					
100万円未満	52	15.4	28.8	55.8	0.0
100～300万円未満	329	7.6	55.0	37.1	0.3
300～500万円未満	328	6.1	83.5	10.4	0.0
500～700万円未満	118	0.8	94.1	5.1	0.0
700～1,000万円未満	65	1.5	95.4	3.1	0.0
1,000～1,500万円未満	39	2.6	87.2	10.3	0.0
1,500～2,000万円未満	8	0.0	87.5	12.5	0.0
2,000万円以上	8	0.0	100.0	0.0	0.0
世帯保有金融資産額					
100万円未満	204	8.8	60.8	30.4	0.0
100～500万円未満	265	9.4	60.8	29.4	0.4
500～1,000万円未満	205	4.4	70.7	24.4	0.5
1,000～2,000万円未満	280	3.9	78.6	17.1	0.4
2,000万円以上	399	6.3	77.9	15.8	0.0
住 居 形 態					
持家	1759	3.9	73.8	22.0	0.3
持家・ローンあり	284	2.1	83.1	14.8	0.0
持家・ローンなし	1308	3.6	75.9	20.1	0.4
持家・夫婦以外名義	167	9.0	41.3	49.1	0.6
借家	245	17.1	39.6	43.3	0.0
賃貸住宅	233	17.2	39.5	43.3	0.0
社宅	7	0.0	57.1	42.9	0.0
高齢者住宅	5	40.0	20.0	40.0	0.0
その他	14	28.6	35.7	35.7	0.0
市 郡 規 模 別					
21大市	709	7.3	67.3	25.2	0.1
人口10万人以上の市	833	4.7	70.9	23.9	0.5
人口10万人未満の市	382	5.5	70.9	23.0	0.5
郡部	160	3.1	69.4	26.3	1.3
地 域 ブ ロ ッ ク 別					
東京都	437	7.3	68.4	24.3	0.0
愛知県	270	5.2	71.5	22.6	0.7
大阪府	336	5.7	69.6	24.7	0.0
北海道	62	6.5	74.2	19.4	0.0
東北	105	6.7	69.5	21.9	1.9
関東(東京都除く)	290	5.2	66.2	28.3	0.3
北陸	65	6.2	69.2	24.6	0.0
中部(愛知県除く)	105	4.8	68.6	23.8	2.9
近畿(大阪府除く)	120	4.2	71.7	24.2	0.0
中国	94	1.1	80.9	18.1	0.0
四国	42	7.1	59.5	33.3	0.0
北九州	95	3.2	73.7	23.2	0.0
南九州	63	7.9	61.9	28.6	1.6

⑦ 配偶者年齢

(単位：%)

	N	49歳以下	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	平均(歳)
全体	1450	0.6	5.9	15.0	18.0	20.8	17.4	12.2	4.2	1.2	4.6	71.4
性別												
男性	792	0.9	9.6	19.6	18.8	18.3	15.0	9.6	2.7	0.5	5.1	69.5
女性	658	0.3	1.4	9.6	17.0	23.9	20.4	15.3	6.1	2.0	4.1	73.7
本人年齢												
60～64歳	287	1.0	23.3	41.8	21.6	5.6	0.7	0.0	0.0	0.0	5.9	62.3
65～69歳	293	1.0	5.8	23.2	36.2	25.6	4.1	0.7	0.7	0.0	2.7	66.9
70～74歳	350	0.3	0.3	6.6	23.1	39.7	22.6	1.4	0.0	0.0	6.0	71.4
75～79歳	263	0.8	0.0	2.3	4.6	24.0	39.5	24.0	1.5	0.4	3.0	76.0
80～84歳	173	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	28.9	41.6	16.8	2.9	4.6	80.8
85～89歳	67	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	46.3	26.9	13.4	6.0	84.6
90歳以上	17	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	23.5	47.1	11.8	5.9	84.9
本人職業												
自営者	189	1.1	5.8	20.6	19.6	15.3	18.5	9.5	2.6	0.0	6.9	70.0
農林漁業	22	0.0	4.5	9.1	13.6	9.1	40.9	18.2	0.0	0.0	4.5	73.8
商工サービス業	136	1.5	5.9	22.1	21.3	16.2	17.6	8.8	2.9	0.0	3.7	69.7
自由業	31	0.0	6.5	22.6	16.1	16.1	6.5	6.5	3.2	0.0	22.6	68.5
常雇被用者	167	1.8	21.6	38.3	16.2	14.4	2.4	0.0	0.0	0.0	5.4	63.2
公務員	32	0.0	18.8	40.6	18.8	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	63.3
民間企業被用者	135	2.2	22.2	37.8	15.6	14.1	3.0	0.0	0.0	0.0	5.2	63.2
非正規社員	201	0.5	6.5	24.9	27.9	23.4	11.4	3.5	0.0	0.0	2.0	67.6
派遣社員・契約社員	36	0.0	19.4	30.6	19.4	19.4	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	64.9
パート・アルバイト	165	0.6	3.6	23.6	29.7	24.2	12.7	3.6	0.0	0.0	1.8	68.2
無職	853	0.4	2.5	6.6	16.2	22.6	21.7	17.6	6.4	2.0	4.1	74.3
その他	27	0.0	14.8	33.3	7.4	22.2	18.5	0.0	0.0	0.0	3.7	66.7
本人学歴												
小中学校	174	0.6	2.9	2.9	14.4	20.7	21.3	19.5	8.0	3.4	6.3	75.5
高等学校	628	1.0	4.6	11.8	17.7	21.5	19.7	14.3	4.6	0.8	4.0	72.3
短期大学・高等専門学校・専門学校	254	0.0	4.7	19.7	19.7	24.4	16.1	7.9	3.1	1.6	2.8	70.6
大学	358	0.6	10.9	22.3	19.6	18.2	13.1	8.7	2.8	0.6	3.4	68.7
大学院修士課程	19	0.0	0.0	42.1	26.3	5.3	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	67.1
大学院博士課程	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.0
本人年収												
収入はない	176	1.1	2.8	9.1	18.2	21.0	15.3	14.2	8.0	2.8	7.4	73.6
100万円未満	330	0.3	0.6	8.8	17.0	22.4	24.2	16.1	4.8	2.1	3.6	73.9
100～500万円未満	712	0.4	7.6	15.2	20.2	22.6	17.0	10.8	3.4	0.7	2.1	70.7
500～1,000万円未満	128	1.6	14.1	36.7	18.0	12.5	7.0	5.5	2.3	0.0	2.3	66.2
1,000～2,000万円未満	19	5.3	10.5	47.4	5.3	5.3	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0	65.5
2,000万円以上	9	0.0	0.0	44.4	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	67.6
未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
既婚(配偶者あり)	1450	0.6	5.9	15.0	18.0	20.8	17.4	12.2	4.2	1.2	4.6	71.4
既婚(離別・死別)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者職業												
自営者	152	1.3	6.6	7.9	22.4	25.0	18.4	11.2	1.3	1.3	4.6	71.2
農林漁業	20	0.0	0.0	5.0	25.0	25.0	35.0	5.0	0.0	0.0	5.0	72.5
商工サービス業	110	1.8	6.4	7.3	21.8	25.5	18.2	12.7	1.8	0.9	3.6	71.3
自由業	22	0.0	13.6	13.6	22.7	22.7	4.5	9.1	0.0	4.5	9.1	69.1
常雇被用者	113	2.7	13.3	42.5	20.4	11.5	6.2	0.9	0.9	0.0	1.8	64.3
公務員	22	0.0	18.2	36.4	13.6	27.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	64.8
民間企業被用者	91	3.3	12.1	44.0	22.0	7.7	6.6	1.1	1.1	0.0	2.2	64.2
非正規社員	228	0.4	12.3	29.4	29.4	17.5	7.0	0.4	0.0	0.0	3.5	65.9
派遣社員・契約社員	54	1.9	9.3	38.9	38.9	5.6	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9	64.6
パート・アルバイト	174	0.0	13.2	26.4	26.4	21.3	8.6	0.0	0.0	0.0	4.0	66.3
無職	909	0.2	3.2	9.4	15.0	22.1	21.7	16.8	6.2	1.7	3.9	73.8
その他	18	5.6	16.7	27.8	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	67.4

⑦ 配偶者年齢

(単位：%)

	N	49歳以下	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	平均(歳)
全 体	1450	0.6	5.9	15.0	18.0	20.8	17.4	12.2	4.2	1.2	4.6	71.4
配 偶 者 年 収												
収入はない	303	0.3	7.9	19.8	14.5	16.2	14.9	14.5	5.6	1.0	5.3	71.1
100万円未満	362	0.6	3.6	13.0	20.7	22.1	21.3	10.8	4.1	1.9	1.9	72.1
100～500万円未満	597	0.8	6.0	12.9	20.9	23.5	17.6	12.1	3.0	1.0	2.2	71.3
500～1,000万円未満	62	0.0	12.9	33.9	14.5	17.7	8.1	9.7	3.2	0.0	0.0	67.4
1,000～2,000万円未満	17	0.0	5.9	23.5	11.8	23.5	17.6	0.0	5.9	0.0	11.8	68.6
2,000万円以上	7	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	77.3
家 族 形 態												
単身	21	4.8	4.8	9.5	14.3	33.3	4.8	19.0	0.0	0.0	9.5	70.3
夫婦のみ	785	0.3	2.9	13.0	17.1	20.9	20.0	14.8	5.1	1.8	4.2	73.0
2世代世帯	403	1.2	10.2	20.1	22.1	18.9	12.4	8.2	2.5	0.0	4.5	68.6
夫婦と子のみ	351	1.1	9.4	18.8	21.7	19.1	13.7	9.4	2.8	0.0	4.0	69.1
親と自分(夫婦)のみ	52	1.9	15.4	28.8	25.0	17.3	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	65.0
3世代世帯	135	0.0	9.6	17.0	17.0	24.4	16.3	10.4	2.2	1.5	1.5	70.4
自分(夫婦)と子と孫	101	0.0	3.0	11.9	16.8	26.7	20.8	13.9	3.0	2.0	2.0	72.8
親と自分(夫婦)と子	34	0.0	29.4	32.4	17.6	17.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	63.3
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	81	0.0	8.6	12.3	14.8	18.5	19.8	11.1	9.9	1.2	3.7	72.3
本人または夫婦年収												
100万円未満	15	0.0	0.0	20.0	13.3	26.7	20.0	13.3	0.0	0.0	6.7	72.1
100～300万円未満	181	1.1	4.4	6.6	21.5	19.3	22.7	15.5	6.6	0.6	1.7	73.1
300～500万円未満	274	0.0	4.4	17.2	19.7	23.0	21.5	9.5	2.2	1.1	1.5	71.1
500～700万円未満	111	0.9	16.2	21.6	23.4	20.7	10.8	3.6	2.7	0.0	0.0	67.5
700～1,000万円未満	62	0.0	9.7	30.6	30.6	14.5	6.5	4.8	0.0	0.0	3.2	66.8
1,000～1,500万円未満	34	5.9	14.7	35.3	11.8	20.6	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	63.4
1,500～2,000万円未満	7	0.0	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.0
2,000万円以上	8	0.0	0.0	50.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	68.0
世帯保有金融資産額												
100万円未満	124	1.6	6.5	12.1	21.8	21.0	12.1	15.3	3.2	2.4	4.0	71.4
100～500万円未満	161	0.6	8.1	14.9	14.9	23.0	16.1	13.0	8.1	0.6	0.6	71.7
500～1,000万円未満	145	0.7	9.0	20.7	22.8	20.7	15.2	7.6	0.7	0.7	2.1	68.8
1,000～2,000万円未満	220	0.5	7.7	14.1	19.1	26.4	15.9	9.5	4.1	1.4	1.4	71.0
2,000万円以上	311	1.0	4.2	19.9	19.0	20.3	19.0	10.9	2.9	1.0	1.9	70.8
住 居 形 態												
持家	1298	0.5	5.8	15.3	18.4	20.8	17.6	12.2	4.5	1.2	3.7	71.5
持家・ローンあり	236	0.0	11.0	25.0	24.2	14.8	10.6	6.4	3.4	0.4	4.2	68.2
持家・ローンなし	993	0.6	4.2	12.4	17.0	22.3	19.5	14.0	5.0	1.5	3.4	72.5
持家・夫婦以外名義	69	1.4	10.1	23.2	18.8	20.3	14.5	5.8	0.0	0.0	5.8	67.8
借家	97	2.1	10.3	13.4	12.4	22.7	16.5	11.3	1.0	0.0	10.3	69.9
賃貸住宅	92	2.2	10.9	13.0	13.0	23.9	15.2	10.9	1.1	0.0	9.8	69.7
社宅	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	73.5
高齢者住宅	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	5	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.2
市 郡 規 模 別												
21大市	477	0.6	4.6	14.7	14.3	20.1	20.5	12.6	5.9	1.0	5.7	72.3
人口10万人以上の市	591	0.8	6.9	14.4	20.8	20.0	15.1	12.7	3.6	1.2	4.6	70.9
人口10万人未満の市	271	0.4	6.3	15.1	17.0	24.4	19.2	9.6	3.3	1.1	3.7	71.3
郡部	111	0.0	4.5	19.8	21.6	19.8	12.6	14.4	2.7	1.8	2.7	70.9
地 域 ブ ロ ッ ク 別												
東京都	299	0.7	6.4	13.4	14.4	22.1	17.1	14.7	5.0	0.7	5.7	71.9
愛知県	193	0.5	5.7	13.5	19.7	19.2	17.6	14.0	5.2	0.0	4.7	71.5
大阪府	234	0.4	5.6	15.4	21.8	17.1	17.5	12.0	3.4	1.7	5.1	71.4
北海道	46	0.0	8.7	21.7	17.4	23.9	10.9	13.0	2.2	0.0	2.2	69.6
東北	73	1.4	6.8	15.1	16.4	21.9	20.5	11.0	4.1	1.4	1.4	71.3
関東(東京都除く)	192	1.6	7.3	15.1	20.3	17.7	14.6	12.5	3.6	2.1	5.2	70.8
北陸	45	0.0	0.0	6.7	22.2	31.1	13.3	15.6	2.2	2.2	6.7	73.4
中部(愛知県除く)	72	0.0	8.3	15.3	13.9	23.6	29.2	5.6	2.8	0.0	1.4	70.8
近畿(大阪府除く)	86	0.0	4.7	12.8	10.5	29.1	18.6	10.5	8.1	1.2	4.7	73.0
中国	76	1.3	7.9	13.2	15.8	19.7	18.4	11.8	1.3	1.3	9.2	70.6
四国	25	0.0	0.0	24.0	24.0	24.0	4.0	12.0	8.0	0.0	4.0	70.5
北九州	70	0.0	2.9	24.3	24.3	21.4	14.3	8.6	2.9	1.4	0.0	70.3
南九州	39	0.0	2.6	20.5	15.4	15.4	28.2	5.1	5.1	5.1	2.6	72.8

⑧ 配偶者職業（現在）

(単位：%)

	N	自営者	業種			常雇被用者	公務員	民間企業被用者	非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
			農林漁業	商工サービス業	自由業									
全体	1434	10.6	1.4	7.7	1.5	7.9	1.5	6.3	15.9	3.8	12.1	63.4	1.3	1.0
性別														
男性	783	8.4	1.3	6.0	1.1	4.9	1.3	3.6	18.8	2.6	16.2	65.5	1.3	1.1
女性	651	13.2	1.5	9.7	2.0	11.5	1.8	9.7	12.4	5.2	7.2	60.8	1.2	0.8
本人年齢														
60～64歳	283	9.5	0.7	6.7	2.1	22.3	4.6	17.7	30.7	10.2	20.5	34.3	2.1	1.1
65～69歳	292	11.0	0.7	7.9	2.4	7.9	1.4	6.5	22.3	5.1	17.1	56.5	1.4	1.0
70～74歳	346	13.0	2.3	9.8	0.9	4.0	0.9	3.2	16.2	1.7	14.5	65.3	0.6	0.9
75～79歳	260	11.5	1.9	8.1	1.5	3.1	0.4	2.7	6.5	1.5	5.0	76.2	1.2	1.5
80～84歳	169	8.9	1.2	7.1	0.6	1.8	0.6	1.2	1.2	0.0	1.2	85.8	1.8	0.6
85～89歳	67	3.0	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5	94.0	0.0	0.0
90歳以上	17	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	88.2	0.0	0.0
本人職業														
自営者	188	46.3	8.0	34.6	3.7	3.2	0.5	2.7	13.8	4.3	9.6	33.5	1.6	1.6
農林漁業	22	63.6	59.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	4.5	4.5
商工サービス業	135	48.9	1.5	46.7	0.7	3.0	0.7	2.2	13.3	4.4	8.9	34.1	0.7	0.0
自由業	31	22.6	0.0	3.2	19.4	6.5	0.0	6.5	25.8	6.5	19.4	35.5	3.2	6.5
常雇被用者	165	4.2	0.0	3.6	0.6	15.2	3.0	12.1	29.7	6.7	23.0	49.7	0.6	0.6
公務員	32	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	12.5	6.3	18.8	3.1	15.6	59.4	0.0	3.1
民間企業被用者	133	5.3	0.0	4.5	0.8	14.3	0.8	13.5	32.3	7.5	24.8	47.4	0.8	0.0
非正規社員	200	7.0	0.5	3.0	3.5	12.5	1.0	11.5	35.5	7.5	28.0	42.5	1.5	1.0
派遣社員・契約社員	35	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	0.0	8.6	40.0	8.6	31.4	51.4	0.0	0.0
パート・アルバイト	165	8.5	0.6	3.6	4.2	13.3	1.2	12.1	34.5	7.3	27.3	40.6	1.8	1.2
無職	847	5.1	0.5	3.8	0.8	6.0	1.4	4.6	9.2	2.4	6.8	78.4	0.7	0.6
その他	27	3.7	0.0	3.7	0.0	18.5	7.4	11.1	11.1	0.0	11.1	44.4	18.5	3.7
本人学歴														
小中学校	171	9.9	3.5	4.7	1.8	3.5	0.6	2.9	15.2	2.3	12.9	69.6	1.2	0.6
高等学校	625	11.5	1.4	8.5	1.6	6.6	1.4	5.1	16.3	3.4	13.0	63.4	1.3	1.0
短期大学、高等専門学校、専門学校	252	12.7	1.6	9.5	1.6	14.3	0.8	13.5	14.3	6.0	8.3	57.5	1.2	0.0
大学	355	7.9	0.3	6.2	1.4	7.6	2.8	4.8	17.5	3.9	13.5	64.8	1.1	1.1
大学院修士課程	19	10.5	0.0	10.5	0.0	10.5	0.0	10.5	10.5	0.0	10.5	63.2	5.3	0.0
大学院博士課程	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
本人年収														
収入はない	174	8.6	2.3	5.7	0.6	12.1	1.7	10.3	12.6	4.6	8.0	65.5	0.6	0.6
100万円未満	326	9.2	1.5	5.5	2.1	7.7	2.1	5.5	17.5	4.3	13.2	63.5	0.9	1.2
100～500万円未満	710	9.6	0.7	7.3	1.5	6.9	1.3	5.6	16.8	3.5	13.2	64.8	1.4	0.6
500～1,000万円未満	126	17.5	1.6	13.5	2.4	8.7	2.4	6.3	17.5	4.0	13.5	54.0	1.6	0.8
1,000～2,000万円未満	19	21.1	0.0	21.1	0.0	10.5	0.0	10.5	5.3	0.0	5.3	57.9	5.3	0.0
2,000万円以上	9	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	11.1
未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
既婚(配偶者あり)	1434	10.6	1.4	7.7	1.5	7.9	1.5	6.3	15.9	3.8	12.1	63.4	1.3	1.0
既婚(離別・死別)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者年齢														
49歳以下	9	22.2	0.0	22.2	0.0	33.3	0.0	33.3	11.1	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0
50～59歳	85	11.8	0.0	8.2	3.5	17.6	4.7	12.9	32.9	5.9	27.1	34.1	3.5	0.0
60～64歳	217	5.5	0.5	3.7	1.4	22.1	3.7	18.4	30.9	9.7	21.2	39.2	2.3	0.0
65～69歳	260	13.1	1.9	9.2	1.9	8.8	1.2	7.7	25.8	8.1	17.7	52.3	0.0	0.0
70～74歳	301	12.6	1.7	9.3	1.7	4.3	2.0	2.3	13.3	1.0	12.3	66.8	1.0	2.0
75～79歳	253	11.1	2.8	7.9	0.4	2.8	0.4	2.4	6.3	0.4	5.9	77.9	1.2	0.8
80～84歳	176	9.7	0.6	8.0	1.1	0.6	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	86.9	1.7	0.6
85～89歳	59	3.4	0.0	3.4	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	94.9	0.0	0.0
90歳以上	17	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2	0.0	0.0

⑧ 配偶者職業（現在）

(単位：%)

	N	自営者				常雇被用者			非正規社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
		農林漁業	商工サービス業	自由業	公務員	民間企業被用者								
全体	1434	10.6	1.4	7.7	1.5	7.9	1.5	6.3	15.9	3.8	12.1	63.4	1.3	1.0
配偶者年収														
収入はない	302	1.3	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.3	0.0	0.3
100万円未満	360	9.2	1.7	5.3	2.2	0.3	0.0	0.3	25.0	2.2	22.8	64.7	0.6	0.3
100～500万円未満	595	12.8	1.2	9.6	2.0	11.1	1.8	9.2	20.5	6.7	13.8	53.3	1.8	0.5
500～1,000万円未満	62	14.5	0.0	14.5	0.0	48.4	16.1	32.3	11.3	6.5	4.8	21.0	4.8	0.0
1,000～2,000万円未満	16	50.0	0.0	43.8	6.3	31.3	0.0	31.3	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0
2,000万円以上	7	57.1	0.0	57.1	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
家族形態														
単身	21	14.3	0.0	14.3	0.0	9.5	0.0	9.5	19.0	9.5	9.5	57.1	0.0	0.0
夫婦のみ	778	9.8	1.0	7.2	1.5	7.5	1.4	6.0	13.8	3.1	10.7	67.1	0.6	1.3
2世代世帯	398	9.3	0.5	6.8	2.0	9.0	2.0	7.0	19.8	4.3	15.6	59.3	2.0	0.5
夫婦と子のみ	346	8.7	0.6	6.6	1.4	8.4	2.3	6.1	19.9	4.6	15.3	60.1	2.3	0.6
親と自分(夫婦)のみ	52	13.5	0.0	7.7	5.8	13.5	0.0	13.5	19.2	1.9	17.3	53.8	0.0	0.0
3世代世帯	135	14.8	3.0	11.9	0.0	8.9	2.2	6.7	17.8	5.9	11.9	55.6	3.0	0.0
自分(夫婦)と子と孫	101	14.9	3.0	11.9	0.0	5.9	2.0	4.0	14.9	5.0	9.9	61.4	3.0	0.0
親と自分(夫婦)と子	34	14.7	2.9	11.8	0.0	17.6	2.9	14.7	26.5	8.8	17.6	38.2	2.9	0.0
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	80	13.8	3.8	7.5	2.5	5.0	0.0	5.0	15.0	3.8	11.3	66.3	0.0	0.0
本人または夫婦年収														
100万円未満	15	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	20.0	6.7	13.3	60.0	0.0	0.0
100～300万円未満	179	4.5	0.6	2.8	1.1	0.6	0.0	0.6	11.7	1.7	10.1	81.6	1.7	0.0
300～500万円未満	273	7.7	0.4	6.6	0.7	6.2	0.7	5.5	20.1	4.4	15.8	64.5	0.4	1.1
500～700万円未満	111	11.7	2.7	8.1	0.9	11.7	2.7	9.0	27.0	9.0	18.0	48.6	0.0	0.9
700～1,000万円未満	62	12.9	0.0	12.9	0.0	19.4	0.0	19.4	19.4	11.3	8.1	43.5	3.2	1.6
1,000～1,500万円未満	32	25.0	3.1	18.8	3.1	31.3	15.6	15.6	15.6	9.4	6.3	21.9	6.3	0.0
1,500～2,000万円未満	7	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0
2,000万円以上	8	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	12.5
世帯保有金融資産額														
100万円未満	124	10.5	1.6	7.3	1.6	6.5	0.0	6.5	22.6	6.5	16.1	59.7	0.8	0.0
100～500万円未満	159	12.6	1.9	10.1	0.6	7.5	1.9	5.7	20.1	4.4	15.7	59.1	0.6	0.0
500～1,000万円未満	144	8.3	2.1	4.2	2.1	9.7	1.4	8.3	22.2	5.6	16.7	56.9	2.1	0.7
1,000～2,000万円未満	220	9.1	0.0	7.3	1.8	5.0	1.4	3.6	19.1	3.2	15.9	66.4	0.5	0.0
2,000万円以上	307	9.8	0.7	8.1	1.0	11.4	3.3	8.1	7.8	2.6	5.2	67.8	2.0	1.3
住居形態														
持家	1285	10.1	1.2	7.3	1.6	8.0	1.6	6.4	15.1	3.5	11.6	64.7	1.2	0.9
持家・ローンあり	234	10.7	1.3	7.7	1.7	14.1	2.1	12.0	23.5	6.8	16.7	48.7	0.9	2.1
持家・ローンなし	982	10.4	1.3	7.7	1.3	6.2	1.4	4.8	12.9	2.9	10.1	68.6	1.2	0.6
持家・夫婦以外名義	69	4.3	0.0	4.3	1.3	13.0	2.9	10.1	17.4	1.4	15.9	63.8	1.4	0.0
借家	96	12.5	1.0	9.4	2.1	6.3	0.0	6.3	31.3	8.3	22.9	47.9	1.0	1.0
賃貸住宅	91	9.9	1.1	6.6	2.2	6.6	0.0	6.6	31.9	7.7	24.2	49.5	1.1	1.1
社宅	4	75.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者住宅	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0
市郡規模別														
21大市	475	10.9	0.2	8.6	2.1	9.5	1.3	8.2	15.2	3.2	12.0	62.3	1.1	1.1
人口10万人以上の市	583	10.3	1.9	7.2	1.2	7.4	1.7	5.7	15.6	4.3	11.3	64.7	1.4	0.7
人口10万人未満の市	266	11.3	2.6	6.8	1.9	6.0	1.9	4.1	16.2	2.3	13.9	64.3	1.1	1.1
郡部	110	9.1	0.9	8.2	0.0	8.2	0.9	7.3	20.0	7.3	12.7	59.1	1.8	1.8
地域ブロック別														
東京都	297	12.5	0.3	9.8	2.4	8.4	1.7	6.7	14.1	2.4	11.8	62.6	0.7	1.7
愛知県	192	9.4	1.6	6.8	1.0	7.3	1.6	5.7	16.7	2.1	14.6	63.5	2.6	0.5
大阪府	231	10.8	0.0	8.7	2.2	7.4	0.9	6.5	19.9	5.6	14.3	58.9	1.7	1.3
北海道	46	6.5	0.0	4.3	2.2	8.7	2.2	6.5	19.6	6.5	13.0	63.0	2.2	0.0
東北	72	6.9	1.4	4.2	1.4	11.1	1.4	9.7	11.1	9.7	1.4	66.7	2.8	1.4
関東(東京都除く)	188	7.4	0.0	5.9	1.6	9.6	1.1	8.5	16.5	4.3	12.2	64.9	0.5	1.1
北陸	44	20.5	4.5	13.6	2.3	4.5	2.3	2.3	13.6	0.0	13.6	61.4	0.0	0.0
中部(愛知県除く)	72	18.1	6.9	11.1	0.0	1.4	0.0	1.4	16.7	1.4	15.3	62.5	1.4	0.0
近畿(大阪府除く)	85	7.1	2.4	4.7	0.0	4.7	2.4	2.4	10.6	0.0	10.6	74.1	2.4	1.2
中国	75	9.3	2.7	6.7	0.0	14.7	4.0	10.7	17.3	6.7	10.7	57.3	0.0	1.3
四国	23	17.4	4.3	8.7	4.3	8.7	0.0	8.7	8.7	0.0	8.7	65.2	0.0	0.0
北九州	70	7.1	0.0	5.7	1.4	7.1	2.9	4.3	12.9	4.3	8.6	72.9	0.0	0.0
南九州	39	15.4	7.7	7.7	0.0	5.1	0.0	5.1	23.1	7.7	15.4	56.4	0.0	0.0

⑨ 配偶者年収

(単位：%)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全体	1450	20.9	25.0	41.2	4.3	1.2	0.5	7.0
性別								
男性	792	26.8	37.5	27.4	2.9	0.4	0.1	4.9
女性	658	13.8	9.9	57.8	5.9	2.1	0.9	9.6
本人年齢								
60～64歳	287	18.5	14.3	45.6	9.8	2.8	0.7	8.4
65～69歳	293	22.2	20.8	48.5	4.1	1.0	0.0	3.4
70～74歳	350	20.9	25.1	43.4	2.9	0.6	0.6	6.6
75～79歳	263	21.3	31.2	36.1	2.7	0.4	0.0	8.4
80～84歳	173	19.1	36.4	28.9	2.3	0.6	1.7	11.0
85～89歳	67	28.4	28.4	34.3	1.5	1.5	0.0	6.0
90歳以上	17	23.5	47.1	23.5	0.0	5.9	0.0	0.0
本人職業								
自営者	189	20.6	25.9	33.3	5.8	3.2	0.5	10.6
農林漁業	22	22.7	18.2	18.2	4.5	0.0	0.0	36.4
商工サービス業	136	20.6	25.7	38.2	5.1	3.7	0.7	5.9
自由業	31	19.4	32.3	22.6	9.7	3.2	0.0	12.9
常雇被用者	167	29.9	22.8	34.7	6.0	1.8	0.0	4.8
公務員	32	21.9	18.8	43.8	9.4	0.0	0.0	6.3
民間企業被用者	135	31.9	23.7	32.6	5.2	2.2	0.0	4.4
非正規社員	201	18.9	22.4	50.2	4.5	0.0	0.0	4.0
派遣社員・契約社員	36	25.0	27.8	41.7	2.8	0.0	0.0	2.8
パート・アルバイト	165	17.6	21.2	52.1	4.8	0.0	0.0	4.2
無職	853	20.0	25.7	42.9	3.4	0.9	0.6	6.4
その他	27	11.1	29.6	25.9	11.1	0.0	0.0	22.2
本人学歴								
小中学校	174	27.6	36.2	28.2	1.1	1.1	0.0	5.7
高等学校	628	18.5	26.3	44.9	2.5	0.3	0.2	7.3
短期大学、高等専門学校、専門学校	254	16.9	12.2	50.4	8.3	3.9	0.4	7.9
大学	358	24.0	27.4	36.9	5.9	0.8	1.1	3.9
大学院修士課程	19	47.4	26.3	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0
大学院博士課程	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
本人年収								
収入はない	176	48.9	11.9	21.6	6.8	2.8	0.6	7.4
100万円未満	330	10.6	20.9	60.6	3.3	0.0	0.6	3.9
100～500万円未満	712	17.6	32.0	43.5	3.4	1.3	0.1	2.1
500～1,000万円未満	128	28.1	26.6	32.8	9.4	0.0	0.8	2.3
1,000～2,000万円未満	19	31.6	26.3	21.1	10.5	10.5	0.0	0.0
2,000万円以上	9	44.4	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0
未婚	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
既婚(配偶者あり)	1450	20.9	25.0	41.2	4.3	1.2	0.5	7.0
既婚(離別・死別)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者年齢								
49歳以下	9	11.1	22.2	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1
50～59歳	85	28.2	15.3	42.4	9.4	1.2	0.0	3.5
60～64歳	218	27.5	21.6	35.3	9.6	1.8	0.5	3.7
65～69歳	261	16.9	28.7	47.9	3.4	0.8	0.4	1.9
70～74歳	302	16.2	26.5	46.4	3.6	1.3	0.3	5.6
75～79歳	253	17.8	30.4	41.5	2.0	1.2	0.4	6.7
80～84歳	177	24.9	22.0	40.7	3.4	0.0	0.6	8.5
85～89歳	61	27.9	24.6	29.5	3.3	1.6	1.6	11.5
90歳以上	17	17.6	41.2	35.3	0.0	0.0	5.9	0.0
配偶者職業								
自営者	152	2.6	21.7	50.0	5.9	5.3	2.6	11.8
農林漁業	20	5.0	30.0	35.0	0.0	0.0	0.0	30.0
商工サービス業	110	2.7	17.3	51.8	8.2	6.4	3.6	10.0
自由業	22	0.0	36.4	54.5	0.0	4.5	0.0	4.5
常雇被用者	113	0.0	0.9	58.4	26.5	4.4	0.9	8.8
公務員	22	0.0	0.0	50.0	45.5	0.0	4.5	0.0
民間企業被用者	91	0.0	1.1	60.4	22.0	5.5	0.0	11.0
非正規社員	228	0.0	39.5	53.5	3.1	0.4	0.0	3.5
派遣社員・契約社員	54	0.0	14.8	74.1	7.4	0.0	0.0	3.7
パート・アルバイト	174	0.0	47.1	47.1	1.7	0.6	0.0	3.4
無職	909	32.7	25.6	34.9	1.4	0.2	0.1	5.1
その他	18	0.0	11.1	61.1	16.7	0.0	0.0	11.1

⑨ 配偶者年収

(単位：%)

	N	収入はない	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全体	1450	20.9	25.0	41.2	4.3	1.2	0.5	7.0
家族形態								
単身	21	28.6	19.0	33.3	9.5	0.0	0.0	9.5
夫婦のみ	785	20.5	25.5	41.8	4.5	1.4	0.6	5.7
2世代世帯	403	23.6	24.3	39.5	4.7	1.0	0.2	6.7
夫婦と子のみ	351	24.8	24.5	38.2	4.8	0.9	0.3	6.6
親と自分(夫婦)のみ	52	15.4	23.1	48.1	3.8	1.9	0.0	7.7
3世代世帯	135	16.3	26.7	46.7	3.7	1.5	0.7	4.4
自分(夫婦)と子と孫	101	15.8	27.7	45.5	3.0	2.0	1.0	5.0
親と自分(夫婦)と子	34	17.6	23.5	50.0	5.9	0.0	0.0	2.9
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	81	19.8	27.2	42.0	1.2	0.0	0.0	9.9
本人または夫婦年収								
100万円未満	15	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100～300万円未満	181	29.8	32.6	36.5	0.6	0.0	0.0	0.6
300～500万円未満	274	18.6	29.2	51.1	0.0	0.0	0.4	0.7
500～700万円未満	111	18.0	17.1	55.0	8.1	0.9	0.0	0.9
700～1,000万円未満	62	14.5	14.5	41.9	25.8	0.0	0.0	3.2
1,000～1,500万円未満	34	14.7	8.8	47.1	17.6	8.8	0.0	2.9
1,500～2,000万円未満	7	0.0	28.6	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0
2,000万円以上	8	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0
世帯保有金融資産額								
100万円未満	124	22.6	36.3	37.9	1.6	0.8	0.0	0.8
100～500万円未満	161	23.0	32.9	38.5	3.1	0.6	0.0	1.9
500～1,000万円未満	145	24.8	22.8	45.5	5.5	0.0	0.0	1.4
1,000～2,000万円未満	220	20.5	25.9	46.4	4.1	1.8	0.5	0.9
2,000万円以上	311	18.0	21.2	48.9	7.7	1.0	1.6	1.6
住居形態								
持家	1298	20.6	25.1	42.3	4.2	1.1	0.5	6.2
持家・ローンあり	236	17.8	25.4	44.1	6.4	0.8	0.4	5.1
持家・ローンなし	993	21.1	24.9	42.2	3.6	1.0	0.5	6.6
持家・夫婦以外名義	69	23.2	27.5	37.7	4.3	2.9	0.0	4.3
借家	97	21.6	24.7	36.1	6.2	3.1	1.0	7.2
賃貸住宅	92	21.7	26.1	38.0	5.4	2.2	0.0	6.5
社宅	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
高齢者住宅	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市郡規模別								
21大市	477	21.8	22.2	41.3	4.8	2.1	0.4	7.3
人口10万人以上の市	591	21.7	24.2	42.0	4.1	0.8	0.8	6.4
人口10万人未満の市	271	18.1	31.7	36.9	4.1	0.7	0.0	8.5
郡部	111	19.8	24.3	46.8	3.6	0.0	0.0	5.4
地域ブロック別								
東京都	299	23.7	24.7	37.5	5.4	2.7	0.3	5.7
愛知県	193	23.3	22.3	39.9	6.2	0.5	0.5	7.3
大阪府	234	21.8	25.6	39.7	1.7	2.1	0.4	8.5
北海道	46	26.1	21.7	39.1	8.7	0.0	0.0	4.3
東北	73	13.7	38.4	35.6	2.7	0.0	0.0	9.6
関東(東京都除く)	192	16.1	21.9	45.3	6.8	0.5	1.0	8.3
北陸	45	15.6	17.8	53.3	4.4	0.0	0.0	8.9
中部(愛知県除く)	72	25.0	30.6	40.3	1.4	0.0	0.0	2.8
近畿(大阪府除く)	86	20.9	27.9	41.9	1.2	0.0	1.2	7.0
中国	76	18.4	15.8	48.7	2.6	1.3	0.0	13.2
四国	25	16.0	24.0	52.0	8.0	0.0	0.0	0.0
北九州	70	24.3	24.3	41.4	4.3	1.4	1.4	2.9
南九州	39	12.8	41.0	41.0	0.0	0.0	0.0	5.1

⑩ 家族形態

(単位：%)

	N	単身	夫婦のみ	2世代世帯	夫婦と子のみ	親と自分(夫婦)のみ	3世代世帯	自分(夫婦)と子と孫	親と自分(夫婦)と子	祖父母と親と自分(夫婦)	その他	無回答
全体	2084	16.7	37.7	20.3	16.8	3.5	9.4	7.6	1.8	0.0	14.3	1.7
性別												
男性	996	13.8	41.5	25.3	21.4	3.9	8.5	6.2	2.3	0.0	9.1	1.8
女性	1088	19.3	34.2	15.7	12.7	3.0	10.2	8.9	1.3	0.0	19.0	1.6
本人年齢												
60～64歳	380	13.9	30.8	33.9	24.5	9.5	9.5	3.7	5.8	0.0	11.6	0.3
65～69歳	400	16.3	36.3	27.0	22.3	4.8	8.5	6.8	1.8	0.0	10.8	1.3
70～74歳	463	13.8	43.6	17.5	14.5	3.0	9.5	8.2	1.3	0.0	13.0	2.6
75～79歳	369	15.7	40.7	16.3	16.0	0.3	10.3	9.8	0.5	0.0	14.6	2.4
80～84歳	273	20.5	41.8	12.8	12.1	0.7	8.4	8.4	0.0	0.0	14.3	2.2
85～89歳	141	25.5	33.3	5.7	5.7	0.0	8.5	8.5	0.0	0.0	27.0	0.0
90歳以上	58	25.9	17.2	3.4	3.4	0.0	15.5	15.5	0.0	0.0	34.5	3.4
本人職業												
自営者	247	11.7	36.4	21.1	18.2	2.8	14.2	11.3	2.8	0.0	13.4	3.2
農林漁業	29	6.9	24.1	13.8	13.8	0.0	20.7	20.7	0.0	0.0	24.1	10.3
商工サービス業	174	11.5	36.8	23.0	20.1	2.9	15.5	11.5	4.0	0.0	12.6	0.6
自由業	44	15.9	43.2	18.2	13.6	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	9.1	9.1
常雇被用者	212	13.7	34.4	32.1	26.4	5.7	11.3	5.2	6.1	0.0	7.5	0.9
公務員	38	10.5	39.5	34.2	23.7	10.5	13.2	5.3	7.9	0.0	2.6	0.0
民間企業被用者	174	14.4	33.3	31.6	27.0	4.6	10.9	5.2	5.7	0.0	8.6	1.1
非正規社員	293	17.7	34.1	22.5	16.7	5.8	8.5	7.2	1.4	0.0	16.0	1.0
派遣社員・契約社員	48	18.8	22.9	33.3	18.8	14.6	6.3	2.1	4.2	0.0	18.8	0.0
パート・アルバイト	245	17.6	36.3	20.4	16.3	4.1	9.0	8.2	0.8	0.0	15.5	1.2
無職	1285	18.2	39.2	17.4	14.8	2.6	8.5	7.5	0.9	0.0	15.1	1.6
その他	31	9.7	35.5	32.3	25.8	6.5	6.5	3.2	3.2	0.0	12.9	3.2
本人学歴												
小中学校	322	24.5	27.3	12.4	11.2	1.2	15.2	14.0	1.2	0.0	18.6	1.9
高等学校	904	15.5	38.3	19.8	16.7	3.1	8.7	7.1	1.7	0.0	15.6	2.1
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	18.2	36.3	20.9	16.5	4.3	9.5	7.9	1.6	0.0	14.9	0.3
大学	446	12.3	44.4	26.2	21.3	4.9	7.2	4.7	2.5	0.0	8.7	1.1
大学院修士課程	24	20.8	45.8	25.0	16.7	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0
大学院博士課程	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本人年収												
収入はない	261	17.6	36.4	21.5	17.2	4.2	8.0	6.5	1.5	0.0	14.6	1.9
100万円未満	458	13.1	42.8	18.3	16.2	2.2	9.6	8.3	1.3	0.0	14.4	1.7
100～500万円未満	1067	19.0	36.2	19.5	16.1	3.4	9.8	8.1	1.8	0.0	14.6	0.8
500～1,000万円未満	155	11.6	38.1	29.0	24.5	4.5	11.0	7.1	3.9	0.0	9.7	0.6
1,000～2,000万円未満	28	17.9	35.7	25.0	14.3	10.7	14.3	10.7	3.6	0.0	7.1	0.0
2,000万円以上	9	0.0	66.7	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
未婚	117	66.7	0.0	9.4	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	0.9
既婚(配偶者あり)	1450	1.4	54.1	27.8	24.2	3.6	9.3	7.0	2.3	0.0	5.6	1.7
既婚(離別・死別)	508	47.8	0.0	1.8	0.0	1.8	12.0	11.4	0.6	0.0	37.0	1.4
配偶者年齢												
49歳以下	9	11.1	22.2	55.6	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
50～59歳	85	1.2	27.1	48.2	38.8	9.4	15.3	3.5	11.8	0.0	8.2	0.0
60～64歳	218	0.9	46.8	37.2	30.3	6.9	10.6	5.5	5.0	0.0	4.6	0.0
65～69歳	261	1.1	51.3	34.1	29.1	5.0	8.8	6.5	2.3	0.0	4.6	0.0
70～74歳	302	2.3	54.3	25.2	22.2	3.0	10.9	8.9	2.0	0.0	5.0	2.3
75～79歳	253	0.4	62.1	19.8	19.0	0.8	8.7	8.3	0.4	0.0	6.3	2.8
80～84歳	177	2.3	65.5	18.6	18.6	0.0	7.9	7.9	0.0	0.0	5.1	0.6
85～89歳	61	0.0	65.6	16.4	16.4	0.0	4.9	4.9	0.0	0.0	13.1	0.0
90歳以上	17	0.0	82.4	0.0	0.0	0.0	11.8	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0
配偶者職業												
自営者	152	2.0	50.0	24.3	19.7	4.6	13.2	9.9	3.3	0.0	7.2	3.3
農林漁業	20	0.0	40.0	10.0	10.0	0.0	20.0	15.0	5.0	0.0	15.0	15.0
商工サービス業	110	2.7	50.9	24.5	20.9	3.6	14.5	10.9	3.6	0.0	5.5	1.8
自由業	22	0.0	54.5	36.4	22.7	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
常雇被用者	113	1.8	51.3	31.9	25.7	6.2	10.6	5.3	5.3	0.0	3.5	0.9
公務員	22	0.0	50.0	36.4	36.4	0.0	13.6	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0
民間企業被用者	91	2.2	51.6	30.8	23.1	7.7	9.9	4.4	5.5	0.0	4.4	1.1
非正規社員	228	1.8	46.9	34.6	30.3	4.4	10.5	6.6	3.9	0.0	5.3	0.9
派遣社員・契約社員	54	3.7	44.4	31.5	29.6	1.9	14.8	9.3	5.6	0.0	5.6	0.0
パート・アルバイト	174	1.1	47.7	35.6	30.5	5.2	9.2	5.7	3.4	0.0	5.2	1.1
無職	909	1.3	57.4	26.0	22.9	3.1	8.3	6.8	1.4	0.0	5.8	1.2
その他	18	0.0	27.8	44.4	44.4	0.0	22.2	16.7	5.6	0.0	0.0	5.6

⑩ 家族形態

(単位：%)

	N	単身	夫婦のみ	2世代世帯	夫婦と子のみ	親と自分(夫婦)のみ	3世代世帯	自分(夫婦)と子と孫	親と自分(夫婦)と子	祖父母と親と自分(夫婦)	その他	無回答
全 体	2084	16.7	37.7	20.3	16.8	3.5	9.4	7.6	1.8	0.0	14.3	1.7
配 偶 者 年 収												
収入はない	303	2.0	53.1	31.4	28.7	2.6	7.3	5.3	2.0	0.0	5.3	1.0
100万円未満	362	1.1	55.2	27.1	23.8	3.3	9.9	7.7	2.2	0.0	6.1	0.6
100～500万円未満	597	1.2	54.9	26.6	22.4	4.2	10.6	7.7	2.8	0.0	5.7	1.0
500～1,000万円未満	62	3.2	56.5	30.6	27.4	3.2	8.1	4.8	3.2	0.0	1.6	0.0
1,000～2,000万円未満	17	0.0	64.7	23.5	17.6	5.9	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	7	0.0	71.4	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
本人または夫婦年収												
100万円未満	52	32.7	15.4	11.5	7.7	3.8	7.7	7.7	0.0	0.0	32.7	0.0
100～300万円未満	329	25.5	29.8	16.1	14.0	2.1	10.3	9.1	1.2	0.0	17.6	0.6
300～500万円未満	328	11.3	48.2	25.0	21.3	3.7	8.8	5.5	3.4	0.0	6.7	0.0
500～700万円未満	118	4.2	51.7	27.1	22.9	4.2	9.3	6.8	2.5	0.0	7.6	0.0
700～1,000万円未満	65	6.2	53.8	29.2	24.6	4.6	6.2	3.1	3.1	0.0	3.1	1.5
1,000～1,500万円未満	39	5.1	35.9	30.8	23.1	7.7	20.5	10.3	10.3	0.0	7.7	0.0
1,500～2,000万円未満	8	0.0	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
2,000万円以上	8	0.0	87.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯保有金融資産額												
100万円未満	204	26.5	32.8	17.2	15.7	1.5	6.4	4.4	2.0	0.0	16.7	0.5
100～500万円未満	265	20.4	33.2	18.5	15.1	3.4	9.8	8.7	1.1	0.0	17.7	0.4
500～1,000万円未満	205	14.6	36.1	22.9	19.0	3.9	9.8	6.8	2.9	0.0	16.6	0.0
1,000～2,000万円未満	280	12.9	46.1	21.1	16.8	4.3	8.9	6.4	2.5	0.0	10.0	1.1
2,000万円以上	399	12.0	46.1	23.1	18.3	4.8	8.8	6.5	2.3	0.0	10.0	0.0
住 居 形 態												
持家	1759	12.7	39.7	21.9	18.2	3.8	10.3	8.3	2.0	0.0	14.1	1.2
持家・ローンあり	284	7.7	39.8	24.6	22.2	2.5	14.4	13.4	1.1	0.0	12.0	1.4
持家・ローンなし	1308	13.9	43.4	21.8	18.7	3.1	7.4	5.6	1.8	0.0	12.2	1.2
持家・夫婦以外名義	167	11.4	10.8	18.6	7.8	10.8	26.3	21.0	5.4	0.0	32.3	0.6
借家	245	46.1	26.5	8.2	6.5	1.6	2.9	2.9	0.0	0.0	14.7	1.6
賃貸住宅	233	45.9	26.6	8.6	6.9	1.7	1.7	1.7	0.0	0.0	15.5	1.7
社宅	7	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者住宅	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	14	35.7	7.1	21.4	21.4	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	21.4	0.0
市 郡 規 模 別												
21大市	709	19.2	35.8	20.3	16.8	3.5	7.9	6.6	1.3	0.0	15.0	1.8
人口10万人以上の市	833	15.7	37.6	20.5	16.9	3.6	10.4	8.2	2.3	0.0	14.5	1.2
人口10万人未満の市	382	13.4	42.7	19.1	15.7	3.4	8.9	7.3	1.6	0.0	13.9	2.1
郡部	160	18.1	34.4	21.9	19.4	2.5	11.9	10.0	1.9	0.0	11.3	2.5
地 域 ブ ロ ッ ク 別												
東京都	437	16.2	34.8	22.9	19.0	3.9	8.2	6.9	1.4	0.0	16.5	1.4
愛知県	270	14.8	37.0	20.7	18.1	2.6	11.5	10.0	1.5	0.0	14.1	1.9
大阪府	336	17.6	39.6	17.9	14.3	3.6	10.1	8.9	1.2	0.0	13.4	1.5
北海道	62	14.5	51.6	16.1	12.9	3.2	3.2	1.6	1.6	0.0	12.9	1.6
東北	105	21.0	33.3	20.0	16.2	3.8	8.6	6.7	1.9	0.0	15.2	1.9
関東(東京都除く)	290	18.3	36.2	19.7	16.6	3.1	8.6	6.6	2.1	0.0	14.8	2.4
北陸	65	13.8	29.2	23.1	16.9	6.2	20.0	18.5	1.5	0.0	13.8	0.0
中部(愛知県除く)	105	19.0	32.4	18.1	16.2	1.9	11.4	6.7	4.8	0.0	17.1	1.9
近畿(大阪府除く)	120	16.7	45.0	15.8	13.3	2.5	8.3	5.8	2.5	0.0	11.7	2.5
中国	94	7.4	47.9	22.3	19.1	3.2	7.4	6.4	1.1	0.0	13.8	1.1
四国	42	21.4	28.6	31.0	23.8	7.1	2.4	2.4	0.0	0.0	14.3	2.4
北九州	95	20.0	46.3	17.9	15.8	2.1	9.5	6.3	3.2	0.0	6.3	0.0
南九州	63	14.3	31.7	23.8	17.5	6.3	11.1	9.5	1.6	0.0	15.9	3.2

⑪ 本人または夫婦年収（世帯年収）

(単位：%)

	N	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平均(万円)
全体	2084	2.5	15.8	15.7	5.7	3.1	1.9	0.4	0.4	54.6	408.8
性別											
男性	996	1.5	14.3	17.5	7.3	4.0	3.0	0.6	0.6	51.2	469.6
女性	1088	3.4	17.2	14.2	4.1	2.3	0.8	0.2	0.2	57.6	344.8
本人年齢											
60～64歳	380	1.1	9.2	17.9	11.1	6.3	5.8	1.1	1.1	46.6	565.5
65～69歳	400	2.3	13.3	17.5	8.8	4.8	2.3	0.3	0.3	50.8	442.5
70～74歳	463	1.9	14.7	18.6	5.4	2.6	1.1	0.2	0.2	55.3	398.5
75～79歳	369	2.4	20.6	18.7	2.2	1.9	0.5	0.5	0.3	52.8	349.1
80～84歳	273	3.3	20.1	7.3	2.2	0.7	0.4	0.0	0.4	65.6	278.7
85～89歳	141	6.4	18.4	7.8	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	66.0	218.1
90歳以上	58	5.2	27.6	6.9	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	58.6	221.0
本人職業											
自営者	247	1.2	9.7	13.4	7.3	5.3	5.7	1.6	0.8	55.1	609.2
農林漁業	29	0.0	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	79.3	574.0
商工サービス業	174	1.7	10.3	16.7	8.0	5.7	5.2	2.3	1.1	48.9	615.2
自由業	44	0.0	9.1	6.8	6.8	4.5	9.1	0.0	0.0	63.6	588.9
常雇被用者	212	0.0	6.1	15.1	15.1	10.4	6.6	1.4	0.9	44.3	645.2
公務員	38	0.0	2.6	18.4	21.1	10.5	7.9	2.6	0.0	36.8	652.5
民間企業被用者	174	0.0	6.9	14.4	13.8	10.3	6.3	1.1	1.1	46.0	643.3
非正規社員	293	0.3	14.7	20.1	8.2	2.7	0.3	0.0	0.0	53.6	381.6
派遣社員・契約社員	48	0.0	14.6	27.1	6.3	2.1	2.1	0.0	0.0	47.9	397.7
パート・アルバイト	245	0.4	14.7	18.8	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0	54.7	377.9
無職	1285	3.7	19.1	15.3	3.0	1.7	0.5	0.0	0.2	56.3	314.3
その他	31	0.0	3.2	16.1	12.9	0.0	9.7	3.2	0.0	54.8	691.9
本人学歴											
小中学校	322	5.9	22.0	6.8	1.9	0.3	0.9	0.0	0.0	62.1	238.0
高等学校	904	2.9	17.4	15.8	5.0	1.8	1.2	0.2	0.1	55.6	355.5
短期大学・高等専門学校・専門学校	369	1.1	12.7	18.2	6.2	5.4	1.6	0.5	0.3	53.9	448.2
大学	446	0.7	11.2	21.1	8.5	5.6	4.3	0.4	0.9	47.3	521.2
大学院修士課程	24	0.0	8.3	4.2	25.0	4.2	0.0	8.3	4.2	45.8	833.8
大学院博士課程	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2190.0
本人年収											
収入はない	261	5.7	16.5	8.8	1.5	2.3	0.4	0.0	0.4	64.4	290.9
100万円未満	458	6.3	18.6	14.6	3.7	0.9	0.0	0.0	0.2	55.7	288.6
100～500万円未満	1067	0.7	18.7	22.0	6.2	2.2	1.0	0.2	0.0	49.0	368.9
500～1,000万円未満	155	0.0	0.0	1.3	20.0	18.7	11.6	1.3	0.0	47.1	805.0
1,000～2,000万円未満	28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.1	14.3	3.6	50.0	1360.7
2,000万円以上	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	2657.2
未婚	117	6.8	21.4	17.1	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	52.1	262.4
既婚(配偶者あり)	1450	1.0	12.5	18.9	7.7	4.3	2.3	0.5	0.6	52.3	470.7
既婚(離別・死別)	508	5.7	24.0	6.7	1.2	0.4	0.8	0.2	0.0	61.0	235.7
配偶者年齢											
49歳以下	9	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	44.4	658.0
50～59歳	85	0.0	9.4	14.1	21.2	7.1	5.9	1.2	0.0	41.2	558.4
60～64歳	218	1.4	5.5	21.6	11.0	8.7	5.5	0.9	1.8	43.6	626.4
65～69歳	261	0.8	14.9	20.7	10.0	7.3	1.5	0.4	0.4	44.1	459.4
70～74歳	302	1.3	11.6	20.9	7.6	3.0	2.3	0.7	0.3	52.3	467.4
75～79歳	253	1.2	16.2	23.3	4.7	1.6	0.8	0.4	0.4	51.4	389.3
80～84歳	177	1.1	15.8	14.7	2.3	1.7	0.0	0.0	0.6	63.8	340.0
85～89歳	61	0.0	19.7	9.8	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	65.6	297.8
90歳以上	17	0.0	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.5	330.5
配偶者職業											
自営者	152	1.3	5.3	13.8	8.6	5.3	5.3	1.3	1.3	57.9	668.8
農林漁業	20	5.0	5.0	5.0	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0	65.0	474.1
商工サービス業	110	0.0	4.5	16.4	8.2	7.3	5.5	1.8	1.8	54.5	729.2
自由業	22	4.5	9.1	9.1	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	68.2	431.4
常雇被用者	113	0.9	0.9	15.0	11.5	10.6	8.8	1.8	0.9	49.6	721.9
公務員	22	0.0	0.0	9.1	13.6	0.0	22.7	0.0	4.5	50.0	956.7
民間企業被用者	91	1.1	1.1	16.5	11.0	13.2	5.5	2.2	0.0	49.5	665.8
非正規社員	228	1.3	9.2	24.1	13.2	5.3	2.2	0.0	0.0	44.7	453.8
派遣社員・契約社員	54	1.9	5.6	22.2	18.5	13.0	5.6	0.0	0.0	33.3	549.1
パート・アルバイト	174	1.1	10.3	24.7	11.5	2.9	1.1	0.0	0.0	48.3	415.7
無職	909	1.0	16.1	19.4	5.9	3.0	0.8	0.2	0.4	53.2	395.5
その他	18	0.0	16.7	5.6	0.0	11.1	11.1	5.6	0.0	50.0	816.9

⑪ 本人または夫婦年収（世帯年収）

(単位：%)

	N	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	無回答	平均(万円)
全 体	2084	2.5	15.8	15.7	5.7	3.1	1.9	0.4	0.4	54.6	408.8
配 偶 者 年 収											
収入はない	303	1.0	17.8	16.8	6.6	3.0	1.7	0.0	1.0	52.1	421.7
100万円未満	362	2.5	16.3	22.1	5.2	2.5	0.8	0.6	0.0	50.0	373.2
100～500万円未満	597	0.5	11.1	23.5	10.2	4.4	2.7	0.0	0.2	47.6	456.3
500～1,000万円未満	62	0.0	1.6	0.0	14.5	25.8	9.7	4.8	0.0	43.5	879.0
1,000～2,000万円未満	17	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	17.6	11.8	5.9	58.8	1547.1
2,000万円以上	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	42.9	2132.5
家 族 形 態											
単身	347	4.9	24.2	10.7	1.4	1.2	0.6	0.0	0.0	57.1	250.4
夫婦のみ	785	1.0	12.5	20.1	7.8	4.5	1.8	0.4	0.9	51.1	474.9
2世代世帯	423	1.4	12.5	19.4	7.6	4.5	2.8	0.7	0.2	50.8	462.5
夫婦と子のみ	351	1.1	13.1	19.9	7.7	4.6	2.6	0.3	0.3	50.4	453.2
親と自分(夫婦)のみ	72	2.8	9.7	16.7	6.9	4.2	4.2	2.8	0.0	52.8	510.4
3世代世帯	196	2.0	17.3	14.8	5.6	2.0	4.1	0.5	0.0	53.6	417.6
自分(夫婦)と子と孫	159	2.5	18.9	11.3	5.0	1.3	2.5	0.6	0.0	57.9	374.9
親と自分(夫婦)と子	37	0.0	10.8	29.7	8.1	5.4	10.8	0.0	0.0	35.1	536.8
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	5.7	19.5	7.4	3.0	0.7	1.0	0.3	0.0	62.4	287.6
世帯保有金融資産額											
100万円未満	204	8.3	26.0	9.8	2.5	1.5	0.0	0.5	0.0	51.5	249.4
100～500万円未満	265	4.2	21.5	21.1	4.2	2.6	0.8	0.0	0.0	45.7	321.9
500～1,000万円未満	205	1.5	27.3	14.1	8.8	5.4	1.5	0.0	0.0	41.5	365.4
1,000～2,000万円未満	280	1.8	13.6	25.7	9.3	5.4	2.1	0.7	0.0	41.4	444.8
2,000万円以上	399	0.8	11.5	25.8	10.8	6.0	6.5	1.0	1.8	35.8	570.9
住 居 形 態											
持家	1759	2.4	15.5	16.8	6.5	3.2	2.2	0.5	0.3	52.6	419.9
持家・ローンあり	284	1.1	10.6	16.5	10.6	6.0	2.5	0.7	1.1	51.1	531.7
持家・ローンなし	1308	2.1	15.5	17.8	6.0	3.1	2.3	0.4	0.2	52.6	413.0
持家・夫婦以外名義	167	6.6	23.4	9.6	3.6	0.0	0.6	0.6	0.0	55.7	267.4
借家	245	3.7	20.8	11.0	1.6	2.0	0.4	0.0	0.8	59.6	322.7
賃貸住宅	233	3.4	21.0	11.2	1.7	1.7	0.4	0.0	0.4	60.1	291.0
社宅	7	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	1164.0
高齢者住宅	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	112.5
その他	14	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6	173.3
市 郡 規 模 別											
21大市	709	2.5	13.4	14.1	4.9	3.5	1.4	0.6	0.1	59.4	407.0
人口10万人以上の市	833	2.3	17.2	16.2	7.1	3.4	2.5	0.4	0.6	50.4	430.3
人口10万人未満の市	382	3.4	16.8	17.8	3.1	2.4	1.6	0.0	0.3	54.7	359.5
郡部	160	1.3	16.9	15.6	7.5	1.9	1.3	0.6	0.6	54.4	412.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別											
東京都	437	2.5	10.5	12.4	5.5	3.4	2.3	0.5	0.5	62.5	450.4
愛知県	270	0.7	21.1	19.3	5.9	1.9	1.5	0.0	0.7	48.9	374.9
大阪府	336	3.6	20.8	14.6	6.5	4.2	1.8	0.3	0.0	48.2	376.5
北海道	62	0.0	19.4	9.7	9.7	4.8	1.6	0.0	0.0	54.8	418.7
東北	105	5.7	16.2	12.4	5.7	1.0	0.0	0.0	0.0	59.0	295.0
関東(東京都除く)	290	2.8	14.5	15.5	6.6	4.1	2.1	0.7	0.3	53.4	440.1
北陸	65	1.5	13.8	16.9	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	64.6	319.3
中部(愛知県除く)	105	1.9	24.8	21.0	4.8	2.9	3.8	0.0	0.0	41.0	381.1
近畿(大阪府除く)	120	1.7	11.7	15.8	4.2	3.3	0.8	1.7	0.8	60.0	470.5
中国	94	0.0	5.3	17.0	3.2	3.2	4.3	0.0	0.0	67.0	515.9
四国	42	0.0	19.0	21.4	7.1	4.8	2.4	0.0	0.0	45.2	390.4
北九州	95	0.0	14.7	20.0	6.3	3.2	2.1	0.0	2.1	51.6	535.5
南九州	63	12.7	14.3	20.6	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	49.2	283.6

⑫ 世帯保有金融資産額

(単位：%)

	N	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全体	2084	9.8	12.7	9.8	13.4	19.1	35.1
性別							
男性	996	10.1	13.7	10.1	14.9	22.1	29.1
女性	1088	9.5	11.9	9.6	12.1	16.5	40.5
本人年齢							
60～64歳	380	8.9	11.8	14.5	16.1	20.5	28.2
65～69歳	400	11.8	15.8	7.3	12.3	22.5	30.5
70～74歳	463	9.9	10.4	11.2	14.5	20.1	33.9
75～79歳	369	8.1	12.7	7.6	14.9	17.6	39.0
80～84歳	273	9.9	15.0	8.1	11.0	16.5	39.6
85～89歳	141	9.2	11.3	9.9	10.6	12.8	46.1
90歳以上	58	12.1	8.6	8.6	5.2	17.2	48.3
本人職業							
自営者	247	5.7	14.2	10.1	14.2	21.5	34.4
農林漁業	29	3.4	6.9	10.3	13.8	6.9	58.6
商工サービス業	174	5.2	17.8	10.9	13.8	22.4	29.9
自由業	44	9.1	4.5	6.8	15.9	27.3	36.4
常雇被用者	212	6.1	17.9	11.3	17.5	24.1	23.1
公務員	38	2.6	7.9	2.6	21.1	44.7	21.1
民間企業被用者	174	6.9	20.1	13.2	16.7	19.5	23.6
非正規社員	293	15.0	16.4	11.9	10.6	10.9	35.2
派遣社員・契約社員	48	10.4	12.5	25.0	8.3	10.4	33.3
パート・アルバイト	245	15.9	17.1	9.4	11.0	11.0	35.5
無職	1285	10.0	10.9	9.0	13.6	19.2	37.3
その他	31	9.7	9.7	9.7	6.5	32.3	32.3
本人学歴							
小中学校	322	14.0	16.8	8.1	5.6	6.8	48.8
高等学校	904	11.0	13.5	9.8	12.3	14.7	38.7
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	8.1	12.5	11.9	17.1	18.7	31.7
大学	446	6.5	9.4	9.0	18.8	36.3	20.0
大学院修士課程	24	0.0	4.2	12.5	16.7	37.5	29.2
大学院博士課程	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
本人年収							
収入はない	261	16.5	10.7	7.7	10.7	11.5	42.9
100万円未満	458	11.8	12.9	8.3	14.4	13.1	39.5
100～500万円未満	1067	9.2	15.3	12.0	14.3	21.1	28.1
500～1,000万円未満	155	5.2	7.7	8.4	19.4	40.0	19.4
1,000～2,000万円未満	28	3.6	3.6	17.9	10.7	42.9	21.4
2,000万円以上	9	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
未婚	117	15.4	21.4	7.7	9.4	21.4	24.8
既婚(配偶者あり)	1450	8.6	11.1	10.0	15.2	21.4	33.7
既婚(離別・死別)	508	12.2	15.4	9.8	9.4	12.4	40.7
配偶者年齢							
49歳以下	9	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1
50～59歳	85	9.4	15.3	15.3	20.0	15.3	24.7
60～64歳	218	6.9	11.0	13.8	14.2	28.4	25.7
65～69歳	261	10.3	9.2	12.6	16.1	22.6	29.1
70～74歳	302	8.6	12.3	9.9	19.2	20.9	29.1
75～79歳	253	5.9	10.3	8.7	13.8	23.3	37.9
80～84歳	177	10.7	11.9	6.2	11.9	19.2	40.1
85～89歳	61	6.6	21.3	1.6	14.8	14.8	41.0
90歳以上	17	17.6	5.9	5.9	17.6	17.6	35.3
配偶者職業							
自営者	152	8.6	13.2	7.9	13.2	19.7	37.5
農林漁業	20	10.0	15.0	15.0	0.0	10.0	50.0
商工サービス業	110	8.2	14.5	5.5	14.5	22.7	34.5
自由業	22	9.1	4.5	13.6	18.2	13.6	40.9
常雇被用者	113	7.1	10.6	12.4	9.7	31.0	29.2
公務員	22	0.0	13.6	9.1	13.6	45.5	18.2
民間企業被用者	91	8.8	9.9	13.2	8.8	27.5	31.9
非正規社員	228	12.3	14.0	14.0	18.4	10.5	30.7
派遣社員・契約社員	54	14.8	13.0	14.8	13.0	14.8	29.6
パート・アルバイト	174	11.5	14.4	13.8	20.1	9.2	31.0
無職	909	8.1	10.3	9.0	16.1	22.9	33.6
その他	18	5.6	5.6	16.7	5.6	33.3	33.3

⑫ 世帯保有金融資産額

(単位：%)

	N	100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上2,000万円未満	2,000万円以上	無回答
全 体	2084	9.8	12.7	9.8	13.4	19.1	35.1
配 偶 者 年 取							
収入はない	303	9.2	12.2	11.9	14.9	18.5	33.3
100万円未満	362	12.4	14.6	9.1	15.7	18.2	29.8
100～500万円未満	597	7.9	10.4	11.1	17.1	25.5	28.1
500～1,000万円未満	62	3.2	8.1	12.9	14.5	38.7	22.6
1,000～2,000万円未満	17	5.9	5.9	0.0	23.5	17.6	47.1
2,000万円以上	7	0.0	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3
家 族 形 態							
単身	347	15.6	15.6	8.6	10.4	13.8	36.0
夫婦のみ	785	8.5	11.2	9.4	16.4	23.4	31.0
2世代世帯	423	8.3	11.6	11.1	13.9	21.7	33.3
夫婦と子のみ	351	9.1	11.4	11.1	13.4	20.8	34.2
親と自分(夫婦)のみ	72	4.2	12.5	11.1	16.7	26.4	29.2
3世代世帯	196	6.6	13.3	10.2	12.8	17.9	39.3
自分(夫婦)と子と孫	159	5.7	14.5	8.8	11.3	16.4	43.4
親と自分(夫婦)と子	37	10.8	8.1	16.2	18.9	24.3	21.6
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	11.4	15.8	11.4	9.4	13.4	38.6
本人または夫婦年取							
100万円未満	52	32.7	21.2	5.8	9.6	5.8	25.0
100～300万円未満	329	16.1	17.3	17.0	11.6	14.0	24.0
300～500万円未満	328	6.1	17.1	8.8	22.0	31.4	14.6
500～700万円未満	118	4.2	9.3	15.3	22.0	36.4	12.7
700～1,000万円未満	65	4.6	10.8	16.9	23.1	36.9	7.7
1,000～1,500万円未満	39	0.0	5.1	7.7	15.4	66.7	5.1
1,500～2,000万円未満	8	12.5	0.0	0.0	25.0	50.0	12.5
2,000万円以上	8	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5
住 居 形 態							
持家	1759	7.9	13.0	10.4	14.6	21.1	33.1
持家・ローンあり	284	11.3	13.7	13.4	11.6	18.0	32.0
持家・ローンなし	1308	6.7	12.6	9.7	15.7	22.9	32.4
持家・夫婦以外名義	167	12.0	14.4	10.8	10.8	12.0	40.1
借家	245	22.9	13.9	7.3	6.5	7.8	41.6
賃貸住宅	233	23.2	13.7	7.7	6.9	7.3	41.2
社宅	7	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	57.1
高齢者住宅	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
その他	14	21.4	7.1	0.0	7.1	21.4	42.9
市 郡 規 模 別							
21大市	709	8.7	13.4	9.9	13.5	20.6	33.9
人口10万人以上の市	833	10.4	12.0	10.4	12.8	19.8	34.5
人口10万人未満の市	382	9.7	13.1	8.9	14.4	15.2	38.7
郡部	160	11.3	12.5	8.8	13.8	18.8	35.0
地 域 ブ ロ ッ ク 別							
東京都	437	9.6	10.8	10.8	13.5	23.8	31.6
愛知県	270	8.1	12.6	7.0	11.1	25.2	35.9
大阪府	336	11.6	14.9	9.5	12.2	15.8	36.0
北海道	62	4.8	16.1	12.9	21.0	6.5	38.7
東北	105	17.1	12.4	9.5	11.4	9.5	40.0
関東(東京都除く)	290	9.3	8.3	12.1	15.5	18.6	36.2
北陸	65	9.2	20.0	6.2	10.8	12.3	41.5
中部(愛知県除く)	105	7.6	15.2	14.3	15.2	13.3	34.3
近畿(大阪府除く)	120	10.8	10.8	6.7	15.8	25.8	30.0
中国	94	8.5	21.3	6.4	10.6	16.0	37.2
四国	42	9.5	16.7	7.1	9.5	23.8	33.3
北九州	95	8.4	8.4	8.4	11.6	24.2	38.9
南九州	63	9.5	15.9	15.9	20.6	7.9	30.2

⑬ 住居形態

(単位：%)

	N	持家	持家・ローンあり	持家・ローンなし	持家・夫婦以外名義	借家	賃貸住宅	社宅	高齢者住宅	その他	無回答
全体	2084	84.4	13.6	62.8	8.0	11.8	11.2	0.3	0.2	0.7	3.2
性別											
男性	996	83.2	15.1	62.8	5.4	12.1	11.6	0.3	0.2	0.9	3.7
女性	1088	85.5	12.3	62.8	10.4	11.4	10.8	0.4	0.3	0.5	2.7
本人年齢											
60～64歳	380	84.7	22.6	52.6	9.5	11.6	11.1	0.5	0.0	0.5	3.2
65～69歳	400	81.3	17.3	55.5	8.5	16.0	15.8	0.0	0.3	0.8	2.0
70～74歳	463	85.5	10.6	67.8	7.1	11.0	10.6	0.2	0.2	0.6	2.8
75～79歳	369	86.2	11.1	69.4	5.7	9.2	8.4	0.5	0.3	0.8	3.8
80～84歳	273	82.8	9.9	67.8	5.1	12.8	11.7	0.7	0.4	0.4	4.0
85～89歳	141	87.2	6.4	68.1	12.8	7.8	7.1	0.0	0.7	0.7	4.3
90歳以上	58	84.5	5.2	60.3	19.0	10.3	10.3	0.0	0.0	1.7	3.4
本人職業											
自営者	247	85.0	17.8	63.2	4.0	10.1	8.5	1.6	0.0	0.8	4.0
農林漁業	29	89.7	24.1	62.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
商工サービス業	174	85.6	17.2	63.2	5.2	10.9	8.6	2.3	0.0	1.1	2.3
自由業	44	79.5	15.9	63.6	0.0	13.6	13.6	0.0	0.0	0.0	6.8
常雇被用者	212	86.3	21.7	58.5	6.1	10.4	10.4	0.0	0.0	0.0	3.3
公務員	38	92.1	21.1	71.1	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	5.3
民間企業被用者	174	85.1	21.8	55.7	7.5	12.1	12.1	0.0	0.0	0.0	2.9
非正規社員	293	79.2	19.8	49.8	9.6	17.4	17.1	0.3	0.0	0.0	3.4
派遣社員・契約社員	48	77.1	20.8	47.9	8.3	20.8	18.8	2.1	0.0	0.0	2.1
パート・アルバイト	245	79.6	19.6	50.2	9.8	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	3.7
無職	1285	85.1	9.8	66.5	8.9	11.2	10.7	0.2	0.4	0.8	2.9
その他	31	87.1	25.8	54.8	6.5	3.2	3.2	0.0	0.0	6.5	3.2
本人学歴											
小中学校	322	77.0	9.9	57.5	9.6	18.6	17.7	0.0	0.9	1.2	3.1
高等学校	904	83.7	13.7	61.4	8.6	12.4	11.6	0.6	0.2	0.4	3.4
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	87.0	14.4	65.3	7.3	10.3	10.3	0.0	0.0	0.8	1.9
大学	446	89.2	15.7	67.0	6.5	7.2	6.7	0.4	0.0	0.4	3.1
大学院修士課程	24	91.7	12.5	79.2	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0
大学院博士課程	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本人年収											
収入はない	261	82.8	10.0	64.0	8.8	11.9	10.7	0.4	0.8	0.8	4.6
100万円未満	458	84.5	14.4	61.8	8.3	12.7	12.0	0.2	0.4	0.9	2.0
100～500万円未満	1067	84.2	12.5	63.4	8.2	12.6	12.3	0.2	0.1	0.7	2.6
500～1,000万円未満	155	92.3	29.7	58.1	4.5	5.2	5.2	0.0	0.0	0.0	2.6
1,000～2,000万円未満	28	89.3	7.1	82.1	0.0	10.7	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	9	77.8	33.3	44.4	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
未婚既婚											
未婚	117	58.1	5.1	40.2	12.8	35.9	34.2	0.0	1.7	3.4	2.6
既婚(配偶者あり)	1450	89.5	16.3	68.5	4.8	6.7	6.3	0.3	0.1	0.3	3.4
既婚(離別・死別)	508	76.2	8.3	51.8	16.1	20.9	19.9	0.6	0.4	1.0	2.0
配偶者年齢											
49歳以下	9	77.8	0.0	66.7	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳	85	88.2	30.6	49.4	8.2	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	218	90.8	27.1	56.4	7.3	6.0	5.5	0.5	0.0	0.0	3.2
65～69歳	261	91.6	21.8	64.8	5.0	4.6	4.6	0.0	0.0	0.8	3.1
70～74歳	302	89.4	11.6	73.2	4.6	7.3	7.3	0.0	0.0	0.7	2.6
75～79歳	253	90.5	9.9	76.7	4.0	6.3	5.5	0.8	0.0	0.4	2.8
80～84歳	177	89.3	8.5	78.5	2.3	6.2	5.6	0.6	0.0	0.0	4.5
85～89歳	61	95.1	13.1	82.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	3.3
90歳以上	17	94.1	5.9	88.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
配偶者職業											
自営者	152	85.5	16.4	67.1	2.0	7.9	5.9	2.0	0.0	0.7	5.9
農林漁業	20	80.0	15.0	65.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	15.0
商工サービス業	110	85.5	16.4	69.1	0.0	8.2	5.5	2.7	0.0	0.9	5.5
自由業	22	90.9	18.2	59.1	13.6	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
常雇被用者	113	91.2	29.2	54.0	8.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	3.5
公務員	22	95.5	22.7	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
民間企業被用者	91	90.1	30.8	51.6	7.7	6.6	6.6	0.0	0.0	0.0	3.3
非正規社員	228	85.1	24.1	55.7	5.3	13.2	12.7	0.4	0.0	0.0	1.8
派遣社員・契約社員	54	83.3	29.6	51.9	1.9	14.8	13.0	1.9	0.0	0.0	1.9
パート・アルバイト	174	85.6	22.4	56.9	6.3	12.6	12.6	0.0	0.0	0.0	1.7
無職	909	91.5	12.5	74.1	4.8	5.1	5.0	0.0	0.1	0.4	3.0
その他	18	83.3	11.1	66.7	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1

⑬ 住居形態

(単位：%)

	N	持家				借家	賃貸住宅			その他	無回答
		持家・ローンあり	持家・ローンなし	持家・夫婦以外名義	社宅		高齢者住宅				
全体	2084	84.4	13.6	62.8	8.0	11.8	11.2	0.3	0.2	0.7	3.2
配偶者年取											
収入はない	303	88.4	13.9	69.3	5.3	6.9	6.6	0.0	0.3	0.3	4.3
100万円未満	362	90.1	16.6	68.2	5.2	6.6	6.6	0.0	0.0	0.6	2.8
100～500万円未満	597	92.0	17.4	70.2	4.4	5.9	5.9	0.0	0.0	0.3	1.8
500～1,000万円未満	62	87.1	24.2	58.1	4.8	9.7	8.1	1.6	0.0	0.0	3.2
1,000～2,000万円未満	17	82.4	11.8	58.8	11.8	17.6	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	7	85.7	14.3	71.4	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
家族形態											
単身	347	64.3	6.3	52.4	5.5	32.6	30.8	0.3	1.4	1.4	1.7
夫婦のみ	785	89.0	14.4	72.4	2.3	8.3	7.9	0.4	0.0	0.1	2.5
2世代世帯	423	91.3	16.5	67.4	7.3	4.7	4.7	0.0	0.0	0.7	3.3
夫婦と子のみ	351	91.2	17.9	69.5	3.7	4.6	4.6	0.0	0.0	0.9	3.4
親と自分(夫婦)のみ	72	91.7	9.7	56.9	25.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	2.8
3世代世帯	196	92.9	20.9	49.5	22.4	3.6	2.0	1.5	0.0	1.0	2.6
自分(夫婦)と子と孫	159	91.8	23.9	45.9	22.0	4.4	2.5	1.9	0.0	1.3	2.5
親と自分(夫婦)と子	37	97.3	8.1	64.9	24.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	83.2	11.4	53.7	18.1	12.1	12.1	0.0	0.0	1.0	3.7
本人または夫婦年取											
100万円未満	52	80.8	5.8	53.8	21.2	17.3	15.4	0.0	1.9	1.9	0.0
100～300万円未満	329	82.7	9.1	61.7	11.9	15.5	14.9	0.3	0.3	0.6	1.2
300～500万円未満	328	90.2	14.3	71.0	4.9	8.2	7.9	0.3	0.0	0.0	1.5
500～700万円未満	118	96.6	25.4	66.1	5.1	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
700～1,000万円未満	65	87.7	26.2	61.5	0.0	7.7	6.2	1.5	0.0	0.0	4.6
1,000～1,500万円未満	39	97.4	17.9	76.9	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
1,500～2,000万円未満	8	100.0	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2,000万円以上	8	75.0	37.5	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
世帯保有金融資産額											
100万円未満	204	68.1	15.7	42.6	9.8	27.5	26.5	0.0	1.0	1.5	2.9
100～500万円未満	265	86.0	14.7	62.3	9.1	12.8	12.1	0.4	0.4	0.4	0.8
500～1,000万円未満	205	89.3	18.5	62.0	8.8	8.8	8.8	0.0	0.0	0.0	2.0
1,000～2,000万円未満	280	91.4	11.8	73.2	6.4	5.7	5.7	0.0	0.0	0.4	2.5
2,000万円以上	399	93.0	12.8	75.2	5.0	4.8	4.3	0.5	0.0	0.8	1.5
市郡規模別											
21大市	709	78.8	14.4	58.3	6.2	17.2	16.5	0.4	0.3	1.0	3.0
人口10万人以上の市	833	86.9	13.2	64.3	9.4	9.2	9.0	0.1	0.1	0.7	3.1
人口10万人未満の市	382	87.2	12.6	66.8	7.9	9.4	8.9	0.5	0.0	0.0	3.4
郡部	160	89.4	15.0	65.0	9.4	6.3	4.4	0.6	1.3	0.6	3.8
地域ブロック別											
東京都	437	82.2	15.6	59.0	7.6	14.0	12.8	0.5	0.7	1.1	2.7
愛知県	270	84.8	8.9	68.5	7.4	12.2	12.2	0.0	0.0	0.0	3.0
大阪府	336	74.4	11.9	56.3	6.3	21.1	20.5	0.3	0.3	1.5	3.0
北海道	62	83.9	17.7	61.3	4.8	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	3.2
東北	105	90.5	17.1	62.9	10.5	4.8	4.8	0.0	0.0	1.0	3.8
関東(東京都除く)	290	87.2	15.9	63.4	7.9	9.7	9.3	0.0	0.3	0.3	2.8
北陸	65	100.0	15.4	66.2	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中部(愛知県除く)	105	96.2	12.4	74.3	9.5	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9
近畿(大阪府除く)	120	81.7	10.0	65.0	6.7	10.0	10.0	0.0	0.0	0.8	7.5
中国	94	91.5	18.1	62.8	10.6	4.3	3.2	1.1	0.0	0.0	4.3
四国	42	85.7	4.8	76.2	4.8	9.5	9.5	0.0	0.0	2.4	2.4
北九州	95	82.1	20.0	55.8	6.3	15.8	13.7	2.1	0.0	0.0	2.1
南九州	63	90.5	6.3	71.4	12.7	3.2	1.6	1.6	0.0	0.0	6.3

⑭ 市郡規模別

(単位：%)

	N	21大市	人口10万人以上の市	人口10万人未満の市	郡部
全体	2084	34.0	40.0	18.3	7.7
性別					
男性	996	34.2	38.3	19.5	8.0
女性	1088	33.8	41.5	17.3	7.4
本人年齢					
60～64歳	380	33.4	37.9	20.8	7.9
65～69歳	400	35.8	42.0	15.0	7.3
70～74歳	463	31.3	43.4	19.0	6.3
75～79歳	369	26.8	45.0	19.5	8.7
80～84歳	273	41.4	32.2	18.7	7.7
85～89歳	141	41.1	34.0	16.3	8.5
90歳以上	58	41.4	31.0	15.5	12.1
本人職業					
営業者	247	33.2	37.7	20.6	8.5
農林漁業	29	17.2	51.7	24.1	6.9
商工サービス業	174	35.1	33.9	21.8	9.2
自由業	44	36.4	43.2	13.6	6.8
常雇被用者	212	34.0	46.2	13.2	6.6
公務員	38	26.3	55.3	10.5	7.9
民間企業被用者	174	35.6	44.3	13.8	6.3
非正規社員	293	33.1	35.8	22.9	8.2
派遣社員・契約社員	48	29.2	41.7	20.8	8.3
パート・アルバイト	245	33.9	34.7	23.3	8.2
無職	1285	34.3	40.2	17.8	7.6
その他	31	41.9	38.7	12.9	6.5
本人学歴					
小中学校	322	34.5	38.8	17.7	9.0
高等学校	904	31.3	40.3	20.5	8.0
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	35.2	40.4	17.6	6.8
大学	446	39.0	38.8	15.9	6.3
大学院修士課程	24	33.3	50.0	4.2	12.5
大学院博士課程	2	50.0	50.0	0.0	0.0
本人年収					
収入はない	261	31.4	44.4	16.5	7.7
100万円未満	458	34.3	40.8	19.7	5.2
100～500万円未満	1067	34.1	37.3	19.4	9.2
500～1,000万円未満	155	36.1	47.1	11.6	5.2
1,000～2,000万円未満	28	32.1	46.4	10.7	10.7
2,000万円以上	9	33.3	33.3	22.2	11.1
未婚既婚					
未婚	117	44.4	33.3	17.9	4.3
既婚(配偶者あり)	1450	32.9	40.8	18.7	7.7
既婚(離別・死別)	508	35.2	39.2	17.3	8.3
配偶者年齢					
49歳以下	9	33.3	55.6	11.1	0.0
50～59歳	85	25.9	48.2	20.0	5.9
60～64歳	218	32.1	39.0	18.8	10.1
65～69歳	261	26.1	47.1	17.6	9.2
70～74歳	302	31.8	39.1	21.9	7.3
75～79歳	253	38.7	35.2	20.6	5.5
80～84歳	177	33.9	42.4	14.7	9.0
85～89歳	61	45.9	34.4	14.8	4.9
90歳以上	17	29.4	41.2	17.6	11.8
配偶者職業					
営業者	152	34.2	39.5	19.7	6.6
農林漁業	20	5.0	55.0	35.0	5.0
商工サービス業	110	37.3	38.2	16.4	8.2
自由業	22	45.5	31.8	22.7	0.0
常雇被用者	113	39.8	38.1	14.2	8.0
公務員	22	27.3	45.5	22.7	4.5
民間企業被用者	91	42.9	36.3	12.1	8.8
非正規社員	228	31.6	39.9	18.9	9.6
派遣社員・契約社員	54	27.8	46.3	11.1	14.8
パート・アルバイト	174	32.8	37.9	21.3	8.0
無職	909	32.6	41.5	18.8	7.2
その他	18	27.8	44.4	16.7	11.1

⑭ 市郡規模別

(単位：%)

	N	21大市	人口10万人以上の市	人口10万人未満の市	郡部
全 体	2084	34.0	40.0	18.3	7.7
配 偶 者 年 収					
収入はない	303	34.3	42.2	16.2	7.3
100万円未満	362	29.3	39.5	23.8	7.5
100～500万円未満	597	33.0	41.5	16.8	8.7
500～1,000万円未満	62	37.1	38.7	17.7	6.5
1,000～2,000万円未満	17	58.8	29.4	11.8	0.0
2,000万円以上	7	28.6	71.4	0.0	0.0
家 族 形 態					
単身	347	39.2	37.8	14.7	8.4
夫婦のみ	785	32.4	39.9	20.8	7.0
2世代世帯	423	34.0	40.4	17.3	8.3
夫婦と子のみ	351	33.9	40.2	17.1	8.8
親と自分(夫婦)のみ	72	34.7	41.7	18.1	5.6
3世代世帯	196	28.6	44.4	17.3	9.7
自分(夫婦)と子と孫	159	29.6	42.8	17.6	10.1
親と自分(夫婦)と子	37	24.3	51.4	16.2	8.1
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	35.6	40.6	17.8	6.0
本人または夫婦年収					
100万円未満	52	34.6	36.5	25.0	3.8
100～300万円未満	329	28.9	43.5	19.5	8.2
300～500万円未満	328	30.5	41.2	20.7	7.6
500～700万円未満	118	29.7	50.0	10.2	10.2
700～1,000万円未満	65	38.5	43.1	13.8	4.6
1,000～1,500万円未満	39	25.6	53.8	15.4	5.1
1,500～2,000万円未満	8	50.0	37.5	0.0	12.5
2,000万円以上	8	12.5	62.5	12.5	12.5
世帯保有金融資産額					
100万円未満	204	30.4	42.6	18.1	8.8
100～500万円未満	265	35.8	37.7	18.9	7.5
500～1,000万円未満	205	34.1	42.4	16.6	6.8
1,000～2,000万円未満	280	34.3	38.2	19.6	7.9
2,000万円以上	399	36.6	41.4	14.5	7.5
住 居 形 態					
持家	1759	31.8	41.2	18.9	8.1
持家・ローンあり	284	35.9	38.7	16.9	8.5
持家・ローンなし	1308	31.6	41.0	19.5	8.0
持家・夫婦以外名義	167	26.3	46.7	18.0	9.0
借家	245	49.8	31.4	14.7	4.1
賃貸住宅	233	50.2	32.2	14.6	3.0
社宅	7	42.9	14.3	28.6	14.3
高齢者住宅	5	40.0	20.0	0.0	40.0
その他	14	50.0	42.9	0.0	7.1
地 域 ブ ロ ッ ク 別					
東京都	437	65.9	27.5	3.9	2.7
愛知県	270	31.9	44.8	18.9	4.4
大阪府	336	37.2	51.5	8.3	3.0
北海道	62	32.3	33.9	16.1	17.7
東北	105	9.5	29.5	41.9	19.0
関東(東京都除く)	290	22.1	50.3	20.7	6.9
北陸	65	15.4	36.9	30.8	16.9
中部(愛知県除く)	105	21.0	39.0	30.5	9.5
近畿(大阪府除く)	120	26.7	35.8	27.5	10.0
中国	94	21.3	41.5	26.6	10.6
四国	42	0.0	50.0	23.8	26.2
北九州	95	21.1	34.7	33.7	10.5
南九州	63	19.0	31.7	31.7	17.5

⑮ 地域ブロック別

(単位：%)

	N	東京都	愛知県	大阪府	北海道	東北	関東(東京都除く)	北陸	中部(愛知県除く)	近畿(大阪府除く)	中国	四国	北九州	南九州
全体	2084	21.0	13.0	16.1	3.0	5.0	13.9	3.1	5.0	5.8	4.5	2.0	4.6	3.0
性別														
男性	996	22.4	12.7	15.3	2.8	4.8	13.2	2.8	5.3	6.2	4.5	2.7	4.7	2.6
女性	1088	19.7	13.2	16.9	3.1	5.2	14.6	3.4	4.8	5.3	4.5	1.4	4.4	3.4
本人年齢														
60～64歳	380	20.5	11.6	15.5	5.0	6.1	14.5	1.6	4.7	4.7	5.3	2.4	5.0	3.2
65～69歳	400	19.5	14.5	17.0	3.8	4.5	12.3	4.0	3.5	4.3	5.8	1.5	5.5	4.0
70～74歳	463	21.8	10.8	16.4	3.0	4.5	13.0	4.1	6.7	4.8	5.2	3.0	4.3	2.4
75～79歳	369	17.1	14.9	17.3	1.4	4.3	13.6	4.1	6.2	8.1	4.1	1.4	4.6	3.0
80～84歳	273	27.1	13.2	13.6	1.1	7.0	15.4	1.8	3.3	7.0	3.3	1.8	3.7	1.8
85～89歳	141	19.9	14.9	16.3	3.5	4.3	15.6	2.1	3.5	8.5	2.1	0.7	5.0	3.5
90歳以上	58	25.9	10.3	15.5	1.7	3.4	20.7	1.7	8.6	3.4	0.0	3.4	0.0	5.2
本人職業														
自営者	247	22.3	9.3	14.2	2.8	8.1	10.9	4.9	8.1	5.7	4.0	1.2	4.0	4.5
農林漁業	29	13.8	10.3	6.9	0.0	6.9	3.4	6.9	20.7	10.3	6.9	0.0	0.0	13.8
商工サービス業	174	23.0	8.0	13.2	2.9	8.6	13.2	4.6	8.0	5.2	4.0	1.1	4.6	3.4
自由業	44	25.0	13.6	22.7	4.5	6.8	6.8	4.5	0.0	4.5	2.3	2.3	4.5	2.3
常雇被用者	212	25.0	12.3	17.9	5.2	1.4	13.2	0.9	4.7	6.1	3.8	1.4	4.7	3.3
公務員	38	23.7	10.5	13.2	5.3	2.6	10.5	0.0	5.3	10.5	2.6	0.0	10.5	5.3
民間企業被用者	174	25.3	12.6	19.0	5.2	1.1	13.8	1.1	4.6	5.2	4.0	1.7	3.4	2.9
非正規社員	293	18.8	15.0	15.0	3.1	6.1	15.0	2.0	6.8	4.4	4.4	2.4	4.1	2.7
派遣社員・契約社員	48	27.1	8.3	20.8	2.1	6.3	16.7	0.0	4.2	2.1	4.2	6.3	2.1	0.0
パート・アルバイト	245	17.1	16.3	13.9	3.3	6.1	14.7	2.4	7.3	4.9	4.5	1.6	4.5	3.3
無職	1285	20.7	13.3	16.4	2.7	4.7	14.2	3.4	4.1	5.8	4.7	2.2	4.7	2.9
その他	31	19.4	16.1	19.4	0.0	3.2	19.4	0.0	6.5	6.5	3.2	3.2	3.2	0.0
本人学歴														
小中学校	322	17.7	17.7	19.6	2.2	4.3	12.1	4.0	4.0	3.1	2.2	2.2	3.4	7.5
高等学校	904	16.9	12.5	16.3	3.4	6.5	13.9	3.2	6.0	6.1	5.6	1.8	4.9	2.9
短期大学、高等専門学校、専門学校	369	23.0	11.7	12.2	4.3	4.3	15.4	3.0	7.0	4.6	4.3	1.6	6.0	2.4
大学	446	29.4	12.1	15.9	1.3	3.4	13.0	2.5	2.5	8.3	4.0	2.9	3.8	0.9
大学院修士課程	24	37.5	12.5	29.2	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学院博士課程	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本人年収														
収入はない	261	20.3	13.0	17.2	2.7	3.8	11.9	3.1	3.8	7.3	6.1	1.1	5.4	4.2
100万円未満	458	19.0	12.9	19.9	2.4	5.0	14.8	2.2	4.8	4.8	3.7	1.7	3.9	4.8
100～500万円未満	1067	20.0	13.3	14.7	3.1	6.0	14.2	4.0	5.2	5.7	4.1	2.5	4.5	2.5
500～1,000万円未満	155	33.5	9.7	12.9	5.8	0.6	15.5	0.6	5.8	7.1	3.9	1.3	3.2	0.0
1,000～2,000万円未満	28	39.3	7.1	3.6	3.6	0.0	10.7	0.0	10.7	7.1	3.6	0.0	10.7	3.6
2,000万円以上	9	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0
未婚	117	27.4	12.0	16.2	3.4	6.0	12.8	3.4	4.3	4.3	0.9	2.6	2.6	4.3
既婚(配偶者あり)	1450	20.6	13.3	16.1	3.2	5.0	13.2	3.1	5.0	5.9	5.2	1.7	4.8	2.7
既婚(離別・死別)	508	20.9	12.0	16.3	2.4	4.5	16.1	3.1	4.9	5.7	3.3	2.8	4.3	3.5
配偶者年齢														
49歳以下	9	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
50～59歳	85	22.4	12.9	15.3	4.7	5.9	16.5	0.0	7.1	4.7	7.1	0.0	2.4	1.2
60～64歳	218	18.3	11.9	16.5	4.6	5.0	13.3	1.4	5.0	5.0	4.6	2.8	7.8	3.7
65～69歳	261	16.5	14.6	19.5	3.1	4.6	14.9	3.8	3.8	3.4	4.6	2.3	6.5	2.3
70～74歳	302	21.9	12.3	13.2	3.6	5.3	11.3	4.6	5.6	8.3	5.0	2.0	5.0	2.0
75～79歳	253	20.2	13.4	16.2	2.0	5.9	11.1	2.4	8.3	6.3	5.5	0.4	4.0	4.3
80～84歳	177	24.9	15.3	15.8	3.4	4.5	13.6	4.0	2.3	5.1	5.1	1.7	3.4	1.1
85～89歳	61	24.6	16.4	13.1	1.6	4.9	11.5	1.6	3.3	11.5	1.6	3.3	3.3	3.3
90歳以上	17	11.8	0.0	23.5	0.0	5.9	23.5	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	11.8
配偶者職業														
自営者	152	24.3	11.8	16.4	2.0	3.3	9.2	5.9	8.6	3.9	4.6	2.6	3.3	3.9
農林漁業	20	5.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	25.0	10.0	10.0	5.0	0.0	15.0
商工サービス業	110	26.4	11.8	18.2	1.8	2.7	10.0	5.5	7.3	3.6	4.5	1.8	3.6	2.7
自由業	22	31.8	9.1	22.7	4.5	4.5	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0
常雇被用者	113	22.1	12.4	15.0	3.5	7.1	15.9	1.8	0.9	3.5	9.7	1.8	4.4	1.8
公務員	22	22.7	13.6	9.1	4.5	4.5	9.1	4.5	0.0	9.1	13.6	0.0	9.1	0.0
民間企業被用者	91	22.0	12.1	16.5	3.3	7.7	17.6	1.1	1.1	2.2	8.8	2.2	3.3	2.2
非正規社員	228	18.4	14.0	20.2	3.9	3.5	13.6	2.6	5.3	3.9	5.7	0.9	3.9	3.9
派遣社員・契約社員	54	13.0	7.4	24.1	5.6	13.0	14.8	0.0	1.9	0.0	9.3	0.0	5.6	5.6
パート・アルバイト	174	20.1	16.1	19.0	3.4	0.6	13.2	3.4	6.3	5.2	4.6	1.1	3.4	3.4
無職	909	20.5	13.4	15.0	3.2	5.3	13.4	3.0	5.0	6.9	4.7	1.7	5.6	2.4
その他	18	11.1	27.8	22.2	5.6	11.1	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0

⑮ 地域ブロック別

(単位：%)

	N	東京都	愛知県	大阪府	北海道	東北	関東(東京都除く)	北陸	中部(愛知県除く)	近畿(大阪府除く)	中国	四国	北九州	南九州
全 体	2084	21.0	13.0	16.1	3.0	5.0	13.9	3.1	5.0	5.8	4.5	2.0	4.6	3.0
配 偶 者 年 収														
収入はない	303	23.4	14.9	16.8	4.0	3.3	10.2	2.3	5.9	5.9	4.6	1.3	5.6	1.7
100万円未満	362	20.4	11.9	16.6	2.8	7.7	11.6	2.2	6.1	6.6	3.3	1.7	4.7	4.4
100～500万円未満	597	18.8	12.9	15.6	3.0	4.4	14.6	4.0	4.9	6.0	6.2	2.2	4.9	2.7
500～1,000万円未満	62	25.8	19.4	6.5	6.5	3.2	21.0	3.2	1.6	1.6	3.2	3.2	4.8	0.0
1,000～2,000万円未満	17	47.1	5.9	29.4	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0
2,000万円以上	7	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
家 族 形 態														
単身	347	20.5	11.5	17.0	2.6	6.3	15.3	2.6	5.8	5.8	2.0	2.6	5.5	2.6
夫婦のみ	785	19.4	12.7	16.9	4.1	4.5	13.4	2.4	4.3	6.9	5.7	1.5	5.6	2.5
2世代世帯	423	23.6	13.2	14.2	2.4	5.0	13.5	3.5	4.5	4.5	5.0	3.1	4.0	3.5
夫婦と子のみ	351	23.6	14.0	13.7	2.3	4.8	13.7	3.1	4.8	4.6	5.1	2.8	4.3	3.1
親と自分(夫婦)のみ	72	23.6	9.7	16.7	2.8	5.6	12.5	5.6	2.8	4.2	4.2	4.2	2.8	5.6
3世代世帯	196	18.4	15.8	17.3	1.0	4.6	12.8	6.6	6.1	5.1	3.6	0.5	4.6	3.6
自分(夫婦)と子と孫	159	18.9	17.0	18.9	0.6	4.4	11.9	7.5	4.4	4.4	3.8	0.6	3.8	3.8
親と自分(夫婦)と子	37	16.2	10.8	10.8	2.7	5.4	16.2	2.7	13.5	8.1	2.7	0.0	8.1	2.7
祖父母と親と自分(夫婦)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	298	24.2	12.8	15.1	2.7	5.4	14.4	3.0	6.0	4.7	4.4	2.0	2.0	3.4
本人または夫婦年収														
100万円未満	52	21.2	3.8	23.1	0.0	11.5	15.4	1.9	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	15.4
100～300万円未満	329	14.0	17.3	21.3	3.6	5.2	12.8	2.7	7.9	4.3	1.5	2.4	4.3	2.7
300～500万円未満	328	16.5	15.9	14.9	1.8	4.0	13.7	3.4	6.7	5.8	4.9	2.7	5.8	4.0
500～700万円未満	118	20.3	13.6	18.6	5.1	5.1	16.1	1.7	4.2	4.2	2.5	2.5	5.1	0.8
700～1,000万円未満	65	23.1	7.7	21.5	4.6	1.5	18.5	0.0	4.6	6.2	4.6	3.1	4.6	0.0
1,000～1,500万円未満	39	25.6	10.3	15.4	2.6	0.0	15.4	0.0	10.3	2.6	10.3	2.6	5.1	0.0
1,500～2,000万円未満	8	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5
2,000万円以上	8	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
世帯保有金融資産額														
100万円未満	204	20.6	10.8	19.1	1.5	8.8	13.2	2.9	3.9	6.4	3.9	2.0	3.9	2.9
100～500万円未満	265	17.7	12.8	18.9	3.8	4.9	9.1	4.9	6.0	4.9	7.5	2.6	3.0	3.8
500～1,000万円未満	205	22.9	9.3	15.6	3.9	4.9	17.1	2.0	7.3	3.9	2.9	1.5	3.9	4.9
1,000～2,000万円未満	280	21.1	10.7	14.6	4.6	4.3	16.1	2.5	5.7	6.8	3.6	1.4	3.9	4.6
2,000万円以上	399	26.1	17.0	13.3	1.0	2.5	13.5	2.0	3.5	7.8	3.8	2.5	5.8	1.3
住 居 形 態														
持家	1759	20.4	13.0	14.2	3.0	5.4	14.4	3.7	5.7	5.6	4.9	2.0	4.4	3.2
持家・ローンあり	284	23.9	8.5	14.1	3.9	6.3	16.2	3.5	4.6	4.2	6.0	0.7	6.7	1.4
持家・ローンなし	1308	19.7	14.1	14.4	2.9	5.0	14.1	3.3	6.0	6.0	4.5	2.4	4.1	3.4
持家・夫婦以外名義	167	19.8	12.0	12.6	1.8	6.6	13.8	7.2	6.0	4.8	6.0	1.2	3.6	4.8
借家	245	24.9	13.5	29.0	3.3	2.0	11.4	0.0	0.8	4.9	1.6	1.6	6.1	0.8
賃貸住宅	233	24.0	14.2	29.6	3.4	2.1	11.6	0.0	0.9	5.2	1.3	1.7	5.6	0.4
社宅	7	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3
高齢者住宅	5	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	14	35.7	0.0	35.7	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0
市 郡 規 模 別														
21大市	709	40.6	12.1	17.6	2.8	1.4	9.0	1.4	3.1	4.5	2.8	0.0	2.8	1.7
人口10万人以上の市	833	14.4	14.5	20.8	2.5	3.7	17.5	2.9	4.9	5.2	4.7	2.5	4.0	2.4
人口10万人未満の市	382	4.5	13.4	7.3	2.6	11.5	15.7	5.2	8.4	8.6	6.5	2.6	8.4	5.2
郡部	160	7.5	7.5	6.3	6.9	12.5	12.5	6.9	6.3	7.5	6.3	6.9	6.3	6.9

2. サンプルデザイン

1. 母集団……全国の市区町村に居住する60歳以上の男女個人
2. 地点数……200地点
3. 抽出方法……層化2段無作為抽出

〔層化〕

● 全国の市町村を、都道府県を単位に次のように13ブロックに分類した。

- ① 北海道……北海道全域
- ② 東北……青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- ③ 関東……群馬県、栃木県、山梨県、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県
- ④ 東京都……東京都全域
- ⑤ 北陸……新潟県、富山県、石川県、福井県
- ⑥ 中部……静岡県、長野県、岐阜県、三重県
- ⑦ 愛知県……愛知県全域
- ⑧ 近畿……滋賀県、和歌山県、京都府、兵庫県、奈良県
- ⑨ 大阪府……大阪府全域
- ⑩ 中国……鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ⑪ 四国……徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ⑫ 北九州……福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
- ⑬ 南九州……熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

● 各ブロック内においてはさらに、都市規模によって次のように分類し、層化した。

- ・21大市（札幌市、仙台市、さいたま市、東京都区部、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市）
- ・人口10万人以上の市
- ・人口10万人未満の市
- ・郡部

（注）ここでいう市とは、標本抽出時での市制施行の地域とした。

〔標本数の配分〕

各ブロック、市郡規模別の層における60歳以上人口（令和4（2022）年1月1日現在住民基本台帳値）の大きさにより標本を比例配分した。

〔抽出〕

1. 令和2（2020）年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第一次抽出単位として使用した。
2. 調査地点数については、層ごとに
層における利用可能な国調人口の合計／層で算出された調査地点数＝抽出間隔
を算出し、等間隔抽出法によって該当番号が含まれる基本調査区を抽出し、抽出の起点とした。
（利用可能な国調人口：65歳以上人口）
3. 抽出に際しての各層内における区市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードに従った。
4. 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果得られた、各ブロック・各市郡規模別（層別）の60歳以上人口・回収数・地点数および調査地点の所在する市区町村は次のとおり。

市郡規模別 ブロック	21大市	人口10万人 以上の市	人口10万人 未満の市	郡部	計
北海道	669,415 20(2)	574,521 21(2)	367,293 10(1)	396,116 11(1)	2,007,345 62(6)
東北	321,825 10(1)	1,192,675 31(3)	1,197,506 44(4)	667,738 20(2)	3,379,744 105(10)
関東	2,420,564 64(7)	4,723,322 146(14)	2,085,692 60(6)	746,747 20(2)	9,976,325 290(29)
東京都	2,497,580 288(28)	1,074,072 120(12)	212,295 17(2)	32,589 12(1)	3,816,536 437(43)
北陸	280,720 10(1)	699,497 24(2)	795,773 20(2)	165,499 11(1)	1,941,489 65(6)
中部	522,152 22(2)	1,404,119 41(4)	1,073,896 32(3)	456,512 10(1)	3,456,679 105(10)
愛知県	689,788 86(8)	971,838 121(11)	489,175 51(5)	124,524 12(1)	2,275,325 270(25)
近畿	976,030 32(3)	1,552,493 43(4)	1,160,637 33(3)	377,280 12(1)	4,066,440 120(11)
大阪府	1,071,277 125(12)	1,383,100 173(16)	276,359 28(3)	68,487 10(1)	2,799,223 336(32)
中国	594,536 20(2)	1,203,654 39(4)	648,369 25(2)	238,841 10(1)	2,685,400 94(9)
四国		713,669 21(2)	499,035 10(1)	259,679 11(1)	1,472,383 42(4)
北九州	772,606 20(2)	971,134 33(3)	898,883 32(3)	347,459 10(1)	2,990,082 95(9)
南九州	240,380 12(1)	789,943 20(2)	722,276 20(2)	401,042 11(1)	2,153,641 63(6)
計	11,056,873 709(69)	17,254,037 833(79)	10,427,189 382(37)	4,282,513 160(15)	43,020,612 2084(200)

（注1）上段は母集団数、下段左側は回収数、下段右側（ ）内は地点数

（注2）母集団数は令和4（2022）年1月1日現在住民基本台帳値

3. 質問票および単純集計結果

◎ 人生 100 年時代における生活設計に関する調査 ◎

単純集計結果は、全体（ゴシック体）のみを掲載している。

2023 年 4 月

〔単位：%（平均値を除く）〕

（全体 N：2,084）

Q 1 あなたの今日の健康状態はいかがですか。この中から 1 つだけお答えください。

19.9	23.6	41.3	11.3	1.7	無回答
よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	2.3

Q 2 ここにあげられている日常生活にさしつかえがないか、1 つ 1 つについて「はい」か「いいえ」でお答えください。

	はい	いいえ	無回答
(1) バスや電車を使って一人で外出できますか	90.4	9.3	0.3
(2) 日用品の買い物ができますか	94.9	4.9	0.2
(3) お湯をわかせますか	97.5	2.1	0.4
(4) 請求書の支払いができますか	96.1	3.8	0.1
(5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか	94.2	5.6	0.2
(6) 年金などの書類が書けますか	93.1	6.2	0.7
(7) 新聞を読んでいますか	79.2	20.5	0.3
(8) 本や雑誌を読んでいますか	81.0	18.6	0.4
(9) 健康についての記事や番組に興味がありますか	89.3	10.3	0.5
(10) 友達の家を訪ねることがありますか	63.1	36.4	0.5
(11) 家族や友達の相談にのることがありますか	82.2	16.9	0.9
(12) 病人を見舞うことができますか	88.2	11.4	0.3
(13) 若い人に自分から話しかけることがありますか	80.1	19.4	0.5
(14) 一人で電話をかけられますか	97.7	2.0	0.3
(15) 一人で薬を服用できますか	98.6	1.1	0.3

Q 3 あなたは、日頃から健全な食生活を実践することを心掛けていますか。この中から 1 つだけお答えください。

28.3	常に心掛けている	15.1	あまり心掛けていない	無回答
54.3	心掛けている	1.0	まったく心掛けていない	1.4

【ここからは、様々な状況を思い浮かべて、あなたならどうしたいかお考えください。】

Q 7 賞金額と賞金の当選する確率がそれぞれ異なる、二つのクジ A, B があるとします。あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

(1) 以下の二つのクジ A, B の内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

46.0 99%の確率で3万円当選し、1%の確率で0円になる

52.0 必ず1万円もらえる

無回答
2.0

(2) 以下の二つのクジ A, B の内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

41.1 90%の確率で3万円当選し、10%の確率で0円になる

56.9 必ず1万円もらえる

無回答
2.0

(3) 以下の二つのクジ A, B の内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

34.4 80%の確率で3万円当選し、20%の確率で0円になる

63.6 必ず1万円もらえる

無回答
2.0

(4) 以下の二つのクジ A, B の内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

16.9 60%の確率で3万円当選し、40%の確率で0円になる

81.0 必ず1万円もらえる

無回答
2.0

(5) 以下の二つのクジ A, B の内、あなたならどちらのクジを引きたいと思いますか。

8.2 30%の確率で3万円当選し、70%の確率で0円になる

89.9 必ず1万円もらえる

無回答
1.9

Q 8 あなたはお金をもらえることになりました。今すぐお金をもらうなら、1万円受け取ることができます。1年待ってお金をもらうなら、1万円以上のお金を受け取ることができます。それぞれの金額の組合せについてあなたが好む方をお答えください。

(1) 今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、10,020円受け取るのでは、いかがですか。

92.9 今すぐ、10,000円受け取る

5.7 1年後、10,020円受け取る

無回答
1.4

(2) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、10,400円受け取るのでは、いかがですか。

88.8 今すぐ、10,000円受け取る

9.5 1年後、10,400円受け取る

無回答
1.7

(3) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、12,000円受け取るのでは、いかがですか。

52.2 今すぐ、10,000円受け取る

46.0 1年後、12,000円受け取る

無回答
1.9

(4) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、14,000円受け取るのでは、いかがですか。

37.7 今すぐ、10,000円受け取る

60.6 1年後、14,000円受け取る

無回答
1.7

(5) それでは、今すぐ、10,000円受け取るのと、1年後、18,000円受け取るのでは、いかがですか。

24.3 今すぐ、10,000円受け取る

74.0 1年後、18,000円受け取る

無回答
1.7

【ここからは、自動車の運転についてお尋ねします。】

Q 9 普段の生活の中で、あなたは自動車を運転しますか。仕事で運転する場合も含みます。この中から1つだけお答えください。

- 56.0 運転する
- 8.5 免許証を保有しているが、運転しない
- 13.6 免許証を返納したまたは失効させたので、運転しない
- 21.3 これまで運転免許証を取得したことがないので、運転しない

無回答
0.5

Q10 普段の生活の中で買い物や通院等で外出しようとするとき、ご自宅から目的地までの移動手段としてあなたが利用できる移動手段を、**すべて**選んでください。(○はいくつでも)

- 48.8 鉄道
- 39.3 自家用車(自分以外の運転)
- 35.5 民営路線バス
- 6.1 バイク・スクーター
- 24.3 市町村営バス
- 40.8 自転車
- 10.2 送迎バス
- 68.6 徒歩
- 39.7 タクシー・ハイヤー
- 0.7 その他(具体的に)
- 52.3 自家用車(自分の運転)

無回答
0.5

Q11 あなたは現在、振り込め詐欺や還付金等詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐために行っていることはありますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

- 5.3 電話のそばに標語などを置いている
- 2.7 家族と電話で話す際の合言葉を決めている
- 14.1 電話帳(ハローページ)から名前を外している
- 26.7 ナンバーディスプレイを使っている
- 34.3 家に居る時も留守番機能を使っている
- 7.3 防犯用電話(自動通話録音機)を使っている
- 14.1 固定電話を使用しない・固定電話を持っていない
- 38.5 こちらから名乗らない
- 27.2 電話を早く切る
- 12.5 家族に代わる・家族に相談する
- 5.6 その他(具体的に)
- 13.1 特に心がけていることはない

無回答
0.5

Q12 あなたは認知症を予防するためにどのようなことを行っていますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

- 47.1 人と多く話をする
- 50.4 読み書きや計算など頭を使う
- 46.6 雑誌や書籍を読む
- 41.1 いろいろなことに興味や関心を持つ
- 46.5 バランスの良い食事をとる
- 55.8 適度な運動を行う
- 53.1 定期健診や検診を受ける
- 36.8 たばこを控える(吸わない)
- 48.0 転倒や骨折に注意する
- 14.3 ゲームをする
- 27.4 お酒を控える(飲まない)
- 4.8 その他(具体的に)
- 10.1 何も行っていない

無回答
0.5

【ここからは、年金制度についてお伺いします。】

Q13 あなたは公的年金の受給開始年齢を自由に選んで良いことを知っていますか。

87.3
知っている

11.9
知らない

無回答
0.8

Q14 あなたは、現在、公的年金を受け取っていますか。

83.7
受け取っている
↓
(Q15へ)

15.8
受け取っていない
↓

無回答
0.5

(Q14で「受け取っていない」と答えた方へ)

SQ 公的年金の受給開始年齢を遅らせると年金給付額が増額されます。あなたは受給開始年齢を遅らせることを検討する際、何を基準にしますか。(なりそうですか)。この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

(全体N : 329)

19.5	仕事のやりがい	38.3	年金給付額の増額幅
21.3	給与の水準	4.6	その他(具体的に)
42.6	健康状態	24.0	受給開始年齢を遅らせるつもりはない
19.8	家族の収入		

無回答
2.1

(全員の方へ)

【ここからは、金融・保険に関する知識についてお伺いします。】

Q15 あなたは、他の人と比べて、金融や保険について詳しいと思いますか。

2.1	6.8	45.6	30.1	15.1
詳しい	どちらかといえば 詳しい	平均的	どちらかといえば 詳しくない	詳しくない

無回答
0.4

Q16 あなたは、100万円を預貯金口座に預け入れました。金利は、年率2%だとします。また、この口座には誰もこれ以上お金を預け入れないとしします。1年後、口座の残高はいくらになっていると思いますか。次の中から、最も近いと思う金額をお答えください。

3.2	100万円	
75.2	102万円	
0.6	110万円	
4.0	その他(具体的に)万円	
15.0	わからない	↓ (Q17へ)

無回答
2.1

(Q16で(1)～(4)と答えた方へ)

SQ では、5年後には口座の残高はいくらになっていると思いますか。

(全体N : 1,729)

47.3	110万円より多い
26.8	ちょうど110万円
15.8	110万円より少ない
4.2	その他(具体的に)万円
4.7	わからない

無回答
1.3

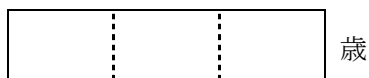
(全員の方へ)

Q17 ここにあげられている保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも間違っていると思いますか。

	正しいと思う	間違っていると思う	わからない	無回答
(1) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる	58.5	14.8	24.1	2.6
(2) 一般的に、多くの会社の株式を同時に保有するよりも1社の株式だけを保有する方が投資収益は安定する	7.0	44.2	46.3	2.5
(3) 収益率が高い金融資産は、安全性が低い傾向にある	50.1	8.0	39.0	2.9
(4) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、男女間で同じである	14.8	59.6	23.2	2.4
(5) お金を預ける場合、金利が下がり続けているときは固定金利の商品が望ましい	52.4	11.4	33.3	2.9
(6) 物価上昇率が高い時期は金利が高くなる	27.8	27.1	41.9	3.2

Q18 あなたは何歳まで生きると思いますか。

(平均) 86.2 (歳)



無回答
10.1

【ここからは、長寿社会における様々な不安に対する準備状況についてお伺いします。】

Q19 あなたは退職後の生活資金に不安がありますか。

19.6	41.0	27.7	10.0
とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない

無回答
1.7

Q20 あなたは退職後の生活資金形成のための経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 70.5 預貯金
- 51.2 生命保険(個人年金・終身保険)
- 13.5 NISA(少額投資非課税制度)
- 2.7 iDeCo(個人型確定拠出年金)
- 9.1 NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券
- 9.3 不動産の売却や賃貸
- 1.6 その他(具体的に)
- 17.6 準備していない

無回答
2.4

Q21 あなたは将来、生活で困ったことがある際にどのような人に相談をしますか。この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）

55.4	配偶者				
67.0	子ども				
17.3	その他親族				
2.0	近隣住民・町内会				
12.9	友人				
33.1	介護・福祉の窓口（役所（福祉相談窓口）、社会福祉協議会、地域包括支援センター、NPO法人）				
22.3	介護・福祉の専門家（ケア・マネジャー（介護支援相談員）、社会福祉士、民生委員、福祉委員等）				
8.4	その他の専門家（弁護士、司法書士、会計士、税理士、ファイナンシャルプランナー等）				
0.6	その他（具体的に				
3.7	相談相手はいない				無回答 0.8

Q22 あなたはご自身の病気・ケガに経済的な不安がありますか。

14.3	45.3	31.9	7.8	
とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない	
				無回答 0.7

Q23 あなたはご自身の病気・ケガに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）

65.3	預貯金	5.9	不動産の売却や賃貸	
63.9	生命保険	1.2	その他（具体的)
23.3	損害保険	11.8	準備していない	
15.5	共済			無回答 1.1

Q24 あなたは現在、介護を受けていますか。

5.1	94.3	
介護を受けている	介護を受けていない	
└─┬─▶ (Q25へ)	└─┬─▼	
		無回答 0.6

(Q24で「介護を受けていない」と答えた方へ)

SQ あなたはご自身が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。

(全体N : 1,965)

18.0	47.9	26.8	6.4	
とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない	
				無回答 1.0

(全員の方へ)

Q25 あなたはご自身が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

64.6	預貯金	7.9	不動産の売却や賃貸
50.2	生命保険	1.4	その他(具体的に)
16.1	損害保険	21.4	準備していない
10.9	共済		

無回答
1.3

【ここからは、あなたのご両親の介護についてお伺いします。】

Q26 あなたのご両親は、介護を受けたことがありますか。



無回答
1.4

(Q26で「ある」と答えた方へ)

SQ 介護の時期についてお答えください。

(全体N : 1,076)

20.4	現在、介護を受けている
79.6	過去に介護を受けていた

無回答
-

(全員の方へ)

Q27 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に経済的な不安がありますか。

11.8	31.8	37.5	17.7
とても	どちらかといえば	あまり	不安ではない
不安	不安	不安ではない	

無回答
1.2

Q28 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

60.7	預貯金	14.3	不動産の売却や賃貸
53.0	生命保険	1.7	その他(具体的に)
14.0	損害保険	21.7	準備していない
10.0	共済		

無回答
1.6

Q29 あなたは、今振り返って、経済的な準備を(もっと)しておけばよかったと思うものはありますか。この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

31.2	あなたの退職後の生活資金に関する準備
29.6	あなたの病気・ケガに関する準備
31.8	あなたご自身の介護に関する準備
4.1	あなたのご両親の介護に関する準備
20.8	あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備
0.9	その他(具体的に)
38.4	特になし

無回答
1.7

Q30 あなたはご自身に万一があった場合のための相続準備をしていますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

6.2 遺言の作成

9.2 生前贈与

25.3 生命保険加入

1.2 その他(具体的に)

63.3 特に何もしていない

(「2 生前贈与」に○をつけていない場合は、Q31へ)

無回答
1.8

(Q30で「生前贈与」と答えた方へ)

SQ その贈与先はどちらですか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)
(全体N:192)

31.8 配偶者

89.6 子ども

26.0 孫

5.2 その他の親族

0.5 その他(具体的に)

無回答
1.6

(全員の方へ)

Q31 将来、判断能力が不十分になったときに備えてどのような準備をしていますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

13.0 ノート等での意思表示

1.0 信託制度

1.4 任意後見制度

34.4 家族に自分の希望を伝えている

2.5 認知症保険への加入

4.7 銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している

0.2 その他(具体的に)

55.8 特に準備はしていない

無回答
0.6

Q32 将来、判断能力が不十分になったときにどのような相談相手がありますか。この中から**すべて**お答えください。(○はいくつでも)

59.2 配偶者

80.1 子ども

20.1 その他親族

2.8 近隣住民・町内会

11.4 友人

14.1 役所(福祉相談窓口)

5.1 社会福祉協議会

10.2 地域包括支援センター

0.3 NPO法人

2.2 弁護士

2.0 司法書士

0.7 社会福祉士

4.4 民生委員

1.4 福祉委員

8.7 ケア・マネジャー(介護支援相談員)

0.4 その他(具体的に)

3.4 相談相手はいない

無回答
0.4

Q33 将来、判断能力が不十分になったときに株や証券、保険などの金融資産を家族や成年後見人などのように扱って欲しいですか。この中から1つだけお答えください。

15.7	そのまま保持する		
31.9	適切に運用する		
14.4	売却して現金資産にする		
19.0	保持していない		
11.7	回答したくない	→ (Q34へ)	
2.4	その他(具体的に)	無回答 4.8

(Q33で(1)～(4)、(6)と答えた方へ)

SQ その際、家族の誰に扱ってほしいですか。この中からすべてお答えください。

(○はいくつでも)

(全体N : 1,739)

55.2	配偶者		
77.2	子ども		
7.8	その他の親族		
1.7	家族・親族以外の成年後見人に託したい		
0.9	その他(具体的に)	無回答 3.5

【ここからは、人生全般に関する後悔と生活満足についてお尋ねします。】

(全員の方へ)

Q34 これまでの人生を振り返りあなたは、次にあげるような事柄について、どのように感じていますか。1つ1つについて当てはまる番号に○をつけてください。

	そう思う	まあそう思う	わない	あまりそう思	そう思わない	無回答
(1) もっと運動をしておけばよかった	11.9	31.6	39.3	15.0	2.2	
(2) もっと食生活を気遣えばよかった	8.4	26.0	47.7	15.6	2.2	
(3) もっと生活習慣を見直せばよかった	8.3	29.8	45.8	13.7	2.4	
(4) もっと学べばよかった	20.9	36.2	30.8	9.7	2.4	
(5) もっと仕事に取り組みばよかった	6.7	19.2	49.8	21.4	2.9	
(6) もっと貯蓄を行えばよかった	20.0	34.3	33.2	9.9	2.7	
(7) もっと保険等に参加すればよかった	5.3	14.4	55.6	22.2	2.6	
(8) もっと投資を行えばよかった	3.9	10.2	46.9	36.2	2.8	
(9) もっと家族との時間を大切にすればよかった	9.7	28.6	41.7	17.4	2.6	
(10) もっと友人との時間を大切にすればよかった	5.4	23.2	51.7	16.9	2.8	
(11) もっと地域などのコミュニティーに参加すればよかった	2.9	15.8	57.1	21.7	2.5	
(12) もっとひとりの時間を大切にすればよかった	5.7	16.6	54.0	21.1	2.6	

質問番号(1)から(12)で「1 そう思う」または「2 まあそう思う」に1つでも○をつけた場合は、SQへ
1つも○をつけなかった場合は、Q35へ

SQ そのうちどれか1つやり直せるとしたらどれを選びますか。Q34の(1)～(12)で「1 そう思う」または「2 まあそう思う」に○をつけられたものの中からその質問番号を1つお選びください。下の枠内に質問番号を記入してください。

(全体N : 1,659)

81.1 やり直したい事柄 → Q34の質問 番

- | | |
|--------------|----------------------|
| 9.1 運動 | 1.3 保険等への加入 |
| 3.9 食生活 | 1.7 投資 |
| 5.8 生活習慣 | 8.3 家族との時間 |
| 24.7 学び | 1.7 友人との時間 |
| 2.9 仕事への取り組み | 0.8 地域などのコミュニティーへの参加 |
| 19.1 貯蓄 | 1.6 ひとりの時間 |
| | 0.1 やり直したい事柄不明 |

11.9 やり直したい事柄はない

無回答
7.0

(全員の方へ)

Q35 あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。『全く満足していない』を0点、『非常に満足している』を10点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれか1つだけ選んでください。

全く満足して いない											非常に満足 している	
1.2	0.6	0.9	3.8	3.7	18.3	10.1	18.5	24.7	8.4	8.0		
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		

無回答
1.9

最後に、あなたやご家族のことについて、もう少しお尋ねいたします。

F1 あなたの性別をお知らせください。

47.8 男

52.2 女

F2 あなたの生年月日はいつですか。

(平均) 73.0 (歳)

1 大正 年 月
2 昭和 年 月

F3 あなたは現在無職ですか。

61.7

はい

38.0

いいえ

(F4へ)

無回答
0.3

(F3で「はい」と答えた方へ)

SQ あなたができる仕事があれば働きたいと思いますか。

(全体N : 1,285)

26.3

はい

72.1

いいえ

無回答
1.6

(全員の方へ)

F4 あなたのご職業は何ですか。(何でしたか。)この中から1つだけお答えください。

なお、既にご退職された方は、最も長く従事したご職業をお答えください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 2.8 農・林・漁業の自営者・家族従事者 | 31.0 民間企業(正社員) |
| 3.3 商工・サービス業の自営者(法人組織の経営者) | 2.9 派遣社員・契約社員 |
| 7.6 商工・サービス業の自営者(個人事業の経営者) | 20.1 パート・アルバイト |
| 2.5 商工・サービス業の家族従事者 | 11.8 無職(専業主婦・主夫を含む) |
| 3.2 自由業 | 3.5 その他(具体的に) |
| 8.6 公務員 | |
- 無回答
2.6

F 5 あなたが最後に卒業・修了された学校はどちらですか。在学中の方、中退された方は、その直前までに卒業された学校をお答えください。この中から1つだけお答えください。

15.5	小中学校	21.4	大学	
43.4	高等学校	1.2	大学院修士課程	
17.7	短期大学、高等専門学校、専門学校	0.1	大学院博士課程	無回答 0.8

F 6 あなたご自身の昨年1年間の収入は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

12.5	収入はない	7.4	500万円以上1,000万円未満	
22.0	100万円未満	1.3	1,000万円以上2,000万円未満	
51.2	100万円以上500万円未満	0.4	2,000万円以上	無回答 5.1

F 7 あなたの退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> </div>	歳で 53.5 退職・引退済（平均） 60.4 （歳）
	32.1 退職・引退予定（平均） 72.9 （歳）

無回答
14.5

F 8 あなたご自身が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどうでしょうか。

3.3	100万円未満	1.2	2,000万円以上	
2.7	100万円以上1,000万円未満	79.0	今後受け取る退職金はない （既に受け取り済も含む）	
1.3	1,000万円以上2,000万円未満			無回答 12.5

F 9 あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。

5.6	未婚	(F 16へ) →	無回答 0.4
69.6	既婚（配偶者あり）		
24.4	既婚（離別・死別）		

（F 10～F 15はF 9で「既婚（配偶者あり）」と答えた方へ）

F 10 あなたの配偶者の生年月日はいつですか。

（全体N：1,450）

	（平均） 71.4 （歳）
1	大正
2	昭和
3	平成

<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> </div>	年	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> </div>	月
--	---	--	---

無回答
4.6

F 11 あなたの配偶者は現在無職ですか。

62.7	36.2	
はい	いいえ	

無回答
1.1

F12 あなたの配偶者のご職業は何ですか（何でしたか）。この中から1つだけお答えください。
 なお、既にご退職されている場合は、最も長く従事したご職業をお答えください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 2.6 農・林・漁業の自営者・家族従事者 | 32.0 民間企業（正社員） |
| 3.0 商工・サービス業の自営者（法人組織の経営者） | 4.7 派遣社員・契約社員 |
| 7.0 商工・サービス業の自営者（個人事業の経営者） | 18.3 パート・アルバイト |
| 2.8 商工・サービス業の家族従事者 | 13.4 無職（専業主婦・主夫を含む） |
| 2.5 自由業 | 2.2 その他（具体的に |
| 6.8 公務員 |) |

無回答
4.6

F13 あなたの配偶者の昨年1年間の収入は、税込みでおよそいくらぐらいですか。この中ではどう
 でしょうか。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 20.9 収入はない | 4.3 500万円以上1,000万円未満 |
| 25.0 100万円未満 | 1.2 1,000万円以上2,000万円未満 |
| 41.2 100万円以上500万円未満 | 0.5 2,000万円以上 |

無回答
7.0

F14 あなたの配偶者の退職・引退（予定）年齢は何歳ですか。定年後の再就職なども含め、収入を
 伴う仕事から完全に退職・引退した（する予定の）年齢をお答えください。

歳で 53.2 退職・引退済（平均）57.7（歳）

29.4 退職・引退予定（平均）71.7（歳）

無回答
17.3

F15 あなたの配偶者が今後受け取る予定の退職金の見込み額は税込みでおよそいくらぐらいです
 か。この中ではどうでしょうか。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 3.6 100万円未満 | 0.8 2,000万円以上 |
| 3.1 100万円以上1,000万円未満 | 78.6 今後受け取る退職金はない |
| 1.0 1,000万円以上2,000万円未満 | (既に受け取り済も含む) |

無回答
12.9

（全員の方へ）

F16 あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。なお、ご回答はあなたからみ
 た続柄^{つづまがら}でお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|--|--------------------|
| 66.0 配偶者 | 0.5 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 26.3 未婚の子ども（ <input style="width: 40px; height: 15px; border: 1px solid black;" type="text"/> 名）（平均）1.2（人） | 2.2 兄弟・姉妹 |
| 13.0 既婚の子ども（ <input style="width: 40px; height: 15px; border: 1px solid black;" type="text"/> 名）（平均）1.2（人） | 2.7 その他（具体的に |
| 10.5 孫（ <input style="width: 40px; height: 15px; border: 1px solid black;" type="text"/> 名）（平均）1.9（人） |) |
| 6.3 あなたもしくは配偶者の父母 | 16.7 同居している家族はいない |

無回答
1.7

F17 あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。ここでは、単身赴任や施設などに入居されているご家族や親族も含まれます。なお、ご回答はあなたからみた続柄^{つづきから}でお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|----------------------|
| 67.0 配偶者 | 1.5 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 40.6 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) (平均)1.4(人) | 60.7 兄弟・姉妹 |
| 64.7 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) (平均)1.8(人) | 10.4 その他 (具体的に) |
| 55.5 孫 (<input type="text"/> 名) (平均)3.2(人) | 2.2 家族や付き合いのある親族はいない |
| 21.3 あなたもしくは配偶者の父母 | 無回答
2.5 |

F18 あなたと配偶者の夫婦2人(配偶者がいらっしゃらない場合はあなた)の昨年1年間の収入額(税込み)の内訳はどのようになりますか。(1)公的年金と(2)働いて得る収入、(3)その他の収入のそれぞれについて、おおよその金額で結構ですでお答えください。なお、収入がない場合は、0円とお答えください。

- | | | | |
|------------------------------|---|----|-------------|
| (1) 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金)・年間約 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 万円 | 無回答
25.7 |
| (平均) 189.2 (万円) | | | |
| (2) 働いて得る収入 ……………年間約 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 万円 | 無回答
38.0 |
| (平均) 212.0 (万円) | | | |
| (3) その他の収入 ……………年間約 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 万円 | 無回答
46.4 |
| (平均) 53.2 (万円) | | | |

F19 あなたと配偶者の夫婦2人(配偶者がいらっしゃらない場合はあなた)の生活費についてお伺いします。(1)月々の生活費(注)と(2)そのうち医療・介護費用として窓口で支払っている月々の金額のそれぞれについて、おおよそで結構ですでお答えください。なお、費用の支出がない場合は、0円とお答えください。

(注) 含めるもの：衣食住関連費や光熱費、交通費、通信費などの他、医療・介護費や教養・娯楽費、子供や孫・親等への仕送り、教育費、税・社会保険料
 除くもの：住宅ローンなどのローン返済額や貯蓄や保険料の支払い

- | | | | |
|------------------------|---|---------------------------|-------------|
| (1) 月々の生活費 ……………月額約 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 万円 | 無回答
20.2 |
| (平均) 21.0 (万円) | | | |
| (2) うち医療・介護費用 ……………月額約 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | 万 <input type="text"/> 千円 | 無回答
22.3 |
| (平均) 2.06 (万円) | | | |

F 20 あなたと家計を同一とする世帯の保有資産（預貯金、株式・公社債、保険等の金融資産）の（１）金額合計と、（２）そのうち保険の金額合計はそれぞれこの中のどれになりますか。わかる範囲で結構ですのでお答えください。

（注１）不動産や負債（住宅ローン等）の額は除いてください。

（注２）株式は時価、公社債は額面金額としてください。

（注３）保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込保険料の総額としてください。

（１）保有資産の合計金額

9.8	100万円未満	5.0	1,000万円以上1,200万円未満
3.5	100万円以上200万円未満	2.4	1,200万円以上1,400万円未満
4.0	200万円以上300万円未満	1.7	1,400万円以上1,600万円未満
2.7	300万円以上400万円未満	1.4	1,600万円以上1,800万円未満
2.5	400万円以上500万円未満	2.9	1,800万円以上2,000万円未満
3.5	500万円以上600万円未満	3.6	2,000万円以上2,500万円未満
1.0	600万円以上700万円未満	3.2	2,500万円以上3,000万円未満
1.4	700万円以上800万円未満	3.5	3,000万円以上4,000万円未満
1.0	800万円以上900万円未満	8.9	4,000万円以上
3.0	900万円以上1,000万円未満		

無回答
35.1

（２）うち保険の合計金額

25.6	100万円未満	1.5	600万円以上700万円未満
7.7	100万円以上200万円未満	1.3	700万円以上800万円未満
6.1	200万円以上300万円未満	0.9	800万円以上900万円未満
3.7	300万円以上400万円未満	1.2	900万円以上1,000万円未満
3.5	400万円以上500万円未満	7.2	1,000万円以上
3.7	500万円以上600万円未満		

無回答
37.5

F 21 あなたの現在のお住まいについて、この中から**1つだけ**お答えください。

12.4	一戸建て（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払い中）
59.2	一戸建て（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払いなし）
7.5	一戸建て（ご両親など、配偶者を除く家族の名義）
1.2	マンション（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払い中）
3.6	マンション（自分または配偶者の名義、住宅ローン支払いなし）
0.5	マンション（ご両親など、配偶者を除く家族の名義）
11.2	賃貸住宅（借家など一般住宅）
0.1	サービス付き高齢者向け住宅
0.1	高齢者専用賃貸住宅
0.3	社宅・独身寮など
0.7	その他（具体的に)

無回答
3.2

たいへん長い間ありがとうございました。

掲載データ・本文のご利用（転載）について

調査データ・図表の転載に関しては申請が不要となりましたが、下記の点に留意して転載を行ってください。

- ① 調査データ・図表の転載にあたっては、著作権法およびその他の法律を遵守してください。利用者が著作権者の権利を侵害した場合には、著作権法により罰せられますのでご注意ください。
- ② 調査データ・図表の転載にあたっては、必ず出典を明記してください。
- ③ 調査データ・図表の選択肢の転載にあたっては、すべて掲載するか、上位5項目などとし、恣意的な選択は禁止します。また、選択肢の統合も禁止します。

※お問い合わせ先：（公財）生命保険文化センター
保険研究室
TEL. 03-5220-8512
FAX. 03-5220-9090

2023年度ライフマネジメントに関する 高年齢層の意識調査

2023年12月発行

（公財）生命保険文化センター
保険研究室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1
新国際ビル3階

TEL. 03-5220-8512

ホームページアドレス <https://www.jili.or.jp/>